

令和7年度 第3回丹波市介護保険事業運営協議会次第

と き 令和8年3月26日(木) 午後2時～

ところ 丹波市役所本庁第2庁舎 2階ホール

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報告事項

- (1) 介護サービス事業所の更新指定申請について . . . 資料 No. 1
- (2) 丹波市介護保険条例の改正について . . . 資料 No. 2
- (3) 奨学金返済支援事業補助金について . . . 資料 No. 3

4. 協議事項

- (1) 介護サービス提供事業者実態把握調査について . . . 資料 No. 4
- (2) 一般高齢者、要介護認定者対象の基礎調査の結果(速報値)について . . . 資料 No. 5

5. その他

- (1) 第10期介護保険事業計画の策定スケジュールについて . . . 資料 No. 6
- (2) 令和8年度第1回介護保険事業運営協議会の開催について

6. 閉 会

○丹波市介護保険事業運営協議会規則

平成23年3月17日

規則第16号

改正 平成24年6月22日規則第44号

平成25年11月7日規則第42号

令和2年3月18日規則第28号

令和7年3月19日規則第14号

(趣旨)

第1条 この規則は、丹波市介護保険条例（平成16年条例第130号）第3条の規定に基づく丹波市介護保険事業運営協議会（以下「運営協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 運営協議会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 介護保険事業計画の円滑な推進に関すること。
- (2) 介護保険事業の実施に関すること。
- (3) 介護保険事業計画及び老人保健福祉計画の策定に関すること。
- (4) 地域包括支援センターの運営に関すること。
- (5) 地域密着型サービスの事業者の指定に関すること。
- (6) 地域密着型サービスの指定基準及び介護報酬の設定に関すること。
- (7) その他介護保険事業の推進に関すること。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、委嘱した日の属する年の翌々年の5月31日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は、妨げないものとする。

(会長及び副会長)

第4条 運営協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選による。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 運営協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会議は、必要に応じて開催するものとし、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を述べさせることができる。

(庶務)

第6条 運営協議会の庶務は、福祉部介護保険課において処理する。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、運営協議会に関し必要な事項は、会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

(特例措置)

2 この規則の施行の日以後最初に委嘱される委員の任期は、第4条第2項の規定にかかわらず、平成24年5月31日までとする。

3 この規則の施行の日以後最初に開催する会議は、第6条の規定にかかわらず、市長が招集するものとする。

附 則 (平成24年6月22日規則第44号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成25年11月7日規則第42号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (令和2年3月18日規則第28号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 (令和7年3月19日規則第14号)

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

丹波市介護保険事業運営協議会委員名簿

任期：令和6年7月25日～令和8年5月31日

構成	氏名	所属
学識経験者	池田 凡美	兵庫県丹波県民局丹波健康福祉事務所
保健医療関係者	細見 成一	丹波市医師会
	大塚 浩之	丹波認知症疾患医療センター
	八木 貴	丹波市歯科医師会
福祉関係者	久下 恵太	丹波市社会福祉協議会
	小椎尾 竹信	丹波市老人福祉事業協会
	梶川 丞	丹波市介護保険サービス事業者協議会 通所サービス部会
	永井 豊	丹波市民生委員児童委員連合会
	馬場 佳代	兵庫県社会福祉士会 丹波ブロック
被保険者代表	上田 脩	丹波市老人クラブ連合会
	谷 和義	丹波市身体障害者福祉協議会
	藤井 真理	丹波市ボランティア協会
介護支援専門員代表	猪瀬 淳子	丹波市介護保険サービス事業者協議会 介護支援専門員部会
関係行政機関の職員	蔭山 広明	丹波県民局 丹波健康福祉事務所 監査・福祉課
公募委員	吉見 良太	

◆事務局

連絡先 丹波市役所本庁第2庁舎 (TEL88 - 5266 Fax88 - 5283)

福祉部長	森本 英行
介護保険課	足立 和義 石川 浩毅 村上 浩一 荻野 裕 足立 裕子
地域包括支援センター	西部地域包括支援センター・南部地域包括支援センター 東部地域包括支援センター

指定更新申請の概要

項目	内容	備考・詳細
事業所の名称	特定非営利活動法人丹波あすなろの会ひだまり	
事業の種類	地域密着型通所介護	
指定更新予定日	令和8年2月1日	当初指定年月日：平成20年2月1日
申請者・代表者	特定非営利活動法人丹波あすなろの会ひだまり 理事長 三輪 すみ子	
事業所の所在地	丹波市柏原町柏原5117番地	
利用定員	15人	
管理者	三輪 すみ子 年齢75歳 常勤	
従業員の職種・員数	管理者兼生活相談員兼介護職員：常勤1人 生活相談員兼看護職員兼機能訓練指導員：常勤1人 看護職員：非常勤1人 介護職員：非常勤9人 実人員：管理者以下 12人	
営業日	月曜日から土曜日	
営業時間 (サービス提供時間)	午前8時30分から午後5時 (午前8時30分から午後5時)	
その他の費用	運営規程のとおり	
通常の実施地域	丹波市	

指定更新申請の審査<介護保険法第78条の2第4項>

項目	審査状況	適否
申請者要件① (法人であること)	特定非営利活動法人	適
申請者要件② (罰金刑に処せられ、刑未執行でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
申請者要件③ (指定取消、廃止等から5年経過)	該当しない旨の誓約書により確認	適
申請者要件④ (申請前5年に不正・不当行為なし)	該当しない旨の誓約書により確認	適
役員要件① (禁固刑以上の刑に処せられ、刑未執行でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
役員要件② (申請要件②③④の法人役員でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
人員基準	管理者、生活相談員、機能訓練指導員資格要件 看護職員又は介護職員の人員・従事要件	適
設備基準	食堂・機能訓練室面積要件(3㎡×利用定員)	適
運営基準	運営規程の確認	適

指定更新申請の概要

項目	内容	備考・詳細
事業所の名称	デイサービス わたぼうしの森	
事業の種類	地域密着型通所介護	
指定更新予定日	令和8年3月1日	当初指定年月日：平成26年3月1日
申請者・代表者	合同会社キッチン・ガーデン 代表取締役 山本 弥	
事業所の所在地	丹波市氷上町香良684番地4	
利用定員	10人	
管理者	フジワラ ムミ 藤原 真弓 年齢40歳 常勤	
従業員の職種・員数	管理者兼介護職員：常勤1人 生活相談員：常勤2人 介護職員：非常勤2人 看護職員兼機能訓練指導員：非常勤1人 実人員：管理者以下 6人	
営業日	月曜日から土曜日	
営業時間 (サービス提供時間)	午前8時30分から午後5時30分 (午前9時25分から午後4時30分)	
その他の費用	運営規程のとおり	
通常の実施地域	丹波市	

指定更新申請の審査<介護保険法第78条の2第4項>

項目	審査状況	適否
申請者要件① (法人であること)	株式会社	適
申請者要件② (罰金刑に処せられ、刑未執行でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
申請者要件③ (指定取消、廃止等から5年経過)	該当しない旨の誓約書により確認	適
申請者要件④ (申請前5年に不正・不当行為なし)	該当しない旨の誓約書により確認	適
役員要件① (禁固刑以上の刑に処せられ、刑未執行でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
役員要件② (申請要件②③④の法人役員でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
人員基準	管理者、生活相談員、機能訓練指導員資格要件 看護職員又は介護職員の人員・従事要件	適
設備基準	食堂・機能訓練室面積要件(3㎡×利用定員)	適
運営基準	運営規程の確認	適

指定更新申請の概要

項目	内容	備考・詳細
事業所の名称	おかの花居宅介護支援事業所	
事業の種類	指定居宅介護支援事業所	
指定更新予定日	令和8年4月1日	当初指定年月日：平成12年4月1日
申請者・代表者	社会福祉法人 三相園福祉会	
事業所の所在地	兵庫県丹波市春日町山田170番地	
利用定員	-	
管理者	高見 さゆり 年齢 58歳 常勤、管理者兼介護支援専門員	
従業員の職種・員数	管理者兼介護支援専門員：常勤1人 介護支援専門員：常勤3人 実人員：管理者以下 4人	
営業日	月、火、水、木、金	12月29日～1月3日を除く
営業時間	午前9時～午後6時	
その他の費用	運営規程のとおり	
通常の実施地域	丹波市内の春日、市島、氷上中学校区	

指定更新申請の審査<介護保険法第79条第2項>

項目	審査状況	適否
申請者要件① (法人であること)	社会福祉法人	適
申請者要件② (罰金刑に処せられ、刑未執行でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
申請者要件③ (指定取消、廃止等から5年経過)	該当しない旨の誓約書により確認	適
申請者要件④ (申請前5年に不正・不当行為なし)	該当しない旨の誓約書により確認	適
役員要件① (禁固刑以上の刑に処せられ、刑未執行でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
役員要件② (申請要件②③④の法人役員でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
人員基準	管理者、介護支援専門員・従事要件	適
設備基準	事務室、相談室、会議室(相談室兼可能)	適
運営基準	運営規程の確認	適

指定更新申請の概要

項目	内容	備考・詳細
事業所の名称	山路園居宅介護支援事業所	
事業の種類	指定居宅介護支援事業所	
指定更新予定日	令和8年4月1日	当初指定年月日：平成11年10月26日
申請者	社会福祉法人 山路福祉会	
事業所の所在地	兵庫県丹波市山南町野坂181番地1	
利用定員	-	
管理者	クゲ 久下 こず恵 年齢51歳 常勤、管理者兼介護支援専門員	
従業員の職種・員数	管理者兼介護支援専門員：常勤1人 介護支援専門員：常勤1人 実人員：管理者以下 2人	
営業日	月、火、水、木、金、土	12月30日～1月3日を除く
営業時間	午前9時～午後5時	
その他の費用	運営規程のとおり	
通常の実施地域	丹波市の山南、柏原及び氷上区域	

指定更新申請の審査<介護保険法第79条第2項>

項目	審査状況	適否
申請者要件① (法人であること)	社会福祉法人	適
申請者要件③ (指定取消、廃止等から5年経過)	該当しない旨の誓約書により確認	適
申請者要件④ (申請前5年に不正・不当行為なし)	該当しない旨の誓約書により確認	適
役員要件① (禁固刑以上の刑に処せられ、刑未執行でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
役員要件② (申請要件②③④の法人役員でない)	該当しない旨の誓約書により確認	適
人員基準	管理者、介護支援専門員・従事要件	適
設備基準	事務室、相談室、会議室(相談室兼可能)	適
運営基準	運営規程の確認	適

令和 8 年度 介護保険料判定における特例措置について

1. 背景・目的

令和 7 年度税制改正により、個人住民税の給与所得控除額が 55 万円から 65 万円に引き上げられる。この影響で合計所得金額が減少となり、介護保険料の所得段階が下がってしまう被保険者が出てくる。

このことにより、介護保険料収入不足を回避し、第 9 期介護保険事業計画期間（令和 6～8 年度）の制度運営の安定性を確保するため、特例措置を実施する。

2. 特例措置の概要

令和 8 年度分の第 1 号被保険者（65 歳以上）の介護保険料決定において、税制改正による影響が及ばないように計算を行う。

(1)対象者

給与等収入が 190 万円未満の第 1 号被保険者及び世帯員

(2)調整内容

市民税上の合計所得金額に対し、税制改正に伴う給与所得控除の引き上げ相当分（10 万円）を加えた後の所得金額を用いて、保険料段階を判定する。

(3)計算イメージ

判定所得 = 合計所得金額 + 10 万円（給与所得控除の増額分）

※給与所得控除が 10 万円未満の場合は、その金額を上限とする。

(4)住民税非課税世帯への減免措置

i. 税制改正によって世帯全員が非課税となった場合、自治体の判断により、令和 7 年度（改正前）の保険料段階まで引き下げる減免を実施。

ii. 被保険者の負担軽減のため、被保険者からの申請を待たずにシステムで自動的に適用する。

3. 介護保険料特例措置のイメージ

【ケース1】

世帯状況：65 歳以上 1 人世帯

収入状況：令和 6 年中も 7 年中も給与収入が 100 万円のみ

	市民税	介護保険料
令和 7 年度	課税	第 6 段階
令和 8 年度	非課税	第 6 段階

【ケース2】

世帯状況:65歳以上1人世帯

収入状況:令和6年中は年金収入が80万円、給与収入90万円であったが、令和7年中は年金収入が80万円、給与収入が100万円に増額した場合

	市民税	介護保険料
令和7年度	非課税	第2段階
令和8年度	非課税	第6段階となるが、減免措置の対象者となり介護保険料は第2段階となる。

4. 被保険者への影響

(1)介護保険料所得段階

給与収入に変化がない限り、税制改正によって保険料段階が変更となることはなく、令和7年度と同じ所得段階となる。

(2)減免申請

原則としてシステムで判定を行うため、被保険者による申請は不要。

5. 他制度との差異(留意点)

今回の特例措置は、介護保険料の算定に限定される。

次の項目については、令和7年度税制改正後の所得金額が適用される。

- ・高額介護サービス費の負担上限額判定
- ・介護保険施設等の食費・居住費(補足給付)の負担限度額認定

6. 今後のスケジュール

令和8年4月～ 介護保険システム改修および特例措置での判定開始

令和8年6月～ 第1号被保険者へ介護保険料決定通知書の送付

丹波市介護保険条例（平成16年丹波市条例第130号）新旧対照表

現行	改正後（案）
<p>○丹波市介護保険条例</p> <p>平成16年11月1日 条例第130号</p> <p>最終改正 令和6年12月25日条例第43号</p> <p>（普通徴収に係る納期）</p> <p>第5条 普通徴収に係る保険料の納期（以下「納期」という。）は、次のとおりとする。</p> <p>第1期 4月1日から同月末日まで 第2期 6月1日から同月末日まで 第3期 8月1日から同月末日まで 第4期 10月1日から同月末日まで 第5期 12月1日から同月末日まで 第6期 2月1日から同月末日まで</p> <p>2 前項に規定する納期により難い第1号被保険者に係る納期は、市長が別に定めることができる。</p> <p>3 納期ごとの分割金額に100円未満の端数があるとき、又はその分割金額が100円未満であるときは、その端数金額又はその全額は、<u>すべて最初の納期に係る分割金額に合算するものとする。</u></p>	<p>○丹波市介護保険条例</p> <p>平成16年11月1日 条例第130号</p> <p>最終改正 令和6年12月25日条例第43号</p> <p>（普通徴収に係る納期）</p> <p>第5条 普通徴収に係る保険料の納期（以下「納期」という。）は、次のとおりとする。</p> <p>第1期 4月1日から同月末日まで 第2期 6月1日から同月末日まで 第3期 8月1日から同月末日まで 第4期 10月1日から同月末日まで 第5期 12月1日から同月末日まで 第6期 2月1日から同月末日まで</p> <p>2 前項に規定する納期により難い第1号被保険者に係る納期は、市長が別に定めることができる。</p> <p>3 納期ごとの分割金額に100円未満の端数があるとき、又はその分割金額が100円未満であるときは、その端数金額又はその全額は、<u>全て最初の納期に係る分割金額に合算するものとする。ただし、暫定賦課を行う場合は、暫定賦課に係る納期終了後の最初の納期に係る分割金額に合算するものとする。</u></p>
<p>附 則</p>	<p>附 則</p>
	<p><u>（令和8年度の保険料率の算定に関する所得の額の算定方法の特例）</u></p> <p><u>第10条 第1号被保険者（令和8年度分の保険料の賦課期日において市内に住所を有しない者を除き、令和8年度分の地方税法の規定による市町村民税の賦課期日において市内に住所を有する者（同法第294条第3項の規定により本市の住民基本台帳に記録されている者とみなされた者を含む。）に限る。以下この条及び次条第1項において同じ。）のうち、令和7年の合計所得金額に給与所得が含まれている者（同年中の給与等（所得税法第28条第1項に規定する給与等をいう。以下同じ。）の収入金額が55万1,000円以上65万1,000円未満である者に限る。）の令和8年度における保険料率の算定についての第4条第1項（第6号ア、第7号ア、第8号ア、第9号ア、第10号ア、第11号ア、第12号ア、第13号ア及び第14号アに係る部分に限る。）の規定の適用については、同項第6号ア中「地方税法（昭和25年法律第226号）第292条第1項第13号に規定する合計所得金額（以下「合計所得金額」という。）（租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第33条の4第1項若しくは第2項、第34条第1項、第34条の2第1項、第34条の3第1項、第35条第1項、第35条の2第1項、第35条の3第1項又は第36条の規定の適用がある場合には、当該合計所得金額から令第22条の2第2項に規定する特別控除額を控除して得た額とし、当該合計所得金額が零を下回る場合には、零とす</u></p>

る。以下同じ。）」とあるのは、「合計所得金額（地方税法第292条第1項第13号に規定する合計所得金額をいい、当該合計所得金額に所得税法（昭和40年法律第33号）第28条第1項に規定する給与所得が含まれている場合には、当該給与所得の金額については、同条第2項の規定によって計算した金額に令和7年中の同条第1項に規定する給与等の収入金額から55万円を控除して得た額を加えた額によるものとし、租税特別措置法による特別控除の適用がある場合には、当該合計所得金額から令第22条の2第2項に規定する特別控除額を控除して得た額とし、当該合計所得金額が零を下回る場合には、零とする。以下同じ。）」とする。

2 第1号被保険者のうち、令和7年の合計所得金額に給与所得が含まれている者（同年中の給与等の収入金額が65万1,000円以上161万9,000円未満である者に限る。）の令和8年度における保険料率の算定についての第4条第1項（第6号ア、第7号ア、第8号ア、第9号ア、第10号ア、第11号ア、第12号ア、第13号ア及び第14号アに係る部分に限る。）の規定の適用については、同項第6号ア中「地方税法（昭和25年法律第226号）第292条第1項第13号に規定する合計所得金額（以下「合計所得金額」という。）（租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第33条の4第1項若しくは第2項、第34条第1項、第34条の2第1項、第34条の3第1項、第35条第1項、第35条の2第1項、第35条の3第1項又は第36条の規定の適用がある場合には、当該合計所得金額から令第22条の2第2項に規定する特別控除額を控除して得た額とし、当該合計所得金額が零を下回る場合には、零とする。以下同じ。）」とあるのは、「合計所得金額（地方税法第292条第1項第13号に規定する合計所得金額をいい、当該合計所得金額に所得税法（昭和40年法律第33号）第28条第1項に規定する給与所得が含まれている場合には、当該給与所得の金額については、同条第2項の規定によって計算した金額に10万円を加えた額によるものとし、租税特別措置法による特別控除の適用がある場合には、当該合計所得金額から令第22条の2第2項に規定する特別控除額を控除して得た額とし、当該合計所得金額が零を下回る場合には、零とする。以下同じ。）」とする。

3 第1号被保険者のうち、令和7年の合計所得金額に給与所得が含まれている者（同年中の給与等の収入金額が161万9,000円以上190万円未満である者に限る。）の令和8年度における保険料率の算定についての第4条第1項（第6号ア、第7号ア、第8号ア、第9号ア、第10号ア、第11号ア、第12号ア、第13号ア及び第14号アに係る部分に限る。）の規定の適用については、同項第6号ア中「地方税法（昭和25年法律第226号）第292条第1項第13号に規定する合計所得金額（以下「合計所得金額」という。）（租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第33条の4第

1項若しくは第2項、第34条第1項、第34条の2第1項、第34条の3第1項、第35条第1項、第35条の2第1項、第35条の3第1項又は第36条の規定の適用がある場合には、当該合計所得金額から令第22条の2第2項に規定する特別控除額を控除して得た額とし、当該合計所得金額が零を下回る場合には、零とする。以下同じ。）」とあるのは、「合計所得金額（地方税法第292条第1項第13号に規定する合計所得金額をいい、当該合計所得金額に所得税法（昭和40年法律第33号）第28条第1項に規定する給与所得が含まれている場合には、当該給与所得の金額については、同条第2項の規定によって計算した金額に65万円から令和7年給与所得控除額（令和7年中の所得税法第28条第1項に規定する給与等の収入金額から、当該給与等の収入金額を所得税法等の一部を改正する法律（令和7年法律第13号）第1条の規定による改正前の所得税法別表第5の給与等の金額として、同表により当該金額に応じて求めた同表の給与所得控除後の給与等の金額を控除して得た額をいう。）を控除して得た額を加えた額によるものとし、租税特別措置法による特別控除の適用がある場合には、当該合計所得金額から令第22条の2第2項に規定する特別控除額を控除して得た額とし、当該合計所得金額が零を下回る場合には、零とする。以下同じ。）」とする。

（令和8年度の保険料率の算定に関する基準の特例）

第11条 第1号被保険者の令和8年度における保険料率の算定についての第4条第1項の規定の適用については、当該第1号被保険者の属する世帯の世帯主及び全ての世帯員のうちに、第1号に掲げる者に該当し、かつ、第2号又は第3号に掲げる者のいずれかに該当する者があるときは、当該該当する者は、同年度分の地方税法の規定による市町村民税が課されている者とみなす。

（1） 令和7年の合計所得金額に給与所得が含まれている者（令和8年度分の保険料の賦課期日において市内に住所を有しない者を除く。）であって、令和8年度分の地方税法の規定による市町村民税の賦課期日において市内に住所を有するもの（同法第294条第3項の規定により本市の住民基本台帳に記録されている者とみなされた者を含む。）

（2） 地方税法第295条第1項第2号に掲げる者に該当し、かつ、令和8年度分の同法の規定による市町村民税が課されていない者であって、次のアからウまでに掲げる場合のいずれかに該当するもの

ア 令和7年中の給与等の収入金額が55万1,000円以上65万1,000円未満であり、かつ、135万円から同年の合計所得金額を控除して得た額が、同年中の給与等の収入金額から55万円を控除して得た額以下である場合

イ 令和7年中の給与等の収入金額が65万1,000円以上161万9,000円未満であり、かつ、135万円から同年の合計所得金額を控除して得た額が10万円以下である場合

ウ 令和7年中の給与等の収入金額が161万9,000円以上190万円未満であり、かつ、135万円から同年の合計所得金額を控除して得た額が、65万円から、同年中の給与等の収入金額から当該給与等の収入金額を所得税法等の一部を改正する法律（令和7年法律第13号）第1条の規定による改正前の所得税法別表第5（以下「別表第5」という。）の給与等の金額として、別表第5により当該金額に応じて求めた別表第5の給与所得控除後の給与等の金額を控除して得た額を控除して得た額以下である場合

(3) 地方税法第295条第1項各号に掲げる者に該当せず、かつ、令和8年度分の同法の規定による市町村民税が課されていない者であって、次のアからウまでに掲げる場合のいずれかに該当するもの

ア 令和7年中の給与等の収入金額が55万1,000円以上65万1,000円未満であり、かつ、地方税法第295条第3項に規定する政令で定める基準に従い当該市町村の条例で定める金額から同年の合計所得金額を控除して得た額が、同年中の給与等の収入金額から55万円を控除して得た額以下である場合

イ 令和7年中の給与等の収入金額が65万1,000円以上161万9,000円未満であり、かつ、地方税法第295条第3項に規定する政令で定める基準に従い当該市町村の条例で定める金額から同年の合計所得金額を控除して得た額が10万円以下である場合

ウ 令和7年中の給与等の収入金額が161万9,000円以上190万円未満であり、かつ、地方税法第295条第3項に規定する政令で定める基準に従い当該市町村の条例で定める金額から同年の合計所得金額を控除して得た額が、65万円から、同年中の給与等の収入金額から当該給与等の収入金額を別表第5の給与等の金額として、別表第5により当該金額に応じて求めた別表第5の給与所得控除後の給与等の金額を控除して得た額を控除して得た額以下である場合

2 第1号被保険者の令和8年度における保険料率の算定についての第4条第1項の規定の適用については、当該第1号被保険者が前項第1号に掲げる者に該当し、かつ、同項第2号又は第3号に掲げる者のいずれかに該当するときは、当該第1号被保険者は、同年度分の地方税法の規定による市町村民税が課されている者とみなす。

（令和8年度における前年度非課税者に係る保険料の減免）

第12条 第1号被保険者又はその属する世帯の世帯

主及び全ての世帯員のうちに令和7年度及び令和8年度の各年度分の地方税法の規定による市町村民税が課されていない者で令附則第25条及び前条の規定により令和8年度分の同法の規定による市町村民税が課されているものとみなされることとなるもの(令和7年度分の同法の規定による市町村民税が課されていないことを本市が保有する情報で確認することができる者に限る。以下「みなし課税者」という。)がいる場合であって、そのみなされることにより当該第1号被保険者の令和8年度分の保険料に係る保険料段階(第4条第1項各号に掲げる区分をいう。以下同じ。)が、当該みなし課税者に令附則第25条及び前条の規定の適用がないものとした場合に決定されるべき当該第1号被保険者の令和8年度分の保険料に係る保険料段階(次項において「令附則第25条等非適用保険料段階」という。)よりも保険料率の高い保険料段階に決定されるときは、当該第1号被保険者の令和8年度分の保険料を減免する。

- 2 前項の規定による減免後の令和8年度分の保険料の額は、令附則第25条等非適用保険料段階の保険料率により算定した保険料の額とする。
- 3 第1項の規定による保険料の減免については、保険料の納付義務者の申請を要しない。

新規 企業等奨学金返済支援事業補助金

■雇用対策事業（5-1-2）

➤ 若者の市内就職と定着を促進し、企業等の安定した経営と労働力を維持するため、**従業員に奨学金返済手当等を支給する企業等を支援**

○補助対象となる従業員の範囲

- ・市内に住所を有する40歳未満の正社員で日本学生支援機構の奨学金を返済している者

○補助金額【次の(1)と(2)の合計額：5年間】

- (1) 企業等が対象従業員に支給した手当等の額の2分の1
- (2) 年間返済額から企業等が支給した手当の額を差し引いた額、又は(1)の額のいずれか低い額

○活用事例

[事例] 年間返済額が18万円で、企業等が対象従業員に支給した手当等の額が12万円の場合



<参考> 県の兵庫型奨学金返済支援制度を併用した場合は、企業等の負担額がさらに軽減されます。

予算額：100万円

財源内訳 (千円)		
国県	地方債	その他
		1,000
		一般

企業等奨学金返済支援事業補助金について



兵庫型奨学金返済支援制度

補助対象の事業者

- (1) 本社が県内にある事業所（社会福祉法人及び医療法人を含む）、京都府就労・奨学金返済一体型支援事業対象中小企業の県内事業所
- (2) 対象従業員に奨学金返済支援制度を設けている事業者

対象従業員の範囲

- (1) 正社員である者
- (2) 日本学生支援機構の奨学金を受給し、返済義務のある者
- (3) 申請年度末時点で40歳未満の者
- (4) 県内事業所に勤務する者

補助対象の期間と金額

【補助金額】

- ① 事業所向け：年間返済額の3分の1以内の額とし、事業者が対象従業員に支給した年額の2分の1 [上限：対象従業員1人あたり年間6万円]
- ② 従業員向け：年間返済額から事業者が対象従業員に支給した年額を差し引いた額又は上記①の額のいずれか低い額 [上限：対象従業員1人あたり年間6万円]

【補助期間】

- 対象従業員1人につき5年間、10年間、17年間

新設 丹波市奨学金返済支援制度

補助対象の事業者

- (1) 市内の事業者等（市内に本社等若しくは支店等を有する個人又は法人、市内に本社等を有し、市外に支店等を有する個人又は法人） ※国又は地方公共団体等は除く
- (2) 対象従業員に奨学金返済支援制度を設けている事業者
- (3) 市税を完納しており、労働関係法令に違反していない事業者

対象従業員の範囲

- (1) 正社員である者
- (2) 日本学生支援機構の奨学金を受給し、返済義務のある者
- (3) 申請年度末時点で40歳未満の者
- (4) 市内に住所を有し、市税を完納している者

補助対象の期間と金額

【補助金額】

- ① 事業所向け：年間返済額の3分の1以内の額とし、事業者が対象従業員に支給した年額の2分の1 [上限：対象従業員1人あたり年間6万円]
 ※ 県の兵庫型奨学金返済支援制度の適用を受けている場合
 ⇒ 県補助金（企業分）を差し引いた事業者負担額の2分の1
- ② 従業員向け（市単独補助のみ）：年間返済額から事業者が対象従業員に支給した年額を差し引いた額又は上記①の額のいずれか低い額 [上限：対象従業員1人あたり年間6万円]

【補助期間】

- 対象従業員1人につき5年間

事業所連携奨学金返済支援制度 負担割合 イメージ

1. 従業員への手当がない場合

従業員への手当 無	本人負担 (18万円) ※返還額を年間18万円で設定
-----------	----------------------------------

2. 従業員への手当がある場合

従業員への手当 有	事業者負担 (12万円) ※月額1万円の支援手当として設定	本人負担 (6万円)
-----------	-------------------------------------	---------------

3. 従業員への手当があり、県の支援制度が対象になる場合

従業員への手当 有 + 兵庫型奨学金返済支援制度	事業者負担 (6万円)	【事業所向け】 県の支援 (6万円)	【従業員向け】 県の支援 (6万円) ※本人負担なし
--------------------------------	----------------	--------------------------	-------------------------------------



1. 従業員への手当がない場合

従業員への手当 無	本人負担 (18万円) ※返還額を年間18万円で設定
-----------	----------------------------------

2. 従業員への手当がある場合

従業員への手当 有 + 丹波市奨学金返済支援制度	事業者負担 (6万円)	【事業所向け】 市の支援 (6万円)	【従業員向け】 市の支援 (6万円) ※本人負担なし
--------------------------------	----------------	--------------------------	-------------------------------------

3. 従業員への手当があり、県の支援制度が対象になる場合

従業員への手当 有 + 兵庫型奨学金返済支援制度 + 丹波市奨学金返済支援制度	事業者 負担 (3万円)	市の 支援 (3万円)	【事業所向け】 県の支援 (6万円)	【従業員向け】 県の支援 (6万円) ※本人負担なし
---	--------------------	-------------------	--------------------------	-------------------------------------

現
状

新
設
制
度

参考：制度利用の例

事例1：対象従業員の年間返済額が12万円、事業者の支給額が12万円の場合

【市の支援事業のみを利用】

事業者の支援額：12万円	
市補助 4万円	事業者負担 8万円

【県と市の支援事業を併用して利用】

事業者の支援額：12万円		
県補助(企業分) 4万円	市補助 4万円	事業者負担 4万円

事例2：対象従業員の年間返済額が18万円、事業者の支給額が12万円の場合

【市の支援事業のみを利用】

事業者の支援額：12万円		本人払(差額)：6万円
市補助 6万円	事業者負担 6万円	市補助 6万円

【県と市の支援事業を併用して利用】

事業者の支援額：12万円		本人払(差額)：6万円	
県補助(企業分) 6万円	市補助 3万円	事業者負担 3万円	県補助(本人分) 6万円

事例3：対象従業員の年間返済額が24万円、事業者の支給額が12万円の場合

【市の支援事業のみを利用】

事業者の支援額：12万円		本人払(差額)：12万円	
市補助 6万円	事業者負担 6万円	市補助 6万円	本人負担 6万円

【県と市の支援事業を併用して利用】

事業者の支援額：12万円		本人払(差額)：12万円	
県補助(企業分) 6万円	市補助 3万円	事業者負担 3万円	本人負担 6万円

事例4：対象従業員の年間返済額が30万円、事業者の支給額が12万円の場合

【市の支援事業のみを利用】

事業者の支援額：12万円		本人払(差額)：18万円	
市補助 6万円	事業者負担 6万円	市補助 6万円	本人負担 12万円

【県と市の支援事業を併用して利用】

事業者の支援額：12万円			本人払(差額)：18万円	
県補助(企業分) 6万円	市補助 3万円	事業者負担 3万円	県補助(本人分) 6万円	本人負担 12万円

高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画 策定スケジュール(予定)

項目	令和8年												令和9年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
◆現状把握・ニーズ調査															
基礎調査・在宅介護実態調査															
介護サービス提供者実態把握調査															
市介護サービス等の特徴分析等（他市町比較等）															
第9期計画の総括・検証（実績把握）															
課題整理															
◆サービス見込量・保険料の算出															
人口・認定者・サービス利用者推計															
介護サービス・地域支援事業 見込量の算出															
介護保険料の算定・兵庫県との調整															
◆計画の作成															
計画骨子案（体系・構成等）の作成・修正															
計画素案の作成・修正															
計画最終案の承認・計画書印刷															
◆会議・条例改正等															
パブリックコメント															
議会報告・条例改正															
運営協議会		28日		30日			24日	26日	28日	25日					

(注) 第9期介護保険事業計画策定時基に作成

運営協議会開催計画

回	日程 (予定)	主な協議事項
R 8年度 第 1 回	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・一般高齢者、要介護(支援)認定者対象の基礎調査等の結果報告
R 8年度 第 2 回	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス提供事業者実態把握調査の結果報告 ・丹波市介護サービス等の給付実績 (他市町比較・本市の特徴分析)
R 8年度 第 3 回	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第 9 期計画の総括・検証報告 ・第 10 期計画の骨子案検討
R 8年度 第 4 回	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス見込量、第 1 号被保険者保険料見込額の検討 ・計画素案の検討
R 8年度 第 5 回	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス見込量、計画素案の修正 ・第 1 号被保険者保険料の協議 ・パブリックコメント、パブコメミーティングの実施
R 8年度 第 6 回	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・計画最終案の提案、承認

介護サービス提供事業者実態把握調査票

《調査票の記入方法とお願い》

- 1 回答は下記 WEB 回答フォームから入力してください。
《WEB 回答 URL》<https://>
※紙媒体での提出の場合は、介護保険課(丹波市役所本庁第2庁舎)へお持ちいただくか、郵送してください。(6月30日必着でお願いします。)
- 2 回答は、指定がないもの以外は、令和8年6月1日現在で記入してください。
- 3 回答方法は、それぞれの設問の説明に従ってあてはまるものを選択してください。
また、設問によっては、各項目別に該当する人数等を記入してください。
なお、「その他」を選択された場合は、状況やご意見等を具体的に記入してください。
- 4 複数の介護サービスを実施されている場合、大変お手数ですが、実施サービスごとに調査票にご記入ください。
- 5 本調査票は無記名で回答し、統計的に処理をいたしますので、回答者が特定されることはありません。
- 6 調査の内容や記入方法などについて、ご不明の点がありましたら、下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先 丹波市福祉部介護保険課介護保険係
担当 石川浩毅、足立裕子
電話 88-5266(直通)

Q1～Q8、Q13～Q14 は全事業所、Q9～Q12 は該当する事業所のみ回答してください。

Q1 貴事業所で提供しているサービスを教えてください。(どれか1つに○)

※総合事業を提供している事業所は該当の総合事業にも○をつけてください。

※複数の介護サービスを実施されている場合、サービス種類ごとに調査票をご記入ください。

居宅サービス	1	訪問介護	地域密着型サービス	14	地域密着型通所介護	
	2	訪問入浴介護		15	共生型地域密着型サービス	
	3	訪問看護		16	認知症対応型通所介護	
	4	訪問リハビリテーション		17	小規模多機能型居宅介護	
	5	居宅療養管理指導		18	認知症対応型共同生活介護	
	6	通所介護		19	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
	7	通所リハビリテーション		20	夜間対応型訪問介護	
	8	短期入所生活介護		21	複合型サービス	
	9	短期入所療養介護		22	地域密着型特定施設入居者生活介護	
	10	特定施設入居者生活介護		23	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
	11	福祉用具貸与		事業合	24	通所サービス(現行・A)
	12	特定福祉用具販売			25	訪問サービス(現行・A)
	13	居宅介護支援		ビサ施 ス 設	26	介護老人福祉施設
		27	介護老人保健施設			

Q2 職員や人材確保の状況についておたずねします。

※「正規職員」とは期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員

Q2-1 正規職員の年齢別の人数をお答えください。

年齢	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
人数(人)						

Q2-2 非正規職員の年齢別の人数をお答えください。

年齢	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
人数(人)						

Q2-3 職員(正規・非正規)の男女別の人数をお答えください。

男性	女性

Q2-4 職員(正規・非正規)の勤続年数をお答えください。

年数	1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	20年以上
人数(人)						

Q2-5 昨年度の職員の入職状況を教えてください。

※入職者には、非正規職員も含まれます

全入職者数(人)	内 訳	訪問介護員 (人)	生活相談員 (人)
		介護職員 (人)	看護職員 (人)
		介護支援専門員 (人)	理学療養士・作業療養士等の機能訓練指導員 (人)
		その他 (人)	

Q2-6 昨年度の職員の内職状況(退職や転職)を教えてください。

※退職者には、非正規職員も含まれます

○定年退職

全退職者数(人)	内 訳	訪問介護員 (人)	生活相談員 (人)
		介護職員 (人)	看護職員 (人)
		介護支援専門員 (人)	理学療養士・作業療養士等の機能訓練指導員 (人)
		その他 (人)	

○定年以外の退職

退職者数(人)	内 訳	訪問介護員 (人)	生活相談員 (人)
		介護職員 (人)	看護職員 (人)
		介護支援専門員 (人)	理学療養士・作業療養士等の機能訓練指導員 (人)
		その他 (人)	

Q2-7 人材の確保の状況はいかがですか。

1 確保できている	3 不足している
2 やや不足している	

Q2-8 Q2-7で「2 やや不足している」「3 不足している」と回答された事業所におたずねします。不足している職種は何ですか。(いくつでも)

1 訪問介護員	5 看護職員
2 介護職員	6 理学療法士、作業療法士等の機能訓練指導員
3 介護支援専門員	7 その他()
4 生活相談員	

Q2-9 昨年度に人員不足等の理由で、要支援者や事業対象者へのサービス提供が困難であったことは、どの程度ありますか

1	しばしばある	2	時々ある	3	ない
1、2の場合、具体的な状況をご記入ください。					

Q2-10 人員不足の解決策の一つとして地域の方による有償ボランティア等がありますが、有償ボランティア等に事業運営で手伝ってほしいことはありますか。

1	ある	2	ない
---	----	---	----

Q2-11 Q2-10 で「1 ある」と回答された事業所におたずねします。どのようなことを手伝ってほしいですか。(いくつでも)

1	行事・レクリエーションなどの補助	5	清掃(施設の内外)
2	話し相手	6	館内移動、外出(散歩等)の補助
3	食事介助の補助(テーブル拭き、配膳、お茶出し等)	7	衣服の繕い、洗濯物の整理、ベッドメイキング
4	入浴介助の補助(整髪等)	8	その他()

Q2-12 Q2-10 で「2 ない」と回答された事業所におたずねします。「ない」と回答した理由をお教えてください。(いくつでも)

1	ボランティアの指導に割く時間がない。	4	ボランティアの導入を検討したことがない。
2	ボランティア保険などの事務手続きが増加する。	5	その他()
3	ボランティアに手伝ってもらえる範囲がわからない。		

Q2-13 人材育成や人材確保(待遇改善)のための取り組みについてお答えください。具体的な取り組みがあればご記入ください。(いくつでも)

1	有給休暇や育児休暇等の休暇制度を明確化した就業規則を作成し、従業員に周知をしている。
2	休暇が取得しやすい雰囲気をつくっている。
3	昇給や賞与などの待遇面の充実させている。
4	長期勤続者等に手当を出すなど、定着インセンティブを高めている。
5	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得性のあるものにしていく。
6	従業員が将来展望を持てるキャリアパスを設計している。
7	多様な働き方を可能とする制度(短時間勤務等)を導入している。
8	円滑な職場コミュニケーションが生まれる環境をつくっている。
9	定着しやすい新人教育を行っている。
10	資格取得や研修参加などキャリアアップ支援を行っている。
11	特にない。
12	その他()

Q3 貴事業所の運営についておたずねします。

Q3-1 貴事業所で特に力をいれていることは何ですか。(○は3個まで)

1	利用者や家族からの相談	9	虐待防止や権利擁護への取り組み
2	利用者のニーズの把握	10	認知症の方への対応
3	職員・スタッフの教育や研修	11	夜間の対応
4	職員・スタッフの心理的ケア	12	看取りへの対応
5	地域との交流や連携	13	特にない
6	他事業所との交流や連携	14	その他 ()
7	医療との連携		
8	情報開示		

Q3-2 サービスの質の向上のために行っている取り組みは何ですか。(いくつでも)

1	業務中でのノウハウの蓄積・伝達
2	ミーティングによる職員間の情報共有・共通認識
3	事業所内での研修
4	職員の外部研修への参加
5	外部評価の実施
6	資格取得、スキル向上など個人的な学習への支援
7	利用者アンケートの実施による意見等の把握
8	マニュアル、手引書の整備
9	事業所間の情報交換・研修
10	ICTの導入
11	特にない
12	その他()

Q3-3 利用者の自立支援・重度化防止のために、事業所独自で行って効果があった取り組みがあれば具体的にご記入ください。(自由記載)

Q3-4 認知症の方の支援のために、貴事業所の本来業務とは別に、貴事業所独自もしくは地域の方々や福祉関係者と協力してできそうなことはありますか。(自由記載)

Q3-5 口腔ケア(口腔衛生+口腔機能維持)のための具体的な取り組みを行っていますか。

1 行っている	2 行っていない
1の場合、具体的な取り組みをご記入ください。	

Q3-6 事業所の開設状況や特色について、広く情報の提供を行っていますか。

1 行っている	2 行っていない
---------	----------

Q3-7 Q3-6で「1 行っている」と回答された事業所におたずねします。具体的な取り組みをお教えてください。(いくつでも)

1 ホームページ	3 広報、チラシ
2 SNS など	4 その他()

Q3-8 介護保険制度の改正内容や各種申請の情報などは、どのようにして入手していますか。(いくつでも)

1 国・県のホームページ	4 市からのメール等による連絡
2 市のホームページ	5 その他()
3 介護サービス事業所からの情報	

Q3-9 ケアプランデータ連携システムを導入していますか。

1 している	2 していない
--------	---------

Q3-10 Q3-9で「2 していない」と回答された事業所におたずねします。導入していない理由をお教えてください。(いくつでも)

1 導入している介護ソフトがケアプランデータ連携システムに対応していない	4 ライセンス費用が高い
2 導入の方法が分からない	5 その他()
3 普及率が低くメリットが小さい	

Q3-11 事業運営やサービス提供の上での課題や困っていることは何ですか。(自由記載)

--

Q4 高齢者の尊厳ある生活の支援についておたずねします。

Q4-1 利用者や家族から下記のような相談を受けたり、職員が見聞きしたりしたことはありますか。また、その時にどのように対応しましたか。

相談内容:虐待(疑いを含む)、金銭管理、生活困窮、消費者被害、地域でのトラブル

1	相談を受けた、様子を見聞きした。	2	相談を受けたことや、様子を見聞きしたことがない。
---	------------------	---	--------------------------

Q4-2 Q4-1 で「1 相談を受けた、様子を見聞きした。」と回答された事業所におたずねします。その時の対応はどの様にされましたか。(いくつでも)

1	職員が利用者に事情を聞いて支援した。	5	専門機関(弁護士・司法書士・独立型の社会福祉士)に相談をした。
2	職員が家族に事情を聞いて支援した。		
3	圏域の地域包括支援センターに相談した。	6	何もしなかった(対応方法が分からなかった)。
4	高齢者あんしんセンターや介護保険課に相談した。	7	その他 ()

Q4-2 高齢者の尊厳ある生活の支援のために、事業所で行っていることや、今後必要な取り組みは何ですか。(行っている取り組み、必要な取り組みに○をつけてください)

	取り組み内容	実施している	実施中断もしくは検討中	未実施
1	職員の忙しさを緩和するための職務体制の整備、充実			
2	職員の悩みやストレス緩和のための支援			
3	事業所の環境の整備			
4	認知症や精神疾患等の理解を深める研修(法定研修を除く)			
5	地域やボランティア等の外部の目の導入			
6	利用者の主体的な活動への参加支援の充実			
7	利用者や家族等の事業運営への参加			
8	通報者保護に配慮した公益通報窓口の設置			
9	その他()			

Q5 地域の各種団体や組織との関わりについておたずねします。

Q5-1 貴事業所が地域の各種団体や組織(民生委員、自治会、ボランティア団体、学校、老人会など)との関わりはありますか。

1	ある	2	ない
---	----	---	----

Q5-2 Q5-1 で「1 ある」と回答された事業所におたずねします。関わり方はどのようなものですか。(いくつでも)

1	地域の様子や高齢者の状況、行事案内などの情報をもらっている。
2	介護や福祉に関する情報を提供している。
3	地域の各種団体や組織が開催する集まりや行事に参加している。
4	自信の事業所で開催する行事などに参加してもらっている。
5	その他()

Q5-2 貴事業所が取り組んでいる地域貢献活動はありますか。

1	ある	2	ない	3	今後検討したい
---	----	---	----	---	---------

Q5-3 Q5-2で「1 ある」と回答された事業所におたずねします。貴事業所が取り組んでいる地域貢献活動の内容はどのようなものですか。(いくつでも)

1	地域交流イベント等、地域を活性化する活動
2	福祉人材の育成(実習生インターンシップの受け入れ、介護体験、介護教室の開催、福祉教育等)
3	認知症サポーターの養成、活動支援
4	地域の一人暮らし高齢者や障害者等への見守り活動
5	在宅で介護をしている世帯を支援する活動
6	認知症予防、介護予防などの健康づくり支援
7	サロンなどの交流の場づくり
8	電球の交換やゴミ捨て等、簡単な家事支援
9	高齢者や障害者の外出の支援
10	生活困窮者等を支援する活動
11	引きこもりの方、高齢者等の就労を支援する活動
12	地域住民からの日常生活における困りごとの相談窓口
13	その他()

Q5-4 貴事業所が今後、独自に取り組んでみたい地域貢献活動の内容はどのようなものですか。(いくつでも)

1	地域交流イベント等、地域を活性化する活動
2	福祉人材の育成(実習生・インターンシップの受け入れ、介護体験、介護教室の開催、福祉教育等)
3	認知症サポーターの養成、活動支援
4	地域の一人暮らし高齢者や障害者等への見守り活動
5	在宅で介護をしている世帯を支援する活動
6	認知症予防、介護予防などの健康づくり支援
7	サロンなどの交流の場づくり
8	電球の交換やゴミ捨て等、簡単な家事支援
9	高齢者や障害者の外出の支援
10	生活困窮者等を支援する活動
11	引きこもりの方、高齢者等の就労を支援する活動
12	地域住民からの日常生活における困りごとの相談窓口
13	その他()

Q6 災害対応についておたずねします。

Q6-1 災害対応(大雨や大雪、地震等)について実施していることをお答えください。
(いくつでも)

1	災害対応マニュアルの作成と職員等への周知
2	避難訓練の実施や非常時の連絡先の確認
3	災害対応に対する研修
4	丹波市防災行政無線の設置
5	丹波市防災メールの登録
6	その他()

Q6-2 災害時用に向けた備えについてお答えください。

1	防災備品について	①あり (主な備蓄品と量:)
		②なし
2	非常用食料等について	①あり (主な備蓄品と量:)
		②なし
3	利用者(家族等)への連絡体制	①職員全員に周知されている。
		②職員に全員に周知されていない。
4	地域との連携	①あり (具体的な連携内容:)
		②なし
5	その他(上記以外の備えがある場合はご記入ください。)	

Q7 感染症対策についておたずねします。

Q7-1 感染症等対策について、実施していることをお答えください。(いくつでも)

1	職員・利用者の手指消毒など、ウイルスを持ち込まない・持ち出さない対策
2	感染症対応マニュアル等(具体的な指針)の作成と職員等への周知
3	施設や用具などの、薬剤等を使用した適切な管理
4	職員が感染しないための感染症対策の研修や講習会の実施
5	利用者や家族への利用時の注意事項の徹底
6	その他()

Q7-2 感染時に向けた備えについてお答えください。

1	衛生用品等の備蓄について	①あり (主な備蓄品と量:)
		②なし
2	利用者(家族等)への連絡体制	①職員全員に周知されている。
		②職員全員に周知されていない。
3	他法人の(他サービス)事業所との連携	①あり (具体的な連携内容:)
		②なし
4	その他(上記以外の備えがある場合はご記入ください。)	

Q8 丹波市のサービス提供状況についてお尋ねします。

Q8-1 今後、より一層必要と思われるサービスを教えてください。(いくつでも)

居宅サービス	1	訪問介護	地域密着型サービス	14	地域密着型通所介護
	2	訪問入浴介護		15	共生型地域密着型サービス
	3	訪問看護		16	認知症対応型通所介護
	4	訪問リハビリテーション		17	小規模多機能型居宅介護
	5	居宅療養管理指導		18	認知症対応型共同生活介護
	6	通所介護		19	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
	7	通所リハビリテーション		20	夜間対応型訪問介護
	8	短期入所生活介護		21	複合型サービス
	9	短期入所療養介護		22	地域密着型特定施設入居者生活介護
	10	特定施設入居者生活介護		23	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
	11	福祉用具貸与	施設サービス	24	介護老人福祉施設
	12	特定福祉用具販売		25	介護老人保健施設
	13	居宅介護支援		26	介護医療院
		住まい	27	住宅型有料老人ホーム	
			28	サービス付き高齢者向け住宅	
			29	軽費老人ホーム	

Q8-2 今後、より一層必要と思われるインフォーマルサービスを教えてください。(自由記載)

通所系の事業所におたずねします

Q9 居宅要介護者の様々なニーズに対応できるよう、国(社会保障審議会)では、複数のサービスを組み合わせた複合型サービス(通所介護・訪問介護)の創設が検討されています。創設された場合、参入の意思はありますか。

1	参入したい	2	参入しない	3	検討したい
---	-------	---	-------	---	-------

Q10 今後、介護人材不足が更に進む中で、通所型施設の現場では送迎は大きな業務負担となっており、通所サービス事業所における共同送迎サービスを実施している地域が増加しています。丹波地域においても共同送迎サービスが実施された場合、参加してみたいですか。

【参考】香川県三豊市(令和4年6月より)

1	参加してみたい	2	参加は見送る	3	検討したい
---	---------	---	--------	---	-------

グループホームにおたずねします

Q11 入所(入居)待機者はどのくらいいますか。

定員	待機者数	待機者の内訳(要介護度別)	
()人	()人	要支援 2()人	要介護 3()人
		要介護 1()人	要介護 4()人
		要介護 2()人	要介護 5()人

居宅介護支援事業所におたずねします

Q12 居宅介護支援についておたずねします。

Q12-1 地域包括支援センターの機能強化のため、介護保険法の改正により居宅介護支援事業所に介護予防支援の指定対象が拡大されました。今後、指定を受ける意思はありますか。

1	指定を受けたい	2	指定を受けない	3	検討したい
---	---------	---	---------	---	-------

Q12-2 介護予防ケアマネジメントにおいて、技術向上が必要と思うことはどのようなことですか。具体的にご記入ください。

Q13 丹波市において、今後、充実させる必要があると思う制度や取り組みは何ですか。
(いくつでも)

1	サービス事業者の質を高める取り組み
2	サービス事業者間の連携強化の取り組み
3	介護に関わる人材の育成
4	離職者減少に向けた施策
5	介護保険以外の高齢者福祉政策の充実 具体的な事業名又は内容があれば()
6	介護施設での虐待防止に対する取り組み 具体的な取り組みがあれば()
7	地域やボランティア等による生活支援サービスの充実
8	介護サービス利用時の利用者費用負担助成 具体的な助成内容があれば()
9	地域包括支援センターの機能充実 具体的な内容があれば()
10	介護予防事業の取り組みに、より力を入れること
11	認知症対策の充実を図ること 具体的な取り組みがあれば()
12	在宅医療と介護の連携推進
13	高齢者等の権利擁護に関する相談窓口の充実
14	介護者支援の取り組みの充実
15	地域全体で介護を支援する仕組みづくり
16	特にない
17	その他()

Q14 令和7年1月から運用を開始した「まごことねっと」についておたずねします。

Q14-1 まごころねっとを活用していますか。

1	している	2	していない
---	------	---	-------

Q14-2 Q14-1 で「1 している」と回答された事業所におたずねします。活用することにより事務負担が軽減していると思われませんか。

1	思う	2	思わない
---	----	---	------

Q14-3 今後どのような機能が追加されれば、業務負担の軽減につながると思われますか。
(自由記載)

Q14-4 まごころねっについて、ご意見があればお答えください。

— ご協力ありがとうございました —

丹波市
高齢者保健福祉計画・
第10期介護保険事業計画
策定のためのアンケート調査
報告書
【単純集計版】

令和8(2026)年3月

丹波市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の設計.....	1
3 回収状況.....	2
4 報告書の見方.....	2
第2章 一般高齢者調査結果	3
1 回答者の属性.....	3
2 家族や生活状況について.....	5
3 からだを動かすことについて.....	10
4 食べることについて.....	16
5 毎日の生活について.....	23
6 地域での活動について.....	31
7 就労について.....	42
8 たすけあいについて.....	44
9 健康について.....	52
10 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	57
11 コロナ禍の影響について.....	63
12 介護保険制度などについて.....	64
13 リスク判定.....	71
第3章 要介護認定者調査結果	81
1 回答者の属性.....	81
2 家族や生活状況について.....	84
3 食べることについて.....	89
4 介護サービスの利用状況について.....	95
5 介護保険制度について.....	115
6 高齢者支援について.....	119
7 主な介護者の方について.....	125

第1章 調査の概要

1 調査の目的

介護保険制度の円滑な運営を図るとともに、高齢者の日常の生活や健康などに関する意識や意見を把握し、令和8（2026）年度に計画している「丹波市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」策定の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2 調査の設計

(1) 調査対象

図表 1-2-1 調査対象

調査種別	調査対象者
① 一般高齢者調査	令和7（2025）年12月1日現在、丹波市に在住する65歳以上で要介護認定（要介護1～5）を受けていない方から3,200人を無作為抽出
② 要介護認定者調査（郵送調査）	令和7（2025）年12月1日現在、丹波市に在住する要介護認定（要介護1～5）を受けている方から1,350人を無作為抽出
③ 要介護認定者調査（訪問調査）	令和7（2025）年12月1日現在、丹波市に在住する要介護認定（要介護1～5）を受けている方で、単身または高齢者世帯の方150人を抽出

(2) 調査期間

令和8（2026）年1月16日（金）から令和8（2026）年2月6日（金）まで

(3) 調査方法

- ① 郵送による配布・回収及びインターネットによる回答
- ② 郵送による配布・回収及びインターネットによる回答
- ③ 訪問による配布・回収及び聞き取り調査

3 回収状況

図表 1-3-1 回収状況

調査種別	配布数	回収数	調査 不能数※	有効 回答数	有効 回答率
① 一般高齢者調査	3,200 件	2,599 件	20 件	2,579 件 (うちインター ネットによる 回答 260 件)	80.6%
② 要介護認定者調査 (郵送調査)	1,350 件	951 件	81 件	870 件 (うちインター ネットによる 回答 120 件)	64.4%
③ 要介護認定者調査 (訪問調査)	150 件	115 件	13 件	102 件 (うちインター ネットによる 回答 5 件)	68.0%

- ※ ① 一般高齢者調査…「本人の負担が大きいため」10 件、「入院中または施設入所中などで意思確認ができないため」5 件、「その他」2 件、重複 2 件、白票 1 件
- ※ ② 要介護認定者調査（郵送調査）…「本人の負担が大きいため」12 件、「入院中または施設入所中などで意思確認ができないため」62 件、「その他」5 件、白票 2 件
- ※ ③ 要介護認定者調査（訪問調査）…「本人の負担が大きいため」2 件、「入院中または施設入所中などで意思確認ができないため」5 件、「その他」5 件、白票 1 件

4 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数 (n) を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

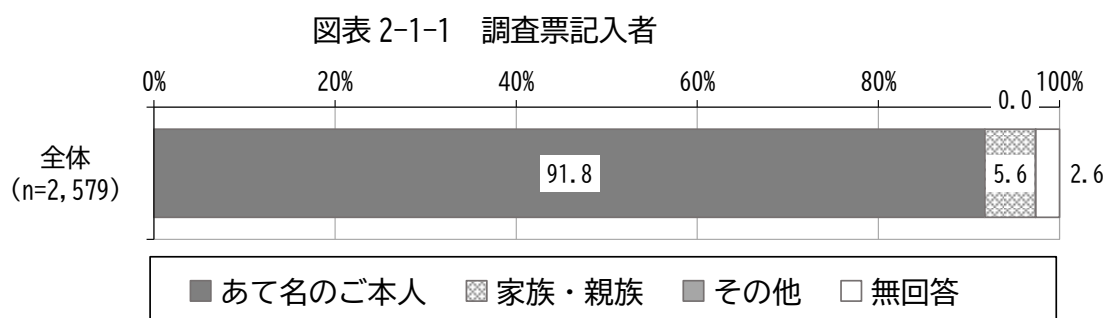
第2章 一般高齢者調査結果

1 回答者の属性

(1) 調査票記入者

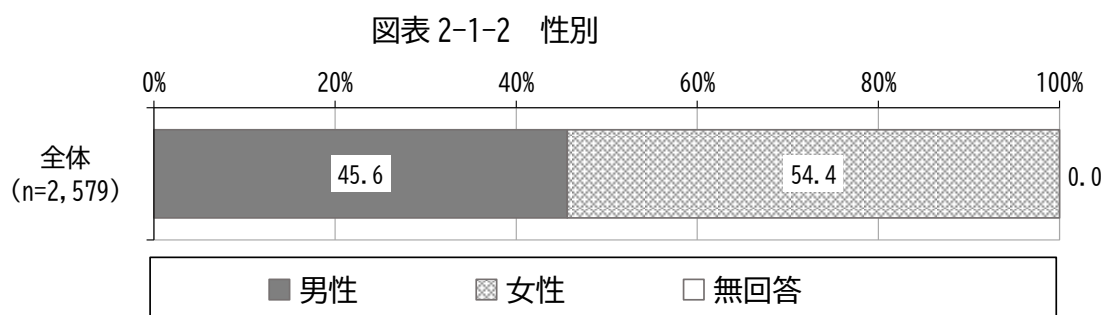
問	調査票を記入されたのはどなたですか（1つだけ）
---	-------------------------

調査票記入者については、「あて名のご本人」が91.8%、「家族・親族」が5.6%となっています。



(2) 性別

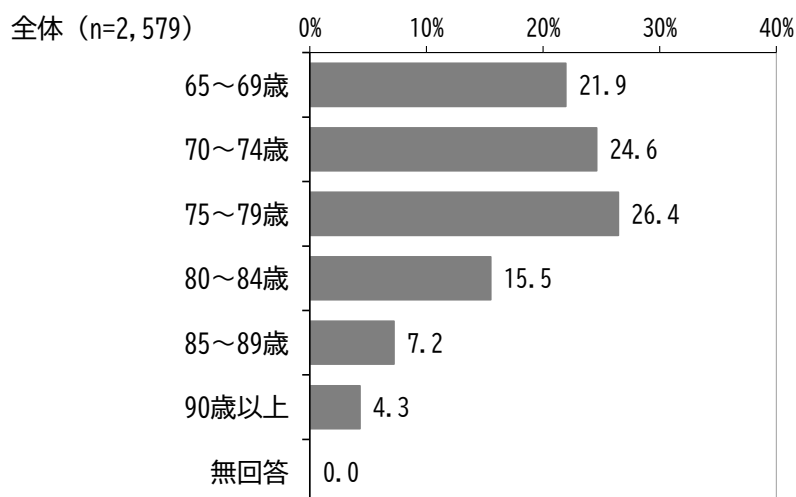
性別については、「男性」が45.6%、「女性」が54.4%となっています。



(3) 年齢

年齢については、「75～79歳」が26.4%で最も高く、次いで「70～74歳」が24.6%、「65～69歳」が21.9%と続いています。

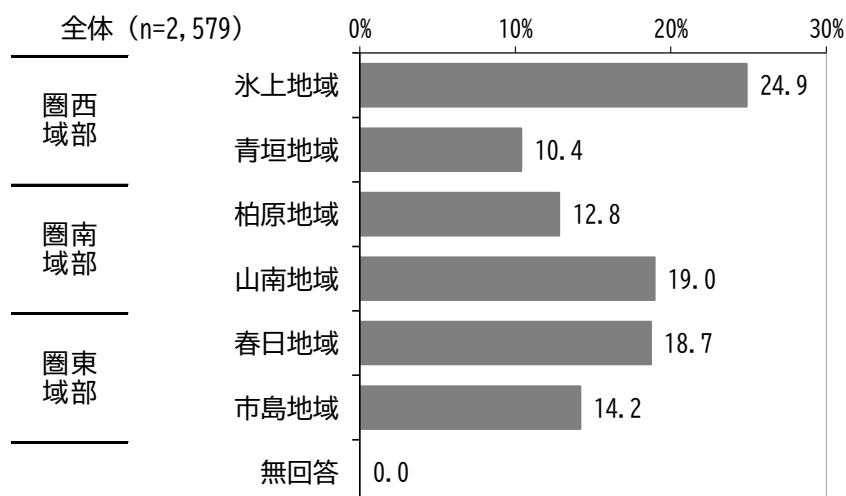
図表 2-1-3 年齢



(4) 居住地域

居住地域については、「氷上地域」が24.9%で最も高く、次いで「山南地域」が19.0%、「春日地域」が18.7%と続いています。

図表 2-1-4 居住地域



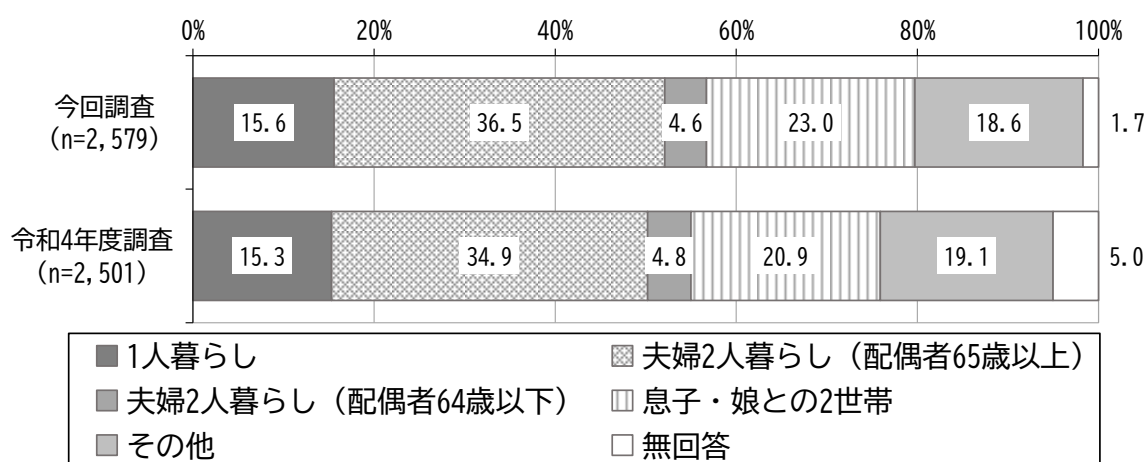
2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

問1 家族構成をお教えてください（1つだけ）

家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が36.5%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が23.0%、「その他」が18.6%と続いています。

図表 2-2-1 家族構成



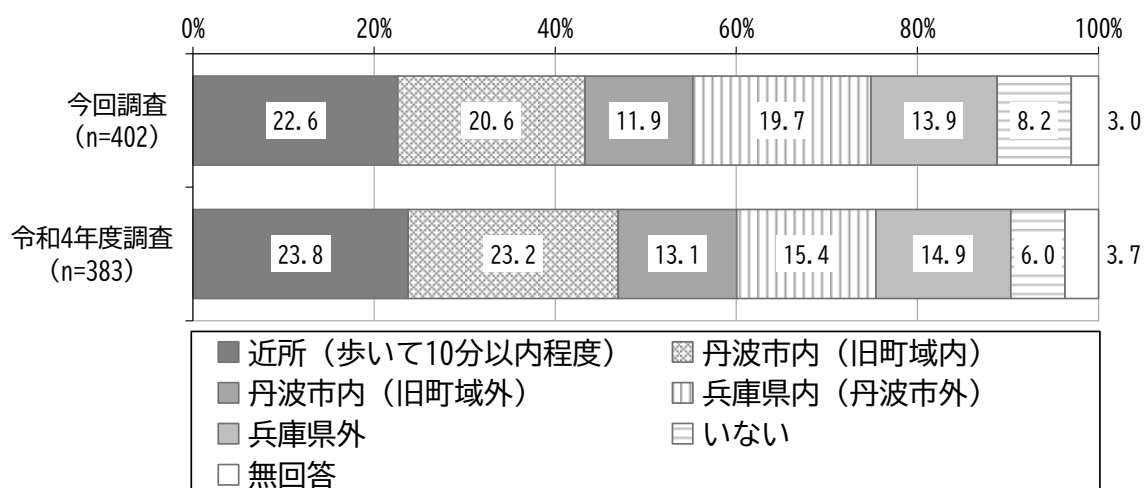
(2) 援助者の居住地

問1-①

【問1で「①1人暮らし」と答えた方（一人暮らしの方）のみ、お答えください】
一番近くにいる支援してくれる方（援助者）はどちらにお住まいですか（1つだけ）

1人暮らしの方の、援助者の居住地については、「近所（歩いて10分以内程度）」が22.6%で最も高く、次いで「丹波市内（旧町域内）」が20.6%、「兵庫県内（丹波市外）」が19.7%と続いています。

図表 2-2-2 援助者の居住地

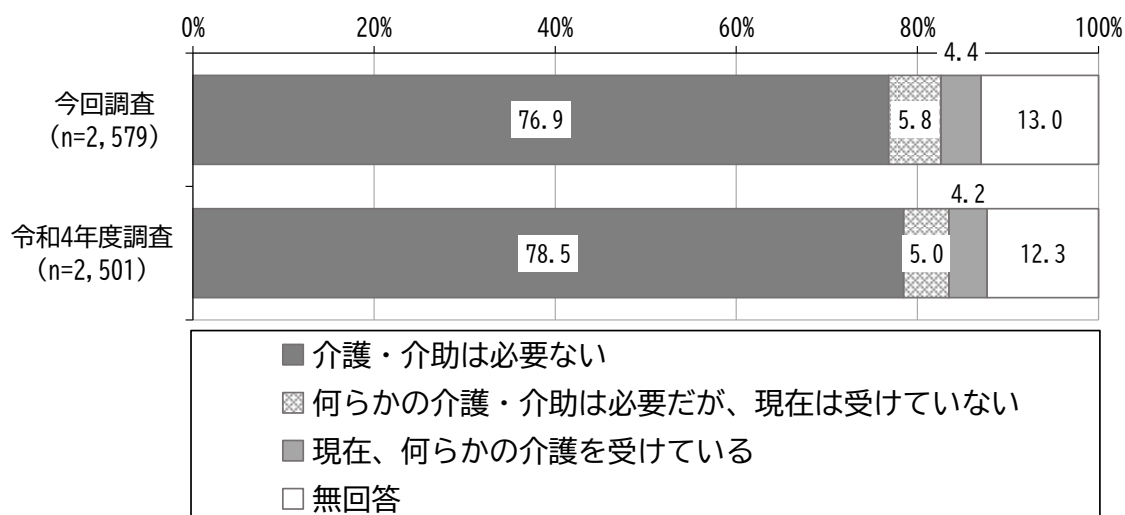


(3) 普段の生活で介護・介助が必要か

問2	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つだけ）
----	-----------------------------------

普段の生活で介護・介助が必要かについては、「介護・介助は必要ない」が76.9%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.8%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.4%となっています。

図表 2-2-3 普段の生活で介護・介助が必要か

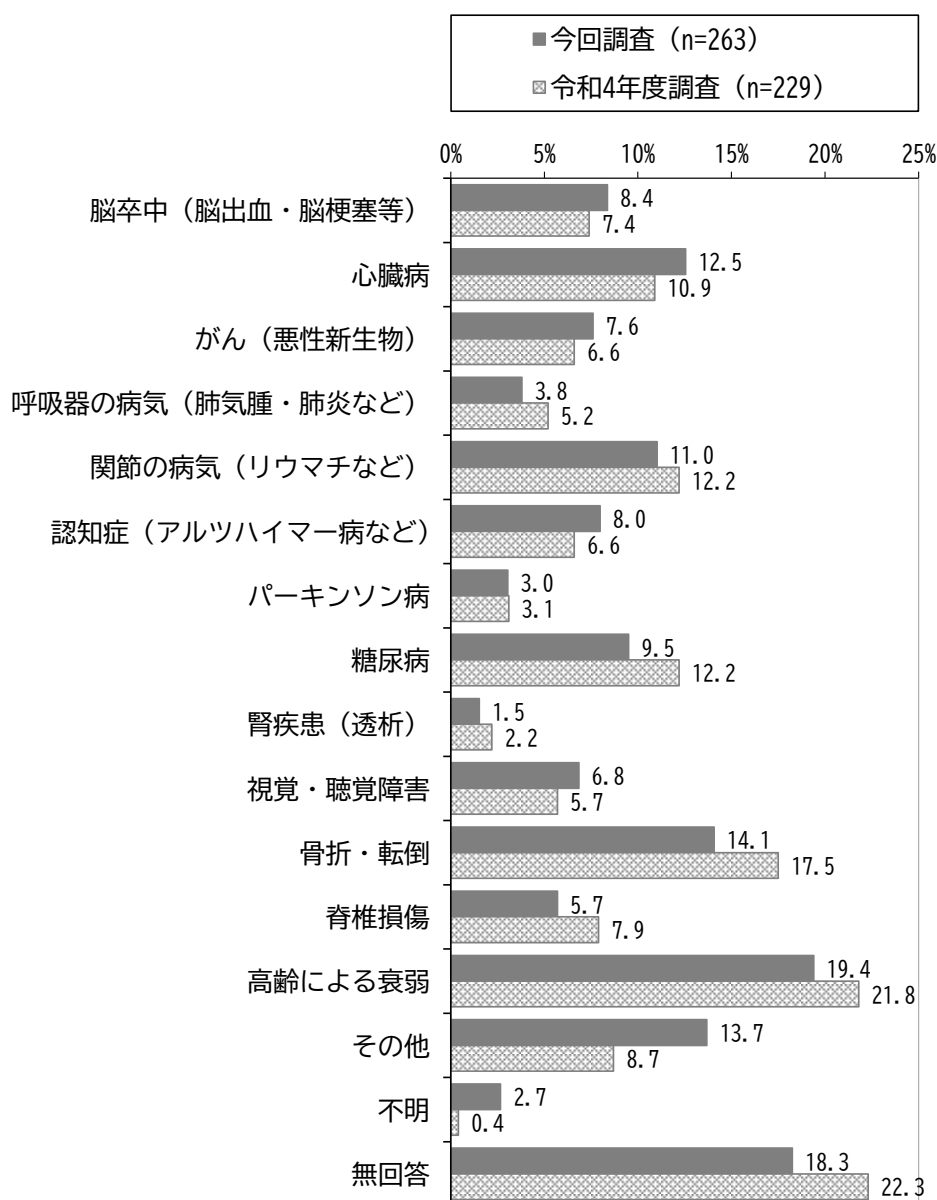


(4) 介護・介助が必要になった主な原因

問 2-①	<p>【問 2 で「②何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「③現在、何らかの介護を受けている」と答えた方（介護・介助が必要な方）のみ、お答えください】</p> <p>介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）</p>
-------	--

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が 19.4%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が 14.1%、「その他」が 13.7%と続いています。

図表 2-2-4 介護・介助が必要になった主な原因

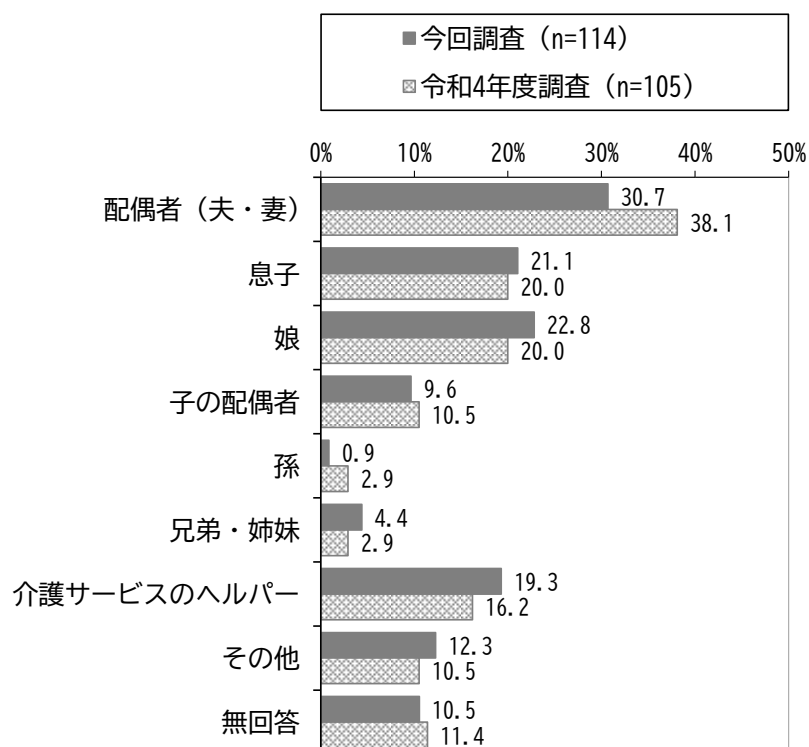


(5) 主に誰からの介護・介助を受けているか

問2-②	問2で「③現在、何らかの介護を受けている」と答えた方（介護・介助を受けている方）のみ、お答えください “主に” 誰からの介護、介助を受けていますか（いくつでも）
------	---

主に誰からの介護・介助を受けているかについては、「配偶者（夫・妻）」が30.7%で最も高く、次いで「娘」が22.8%、「息子」が21.1%と続いています。

図表 2-2-5 主に誰からの介護・介助を受けているか

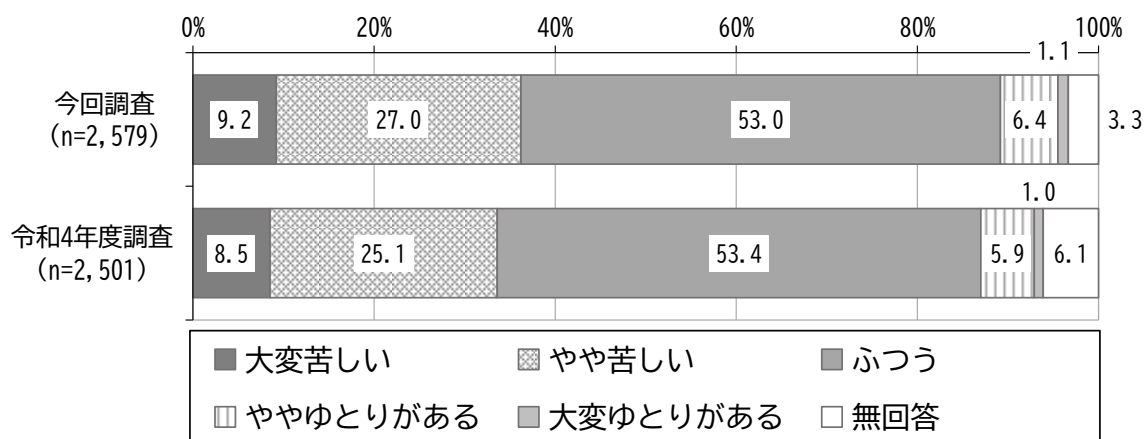


(6) 現在の暮らしの経済的状況

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つだけ）

現在の暮らしの経済的状況については、「ふつう」が53.0%で最も高く、次いで「やや苦しい」が27.0%、「大変苦しい」が9.2%と続いています。

図表 2-2-6 現在の暮らしの経済的状況

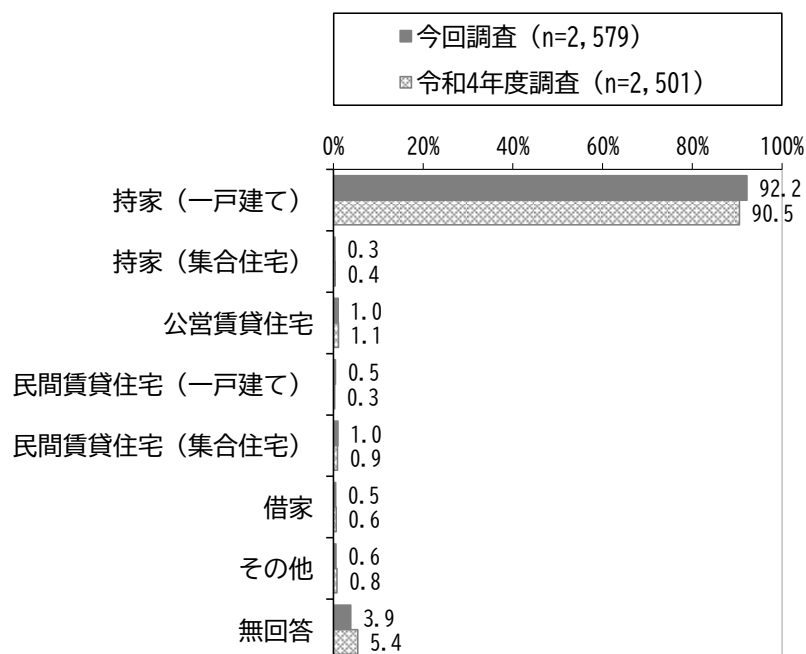


(7) 住まいの状況

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つだけ）

住まいの状況については、「持家（一戸建て）」が92.2%で最も高く、次いで「公営賃貸住宅」が1.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.0%と続いています。

図表 2-2-7 住まいの状況



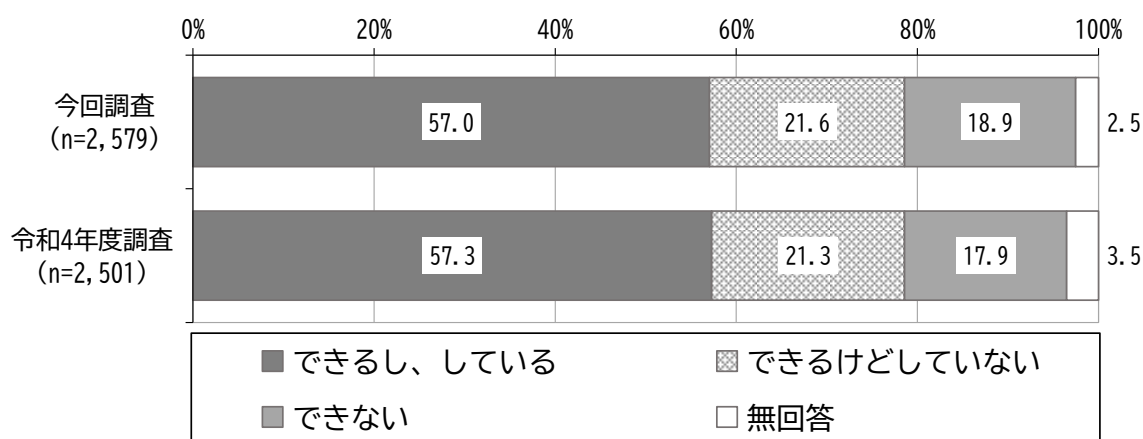
3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

問 5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つだけ)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が57.0%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.6%、「できない」が18.9%となっています。

図表 2-3-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

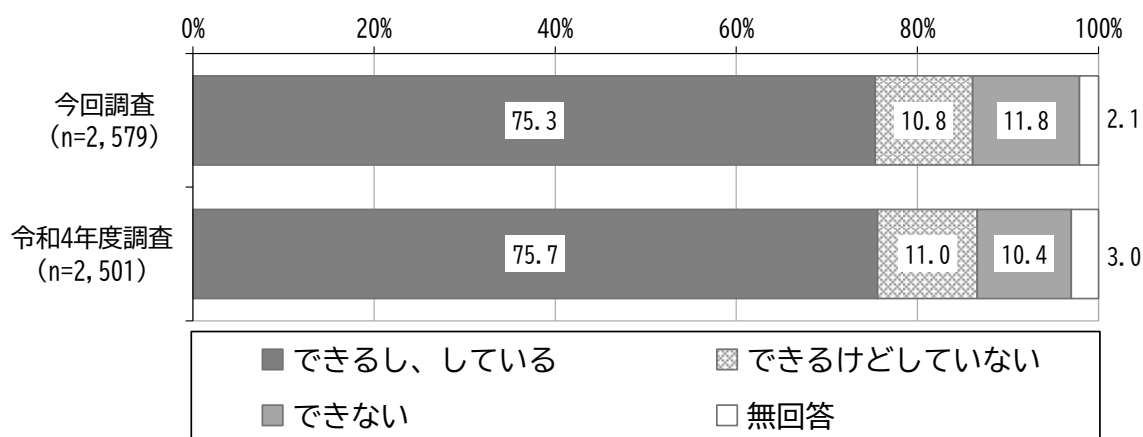


(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

問 6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つだけ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が75.3%で最も高く、次いで「できない」が11.8%、「できるけどしていない」が10.8%となっています。

図表 2-3-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

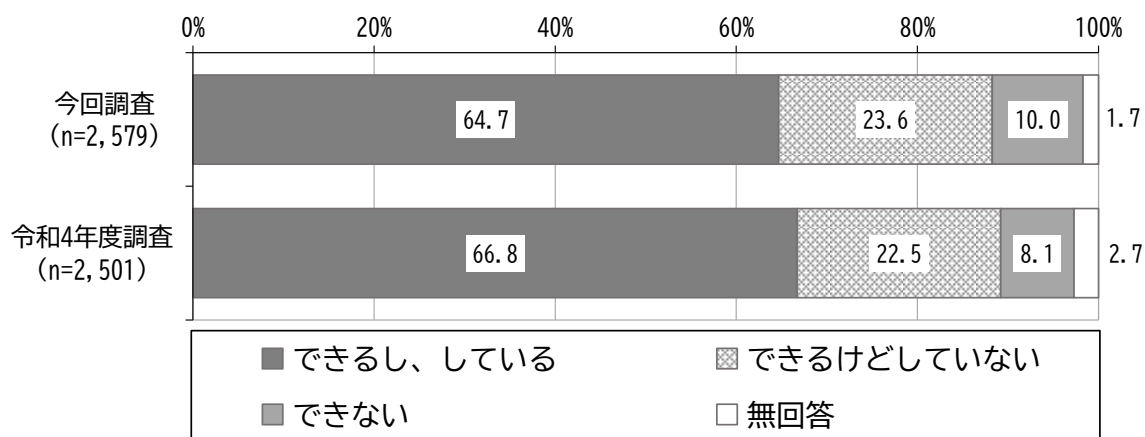


(3) 15分位続けて歩いているか

問7	15分位続けて歩いていますか（1つだけ）
----	----------------------

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が64.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が23.6%、「できない」が10.0%となっています。

図表 2-3-3 15分位続けて歩いているか

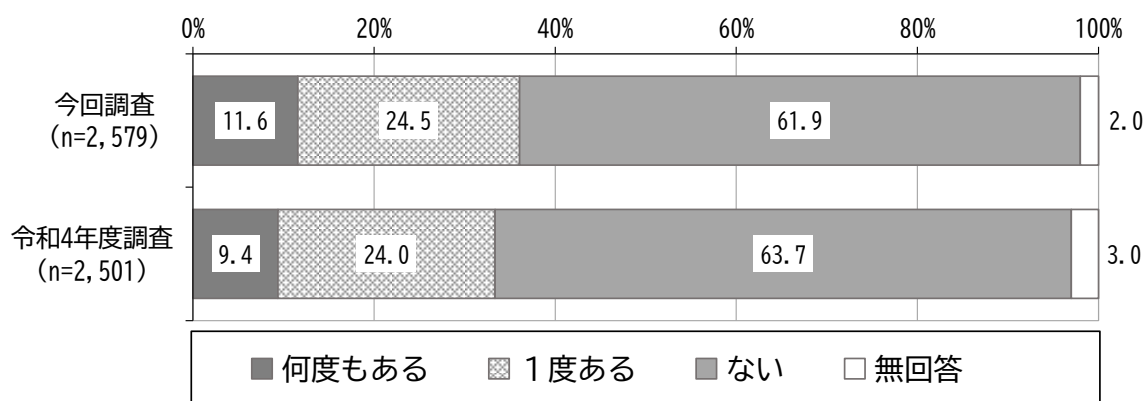


(4) 過去1年間に転んだ経験があるか

問8	過去1年間に転んだ経験がありますか（1つだけ）
----	-------------------------

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が61.9%で最も高く、次いで「1度ある」が24.5%、「何度もある」が11.6%となっています。

図表 2-3-4 過去1年間に転んだ経験があるか

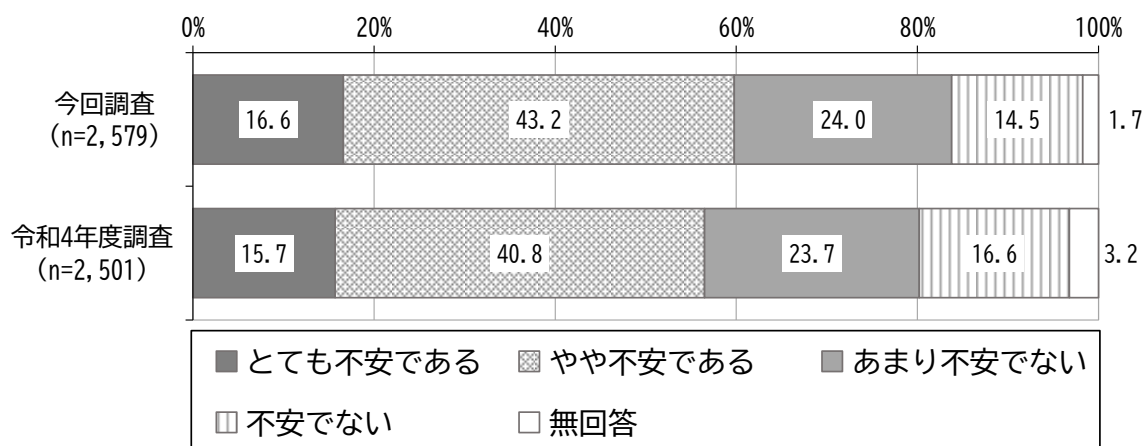


(5) 転倒に対する不安は大きいか

問 9	転倒に対する不安は大きいですか (1 つだけ)
-----	-------------------------

転倒に対する不安は大きいかについては、「やや不安である」が43.2%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が24.0%、「とても不安でない」が16.6%、「とても不安である」が14.5%と続いています。

図表 2-3-5 転倒に対する不安は大きいか

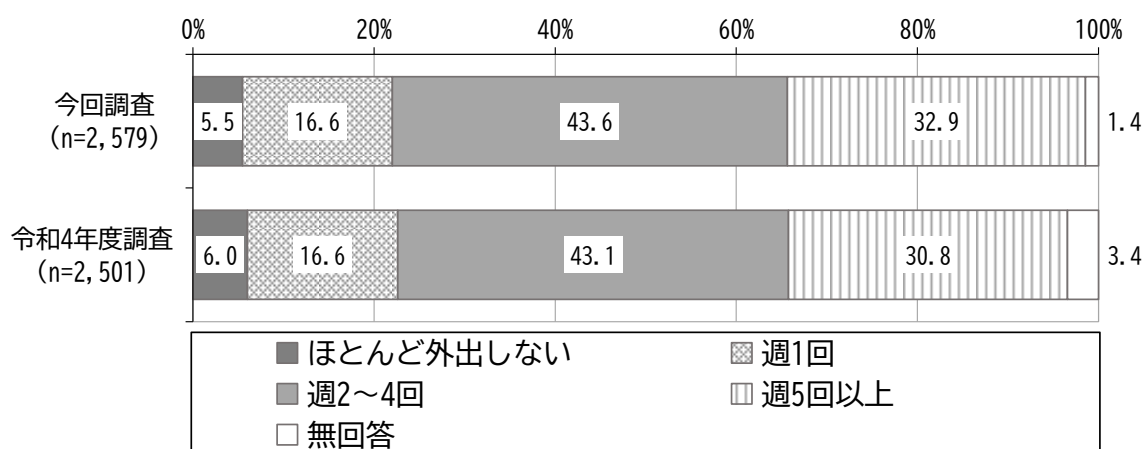


(6) 週に1回以上は外出しているか

問 10	週に1回以上は外出していますか (1 つだけ)
------	-------------------------

週に1回以上は外出しているかについては、「週2~4回」が43.6%で最も高く、次いで「週5回以上」が32.9%、「週1回」が16.6%と続いています。

図表 2-3-6 週に1回以上は外出しているか

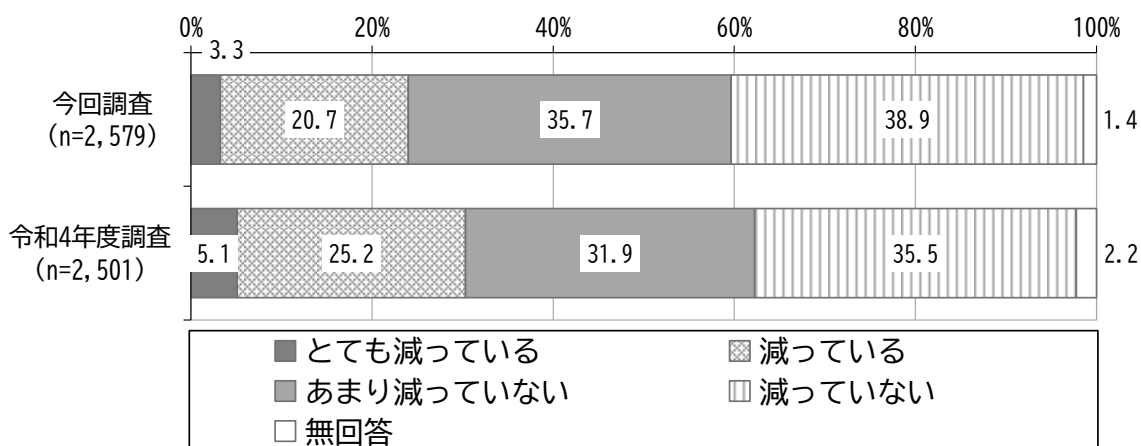


(7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

問 11	昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つだけ)
------	----------------------------

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っていない」が38.9%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が35.7%、「減っている」が20.7%と続いています。

図表 2-3-7 昨年と比べて外出の回数が減っているか

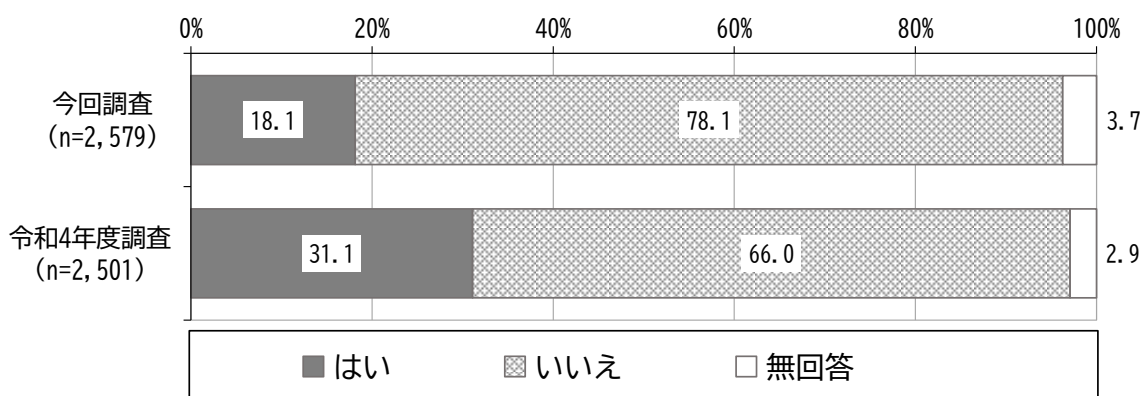


(8) 外出を控えているか

問 12	外出を控えていますか (1つだけ)
------	-------------------

外出を控えているかについては、「はい」が18.1%、「いいえ」が78.1%となっています。

図表 2-3-8 外出を控えているか



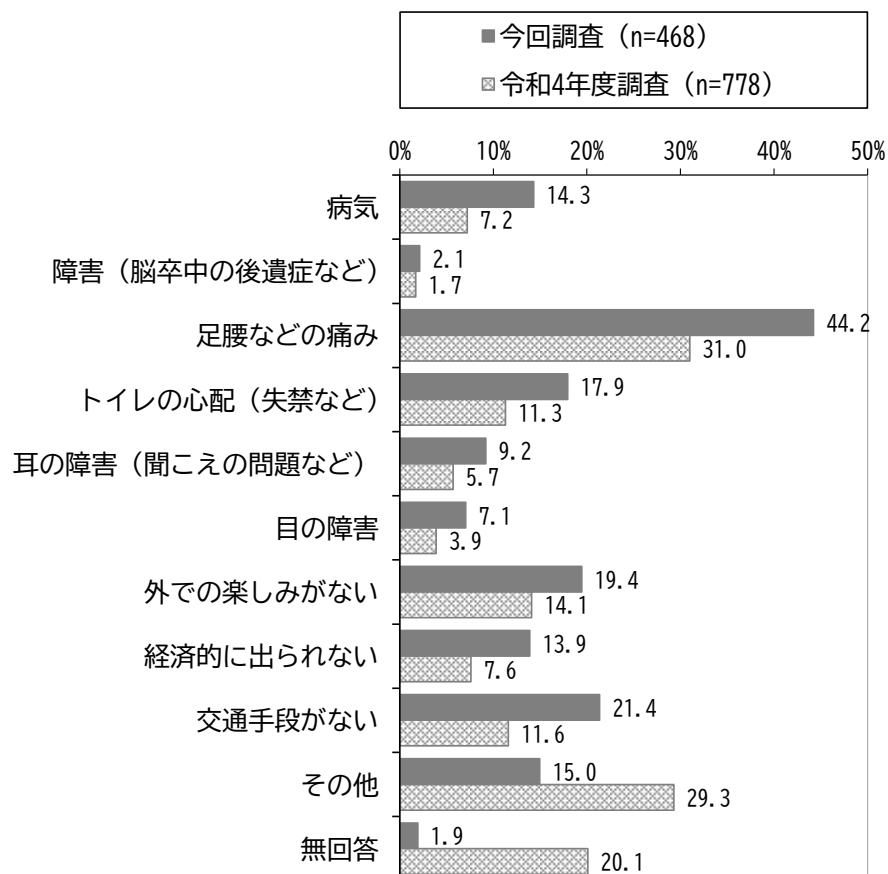
(9) 外出を控えている理由

問 12-①

問 12 で「①はい」と答えた方（外出を控えている方）のみ、お答えください】
 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が44.2%で最も高く、次いで「交通手段がない」が21.4%、「外での楽しみがない」が19.4%と続いています。

図表 2-3-9 外出を控えている理由

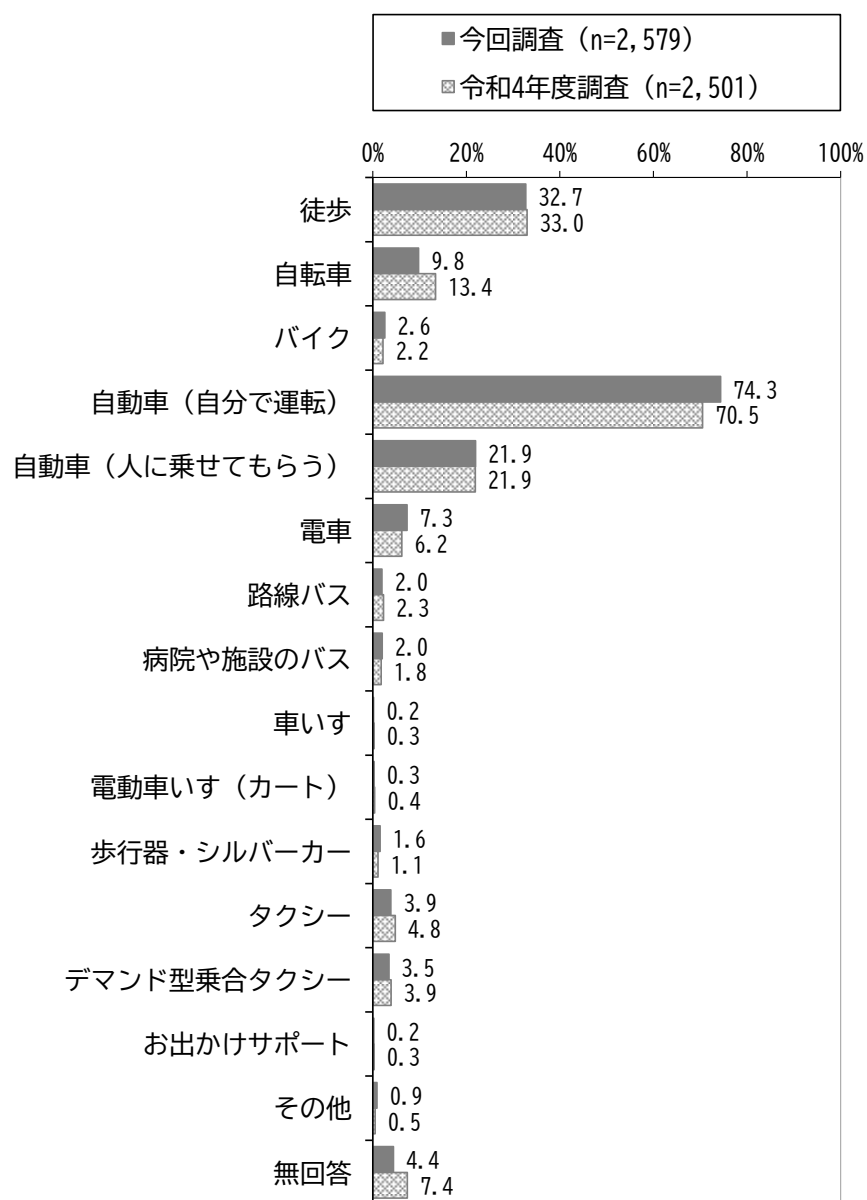


(10) 外出する際の移動手段

問 13 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が74.3%で最も高く、次いで「徒歩」が32.7%、「自動車（人に乗せてもらう）」が21.9%と続いています。

図表 2-3-10 外出する際の移動手段



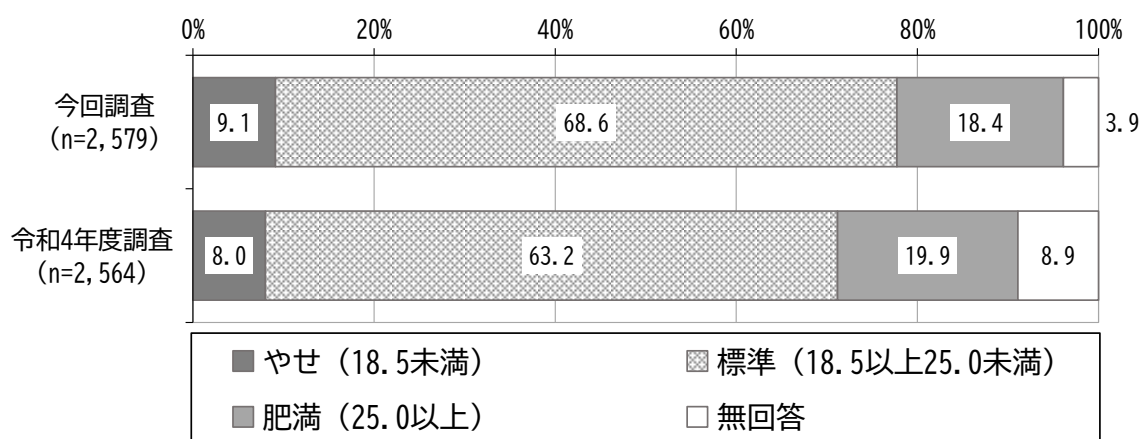
4 食べることについて

(1) BMI

問 14 身長・体重を教えてください（数字をご記入ください（小数点以下は省略））

BMI（身長・体重より算出）については、「標準（18.5以上25.0未満）」が68.6%で最も高く、次いで「肥満（25.0以上）」が18.4%、「やせ（18.5未満）」が9.1%となっています。

図表 2-4-1 BMI

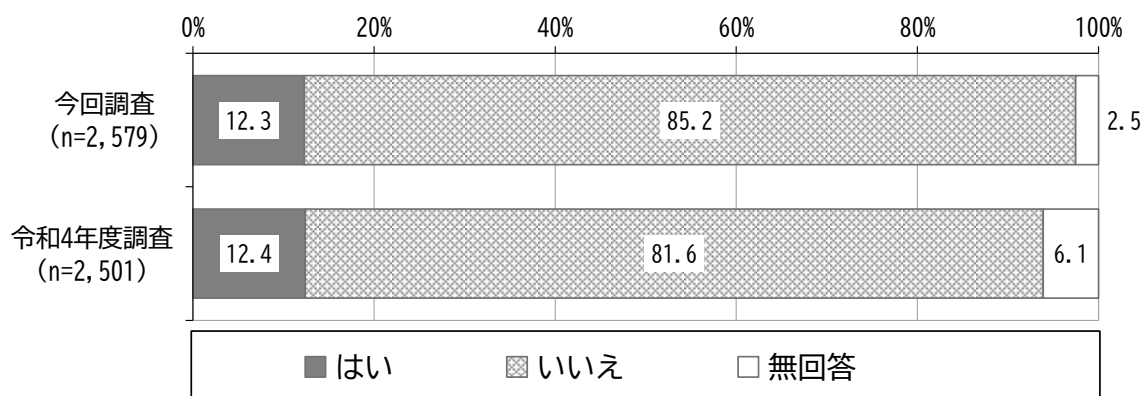


(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

問 15 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つだけ）

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が12.3%、「いいえ」が85.2%となっています。

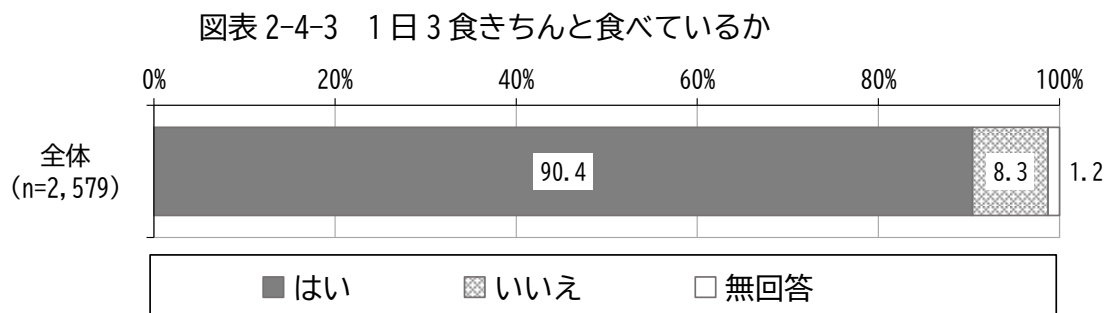
図表 2-4-2 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか



(3) 1日3食きちんと食べているか

問 16	1日3食きちんと食べていますか (1つだけ)
------	------------------------

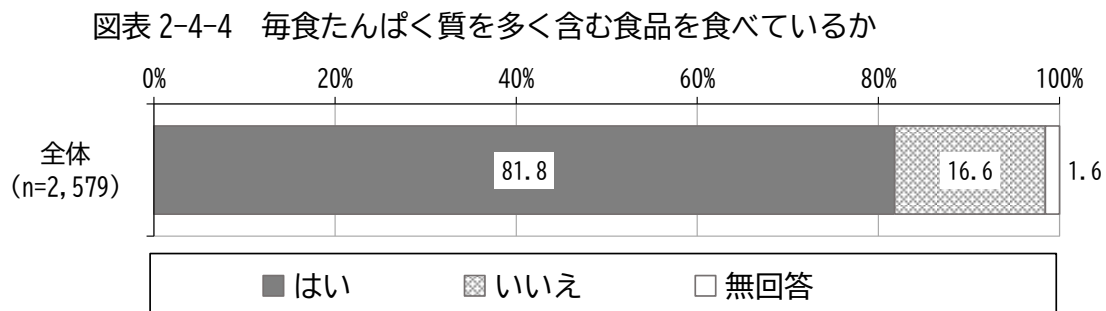
1日3食きちんと食べているかについては、「はい」が90.4%、「いいえ」が8.3%となっています。



(4) 毎食たんぱく質を多く含む食品を食べているか

問 17	毎食 (朝・昼・夕)、たんぱく質を多く含む食品 (肉、魚、卵、大豆製品、牛乳・乳製品) を食べていますか (1つだけ)
------	---

毎食たんぱく質を多く含む食品を食べているかについては、「はい」が81.8%、「いいえ」が16.6%となっています。

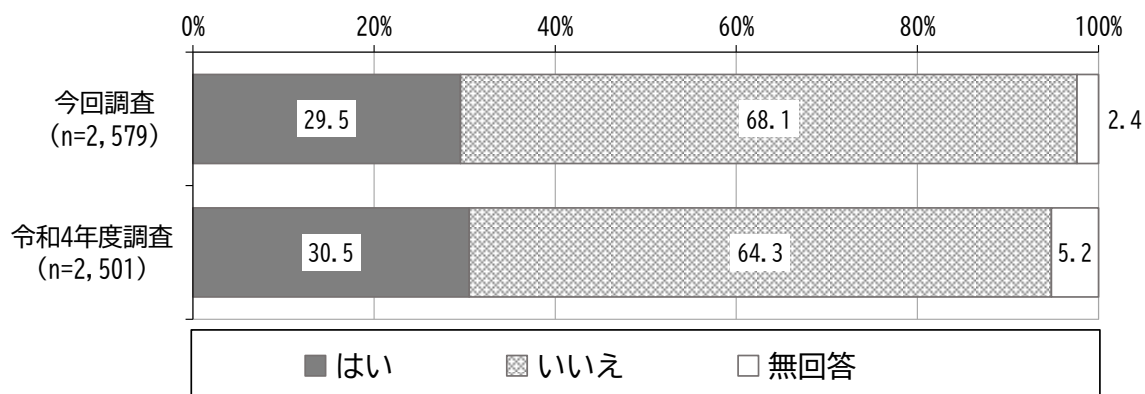


(5) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

問 18	半年前に比べて固いもの（※）が食べにくくなりましたか（1つだけ） ※さきいか、たくあんなど
------	--

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が29.5%、「いいえ」が68.1%となっています。

図表 2-4-5 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

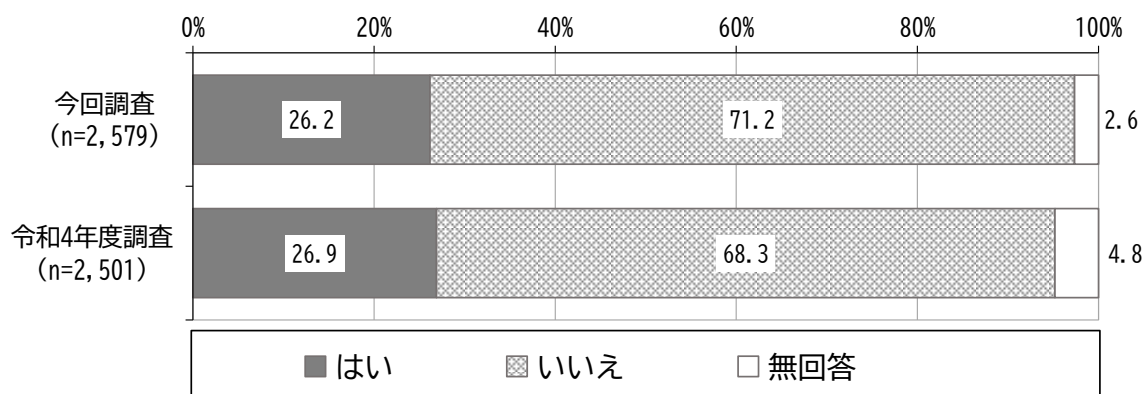


(6) お茶や汁物等でむせることがあるか

問 19	お茶や汁物等でむせることがありますか（1つだけ）
------	--------------------------

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が26.2%、「いいえ」が71.2%となっています。

図表 2-4-6 お茶や汁物等でむせることがあるか

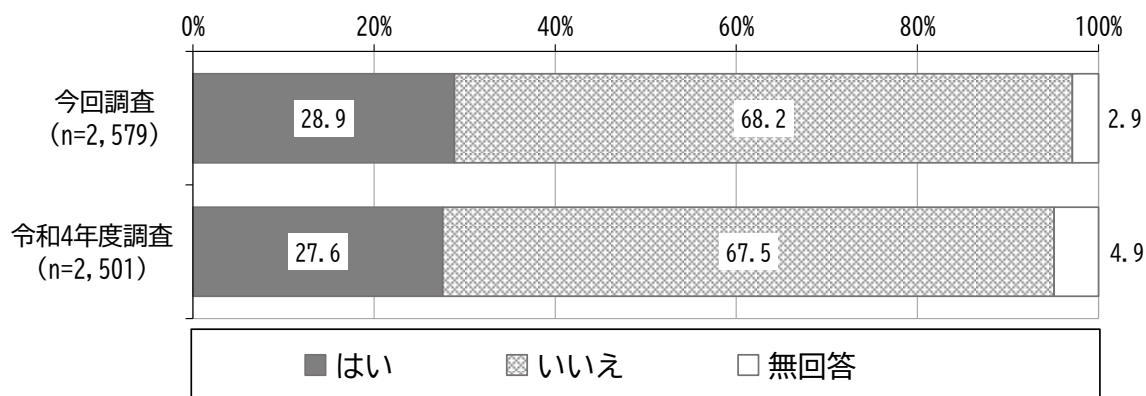


(7) 口の渇きが気になるか

問 20	口の渇きが気になりますか（1つだけ）
------	--------------------

口の渇きが気になるかについては、「はい」が28.9%、「いいえ」が68.2%となっています。

図表 2-4-7 口の渇きが気になるか

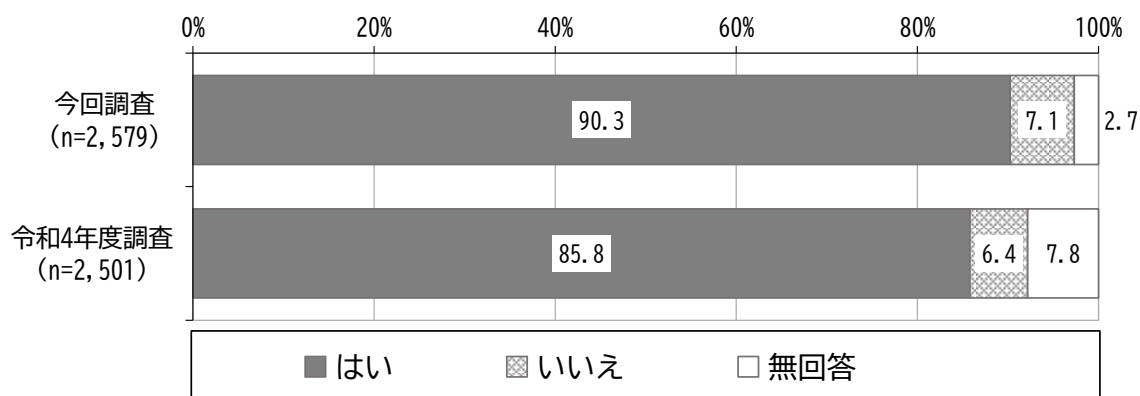


(8) 歯磨きまたは入れ歯の手入れを毎日しているか

問 21	歯磨きまたは入れ歯の手入れ（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つだけ）
------	---

歯磨きまたは入れ歯の手入れを毎日しているかについては、「はい」が90.3%、「いいえ」が7.1%となっています。

図表 2-4-8 歯磨きまたは入れ歯の手入れを毎日しているか



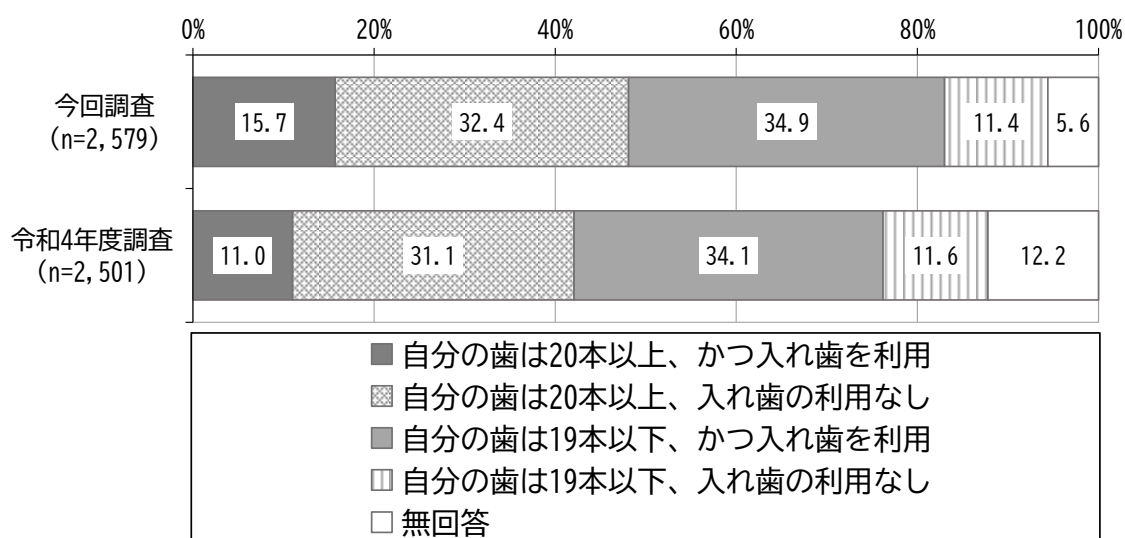
※ 令和4（2022）年度調査は「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか」

(9) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 22	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（1つだけ） （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）
------	--

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が34.9%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が32.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.7%と続いています。

図表 2-4-9 歯の数と入れ歯の利用状況

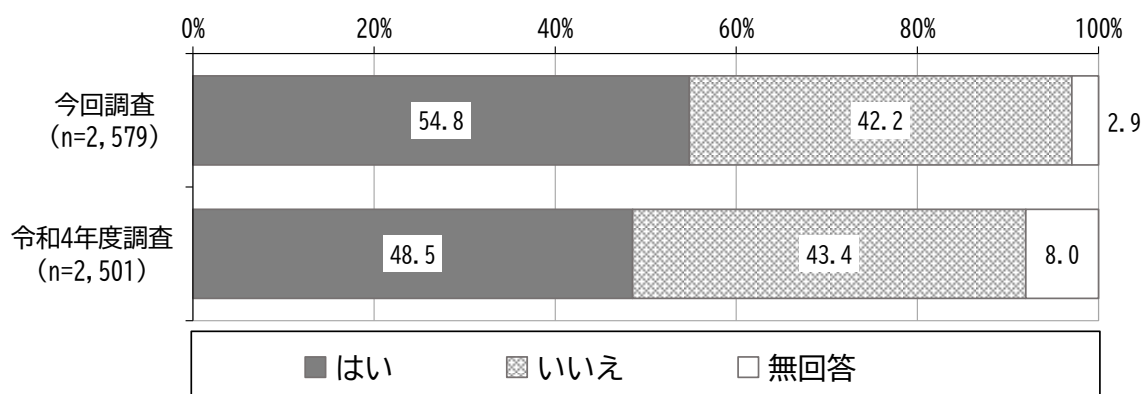


(10) 定期的に歯科受診をしているか

問 23	定期的に歯科受診はしていますか（1つだけ）
------	-----------------------

定期的に歯科受診をしているかについては、「はい」が54.8%、「いいえ」が42.2%となっています。

図表 2-4-10 定期的に歯科受診をしているか



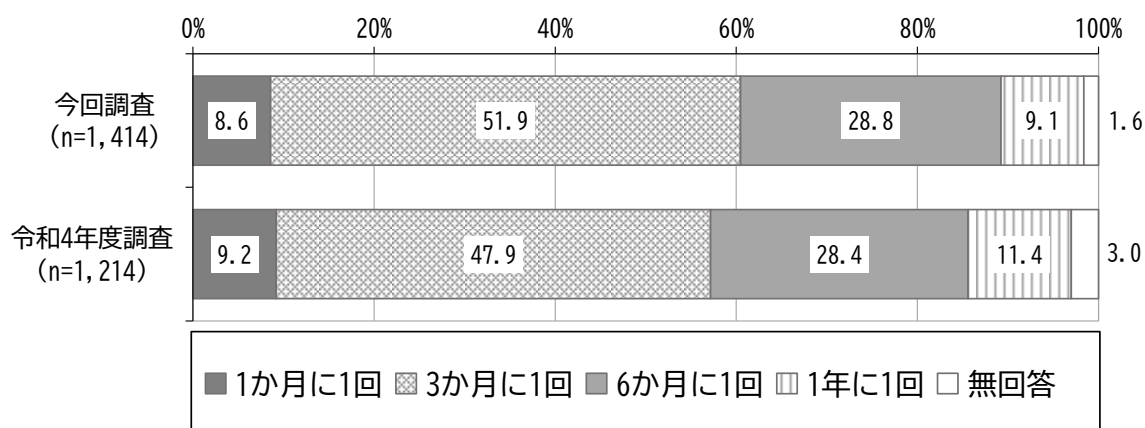
(11) 歯科受診の頻度

問 23-①

【問 23 で「①はい」と答えた方（歯科受診している方）のみ、お答えください】
 どれくらいの頻度で受診していますか（1つだけ）

歯科受診の頻度については、「3か月に1回」が51.9%で最も高く、次いで「6か月に1回」が28.8%、「1年に1回」が9.1%と続いています。

図表 2-4-11 歯科受診の頻度



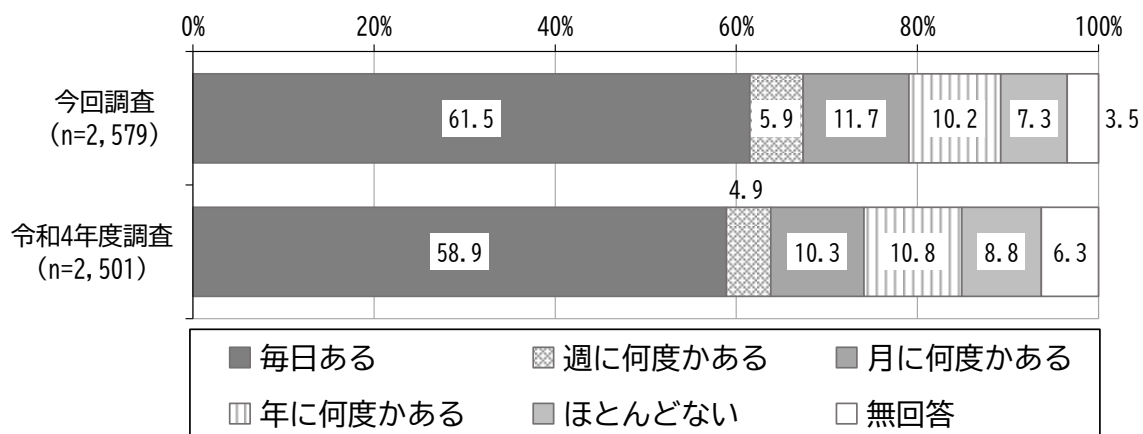
(12) 誰かと食事をとる機会はあるか

問 24

どなたかと食事をとる機会がありますか（1つだけ）

誰かと食事をとる機会はあるかについては、「毎日ある」が61.5%で最も高く、次いで「月に何度かある」が11.7%、「年に何度かある」が10.2%と続いています。

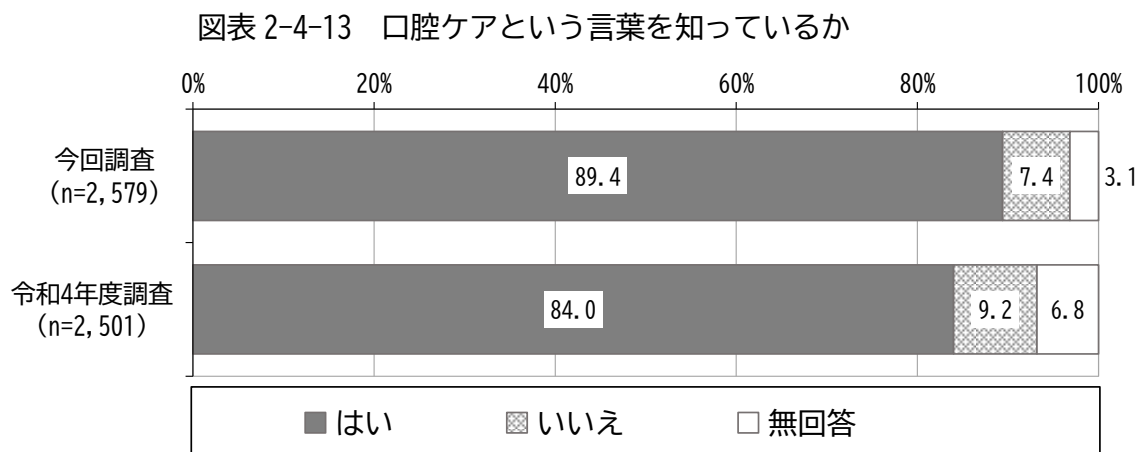
図表 2-4-12 誰かと食事をとる機会はあるか



(13) 口腔ケアという言葉を知っているか

問 25 口腔ケアという言葉を知っていますか (1つだけ)

口腔ケアという言葉を知っているかについては、「はい」が89.4%、「いいえ」が7.4%となっています。



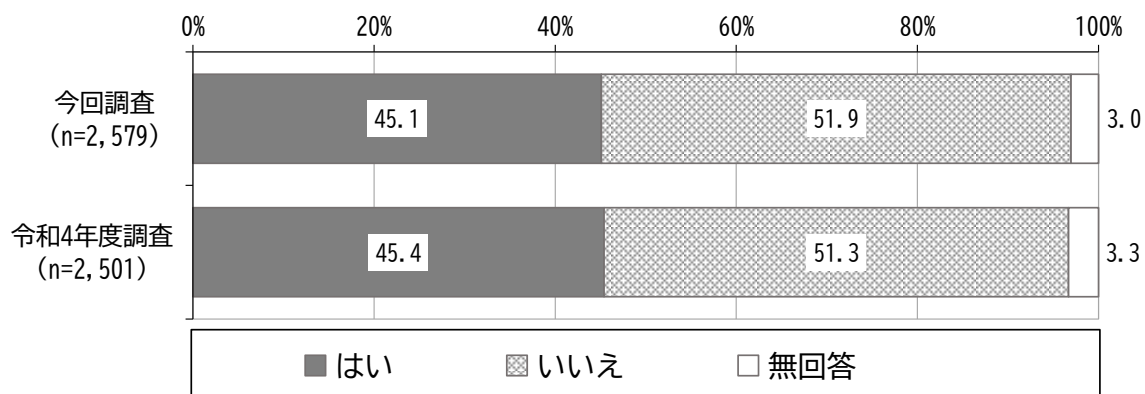
5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

問 26 物忘れが多いと感じますか（1つだけ）

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が45.1%、「いいえ」が51.9%となっています。

図表 2-5-1 物忘れが多いと感じるか

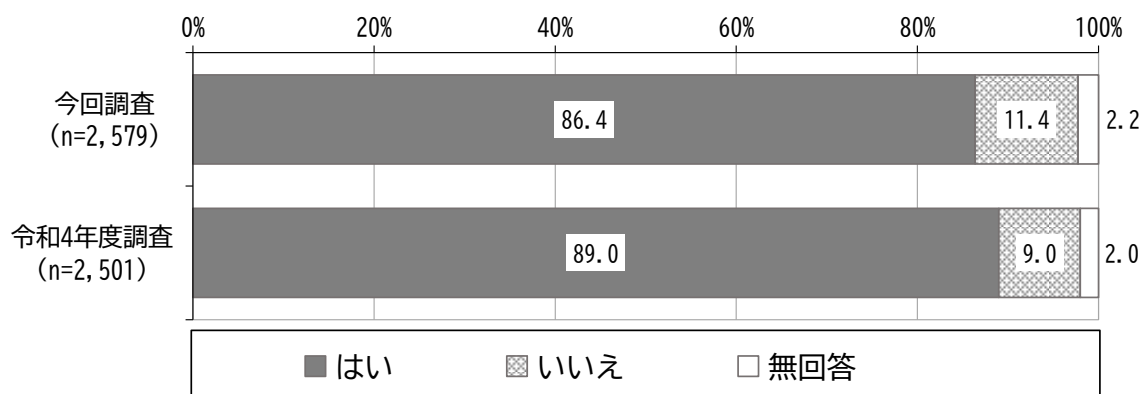


(2) 自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているか

問 27 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つだけ）

自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているかについては、「はい」が86.4%、「いいえ」が11.4%となっています。

図表 2-5-2 自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているか

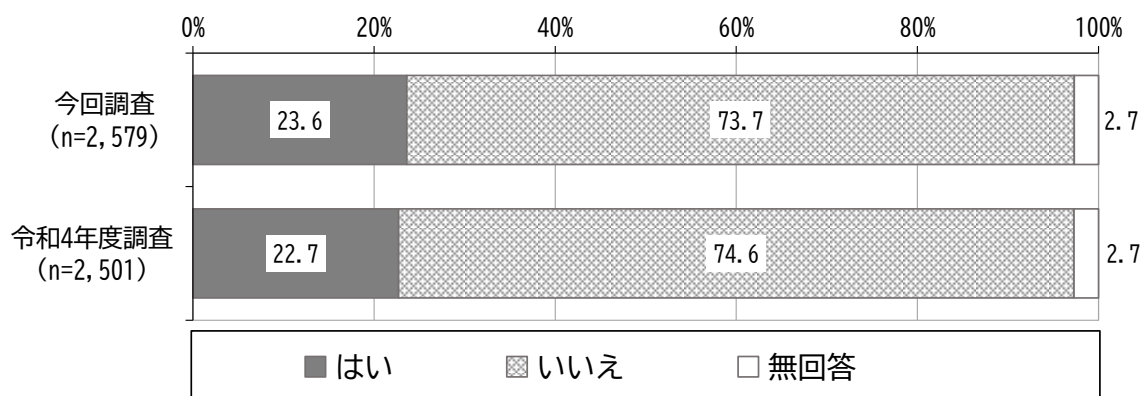


(3) 今日が何月何日かわからない時があるか

問 28	今日が何月何日かわからない時がありますか（1つだけ）
------	----------------------------

今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が23.6%、「いいえ」が73.7%となっています。

図表 2-5-3 今日が何月何日かわからない時があるか

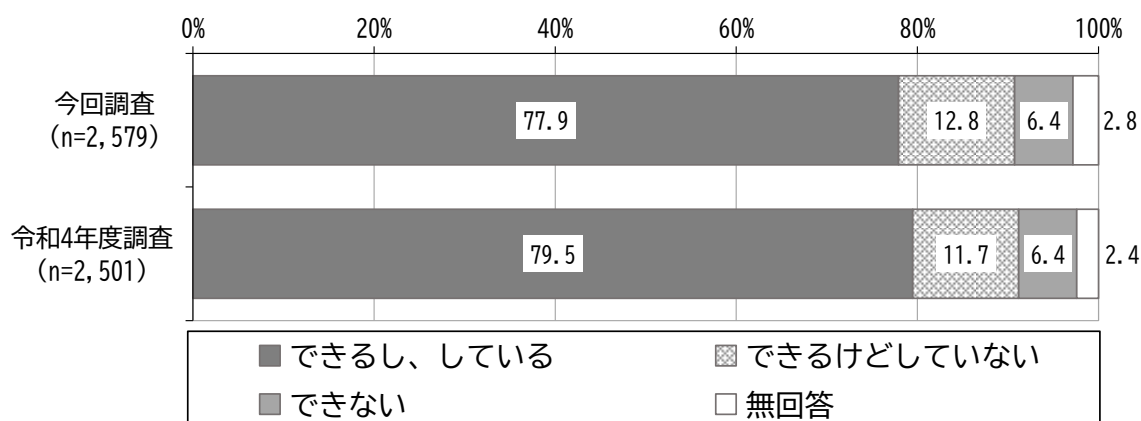


(4) バスや電車を使って1人で外出しているか

問 29	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つだけ）
------	-------------------------------------

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が77.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.8%、「できない」が6.4%となっています。

図表 2-5-4 バスや電車を使って1人で外出しているか

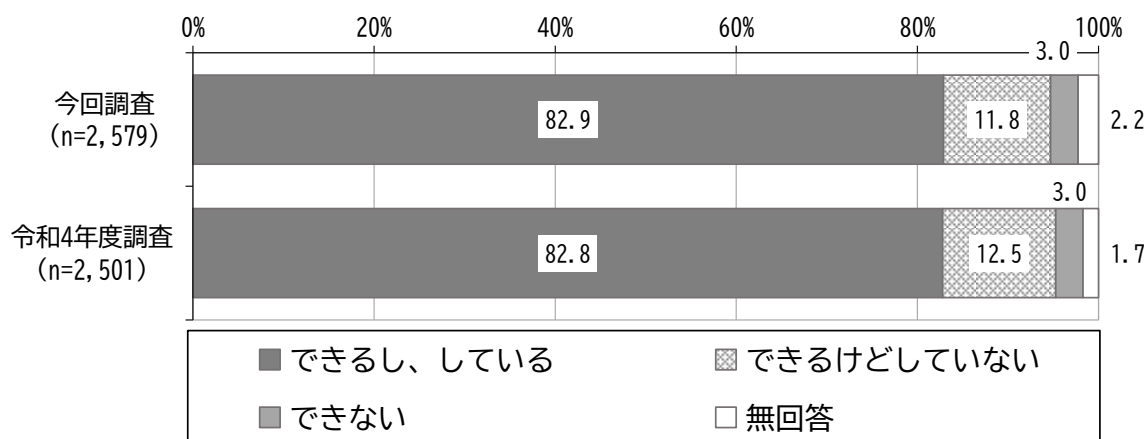


(5) 自分で食品・日用品の買物をしているか

問 30	自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つだけ)
------	----------------------------

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が82.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が3.0%となっています。

図表 2-5-5 自分で食品・日用品の買物をしているか

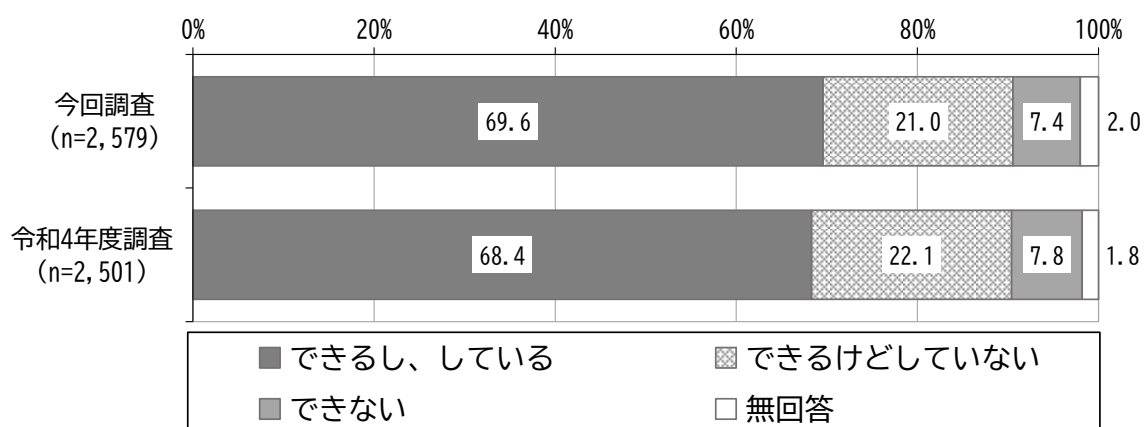


(6) 自分で食事の用意をしているか

問 31	自分で食事の用意をしていますか (1つだけ)
------	------------------------

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が69.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.0%、「できない」が7.4%となっています。

図表 2-5-6 自分で食事の用意をしているか

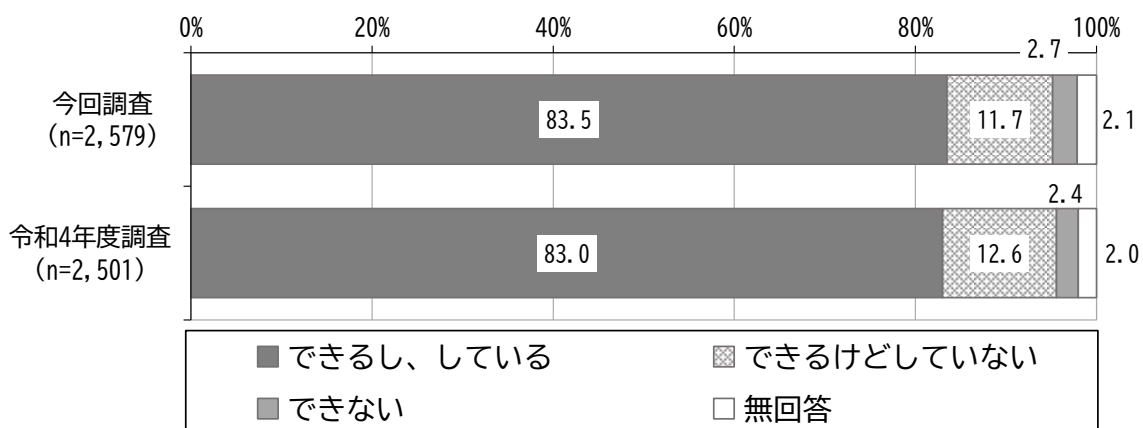


(7) 自分で請求書の支払いをしているか

問 32	自分で請求書の支払いをしていますか (1つだけ)
------	--------------------------

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が83.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.7%、「できない」が2.7%となっています。

図表 2-5-7 自分で請求書の支払いをしているか

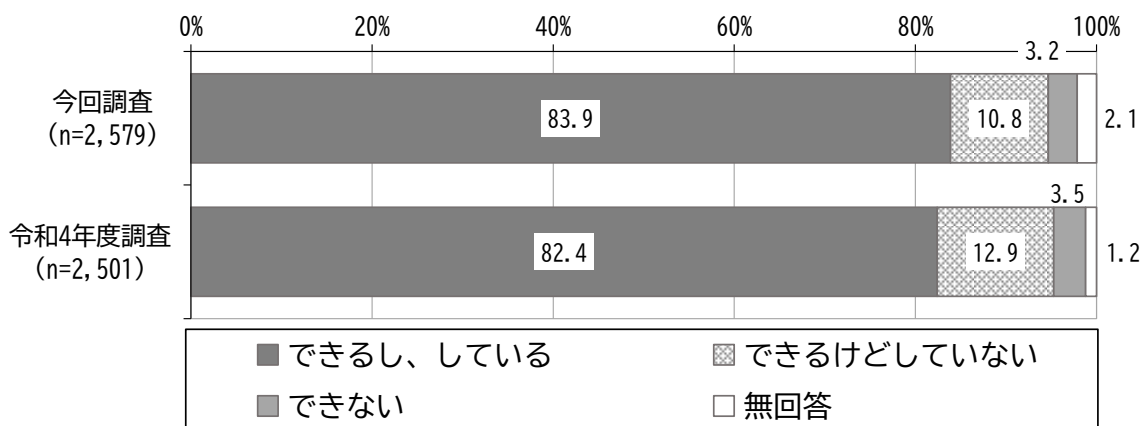


(8) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問 33	自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つだけ)
------	---------------------------

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が83.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が10.8%、「できない」が3.2%となっています。

図表 2-5-8 自分で預貯金の出し入れをしているか

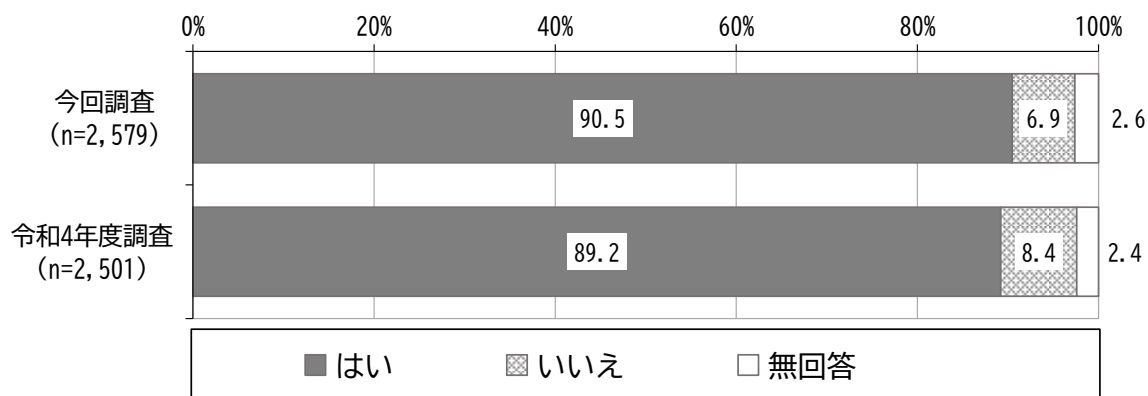


(9) 年金などの書類が書けるか

問 34	年金などの書類（市役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つだけ）
------	------------------------------------

年金などの書類が書けるかについては、「はい」が90.5%、「いいえ」が6.9%となっています。

図表 2-5-9 年金などの書類が書けるか

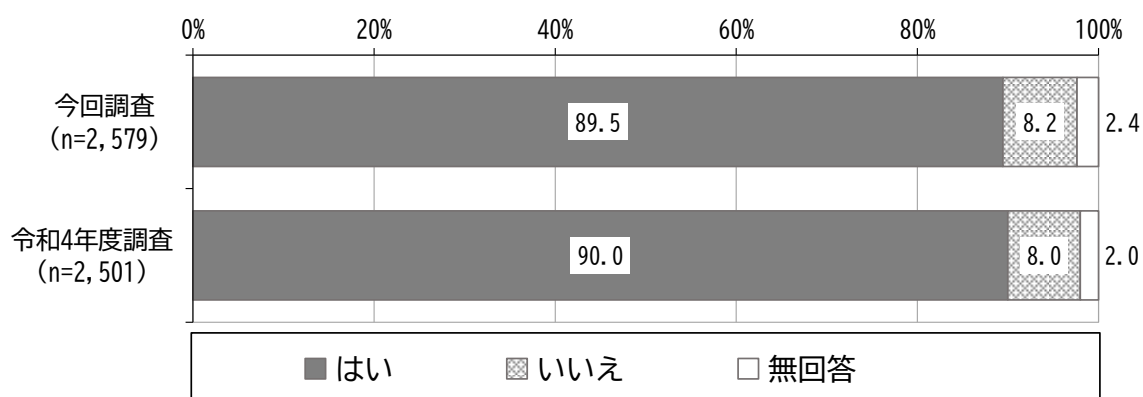


(10) 健康についての記事や番組に関心があるか

問 35	健康についての記事や番組に関心がありますか（1つだけ）
------	-----------------------------

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が89.5%、「いいえ」が8.2%となっています。

図表 2-5-10 健康についての記事や番組に関心があるか

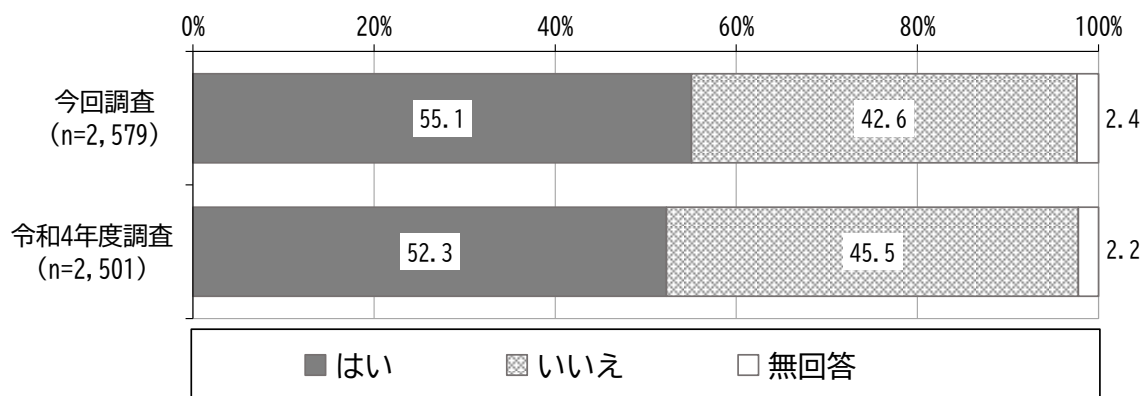


(11) 友人の家を訪ねているか

問 36	友人の家を訪ねていますか (1つだけ)
------	---------------------

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が55.1%、「いいえ」が42.6%となっています。

図表 2-5-11 友人の家を訪ねているか

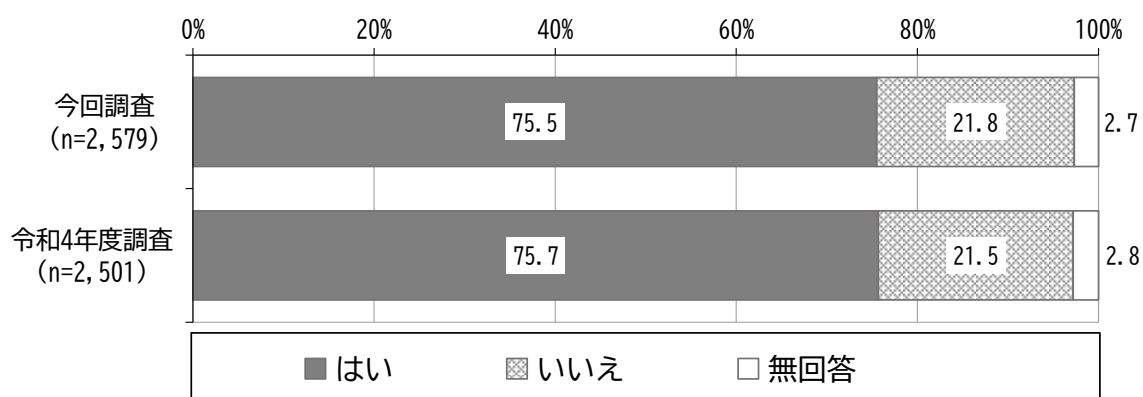


(12) 家族や友人の相談にのっているか

問 37	家族や友人の相談にのっていますか (1つだけ)
------	-------------------------

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が75.5%、「いいえ」が21.8%となっています。

図表 2-5-12 家族や友人の相談にのっているか

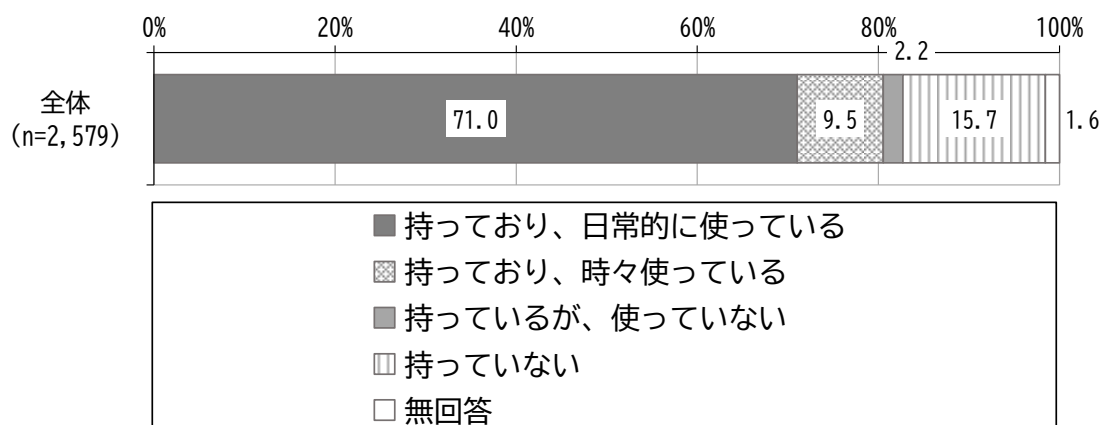


(13) スマートフォンを持っているか

問 38 | スマートフォンを持っていますか (1つだけ)

スマートフォンを持っているかについては、「持っており、日常的に使っている」が71.0%で最も高く、次いで「持っていない」が15.7%、「持っており、時々使っている」が9.5%と続いています。

図表 2-5-13 スマートフォンを持っているか

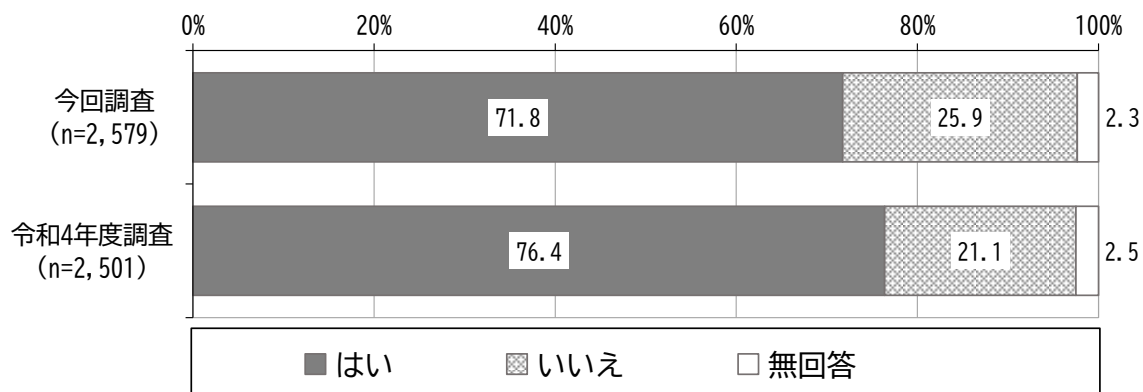


(14) 若い人に自分から話しかけることがあるか

問 39 | 若い人に自分から話しかけることがありますか (1つだけ)

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が71.8%、「いいえ」が25.9%となっています。

図表 2-5-14 若い人に自分から話しかけることがあるか

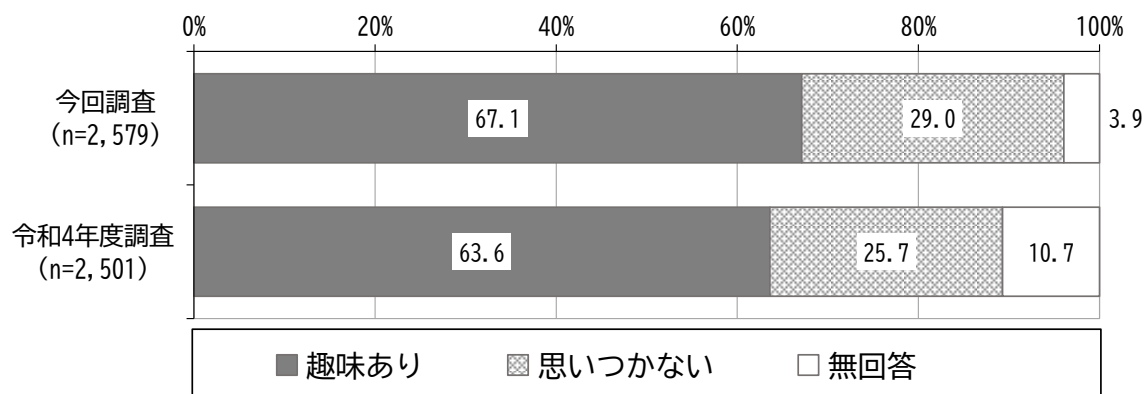


(15) 趣味はあるか

問 40 趣味はありますか (1つだけ)

趣味はあるかについては、「趣味あり」が67.1%、「思いつかない」が29.0%となっています。

図表 2-5-15 趣味はあるか

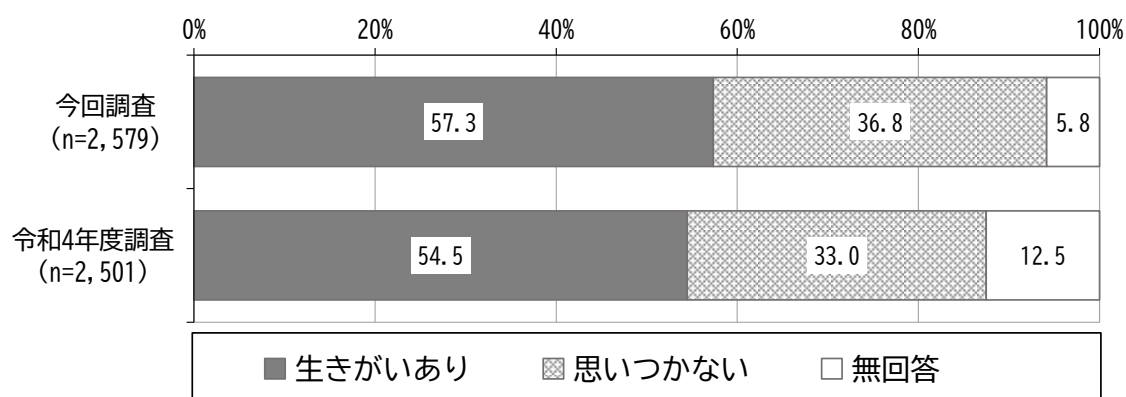


(16) 生きがいはあるか

問 41 生きがいがありますか (1つだけ)

生きがいはあるかについては、「生きがいあり」が57.3%、「思いつかない」が36.8%となっています。

図表 2-5-16 生きがいはあるか



6 地域での活動について

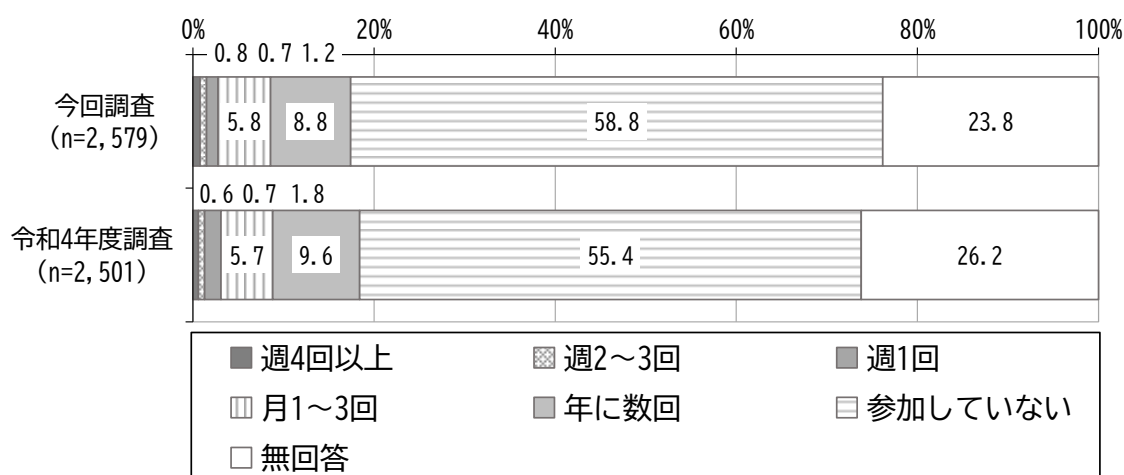
(1) 地域での活動の参加状況

問 42	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※① - ⑨それぞれに回答してください（①～⑨それぞれ1つずつ）
------	---

① ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加状況については、「参加していない」が58.8%で最も高く、次いで「年に数回」が8.8%、「月1～3回」が5.8%と続いています。

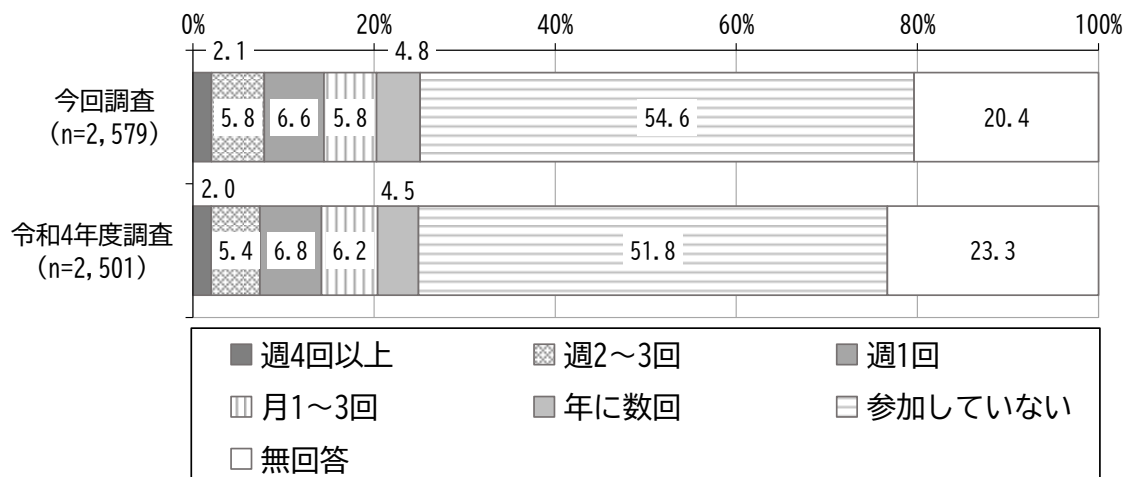
図表 2-6-1 ボランティアのグループへの参加状況



② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況については、「参加していない」が54.6%で最も高く、次いで「週1回」が6.6%、「週2～3回」、「月1～3回」がいずれも5.8%と続いています。

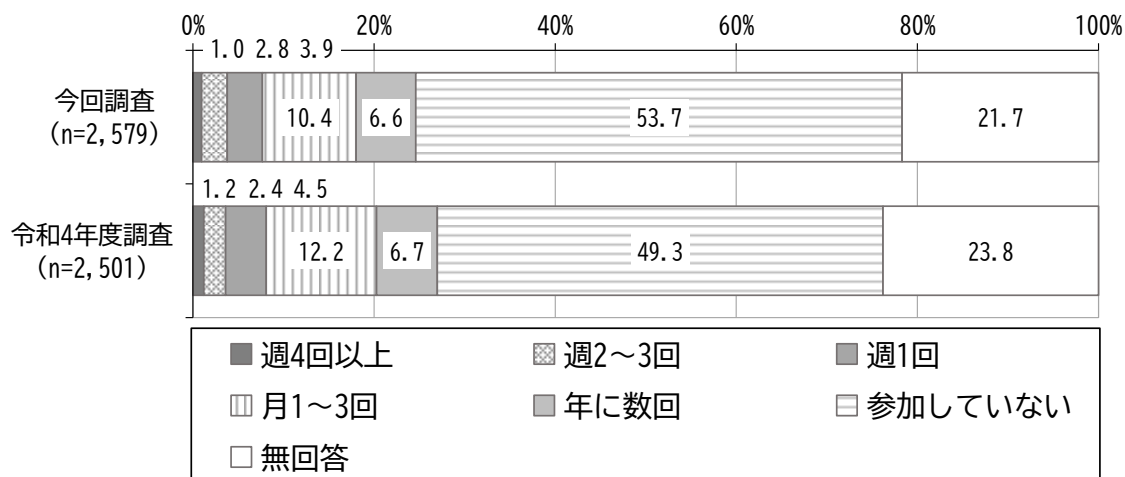
図表 2-6-2 スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況



③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況については、「参加していない」が53.7%で最も高く、次いで「月1～3回」が10.4%、「年に数回」が6.6%と続いています。

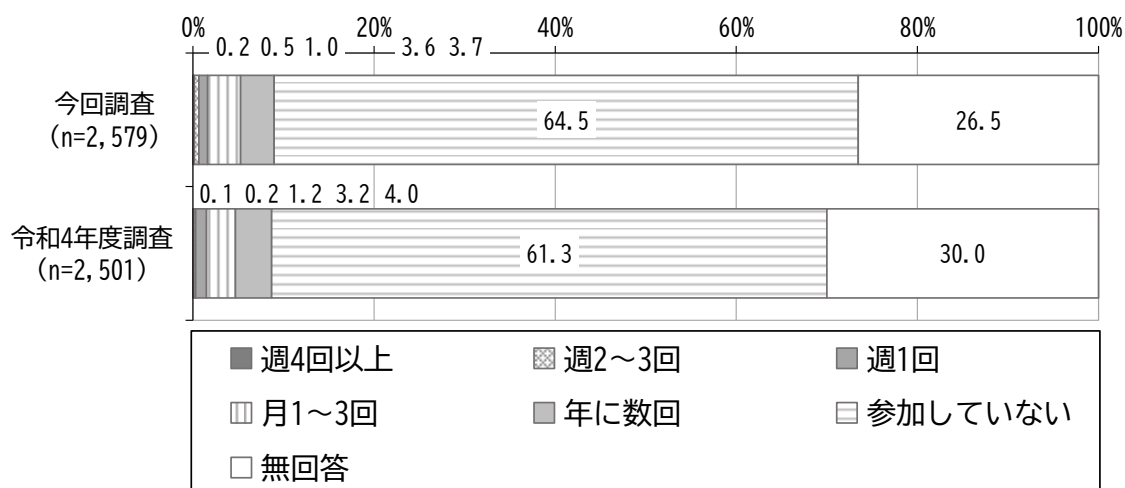
図表 2-6-3 趣味関係のグループへの参加状況



④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況については、「参加していない」が64.5%で最も高く、次いで「年に数回」が3.7%、「月1～3回」が3.6%と続いています。

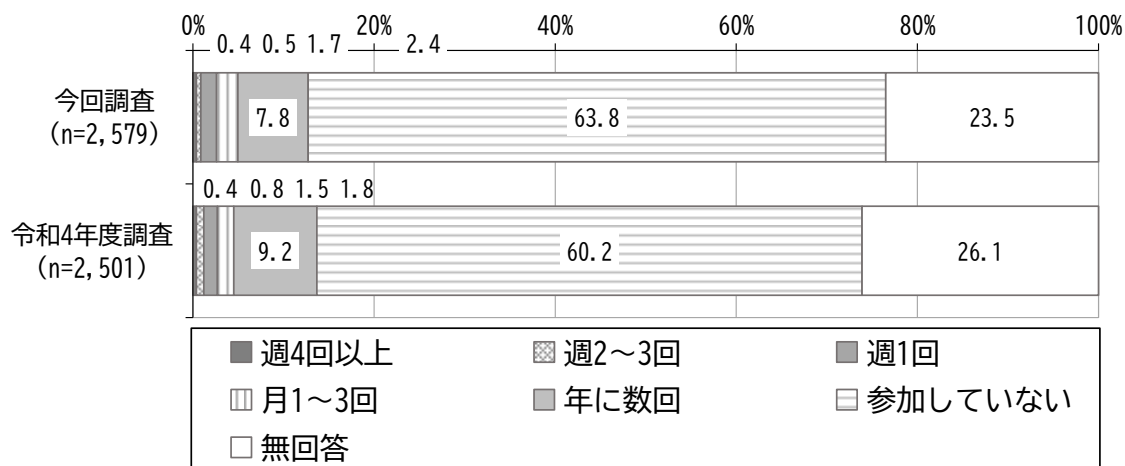
図表 2-6-4 学習・教養サークルへの参加状況



⑤ 老人クラブ

老人クラブへの参加状況については、「参加していない」が63.8%で最も高く、次いで「年に数回」が7.8%、「月1～3回」が2.4%と続いています。

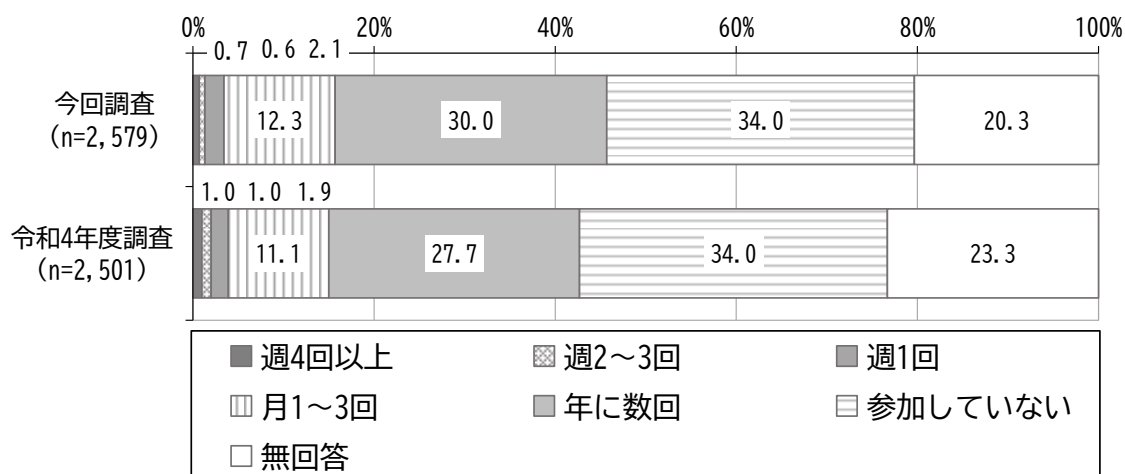
図表 2-6-5 老人クラブへの参加状況



⑥ 町内会・自治会

町内会・自治会への参加状況については、「参加していない」が34.0%で最も高く、次いで「年に数回」が30.0%、「月1～3回」が12.3%と続いています。

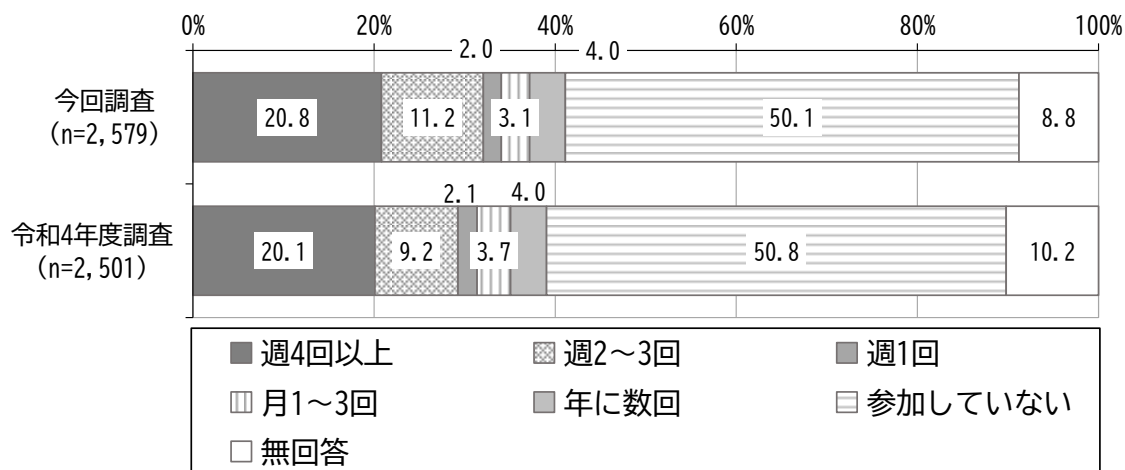
図表 2-6-6 町内会・自治会への参加状況



⑦ 収入のある仕事

収入のある仕事への参加状況については、「参加していない」が50.1%で最も高く、次いで「週4回以上」が20.8%、「週2～3回」が11.2%と続いています。

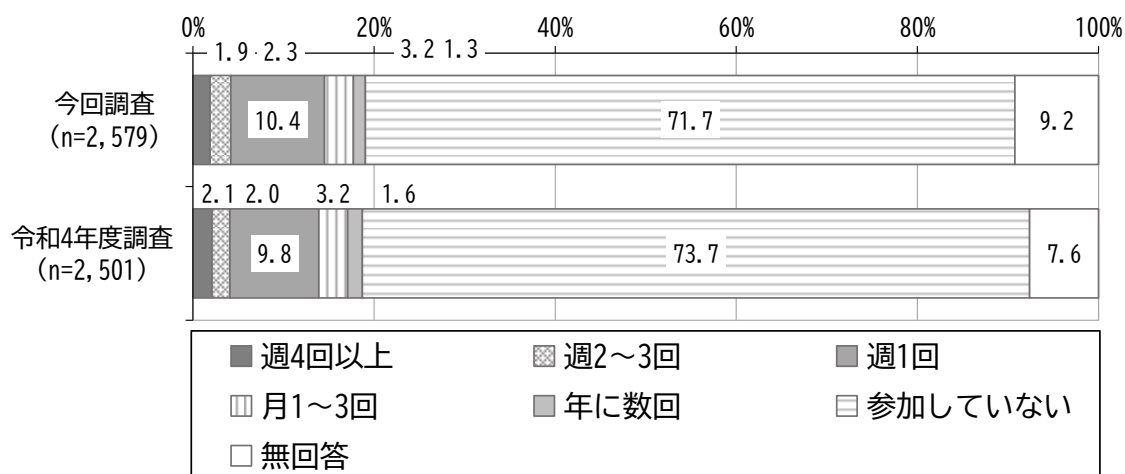
図表 2-6-7 収入のある仕事への参加状況



⑧ いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場

いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場への参加状況については、「参加していない」が71.7%で最も高く、次いで「週1回」が10.4%、「月1～3回」が3.2%と続いています。

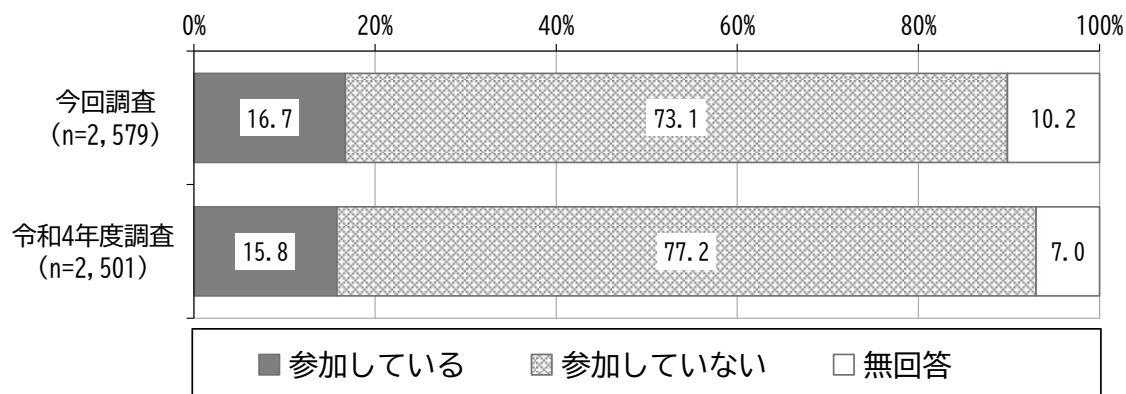
図表 2-6-8 いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場への参加状況



⑨ ふれあいいいききサロン

ふれあいいいききサロンへの参加状況については、「参加している」が16.7%、「参加していない」が73.1%となっています。

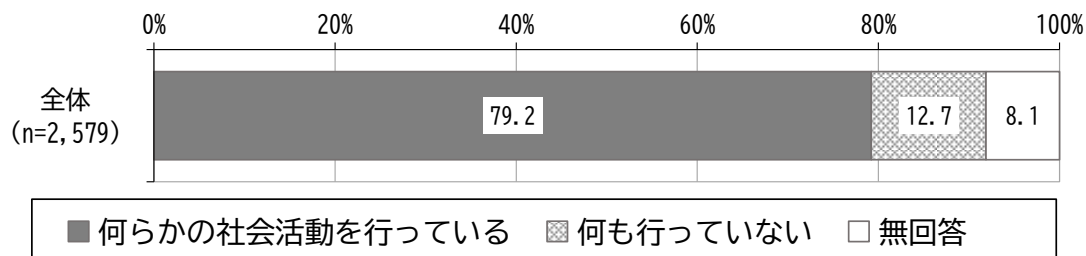
図表 2-6-9 ふれあいいいききサロンへの参加状況



⑩ 社会参加活動の状況

上記①～⑧について、「何らかの社会活動を行っている」(①～⑧いずれかに年に数回以上の参加)人の割合は79.2%、「何も行っていない」(①～⑧いずれも参加していない)人の割合は12.7%となっています。

図表 2-6-10 社会参加活動の状況

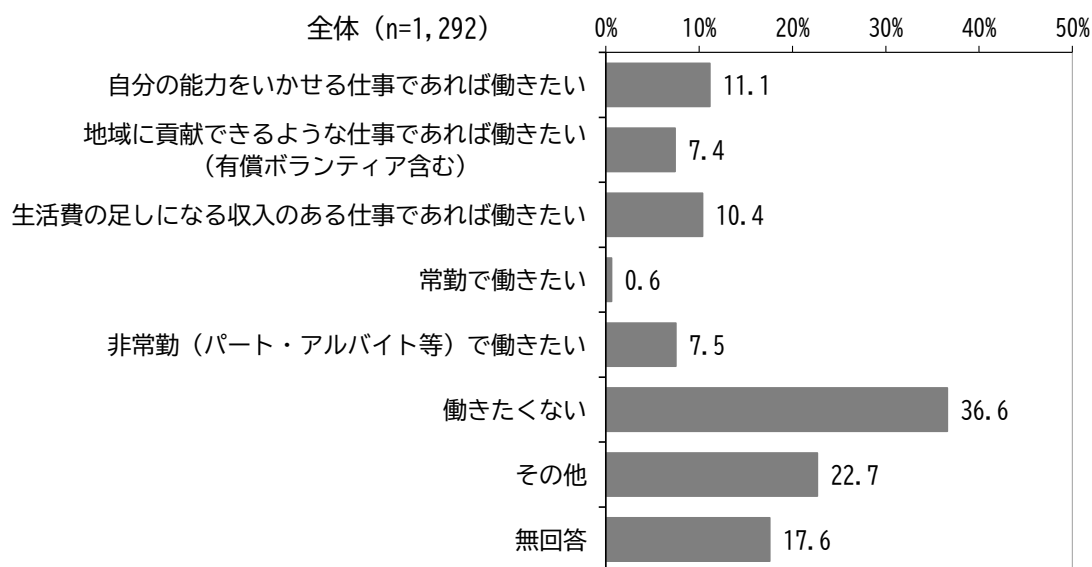


(2) 収入のある仕事をしていない方の働き方の希望

問 42-①	【問 42 の⑦で「⑥参加していない」と答えた方（収入のある仕事をしていない方）のみ、お答えください】 働き方に希望はありますか（いくつでも）
--------	--

収入のある仕事をしていない方の働き方の希望については、「働きたくない」が36.6%で最も高く、次いで「その他」が22.7%、「自分の能力をいかせる仕事であれば働きたい」が11.1%と続いています。

図表 2-6-11 収入のある仕事をしていない方の働き方の希望

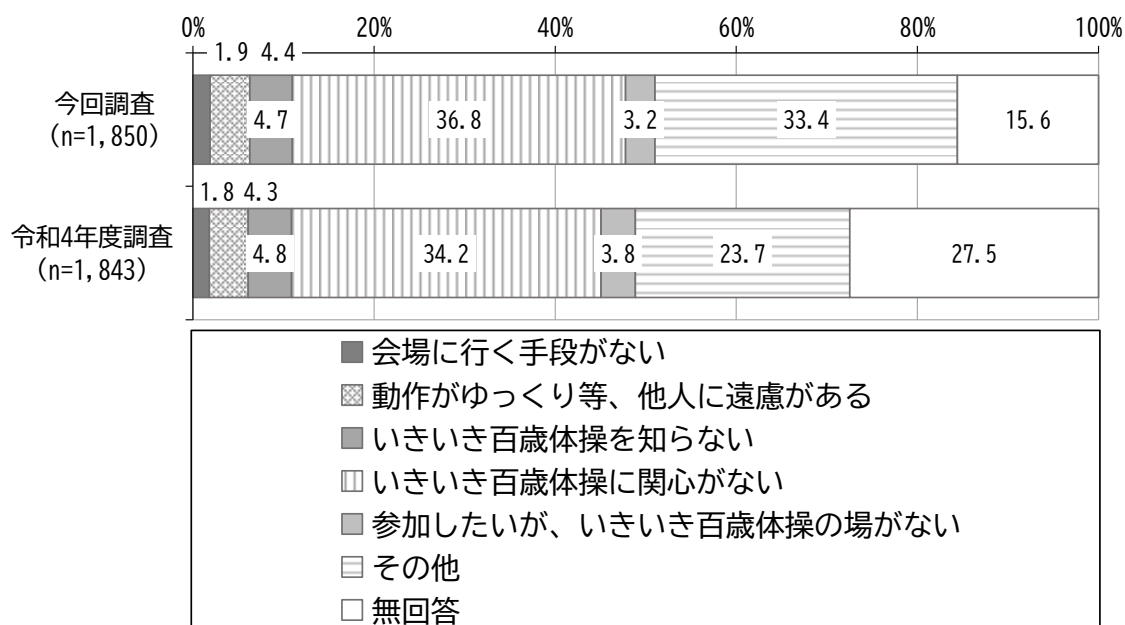


(3) 介護予防のための通いの場に参加していない理由

問 42-②	【問 42 の⑧で「⑥参加していない」と答えた方（通いの場に参加していない方）のみ、お答えください】 参加していない理由は何ですか（1つだけ）
--------	--

介護予防のための通いの場に参加していない理由については、「いきいき百歳体操に関心がない」が36.8%で最も高く、次いで「その他」が33.4%、「いきいき百歳体操を知らない」が4.7%と続いています。

図表 2-6-12 介護予防のための通いの場に参加していない理由

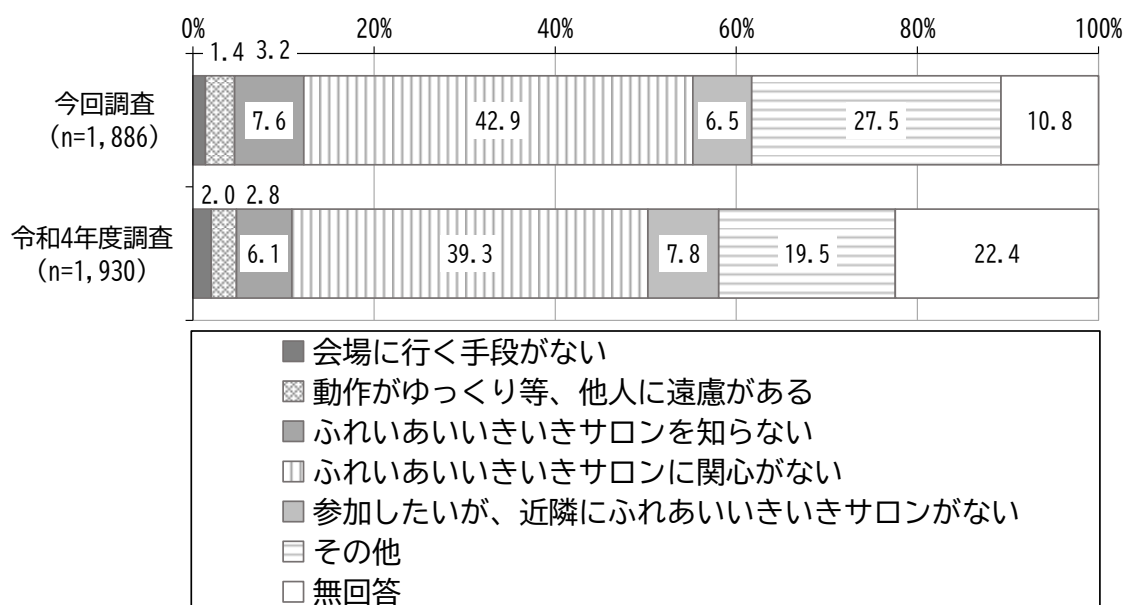


(4) ふれあいいいききサロンに参加していない理由

問 42-③	問 42 の⑨で「②参加していない」と答えた方（ふれあいいいききサロンに参加していない方）のみ、お答えください 参加していない理由は何ですか（1つだけ）
--------	---

ふれあいいいききサロンに参加していない理由については、「ふれあいいいききサロンに関心がない」が42.9%で最も高く、次いで「その他」が27.5%、「ふれあいいいききサロンを知らない」が7.6%と続いています。

図表 2-6-13 ふれあいいいききサロンに参加していない理由

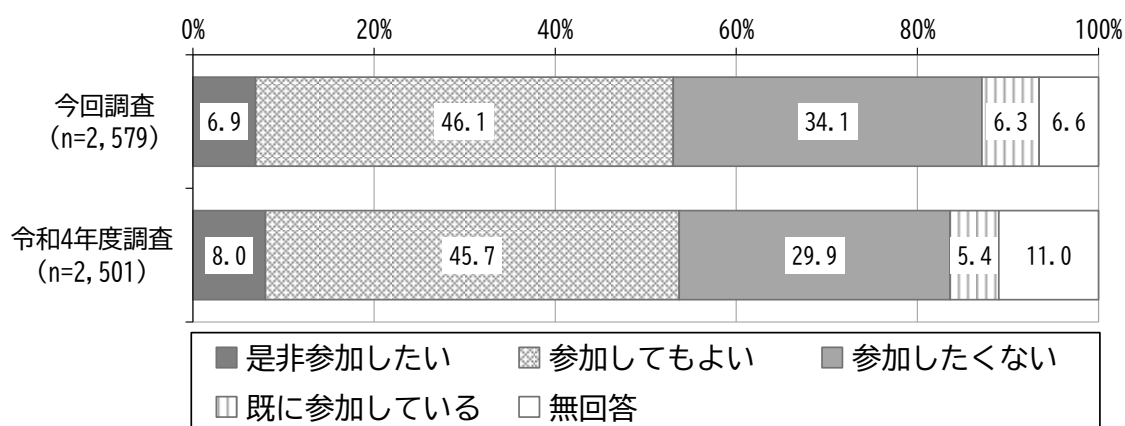


(5) 地域づくり活動に参加者として参加してみたいと思うか

問 43	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つだけ）
------	---

地域づくり活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、「参加してもよい」が46.1%で最も高く、次いで「参加したくない」が34.1%、「是非参加したい」が6.9%と続いています。

図表 2-6-14 地域づくり活動に参加者として参加してみたいと思うか

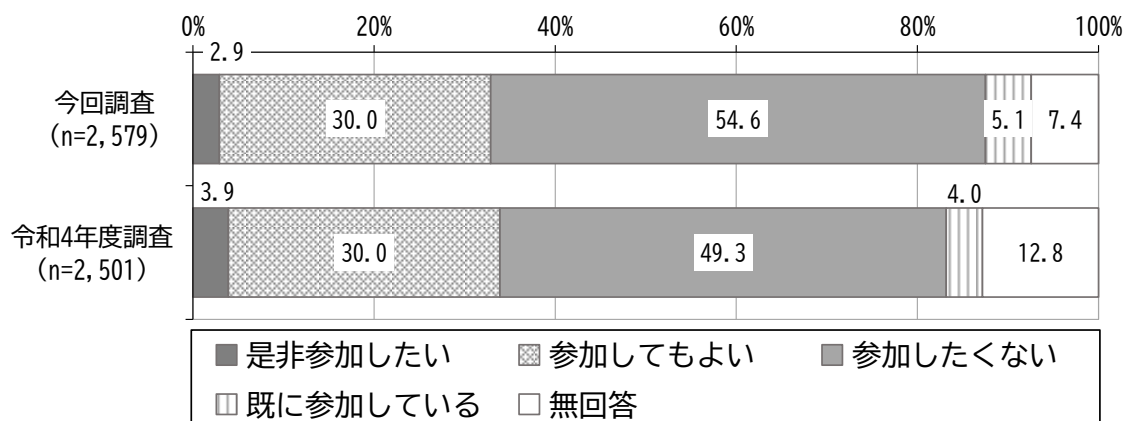


(6) 地域づくり活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うか

問 44	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つだけ）
------	---

地域づくり活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が54.6%で最も高く、次いで「参加してもよい」が30.0%、「既に参加している」が5.1%と続いています。

図表 2-6-15 地域づくり活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うか

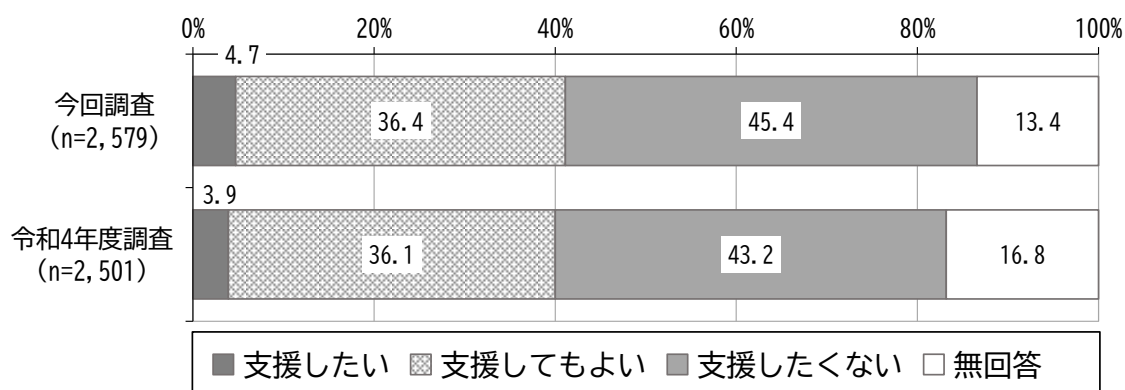


(7) 近隣住民への有償支援に関する意向

問 45	近所の人困っている時に、あなたご自身が週に1~2日程度、若干の料金をもらって支援できることはありますか（1つだけ）
------	---

近隣住民への有償支援に関する意向については、「支援したくない」が45.4%で最も高く、次いで「支援してもよい」が36.4%、「支援したい」が4.7%と続いています。

図表 2-6-16 近隣住民への有償支援に関する意向

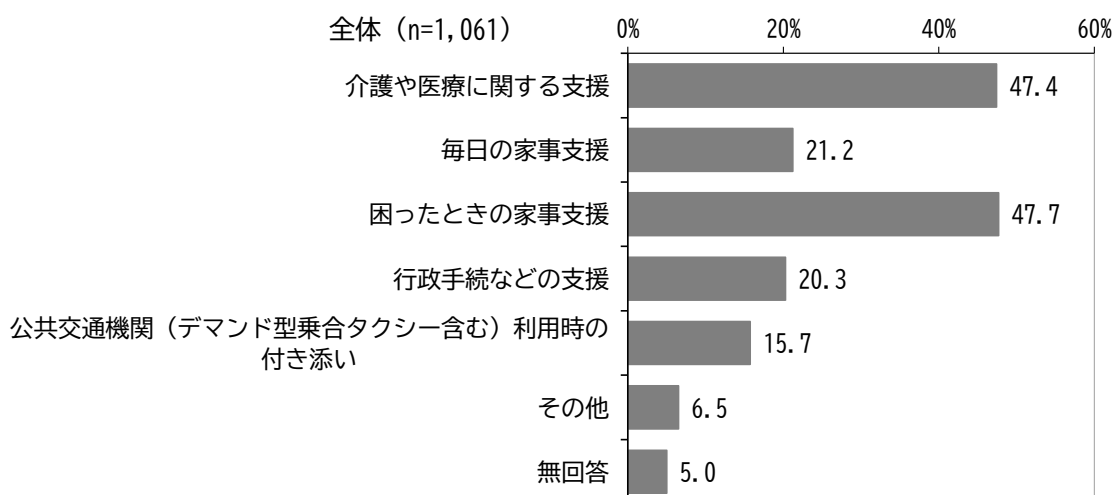


(8) 近隣住民への有償支援の内容

問 45-①	【問 45 で「①支援したい」または「②支援してもよい」と答えた方（支援できることがある）のみ、お答えください】 どのようなことが支援できますか（いくつでも）
--------	--

近隣住民への有償支援に関する意向がある方のその内容については、「困ったときの家事支援」が47.7%で最も高く、次いで「介護や医療に関する支援」が47.4%、「毎日の家事支援」が21.2%と続いています。

図表 2-6-17 近隣住民への有償支援の内容

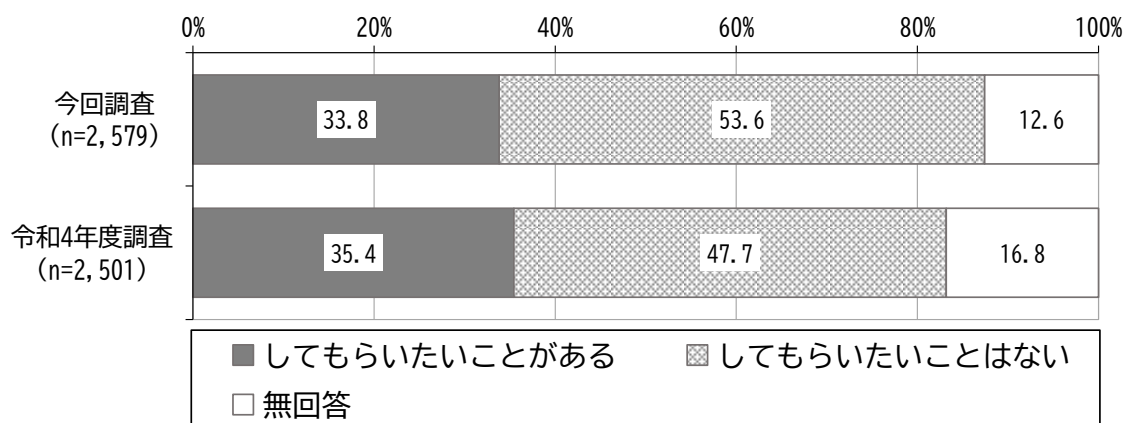


(9) 体が動かしにくくなった場合の有償支援希望の有無

問 46	今後、体が動かしにくくなったときに、近所の人やボランティアに、若干の料金を支払って、手助けをしてもらいたいことはありますか（1つだけ）
------	---

体が動かしにくくなった場合の有償支援希望の有無については、「してもらいたいことがある」が33.8%、「してもらいたいことはない」が53.6%となっています。

図表 2-6-18 体が動かしにくくなった場合の有償支援希望の有無

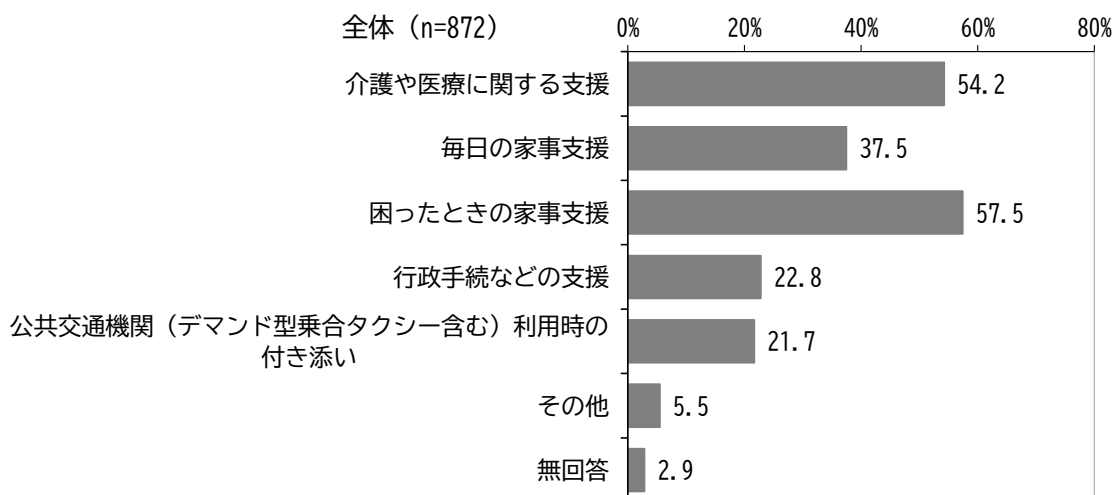


(10) 体が動かしにくくなった場合に有償で支援してほしい内容

問 46-①	問 46 で「①してもらいたいことがある」と答えた方（してもらいたいことがある）のみ、お答えください】 どのようなことをしてもらいたいですか（いくつでも）
--------	--

体が動かしにくくなった場合に有償で支援してほしい内容については、「困ったときの家事支援」が57.5%で最も高く、次いで「介護や医療に関する支援」が54.2%、「毎日の家事支援」が37.5%と続いています。

図表 2-6-19 体が動かしにくくなった場合に有償で支援してほしい内容



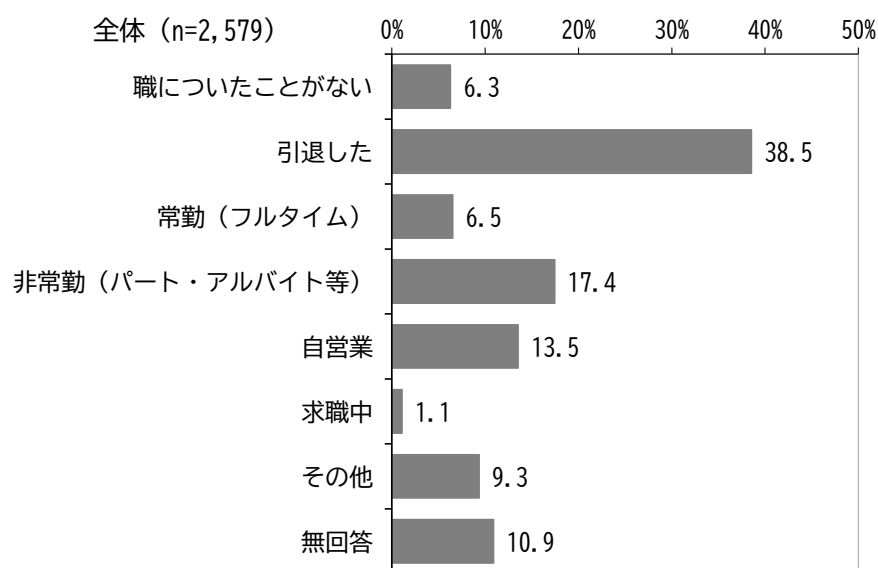
7 就労について

(1) 現在の就労状態

問 47 現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

現在の就労状態については、「引退した」が38.5%で最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が17.4%、「自営業」が13.5%と続いています。

図表 2-7-1 現在の就労状態



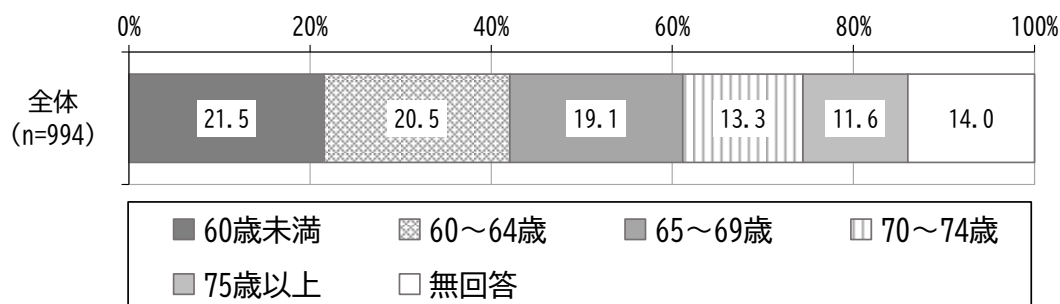
(2) 就労を引退した時期

問 47-①

【問 47 で「②引退した」と答えた方（引退した方）のみ、お答えください】
あなたはいつ引退しましたか。（1 つだけ回答し数値を記入）

就労を引退した時期については、「60歳未満」が21.5%で最も高く、次いで「60～64歳」が20.5%、「65～69歳」が19.1%と続いています。

図表 2-7-2 就労を引退した時期

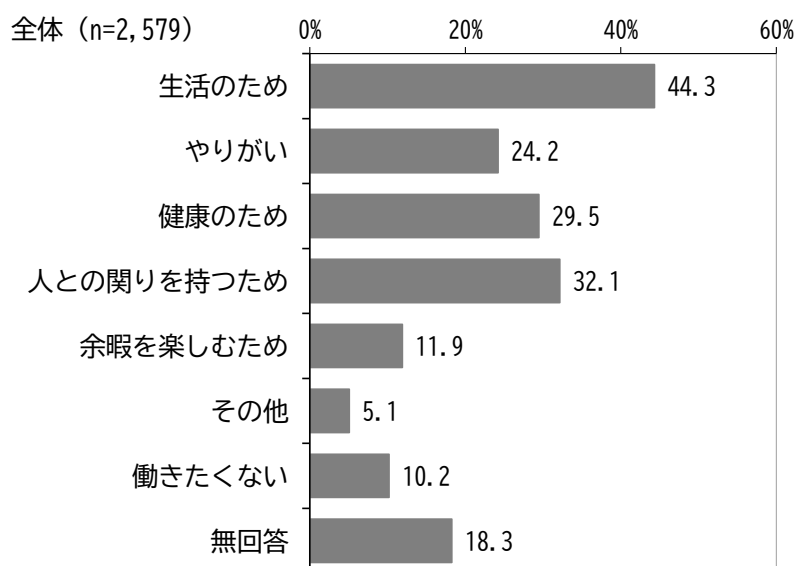


(3) 就労の目的

問 48 就労について、目的としてあてはまるものを選んでください（いくつでも）

就労の目的については、「生活のため」が44.3%で最も高く、次いで「人との関わりを持つため」が32.1%、「健康のため」が29.5%と続いています。

図表 2-7-3 就労の目的



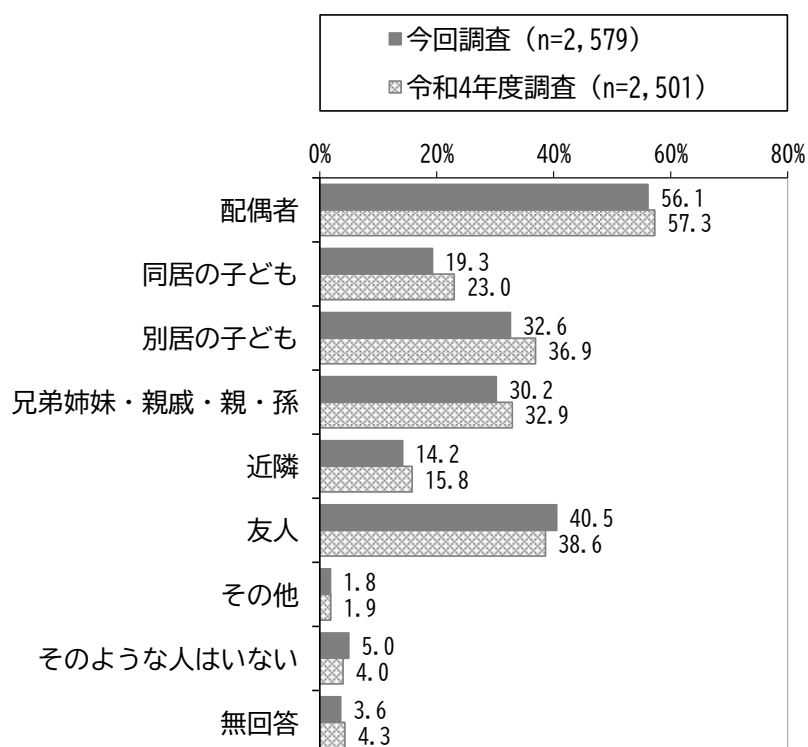
8 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人はいるか

問 49 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてくれる人はいるかについては、「配偶者」が56.1%で最も高く、次いで「友人」が40.5%、「別居の子ども」が32.6%と続いています。

図表 2-8-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人はいるか

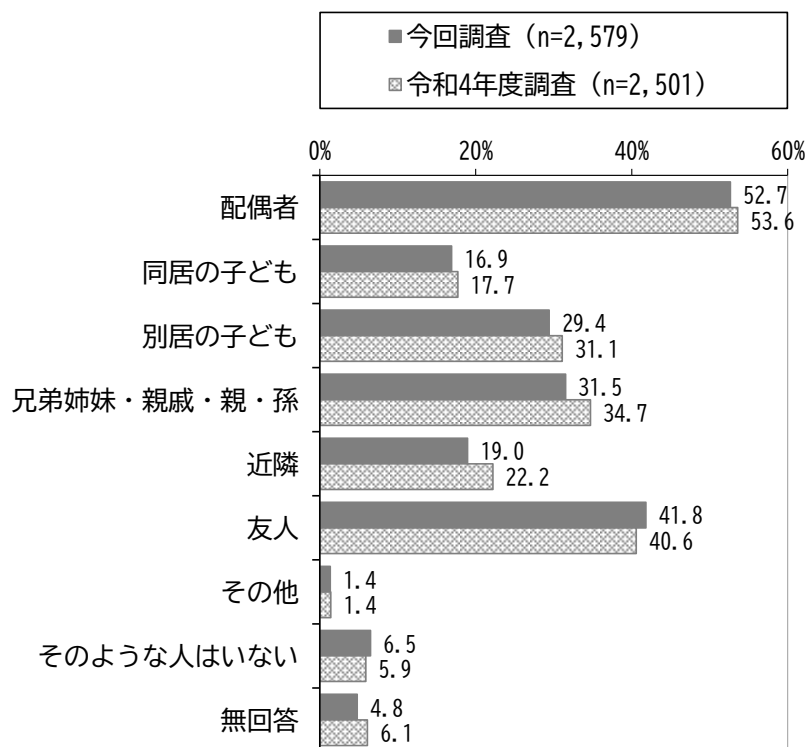


(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人はいるか

問 50 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる人はいるかについては、「配偶者」が52.7%で最も高く、次いで「友人」が41.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.5%と続いています。

図表 2-8-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人はいるか



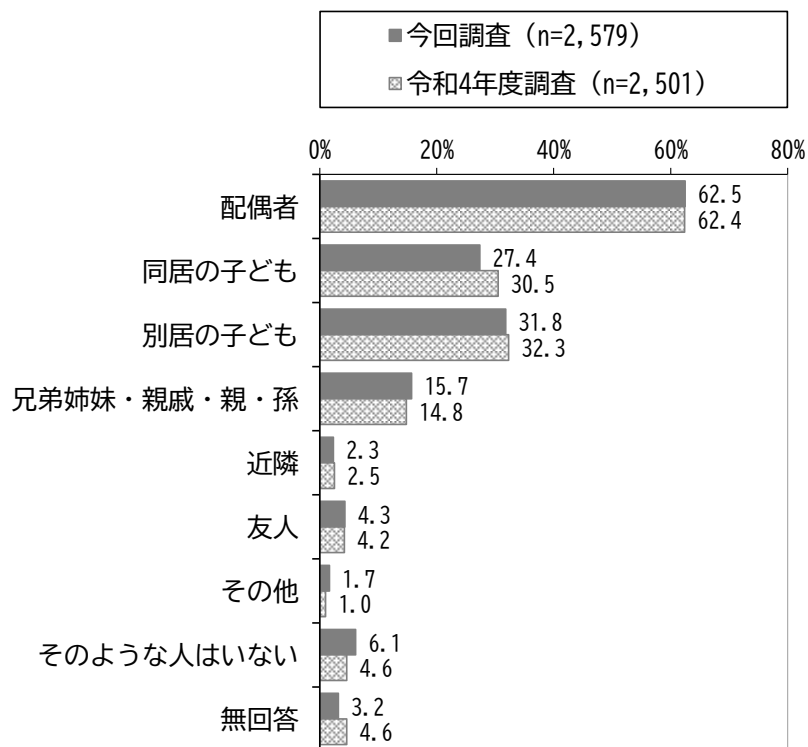
(3) 看病や世話をしてくれる人はいるか

問 51

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか
(いくつでも)

看病や世話をしてくれる人はいるかについては、「配偶者」が62.5%で最も高く、次いで「別居の子ども」が31.8%、「同居の子ども」が27.4%と続いています。

図表 2-8-3 看病や世話をしてくれる人はいるか

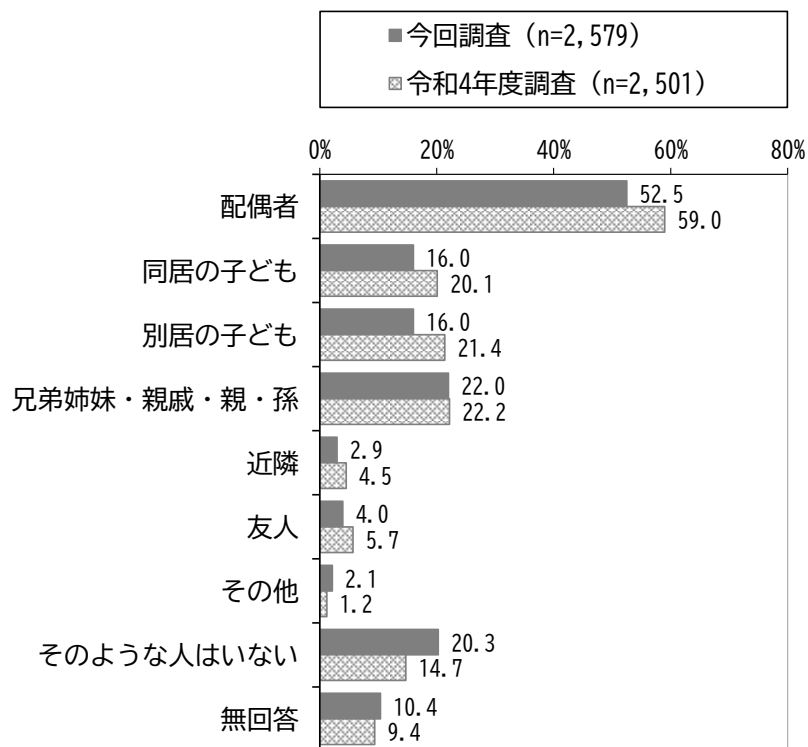


(4) 看病や世話をしてあげる人はいるか

問 52	反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか（いくつでも）
------	------------------------------

看病や世話をしてあげる人はいるかについては、「配偶者」が52.5%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が22.0%、「そのような人はいない」が20.3%と続いています。

図表 2-8-4 看病や世話をしてあげる人はいるか

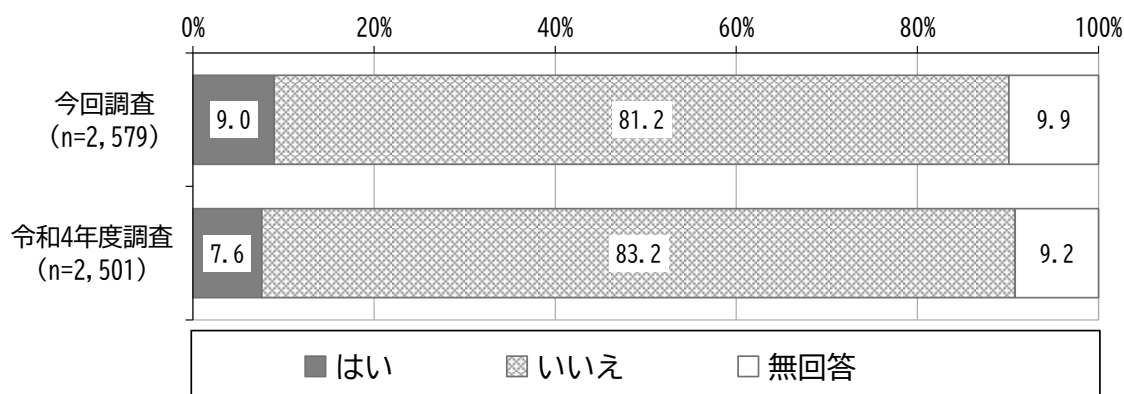


(5) 身元保証人がいない等の不安があるか

問 53	病院入院や施設入所の際、身元保証人（身元引受人）が必要となります事がありますが、身元保証人（身元引受人）がいない等の不安がありますか（1つだけ）
------	--

身元保証人がいない等の不安があるかについては、「はい」が9.0%、「いいえ」が81.2%となっています。

図表 2-8-5 身元保証人がいない等の不安があるか



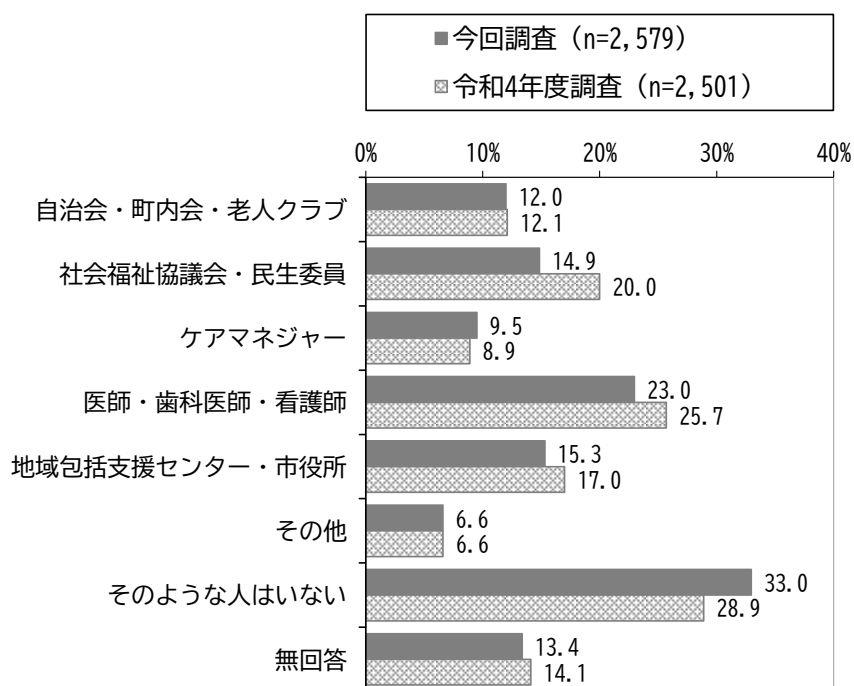
(6) 家族や友人・知人以外で相談する相手

問 54

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

家族や友人・知人以外で相談する相手については、「そのような人はいない」が33.0%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が23.0%、「地域包括支援センター・市役所」が15.3%と続いています。

図表 2-8-6 家族や友人・知人以外で相談する相手

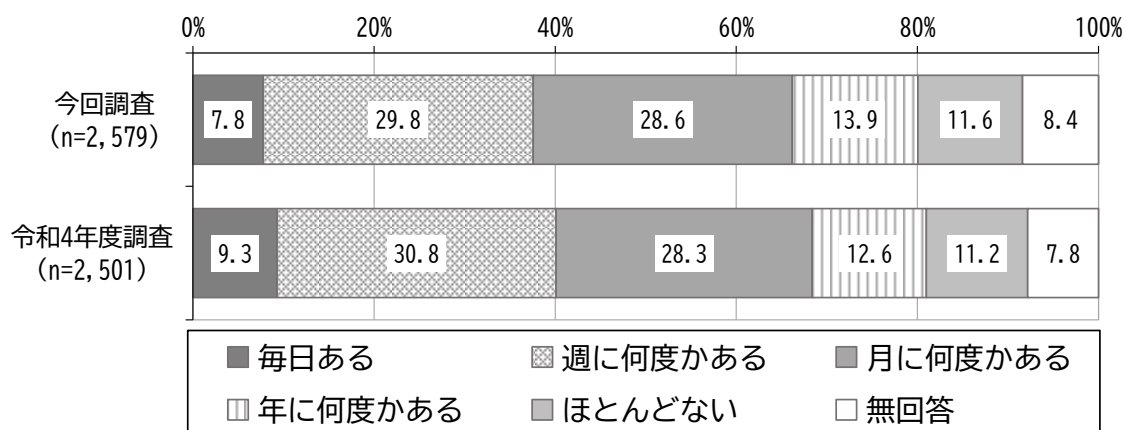


(7) 友人・知人と会う頻度

問 55	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つだけ）
------	---------------------------

友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が29.8%で最も高く、次いで「月に何度かある」が28.6%、「年に何度かある」が13.9%と続いています。

図表 2-8-7 友人・知人と会う頻度

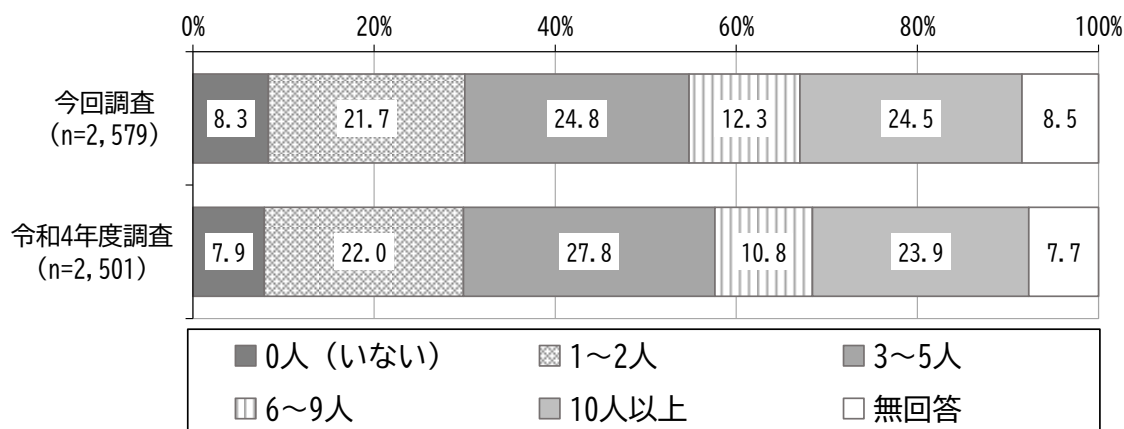


(8) この1か月間に何人の友人・知人と会ったか

問 56	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか（同じ人には何度会っても1人と数えることとします）（1つだけ）
------	---

この1か月間に何人の友人・知人と会ったかについては、「3～5人」が24.8%で最も高く、次いで「10人以上」が24.5%、「1～2人」が21.7%と続いています。

図表 2-8-8 この1か月間に何人の友人・知人と会ったか

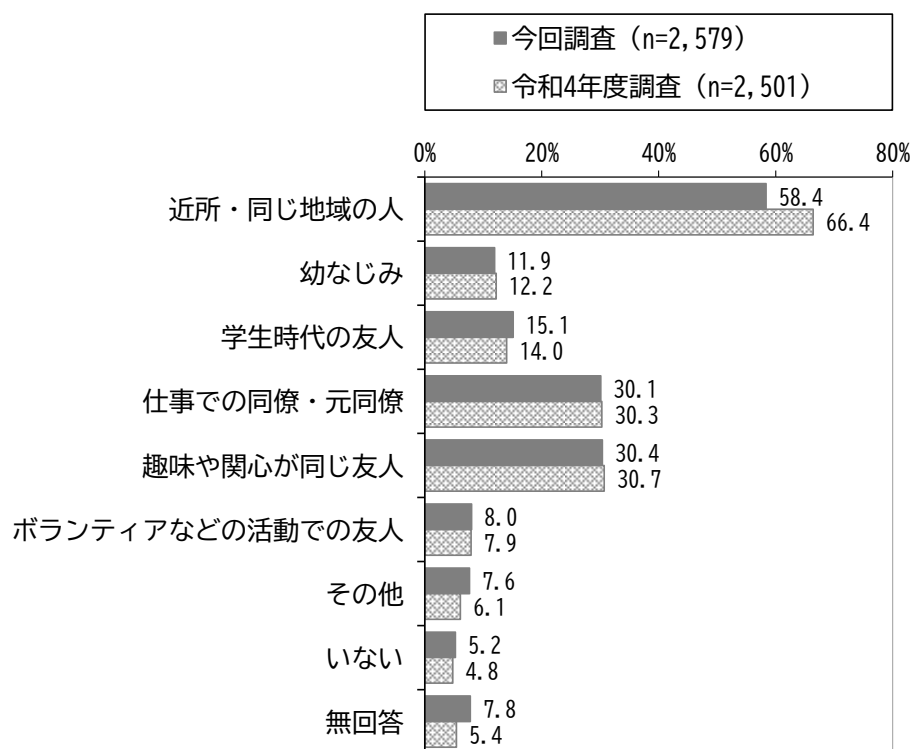


(9) よく会う友人・知人はどんな関係の人か

問 57 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

よく会う友人・知人はどんな関係の人かについては、「近所・同じ地域の人」が58.4%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が30.4%、「仕事での同僚・元同僚」が30.1%と続いています。

図表 2-8-9 よく会う友人・知人はどんな関係の人か

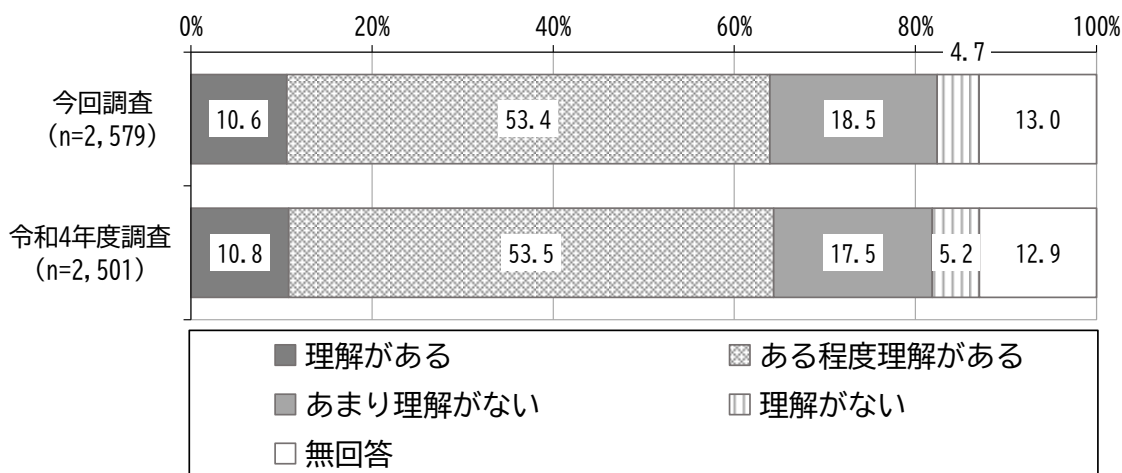


(10) 居住地は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか

問 58 お住まいの地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じますか（1つだけ）

居住地は認知症の高齢者に対して理解があると感じるかについては、「ある程度理解がある」が53.4%で最も高く、次いで「あまり理解がない」が18.5%、「理解がある」が10.6%と続いています。

図表 2-8-10 居住地は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか

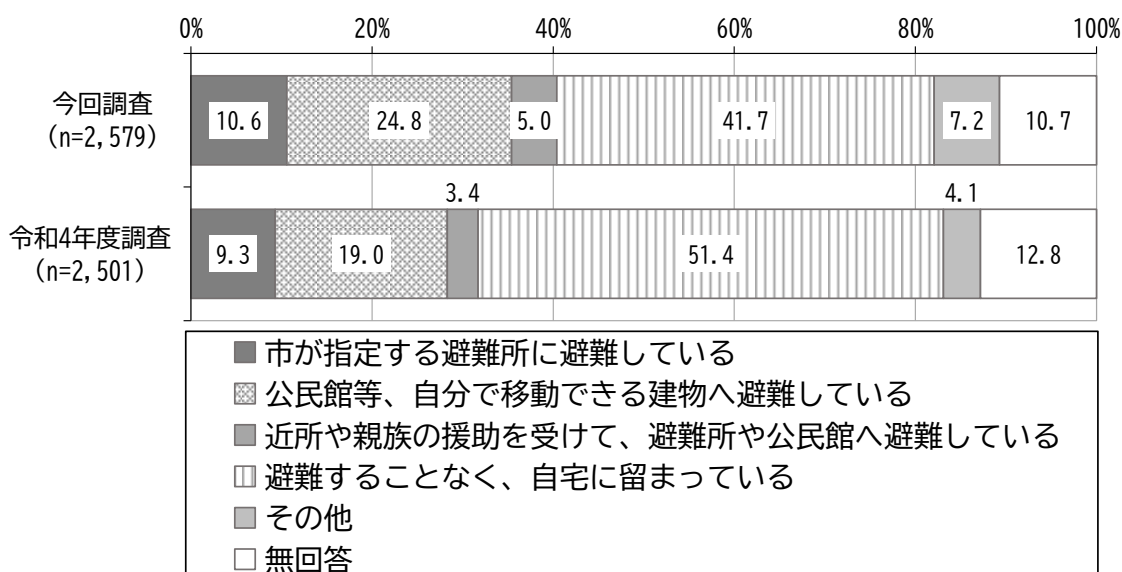


(11) 避難が必要な場合に応じた対応しているか

問 59 地震や台風などの自然災害があったとき、避難が必要な場合はどのように対応していますか（1つだけ）

避難が必要な場合に応じた対応しているかについては、「避難することなく、自宅に留まっている」が41.7%で最も高く、次いで「公民館等、自分で移動できる建物へ避難している」が24.8%、「市が指定する避難所に避難している」が10.6%と続いています。

図表 2-8-11 避難が必要な場合に応じた対応しているか



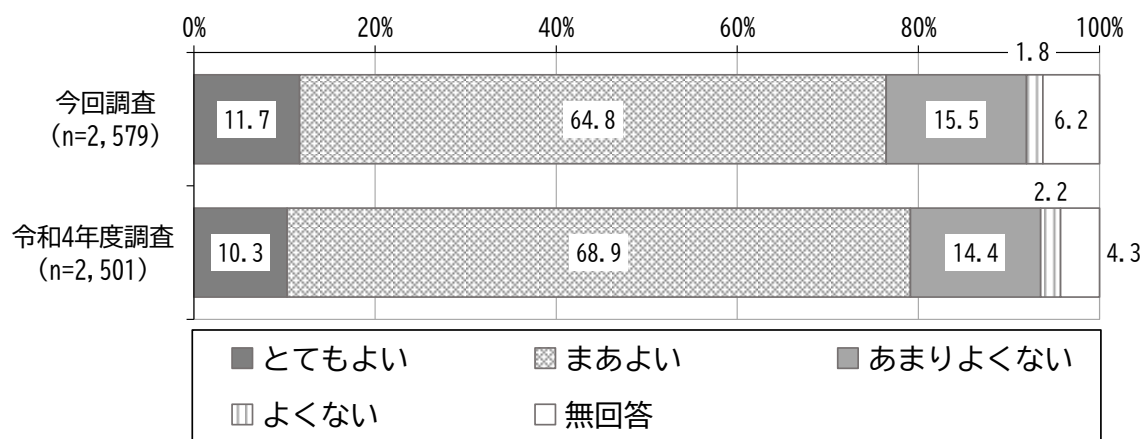
9 健康について

(1) 現在の健康状態

問 60 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つだけ）

現在の健康状態については、「まあよい」が 64.8%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 15.5%、「とてもよい」が 11.7%と続いています。

図表 2-9-1 現在の健康状態

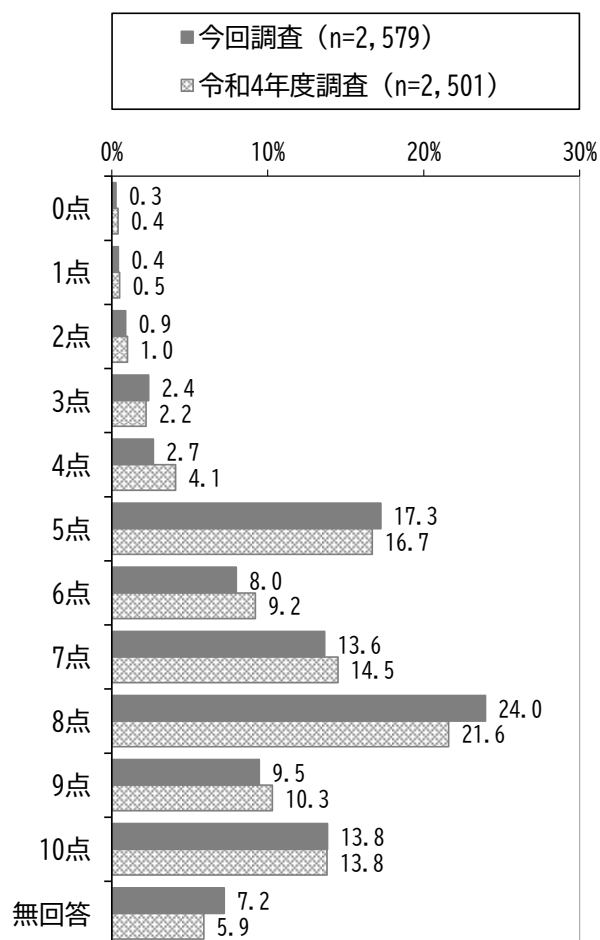


(2) 現在どの程度幸せか

問 61	あなたは、現在どの程度幸せですか（1つだけ） （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）
------	---

現在どの程度幸せかについては、「8点」が24.0%で最も高く、次いで「5点」が17.3%、「10点」が13.8%と続いています。

図表 2-9-2 現在どの程度幸せか

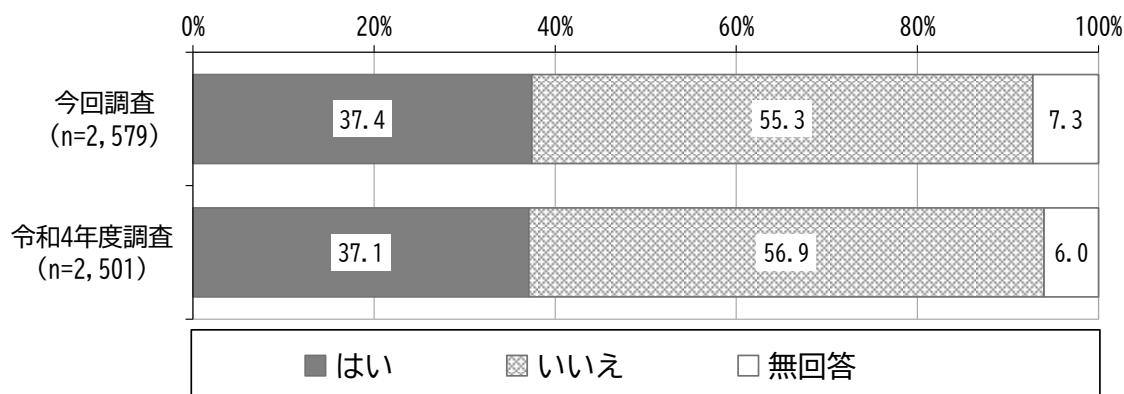


(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか

問 62	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つだけ）
------	---

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が37.4%、「いいえ」が55.3%となっています。

図表 2-9-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか

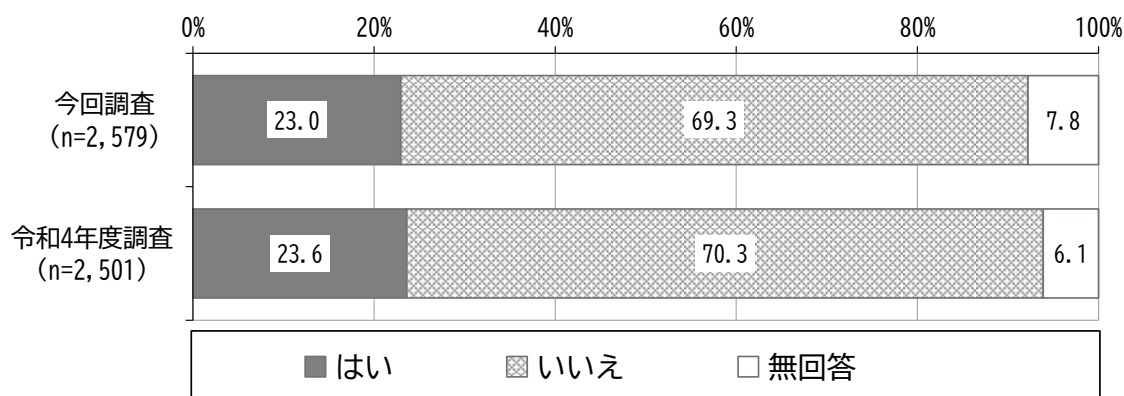


(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか

問 63	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つだけ）
------	---

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が23.0%、「いいえ」が69.3%となっています。

図表 2-9-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか

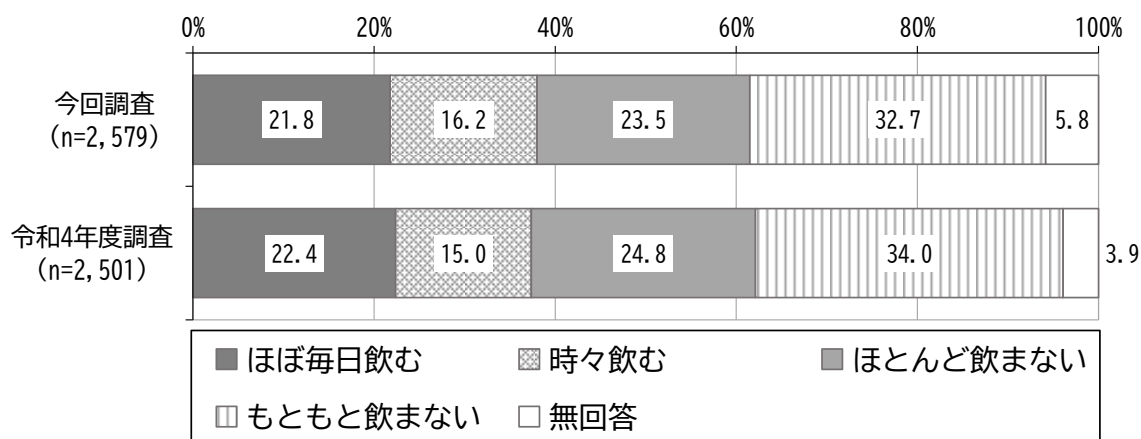


(5) お酒を飲むか

問 64 | お酒は飲みますか (1つだけ)

お酒を飲むかについては、「もともと飲まない」が32.7%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が23.5%、「ほぼ毎日飲む」が21.8%と続いています。

図表 2-9-5 お酒を飲むか

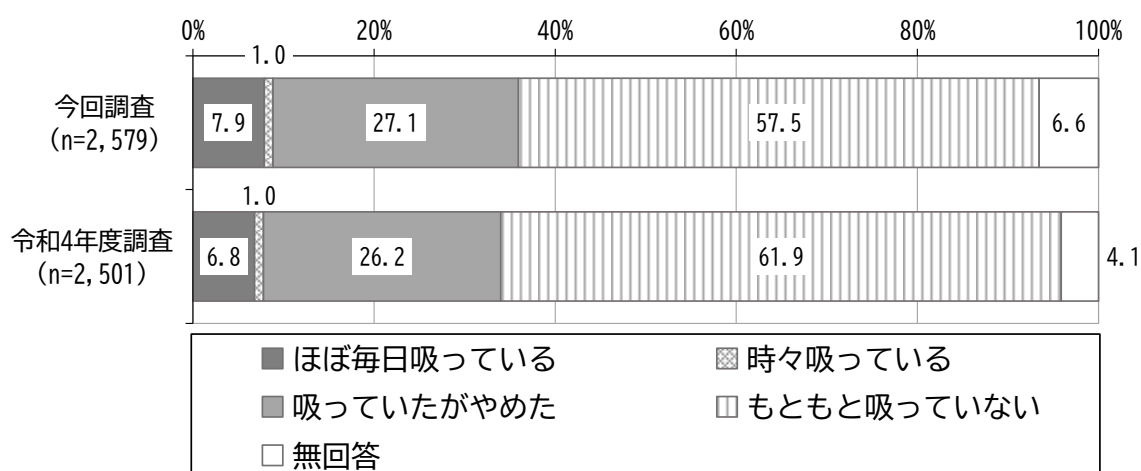


(6) タバコを吸っているか

問 65 | タバコは吸っていますか (1つだけ)

タバコを吸っているかについては、「もともと吸っていない」が57.5%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が27.1%、「ほぼ毎日吸っている」が7.9%と続いています。

図表 2-9-6 タバコを吸っているか

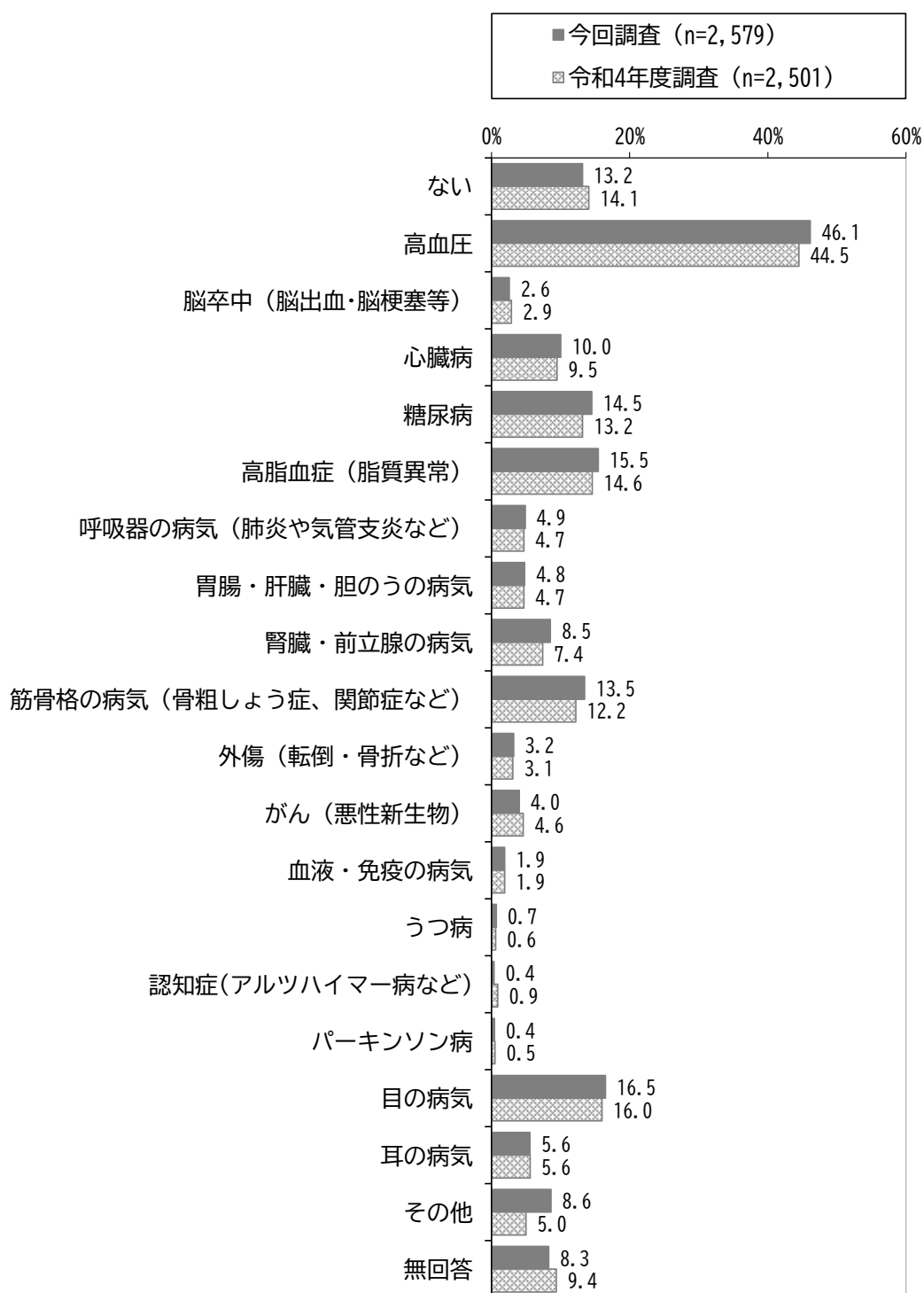


(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はあるか

問 66	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）
------	--------------------------------

現在治療中、または後遺症のある病気はあるかについては、「高血圧」が46.1%で最も高く、次いで「目の病気」が16.5%、「高脂血症（脂質異常）」が15.5%と続いています。

図表 2-9-7 現在治療中、または後遺症のある病気はあるか



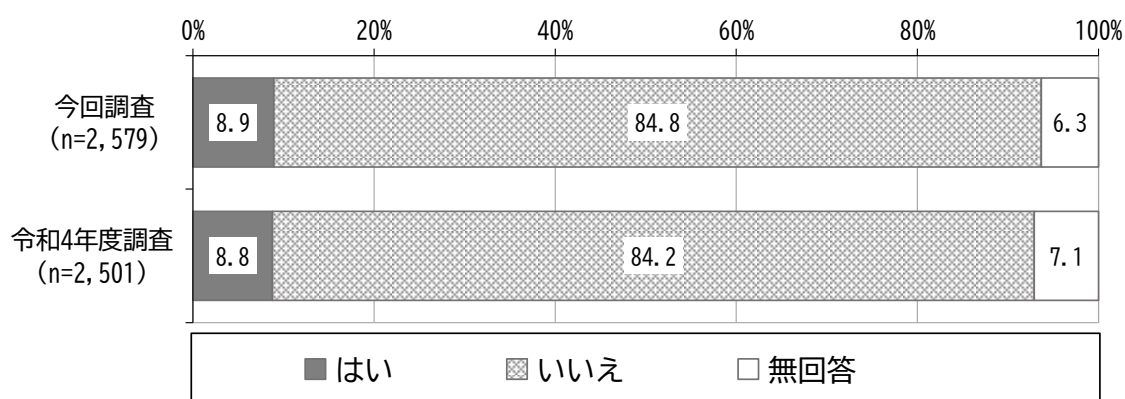
10 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

問 67	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つだけ）
------	-------------------------------------

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」が8.9%、「いいえ」が84.8%となっています。

図表 2-10-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

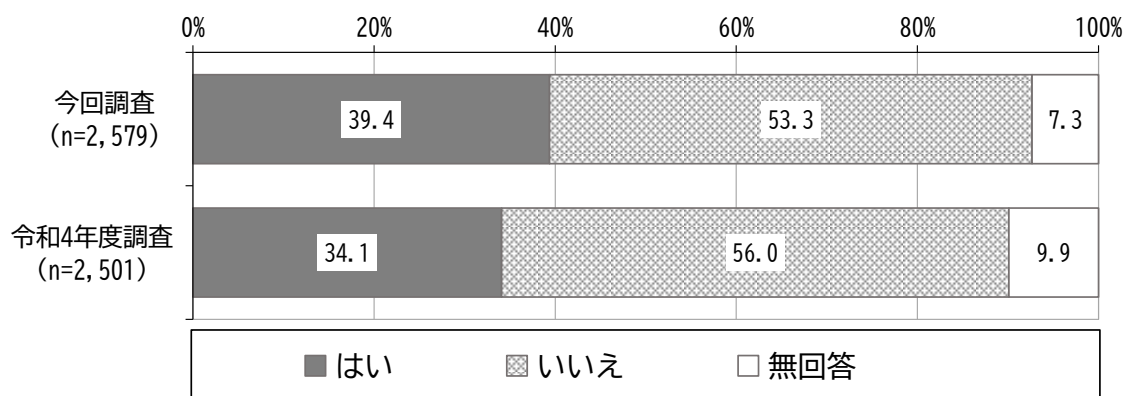


(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問 68	認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つだけ）
------	---------------------------

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が39.4%、「いいえ」が53.3%となっています。

図表 2-10-2 認知症に関する相談窓口を知っているか

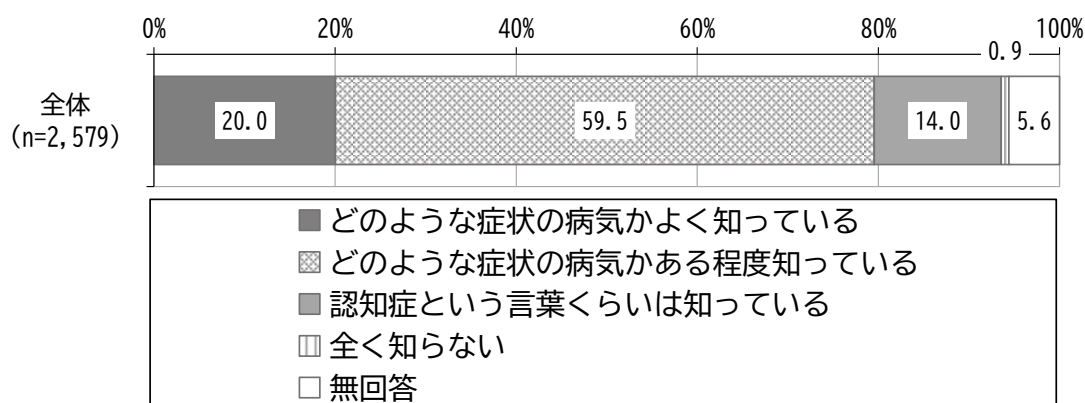


(3) 認知症という病気について、どの程度知っているか

問 69	認知症という病気について、どの程度知っていますか (1つだけ)
------	---------------------------------

認知症という病気について、どの程度知っているかについては、「どのような症状の病気かある程度知っている」が59.5%で最も高く、次いで「どのような症状の病気かよく知っている」が20.0%、「認知症という言葉くらいは知っている」が14.0%と続いています。

図表 2-10-3 認知症という病気について、どの程度知っているか

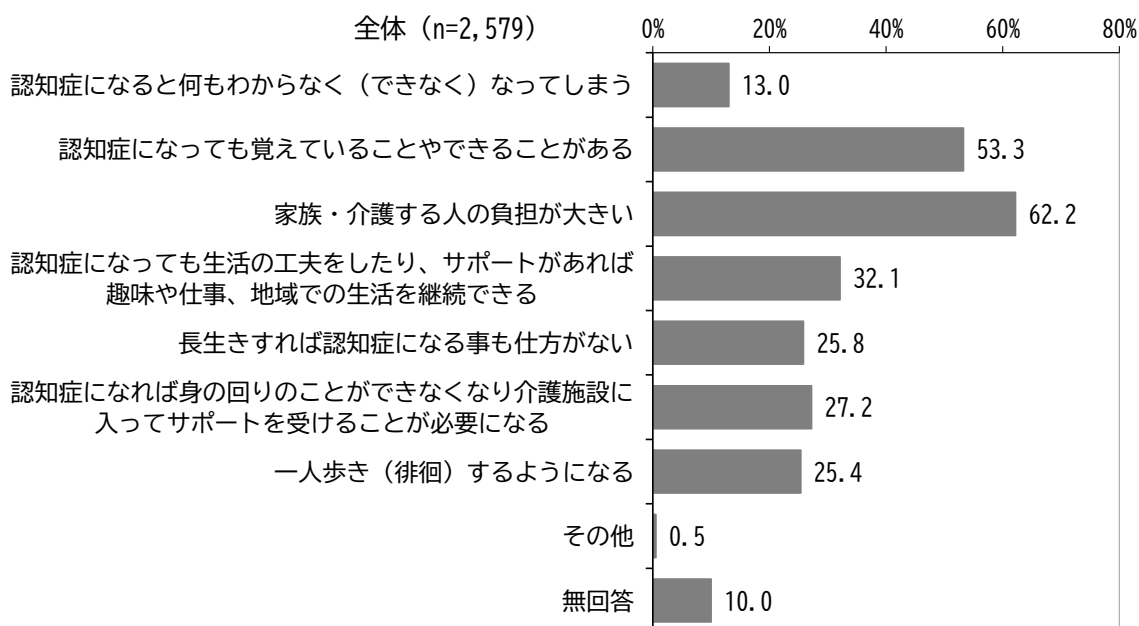


(4) 認知症のイメージ

問 70	認知症のイメージについて教えてください (3つまで)
------	----------------------------

認知症のイメージについては、「家族・介護する人の負担が大きい」が62.2%で最も高く、次いで「認知症になっても覚えていることやできることがある」が53.3%、「認知症になっても生活の工夫をしたり、サポートがあれば趣味や仕事、地域での生活を継続できる」が32.1%と続いています。

図表 2-10-4 認知症のイメージ

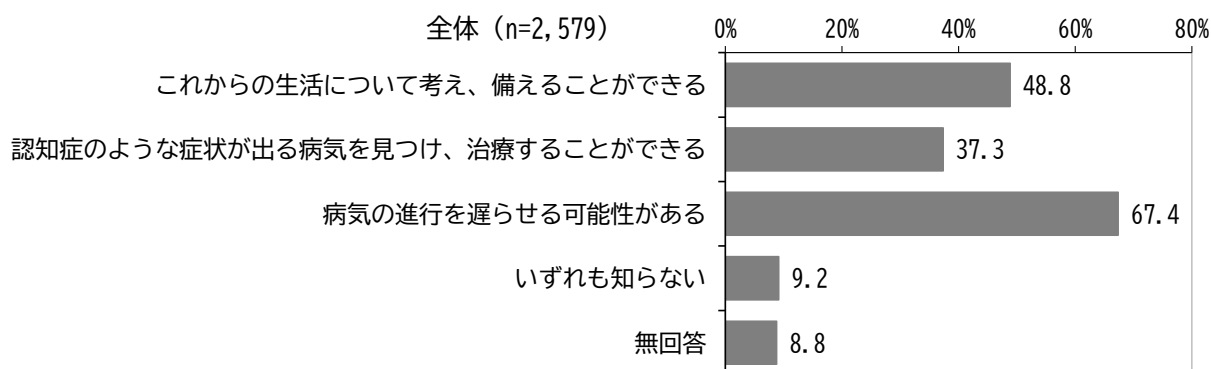


(5) 認知症の早期発見のメリットで知っていること

問 71	認知症は他の病気と同様、早期発見と早期対応が大切な病気です。早期発見により以下のメリットがあるとされていますが、知っていることを教えてください。 (いくつでも)
------	---

認知症の早期発見のメリットで知っていることについては、「病気の進行を遅らせる可能性がある」が67.4%で最も高く、次いで「これからの生活について考え、備えることができる」が48.8%、「認知症のような症状が出る病気を見つけ、治療することができる」が37.3%と続いています。

図表 2-10-5 認知症の早期発見のメリットで知っていること

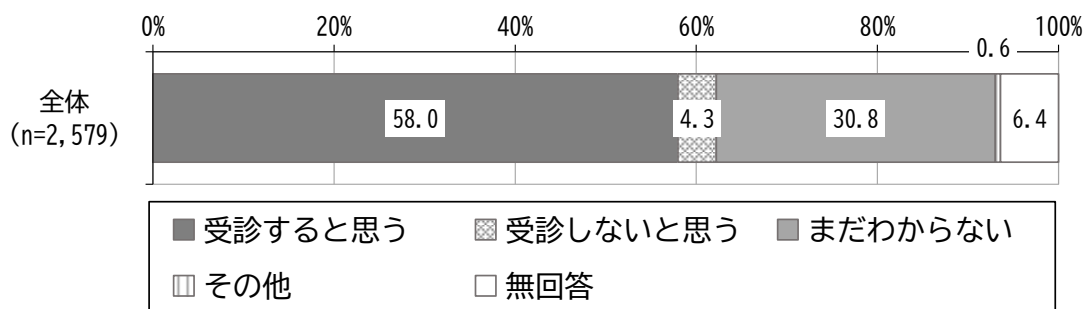


(6) 認知症が疑われる場合の受診意向

問 72	自分のことを「認知症かもしれない」と思ったり、周りから受診を勧められたら、医療機関を受診すると思いますか (1つだけ)
------	---

認知症が疑われる場合の受診意向については、「受診すると思う」が58.0%で最も高く、次いで「まだわからない」が30.8%、「受診しないと思う」が4.3%と続いています。

図表 2-10-6 認知症が疑われる場合の受診意向



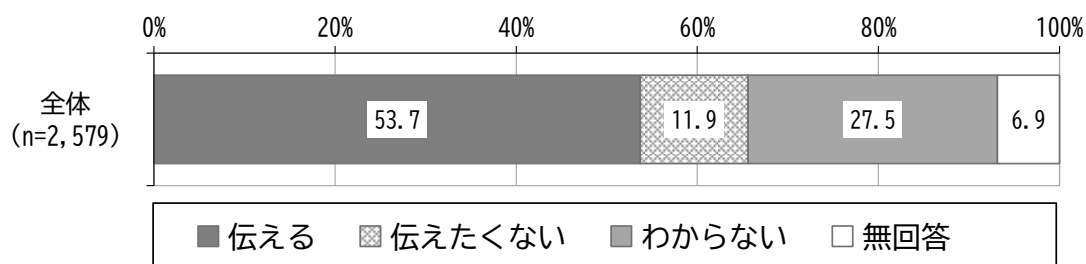
(7) 自分や家族が認知症になった場合、周囲に認知症であることを伝えると思うか

問 73

自分や家族が認知症になった場合、周囲に認知症であることを伝えると思いますか
(1つだけ)

自分や家族が認知症になった場合、周囲に認知症であることを伝えると思うかについては、「伝える」が53.7%で最も高く、次いで「わからない」が27.5%、「伝えたくない」が11.9%となっています。

図表 2-10-7 自分や家族が認知症になった場合、周囲に認知症であることを伝えると思うか

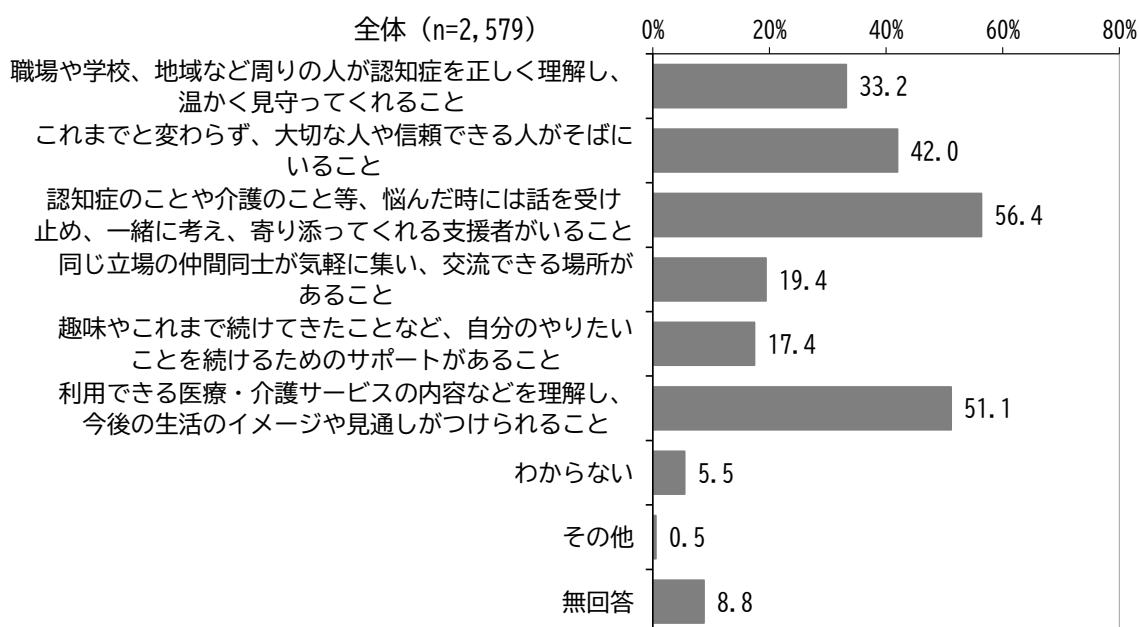


(8) 認知症になっても安心して、希望をもって暮らし続けることができるために必要だと思うこと

問 74	自分や大切な人が認知症になったとしても、安心して、希望をもって暮らし続けることができるために必要だと思うことを教えてください（3つまで）
------	--

認知症になっても安心して、希望をもって暮らし続けることができるために必要だと思うことについては、「認知症のことや介護のこと等、悩んだ時には話を受け止め、一緒に考え、寄り添ってくれる支援者がいること」が56.4%で最も高く、次いで「利用できる医療・介護サービスの内容などを理解し、今後の生活のイメージや見通しがつけられること」が51.1%、「これまでと変わらず、大切な人や信頼できる人がそばにいること」が42.0%と続いています。

図表 2-10-8 認知症になっても安心して、希望をもって暮らし続けることができるために必要だと思うこと



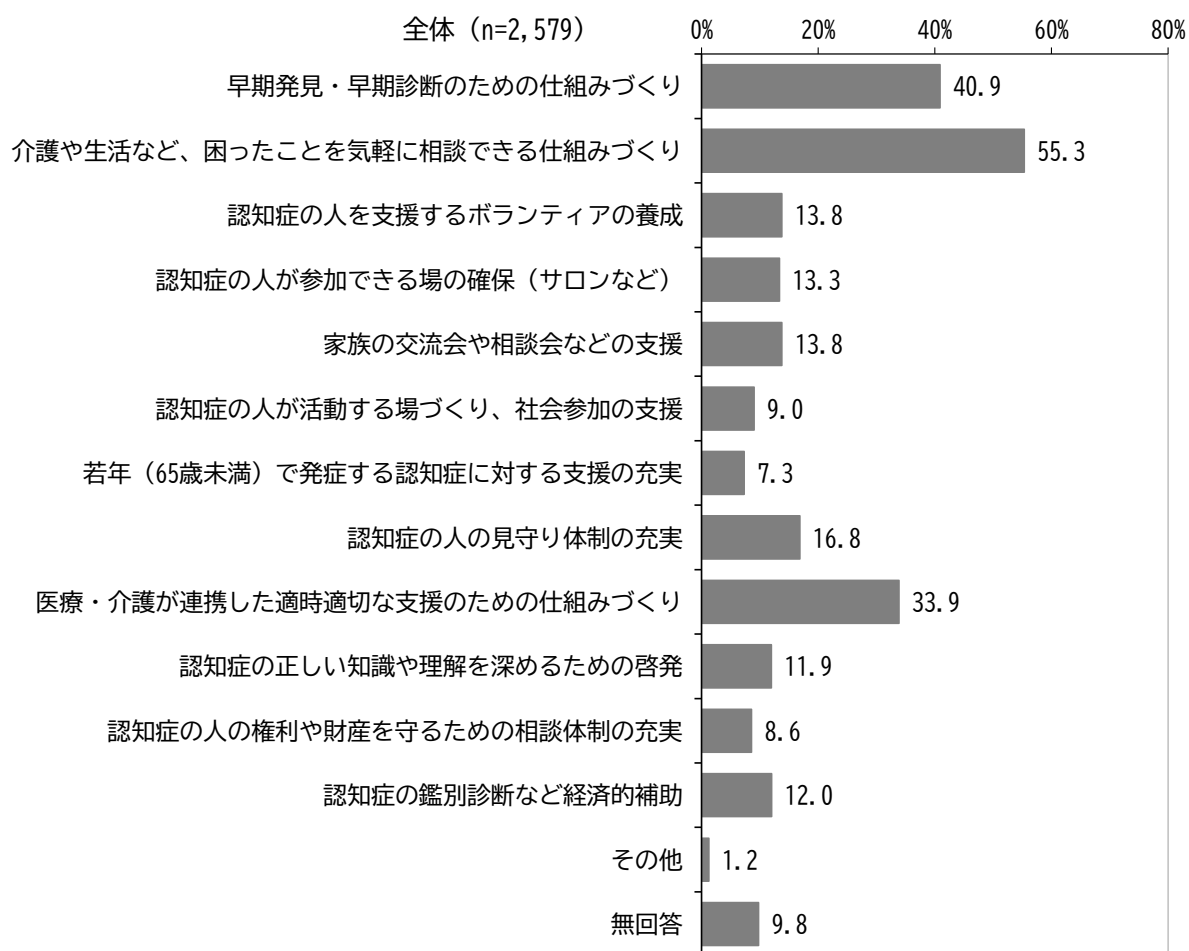
(9) 認知症施策で重点を置くべきだと思うこと

問 75

今後、認知症施策を進めていくうえで、市はどのようなことに重点を置くべきだと思いますか（3つまで）

認知症施策で重点を置くべきだと思うことについては、「介護や生活など、困ったことを気軽に相談できる仕組みづくり」が55.3%で最も高く、次いで「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」が40.9%、「医療・介護が連携した適時適切な支援のための仕組みづくり」が33.9%と続いています。

図表 2-10-9 認知症施策で重点を置くべきだと思うこと



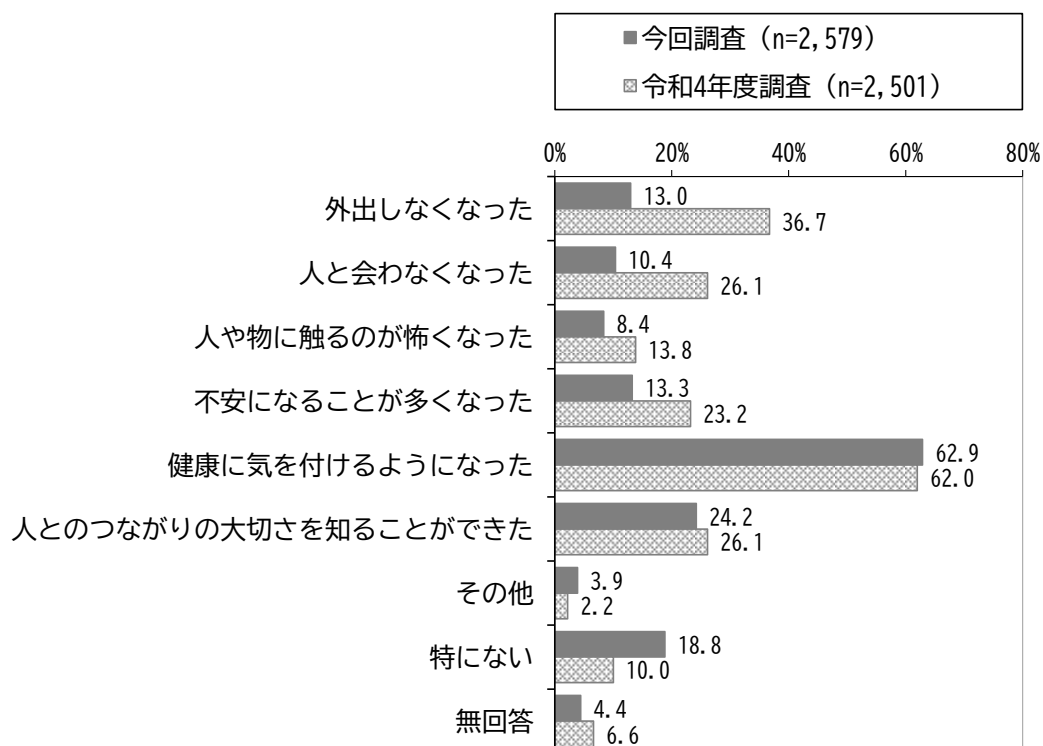
11 コロナ禍の影響について

(1) コロナ禍を経て行動や意識に変化があったか

問 76 コロナ禍を経て、あなたの行動や意識に変化はありましたか（いくつでも）

コロナ禍を経て行動や意識に変化があったかについては、「健康に気を付けるようになった」が62.9%で最も高く、次いで「人とのつながりの大切さを知ることができた」が24.2%、「特にない」が18.8%と続いています。

図表 2-11-1 コロナ禍を経て行動や意識に変化があったか



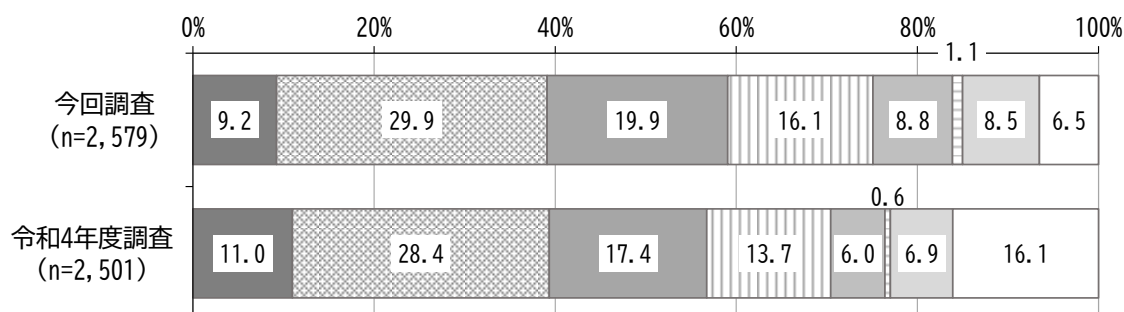
12 介護保険制度などについて

(1) 介護が必要になった場合、どのように暮らしたいか

問 77	今後、あなたご自身に介護が必要になった場合、どのように暮らしたいですか (1つだけ)
------	---

介護が必要になった場合、どのように暮らしたいかについては、「自宅で、家族による介護のほか介護サービスを利用しながら暮らしたい」が29.9%で最も高く、次いで「自宅で、介護サービスを利用して暮らしたい」が19.9%、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」が16.1%と続いています。

図表 2-12-1 介護が必要になった場合、どのように暮らしたいか



- 自宅で、家族から介護を受けて暮らしたい
- ▨ 自宅で、家族による介護のほか介護サービスを利用しながら暮らしたい
- 自宅で、介護サービスを利用して暮らしたい
- ▨ 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい
- 高齢者専用住宅で暮らしたい（サービス付き高齢者向け住宅など）
- その他
- わからない
- 無回答

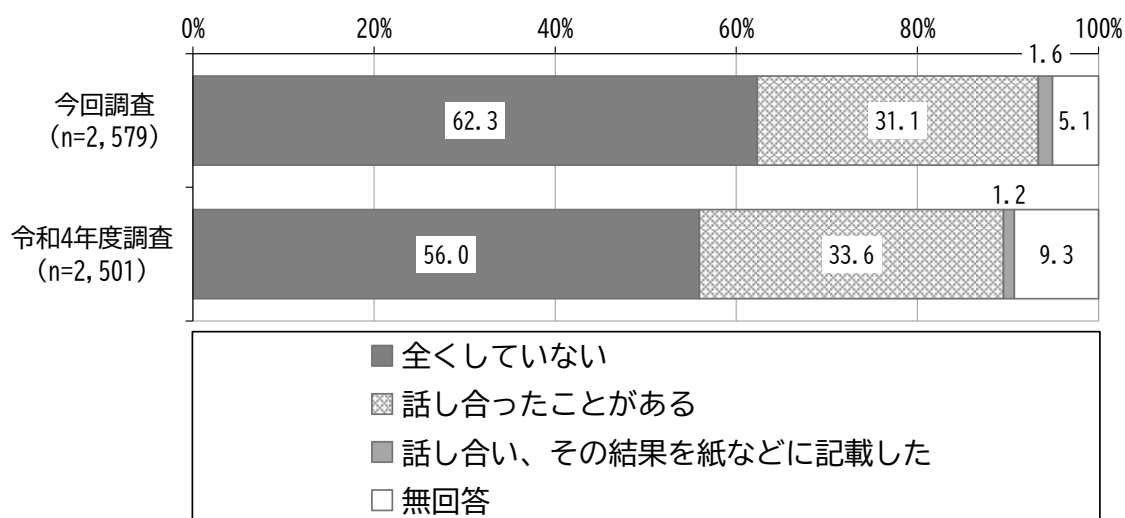
(2) ACP（人生会議）の実施状況

問 78

人生の最期（最終段階）について誰かと話し合い（ACP:人生会議）をしていますか
（1つだけ）

ACP（人生会議）の実施状況については、「全くしていない」が62.3%で最も高く、次いで「話し合ったことがある」が31.1%、「話し合い、その結果を紙などに記載した」が1.6%となっています。

図表 2-12-2 ACP（人生会議）の実施状況

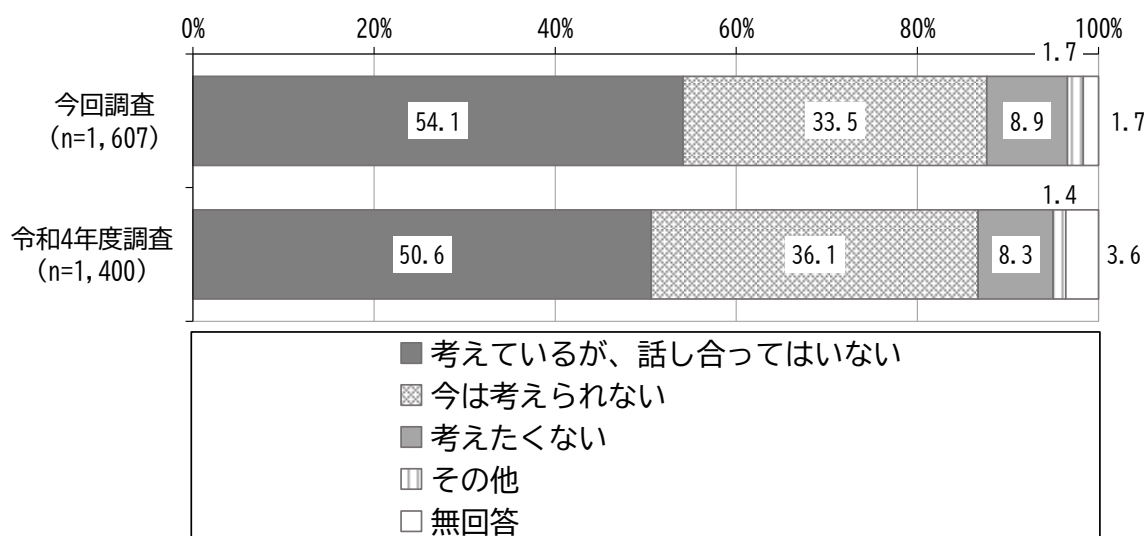


(3) ACP（人生会議）を実施していない理由

問 78-①	【問 78 で「①全くしていない」と答えた方（全くしていない方）のみ、お答えください】 していない理由は何ですか（1つだけ）
--------	---

ACP（人生会議）を実施していない理由については、「考えているが、話し合っていない」が54.1%で最も高く、次いで「今は考えられない」が33.5%、「考えたくない」が8.9%と続いています。

図表 2-12-3 ACP（人生会議）を実施していない理由

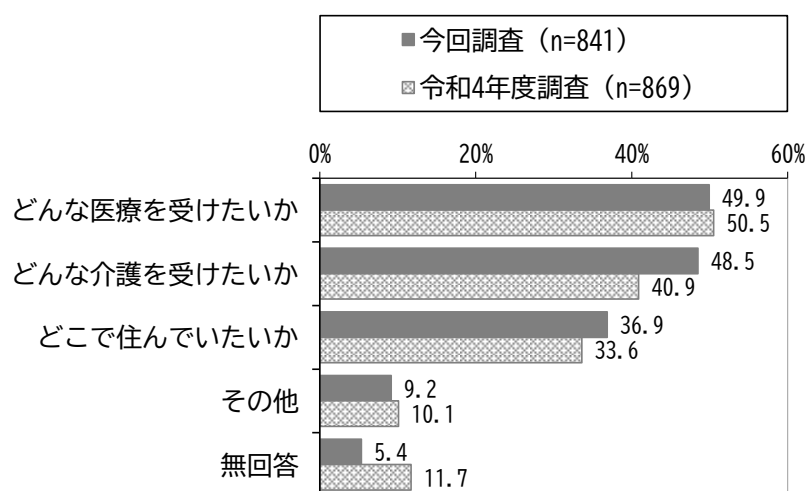


(4) ACP（人生会議）の実施内容

問 78-②	【問 78 で「②話し合ったことがある」と「③話し合い、その結果を紙などに記載した」を答えた方（話し合ったことがある方）のみ、お答えください。】 どんな内容をお話しましたか（いくつでも）
--------	--

ACP（人生会議）の実施内容については、「どんな医療を受けたいか」が49.9%で最も高く、次いで「どんな介護を受けたいか」が48.5%、「どこで住んでいきたいか」が36.9%と続いています。

図表 2-12-4 ACP（人生会議）の実施内容

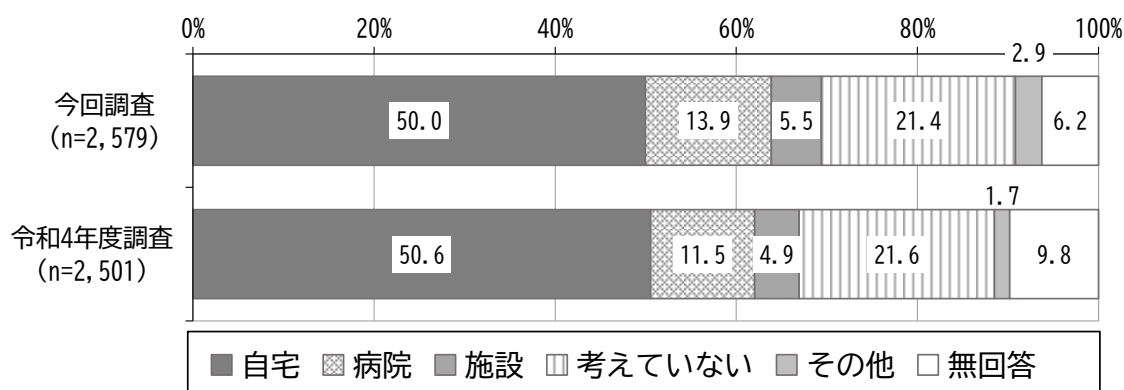


(5) 人生の最期をどこで迎えたいか

問 79	あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか（1つだけ）
------	-----------------------------

人生の最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」が50.0%で最も高く、次いで「考えていない」が21.4%、「病院」が13.9%と続いています。

図表 2-12-5 人生の最期をどこで迎えたいか

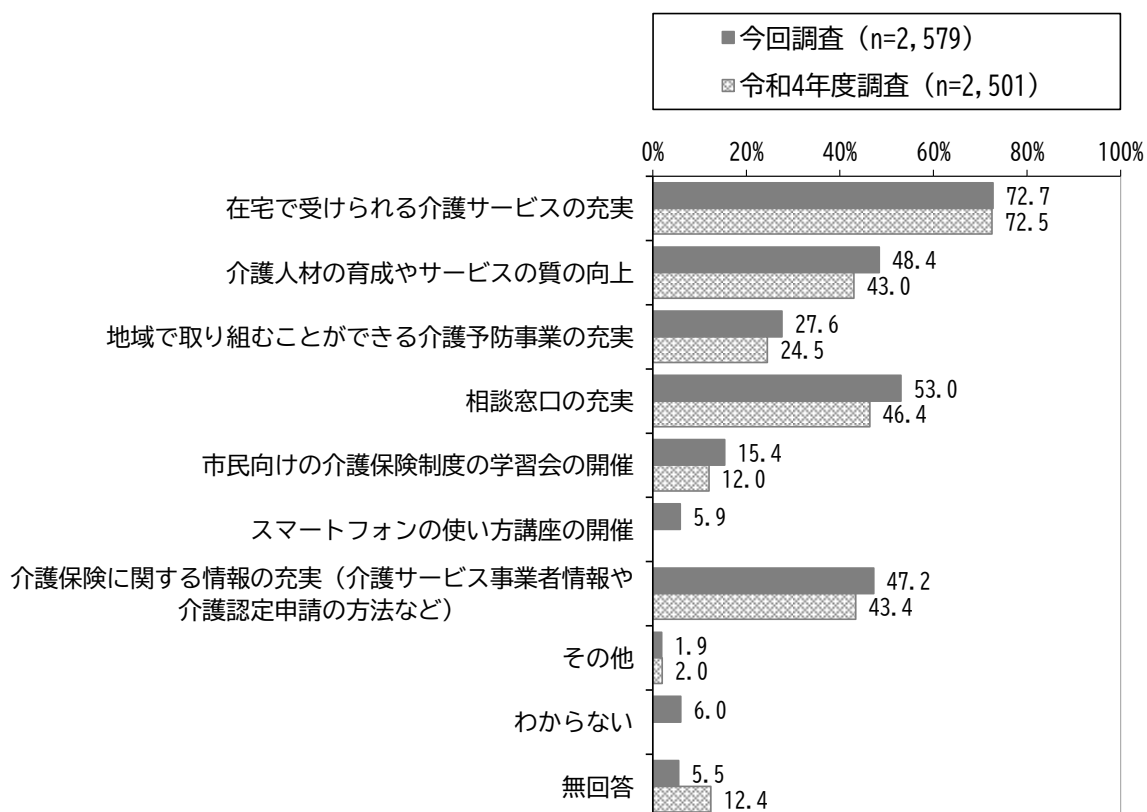


(6) 今後の介護保険制度に対してどのようなことが必要だと思うか

問 80	今後の介護保険制度に対してどのようなことが必要だと思いますか（5つまで）
------	--------------------------------------

今後の介護保険制度に対してどのようなことが必要だと思うかについては、「在宅で受けられる介護サービスの充実」が72.7%で最も高く、次いで「相談窓口の充実」が53.0%、「介護人材の育成やサービスの質の向上」が48.4%と続いています。

図表 2-12-6 今後の介護保険制度に対してどのようなことが必要だと思うか



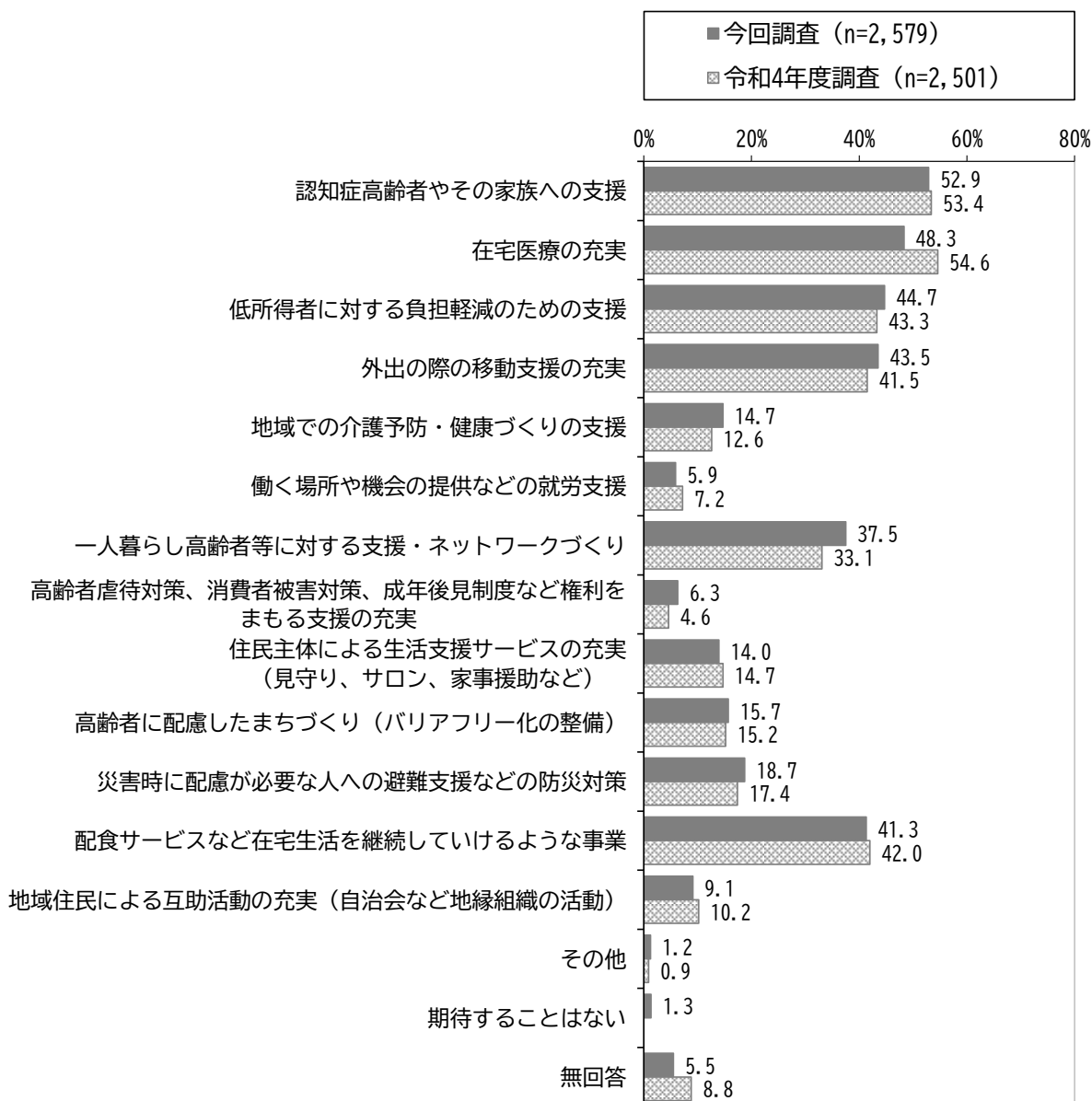
※ 「スマートフォンの使い方講座の開催」、「わからない」は今回調査からの選択肢

(7) 今後の高齢者保健福祉に期待すること

問 81 今後の高齢者保健福祉に対してどのようなことを期待しますか (5 つまで)

今後の高齢者保健福祉に期待することについては、「認知症高齢者やその家族への支援」が52.9%で最も高く、次いで「在宅医療の充実」が48.3%、「低所得者に対する負担軽減のための支援」が44.7%と続いています。

図表 2-12-7 今後の高齢者保健福祉に期待すること



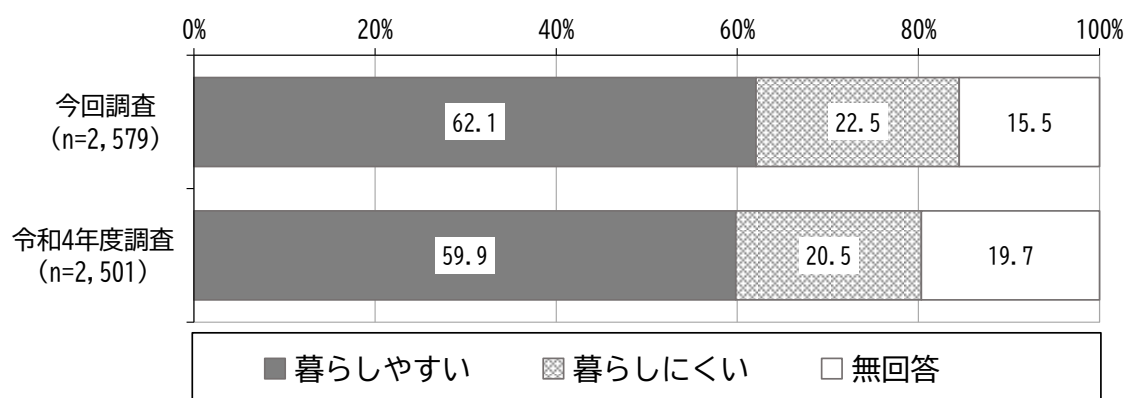
※ 「期待することはない」は今回調査からの選択肢

(8) 丹波市の暮らしやすさに関する評価

問 82	丹波市はあなたにとって暮らしやすいところですか (1つだけ)
------	--------------------------------

丹波市の暮らしやすさに関する評価については、「暮らしやすい」が62.1%、「暮らしにくい」が22.5%となっています。

図表 2-12-8 丹波市の暮らしやすさに関する評価



13 リスク判定

本節では、地域の課題や必要なサービス等を把握するため、調査項目を使用し、各種リスク判定を行っています。

(1) 運動器機能の低下

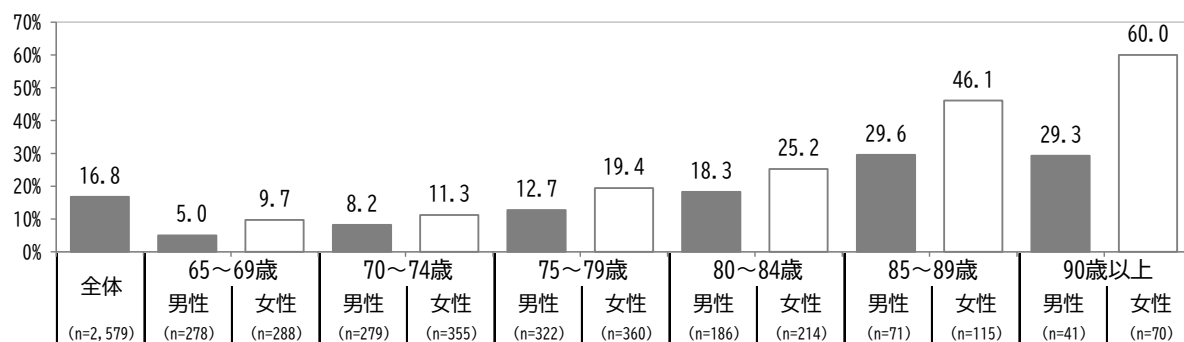
下記の5設問について、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器機能の低下している高齢者として判定しました。

図表 3-13-1 運動器機能の低下を判定するための項目

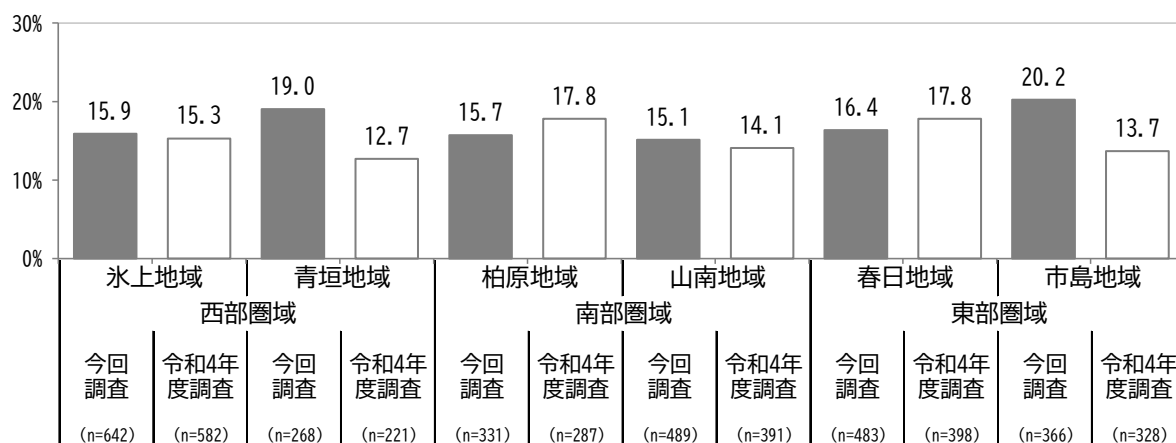
設問番号	設問	該当する選択肢
問 5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「③できない」
問 6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「③できない」
問 7	15分位続けて歩いていますか	「③できない」
問 8	過去1年間に転んだ経験がありますか	「①何度もある」 「②1度ある」
問 9	転倒に対する不安は大きいですか	「①とても不安である」 「②やや不安である」

運動器機能が低下している高齢者の割合は、全体で16.8%となっています。

図表 3-13-2 運動器機能の低下 該当者の割合



図表 3-13-3 運動器機能の低下 地域別



(2) 転倒リスク

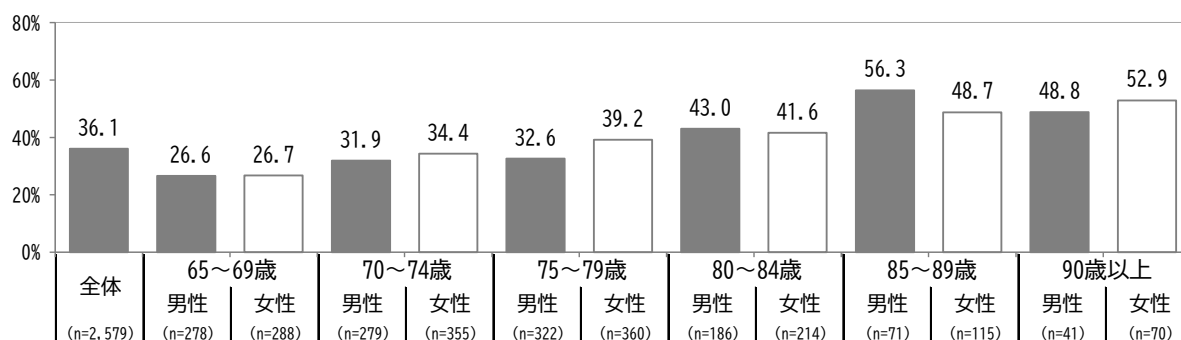
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクのある高齢者として判定しました。

図表 3-13-4 転倒リスクを判定するための項目

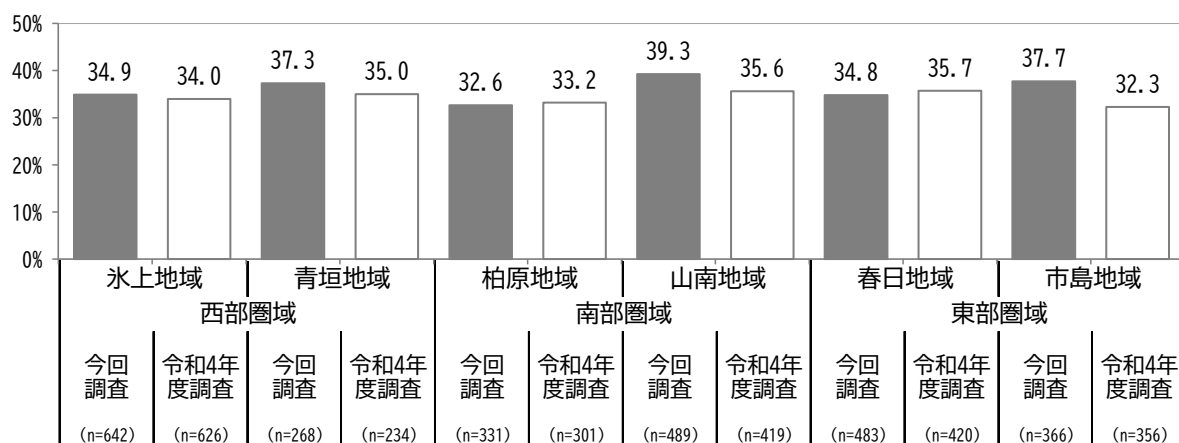
設問番号	設問	該当する選択肢
問 8	過去1年間に転んだ経験がありますか	「①何度もある」 「②1度ある」

高齢者の割合は、全体で36.1%となっています。

図表 3-13-5 転倒リスク 該当者の割合



図表 3-13-6 転倒リスク 地域別



(3) 閉じこもり傾向

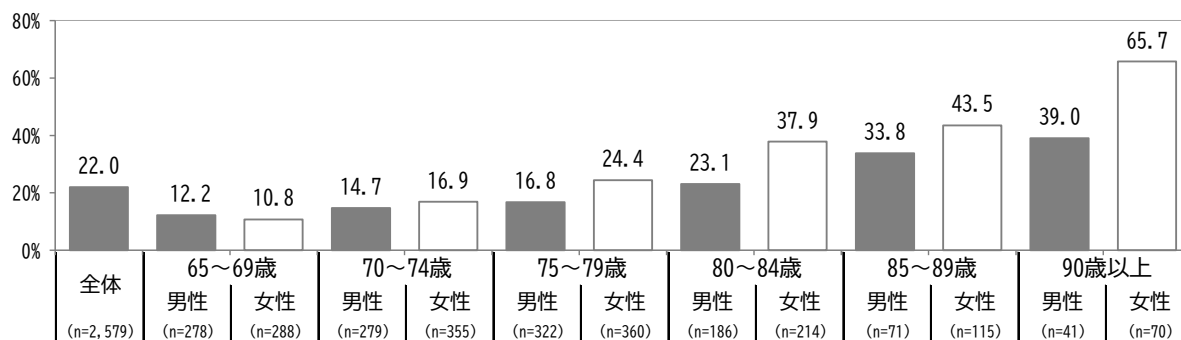
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、閉じこもり傾向の高齢者として判定しました。

図表 3-13-7 閉じこもり傾向を判定するための項目

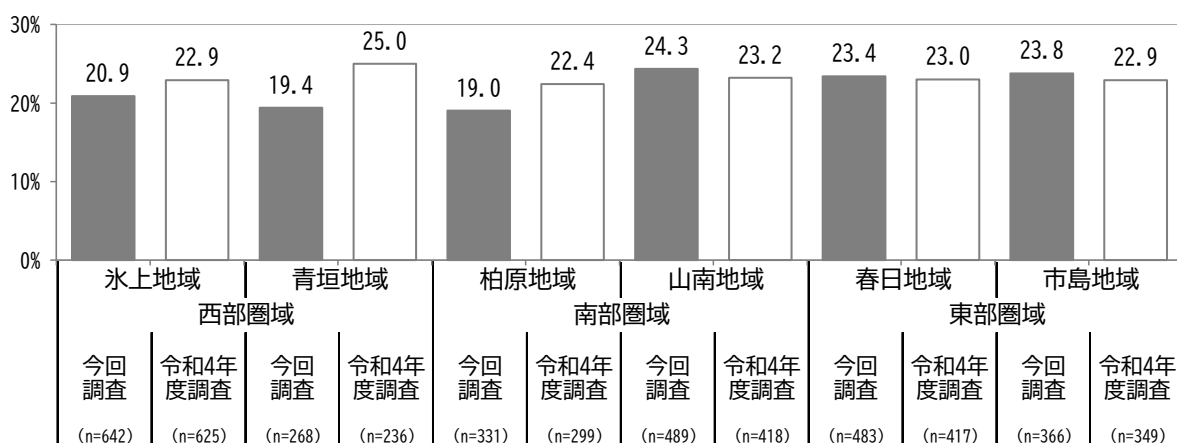
設問番号	設問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか	「①ほとんど外出しない」 「②週1回」

閉じこもり傾向の高齢者の割合は、全体で22.0%となっています。

図表 3-13-8 閉じこもり傾向 該当者の割合



図表 3-13-9 閉じこもり傾向 地域別



(4) 低栄養状態

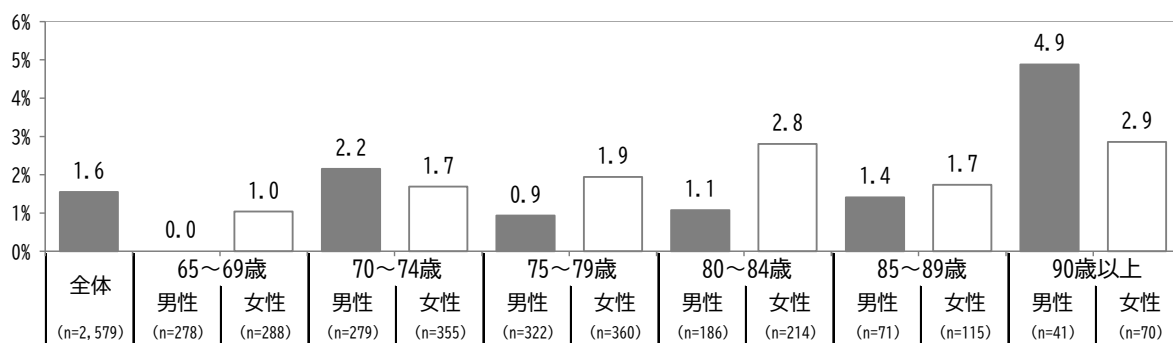
下記の2設問について、2設問ともに該当した場合、低栄養状態の高齢者として判定しました。

図表 3-13-10 低栄養状態を判定するための項目

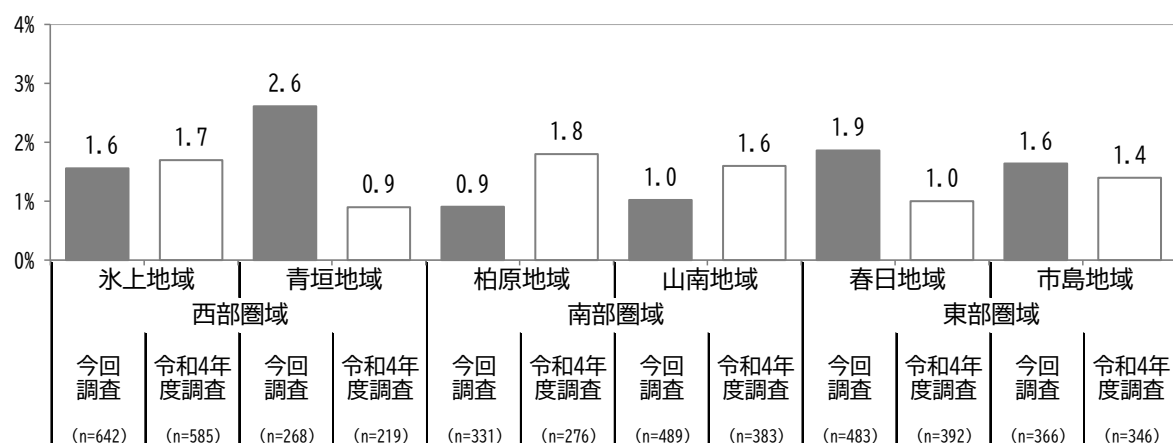
設問番号	設問	該当する選択肢
問 14	身長・体重を教えてください	身長・体重から算出されるBMI (体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}) が 18.5 未満
問 15	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「①はい」

低栄養状態の高齢者の割合は、全体で1.6%となっています。

図表 3-13-11 低栄養状態 該当者の割合



図表 3-13-12 低栄養状態 地域別



(5) 口腔機能の低下

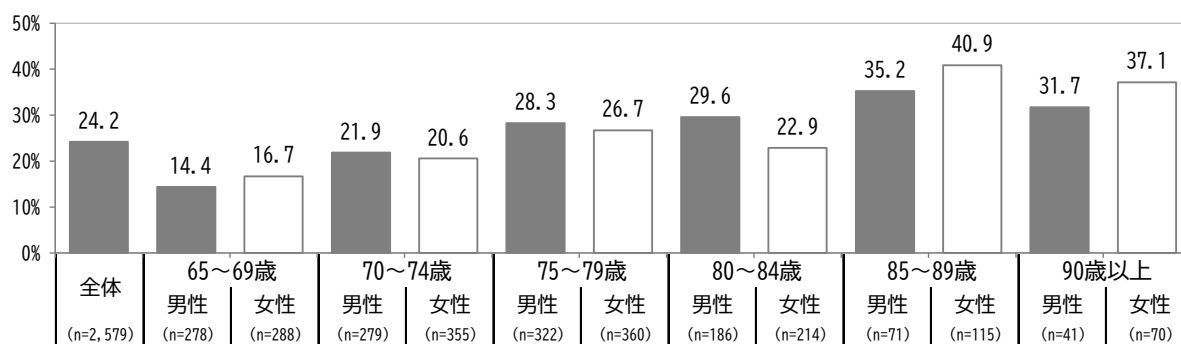
下記の3設問について、2問以上該当する選択肢が回答された場合、口腔機能が低下している高齢者として判定しました。

図表 3-13-13 口腔機能の低下を判定するための項目

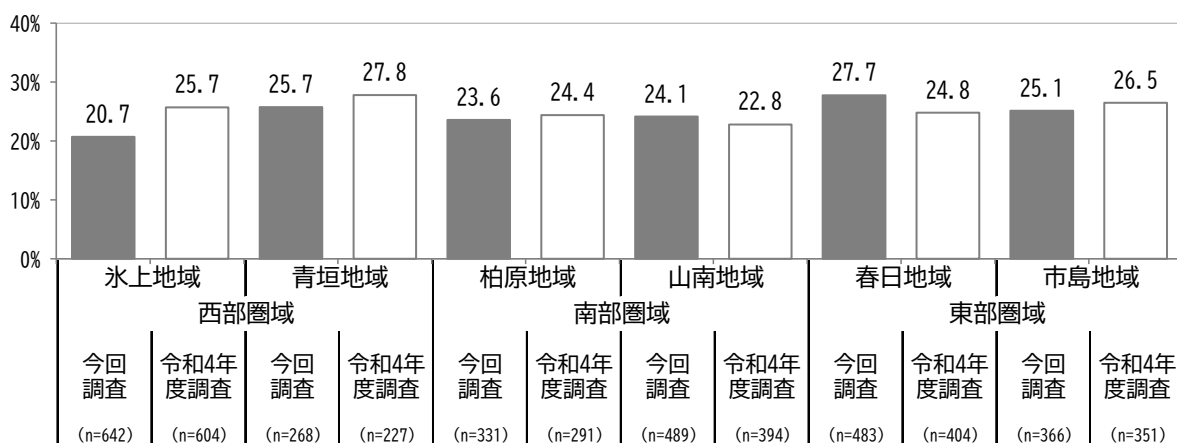
設問番号	設問	該当する選択肢
問 18	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「①はい」
問 19	お茶や汁物等でむせることがありますか	「①はい」
問 20	口の渇きが気になりますか	「①はい」

口腔機能が低下している高齢者の割合は、全体で 24.2% となっています。

図表 3-13-14 口腔機能の低下 該当者の割合



図表 3-13-15 口腔機能の低下 地域別



(6) 認知機能の低下

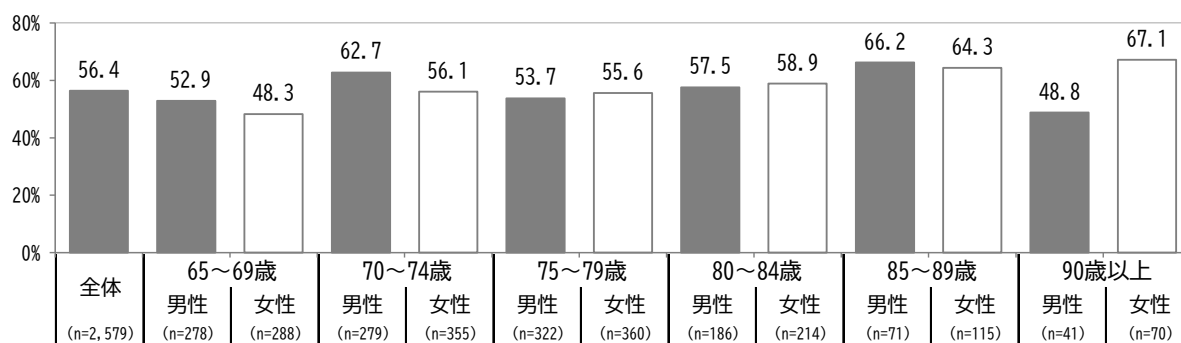
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能が低下している高齢者として判定しました。

図表 3-13-16 認知機能の低下を判定するための項目

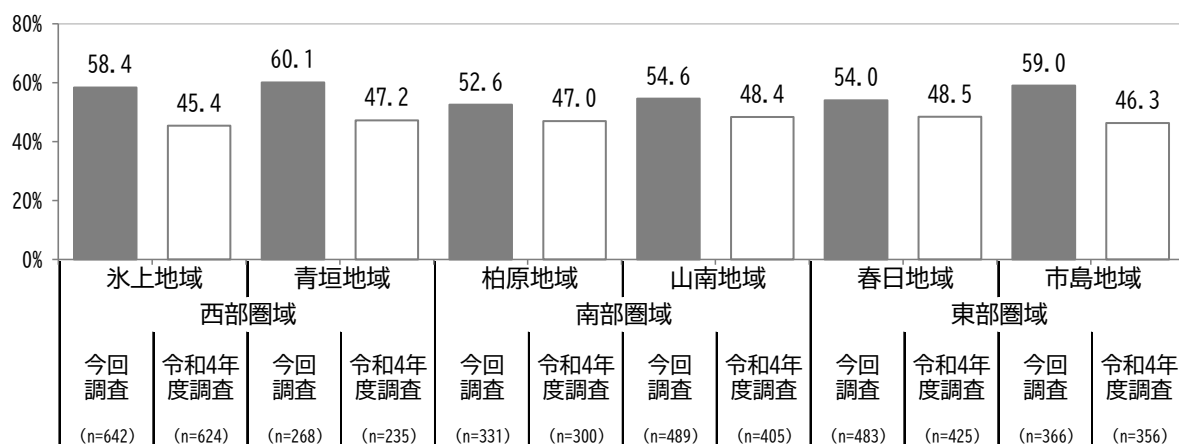
設問番号	設問	該当する選択肢
問 26	物忘れが多いと感じますか	「①はい」
問 27	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「②いいえ」
問 28	今日が何月何日かわからない時がありますか	「①はい」

認知機能が低下している高齢者の割合は、全体で 56.4%となっています。

図表 3-13-17 認知機能の低下 該当者の割合



図表 3-13-18 認知機能の低下 地域別



※ 令和4（2022）年度調査とは判定するための項目が違うため参考値

(7) うつ傾向

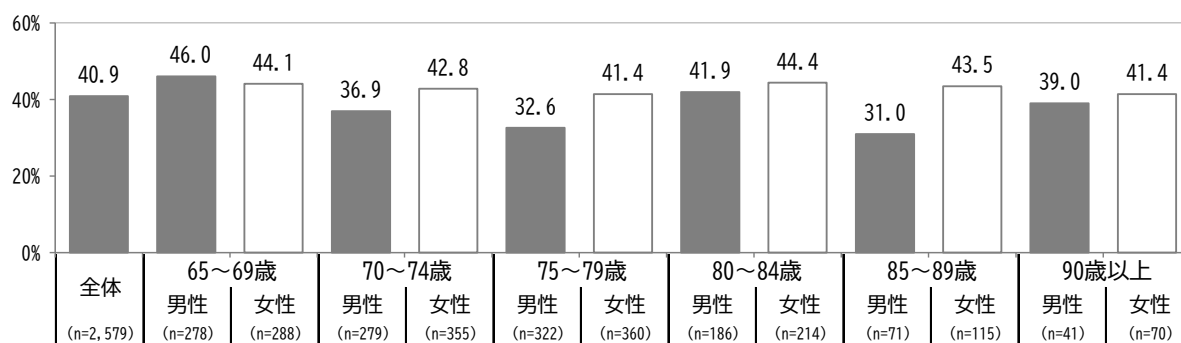
下記の2設問について、いずれか1つでも該当する選択肢が回答された場合、うつ傾向の高齢者として判定しました。

図表 3-13-19 うつ傾向を判定するための項目

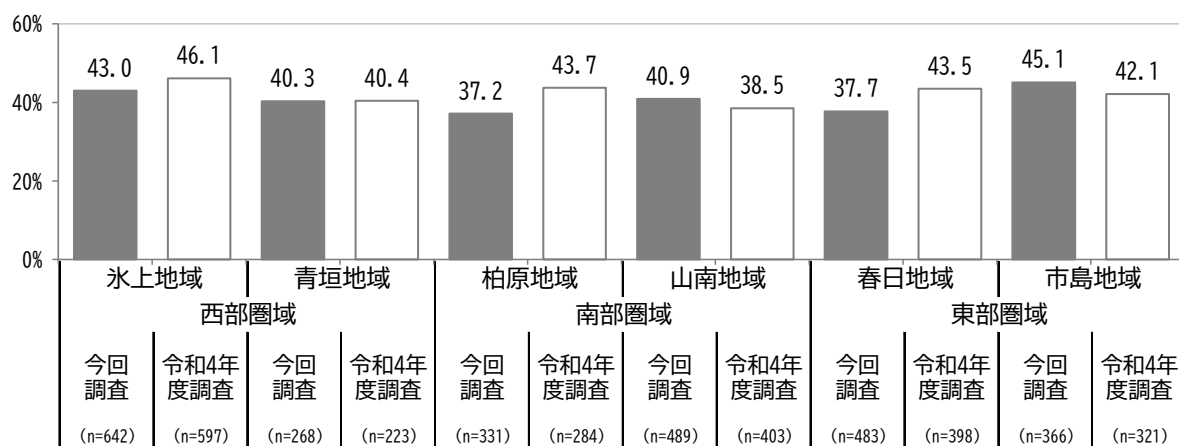
設問番号	設問	該当する選択肢
問 62	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「①はい」
問 63	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「①はい」

うつ傾向の高齢者の割合は、全体で40.9%となっています。

図表 3-13-20 うつ傾向 該当者の割合



図表 3-13-21 うつ傾向 地域別



(8) 手段的自立度 (IADL) の低下

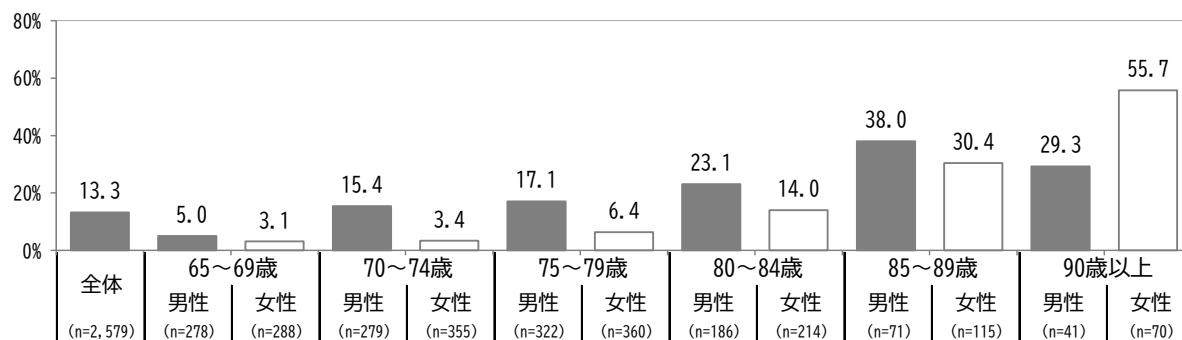
老研式活動能力指標に基づき、下記の5設問について、該当する選択肢を回答した場合を1点として、5点満点で評価し、4点以下の場合、手段的自立度 (IADL) が低下している高齢者として判定しました。

図表 3-13-22 手段的自立度 (IADL) の低下を判定するための項目

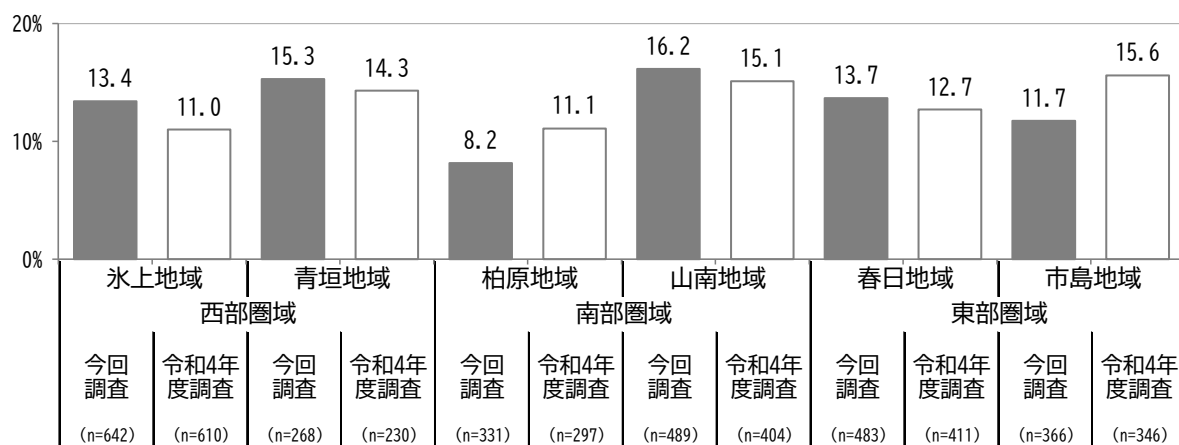
設問番号	設問	該当する選択肢
問 29	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「①できるし、している」 「②できるけどしていない」
問 30	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「①できるし、している」 「②できるけどしていない」
問 31	自分で食事の用意をしていますか	「①できるし、している」 「②できるけどしていない」
問 32	自分で請求書の支払いをしていますか	「①できるし、している」 「②できるけどしていない」
問 33	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「①できるし、している」 「②できるけどしていない」

手段的自立度 (IADL) の低下している高齢者の割合は、全体で13.3%となっています。

図表 3-13-23 手段的自立度 (IADL) の低下 該当者の割合



図表 3-13-24 手段的自立度 (IADL) の低下 地域別



(9) 生活機能全般の低下

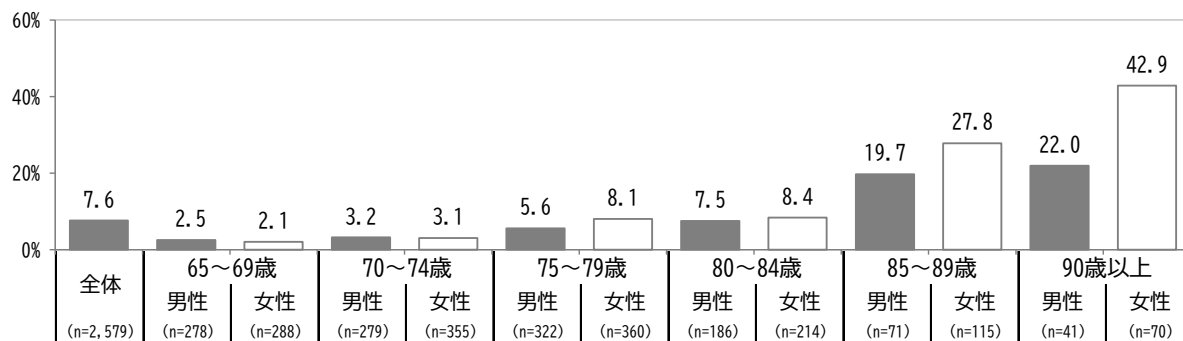
下記の 20 設問について、各設問に該当する選択肢を回答した場合を 1 点として、20 点満点で評価し、10 点以上の場合、生活機能全般が低下している高齢者として判定しました。

図表 3-13-25 生活機能全般の低下を判定するための項目

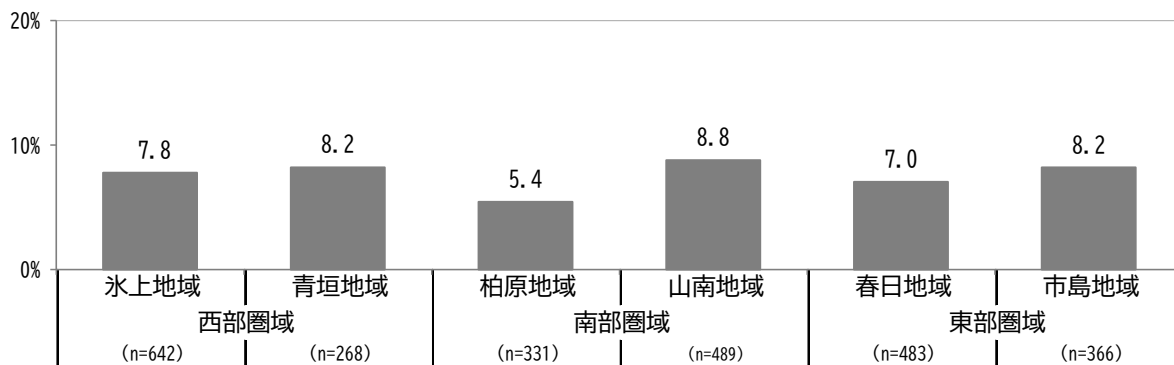
設問番号	設問	該当する選択肢
問 5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「③できない」
問 6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「③できない」
問 7	15 分位続けて歩いていますか	「③できない」
問 8	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	「①何度もある」 「②1 度ある」
問 9	転倒に対する不安は大きいですか	「①とても不安である」 「②やや不安である」
問 10	週に 1 回以上は外出していますか	「①ほとんど外出しない」 「②週 1 回」
問 11	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「①とても減っている」 「②減っている」
問 14	身長・体重を教えてください	身長・体重から算出される BMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) が①8.5 未満
問 18	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「①はい」
問 19	お茶や汁物等でむせることがありますか	「①はい」
問 20	口の渇きが気になりますか	「①はい」
問 15	6 か月間で 2~3kg 以上の体重減少がありましたか	「①はい」
問 26	物忘れが多いと感じますか	「①はい」
問 27	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「②いいえ」
問 28	今日が何月何日かわからない時がありますか	「①はい」
問 29	バスや電車を使って 1 人で外出していますか (自家用車でも可)	「③できない」
問 30	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「③できない」
問 33	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「③できない」
問 36	友人の家を訪ねていますか	「②いいえ」
問 37	家族や友人の相談にのっていますか	「②いいえ」

生活機能全般が低下している高齢者の割合は、全体で7.6%となっています。

図表 3-13-26 生活機能全般の低下 該当者の割合



図表 3-13-27 生活機能全般の低下 地域別



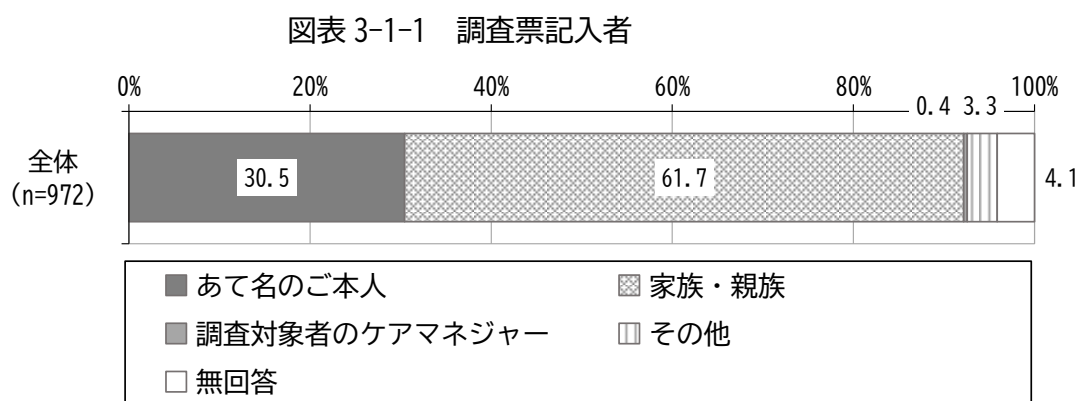
第3章 要介護認定者調査結果

1 回答者の属性

(1) 調査票記入者

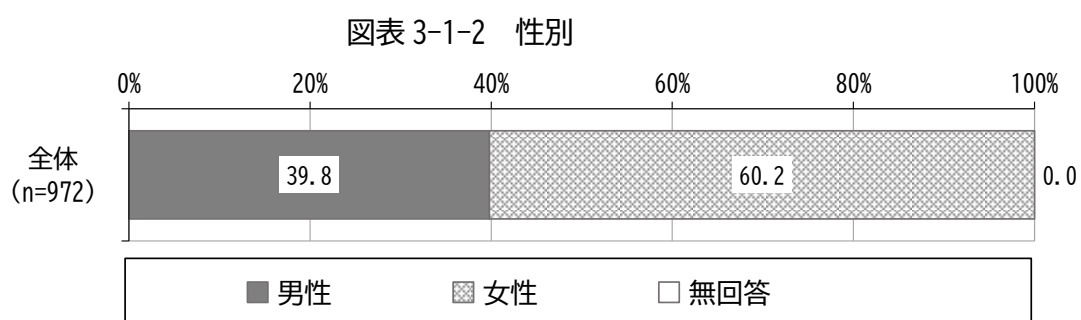
問	調査票を記入されたのはどなたですか（1つだけ）
---	-------------------------

調査票記入者については、「家族・親族」が61.7%で最も高く、次いで「あて名のご本人」が30.5%、「その他」が3.3%と続いています。



(2) 性別

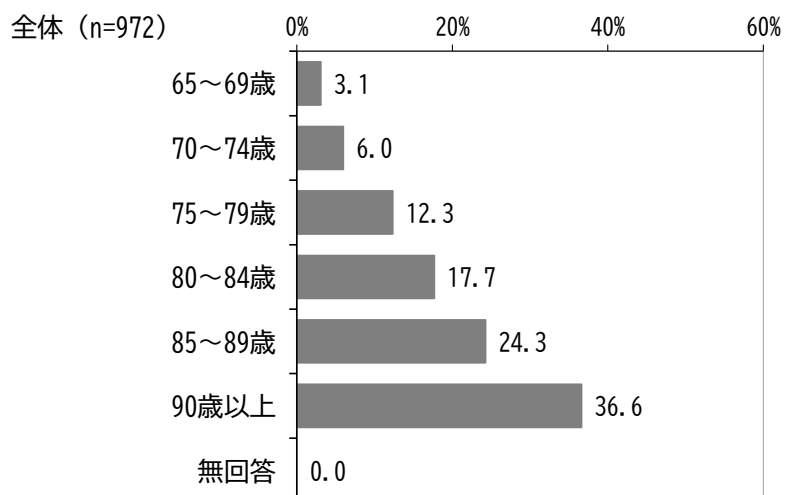
性別については、「男性」が39.8%、「女性」が60.2%となっています。



(3) 年齢

年齢については、「90歳以上」が36.6%で最も高く、次いで「85～89歳」が24.3%、「80～84歳」が17.7%と続いています。

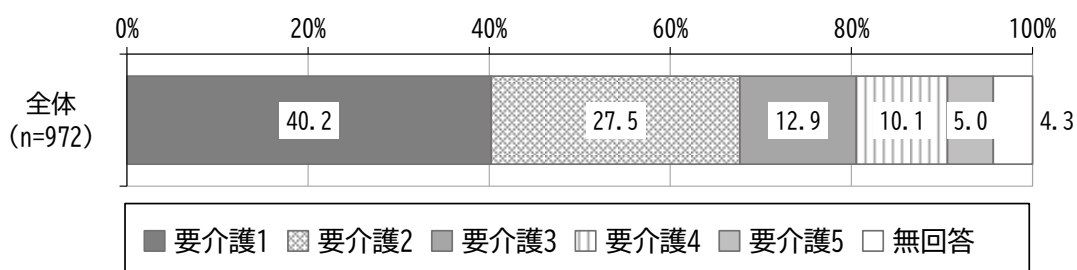
図表 3-1-3 年齢



(4) 現在の認定状況

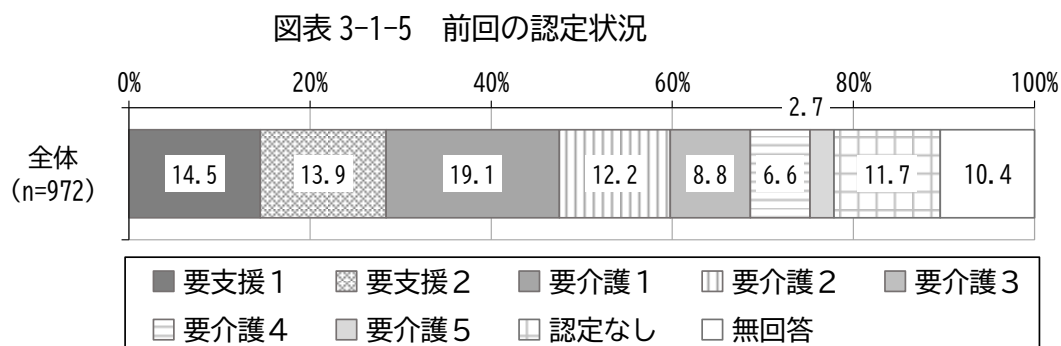
現在の認定状況については、「要介護1」が40.2%で最も高く、次いで「要介護2」が27.5%、「要介護3」が12.9%と続いています。

図表 3-1-4 現在の認定状況



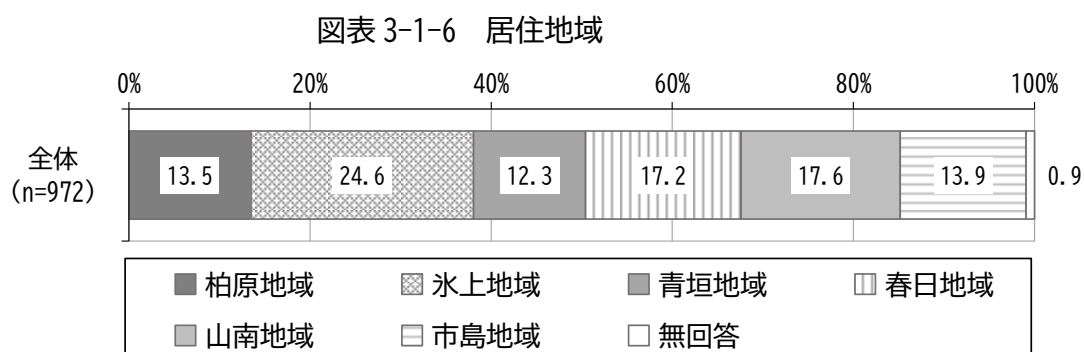
(5) 前回の認定状況

前回の認定状況については、「要介護1」が19.1%で最も高く、次いで「要支援1」が14.5%、「要支援2」が13.9%と続いています。



(6) 居住地域

居住地域については、「氷上地域」が24.6%で最も高く、次いで「山南地域」が17.6%、「春日地域」が17.2%と続いています。



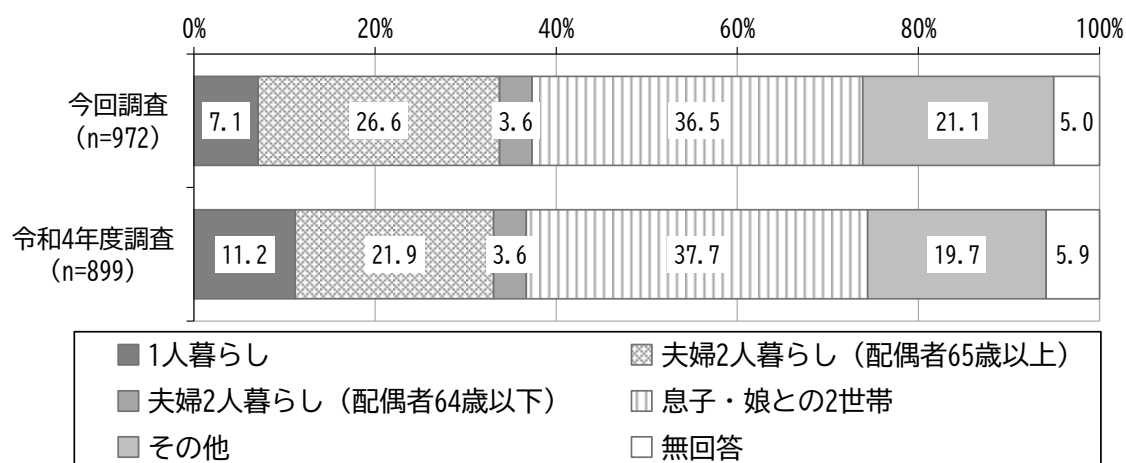
2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

問1 家族構成をお教えてください（1つだけ）

家族構成については、「息子・娘との2世帯」が36.5%で最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.6%、「その他」が21.1%と続いています。

図表 3-2-1 家族構成



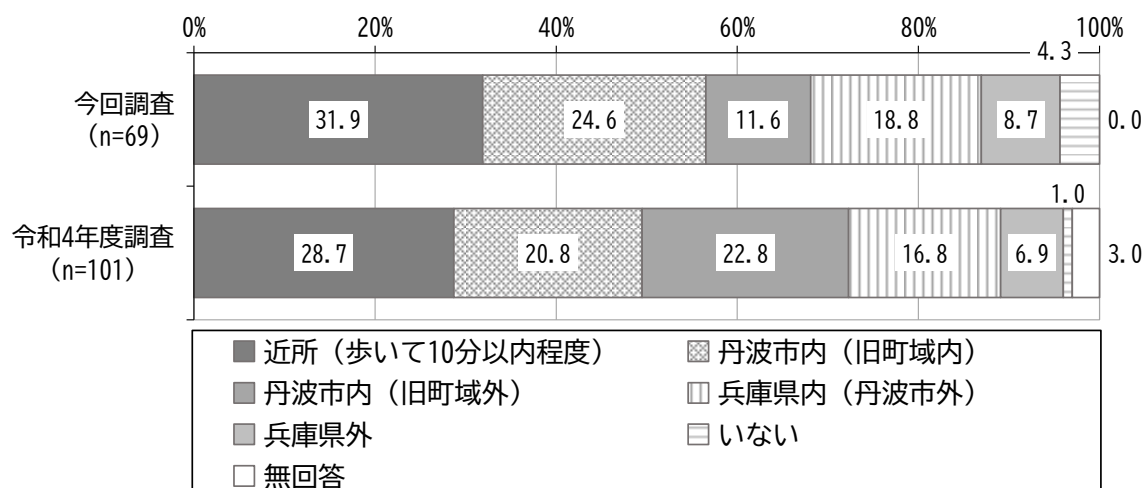
(2) 援助者の居住地

問1-①

【問1で「①1人暮らし」と答えた方（一人暮らしの方）のみ、お答えください】
一番近くにいる支援してくれる方（援助者）はどちらにお住まいですか（1つだけ）

援助者の居住地については、「近所（歩いて10分以内程度）」が31.9%で最も高く、次いで「丹波市内（旧町域内）」が24.6%、「兵庫県内（丹波市外）」が18.8%と続いています。

図表 3-2-2 援助者の居住地

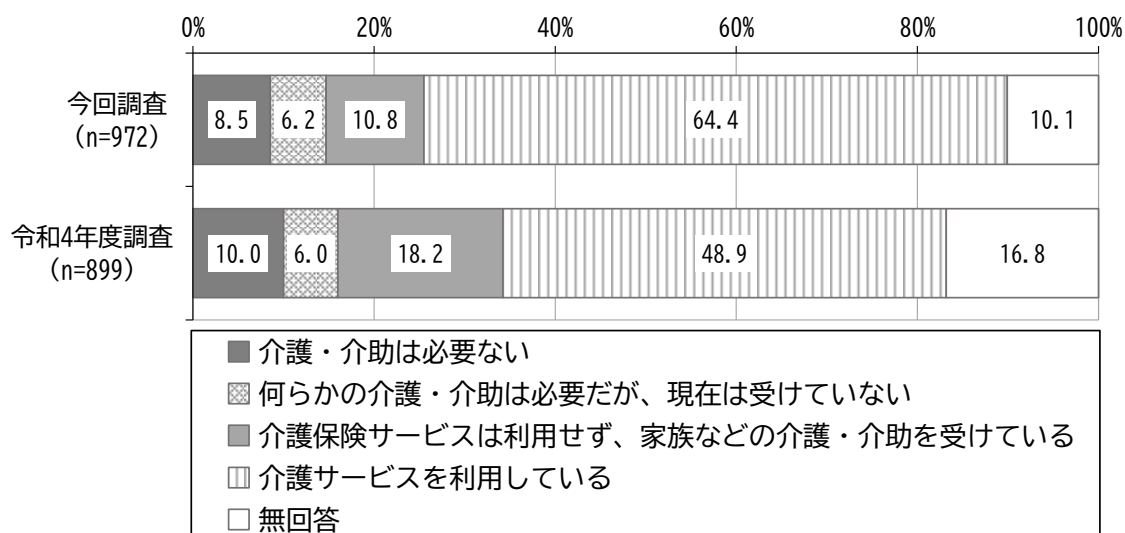


(3) 普段の生活で介護・介助が必要か

問2	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つだけ）
----	-----------------------------------

普段の生活で介護・介助が必要かについては、「介護サービスを利用している」が64.4%で最も高く、次いで「介護保険サービスは利用せず、家族などの介護・介助を受けている」が10.8%、「介護・介助は必要ない」が8.5%と続いています。

図表 3-2-3 普段の生活で介護・介助が必要か

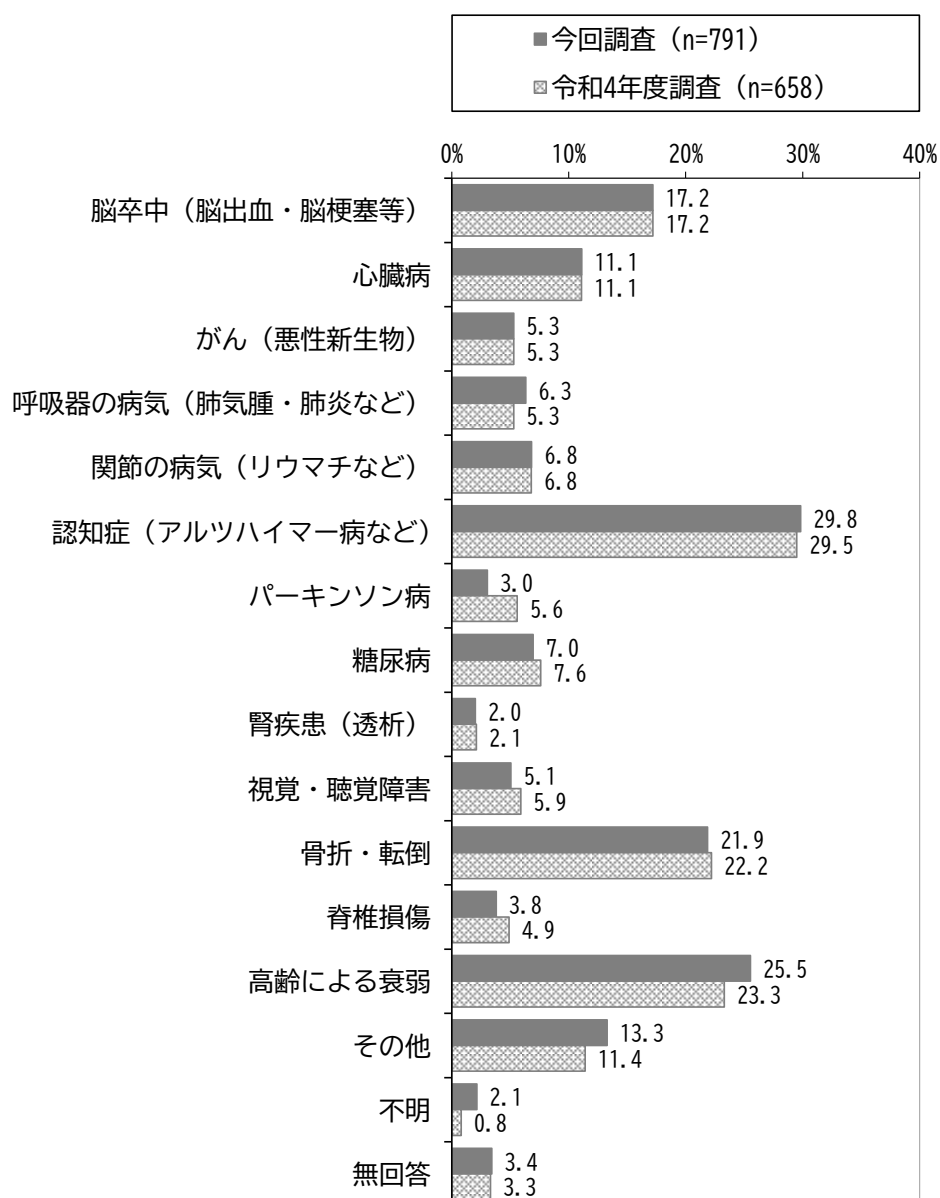


(4) 介護・介助が必要になった主な原因

問2-①	【問2で「②何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「③介護保険サービスは利用せず、家族などの介護・介助を受けている」または「④介護サービスを利用している」と答えた方（介護・介助が必要な方）のみ、お答えください】 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）
------	---

介護・介助が必要になった主な原因については、「認知症（アルツハイマー病など）」が29.8%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が25.5%、「骨折・転倒」が21.9%と続いています。

図表 3-2-4 介護・介助が必要になった主な原因

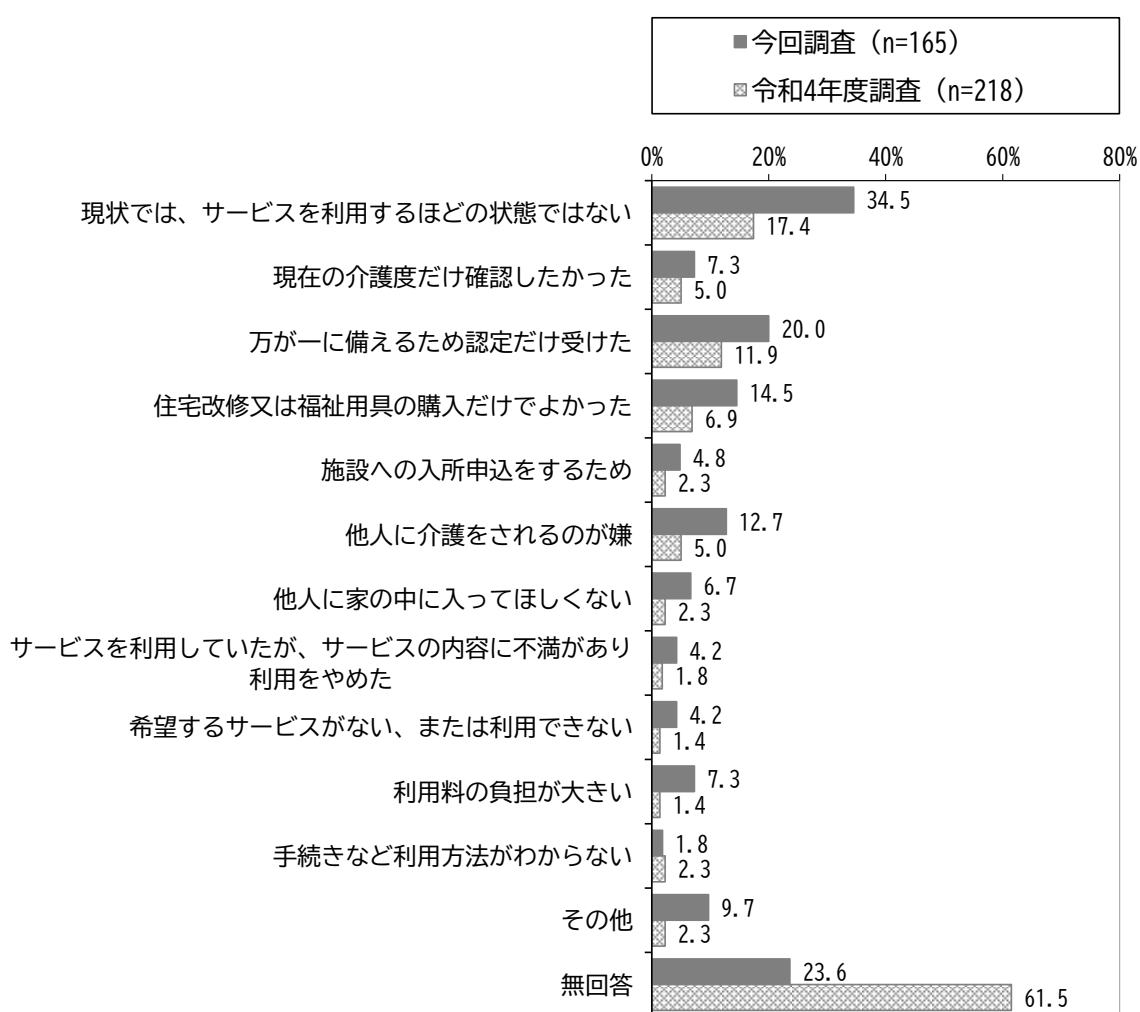


(5) 介護サービスを利用していない理由

問2-②	【問2で「②何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「③介護保険サービスは利用せず、家族などの介護・介助を受けている」と答えた方（介護・介助が必要だが介護サービスを利用していない方）のみ、お答えください】 サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）
------	--

介護サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が34.5%で最も高く、次いで「万が一に備えるため認定だけ受けた」が20.0%、「住宅改修又は福祉用具の購入だけでよかった」が14.5%と続いています。

図表 3-2-5 介護サービスを利用していない理由

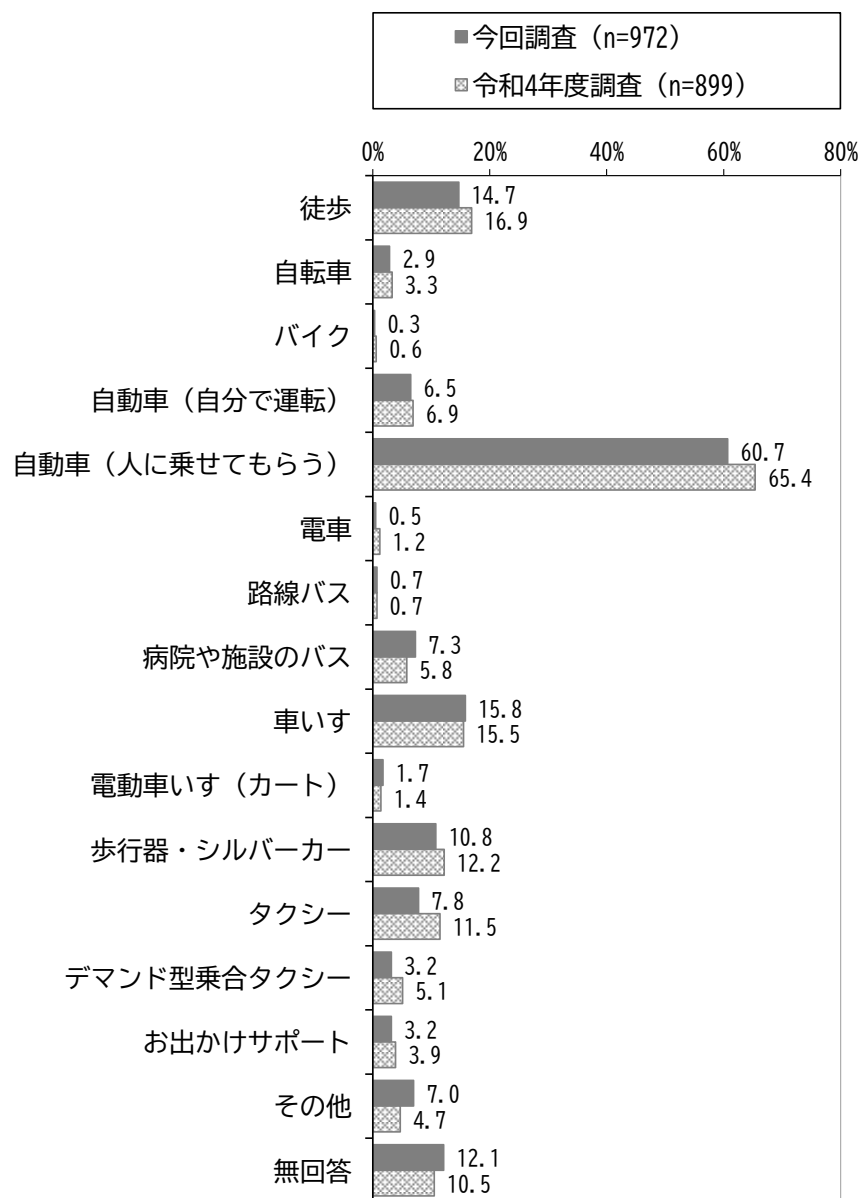


(6) 外出する際の移動手段

問3	外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）
----	------------------------

外出する際の移動手段については、「自動車（人に乗せてもらう）」が60.7%で最も高く、次いで「車いす」が15.8%、「徒歩」が14.7%と続いています。

図表 3-2-6 外出する際の移動手段



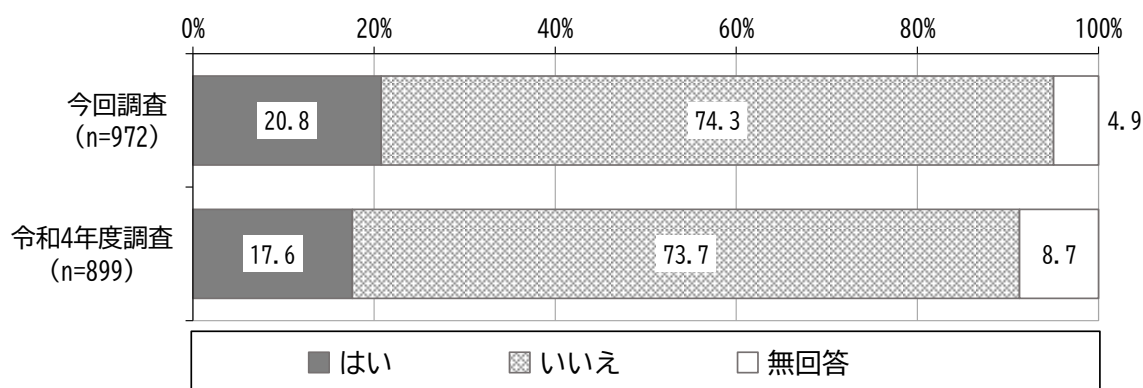
3 食べることについて

(1) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

問4 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つだけ）

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が20.8%、「いいえ」が74.3%となっています。

図表 3-3-1 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

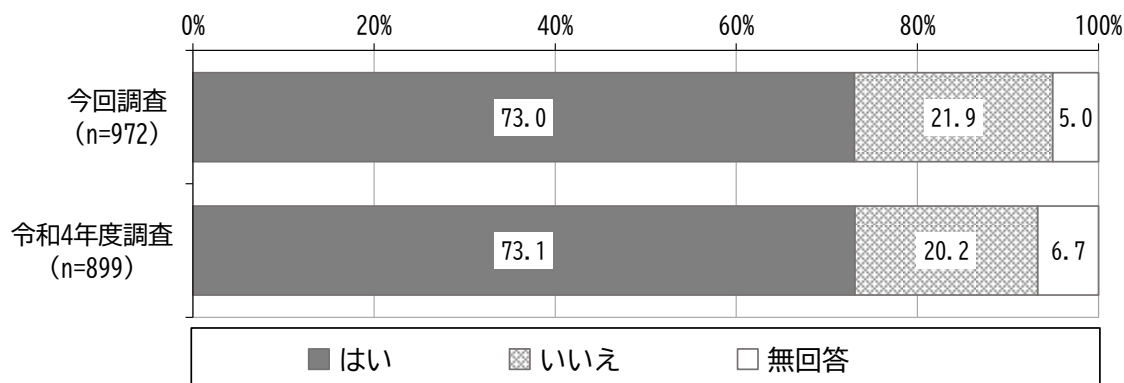


(2) 普段から栄養面を意識した食事摂取をしているか

問5 普段から栄養面を意識した食事摂取をしていますか（1つだけ）

普段から栄養面を意識した食事摂取をしているかについては、「はい」が73.0%、「いいえ」が21.9%となっています。

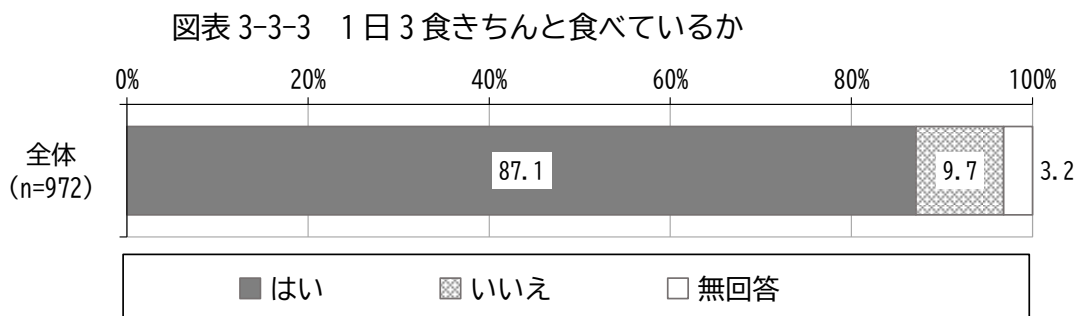
図表 3-3-2 普段から栄養面を意識した食事摂取をしているか



(3) 1日3食きちんと食べているか

問6	1日3食きちんと食べていますか（1つだけ）
----	-----------------------

1日3食きちんと食べているかについては、「はい」が87.1%、「いいえ」が9.7%となっています。

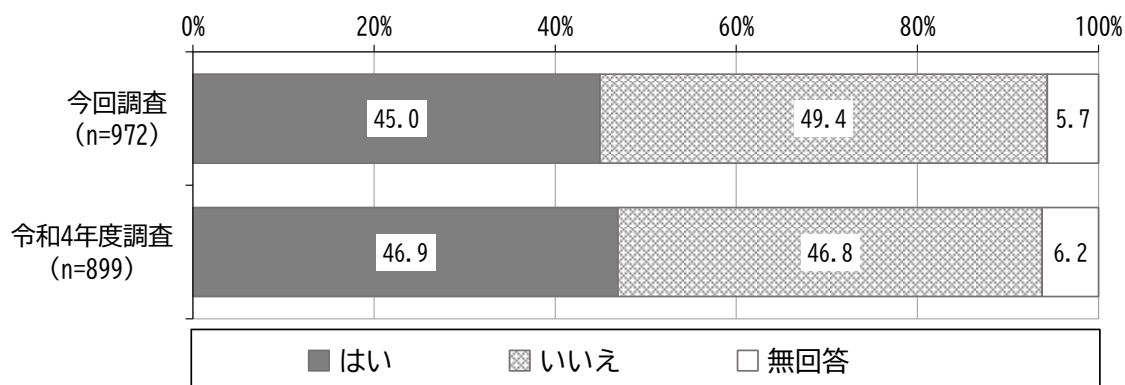


(4) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

問7	半年前に比べて固いもの（※）が食べにくくなりましたか（1つだけ） ※さきいか、たくあんなど
----	--

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が45.0%、「いいえ」が49.4%となっています。

図表 3-3-4 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

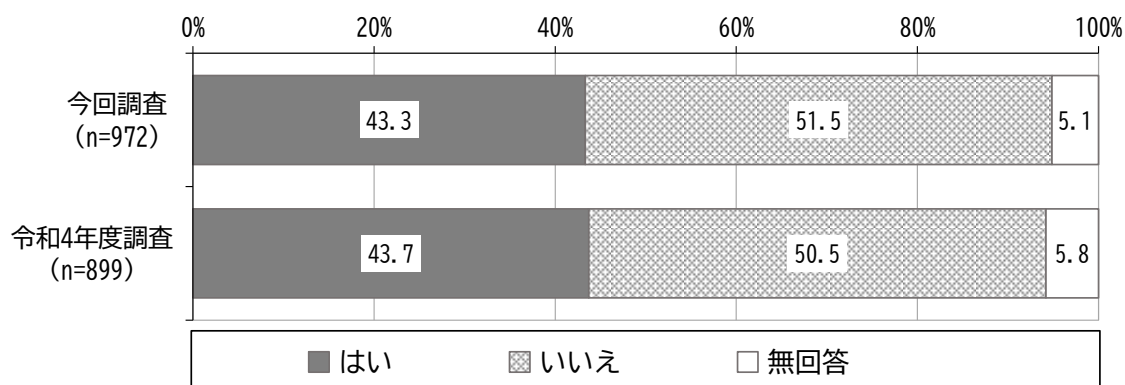


(5) お茶や汁物等でむせることがあるか (1つだけ)

問 8	お茶や汁物等でむせることがありますか (1つだけ)
-----	---------------------------

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が43.3%、「いいえ」が51.5%となっています。

図表 3-3-5 お茶や汁物等でむせることがあるか

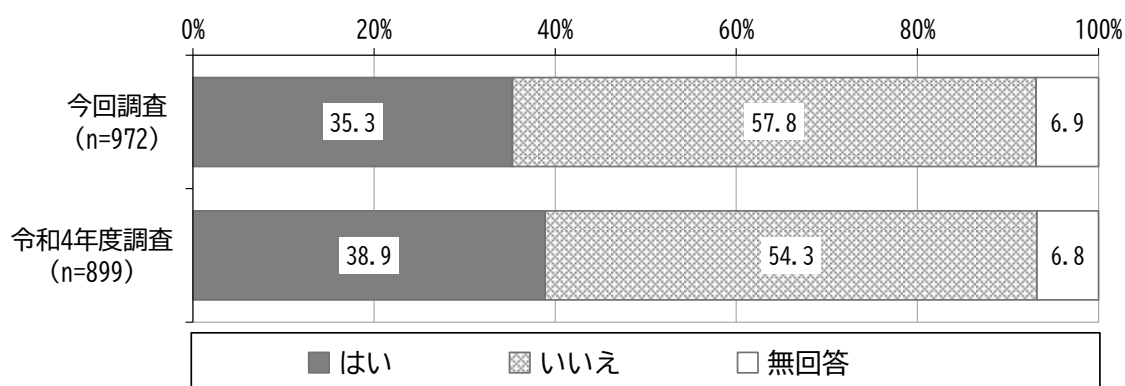


(6) 口の渇きが気になるか

問 9	口の渇きが気になりますか (1つだけ)
-----	---------------------

口の渇きが気になるかについては、「はい」が35.3%、「いいえ」が57.8%となっています。

図表 3-3-6 口の渇きが気になるか

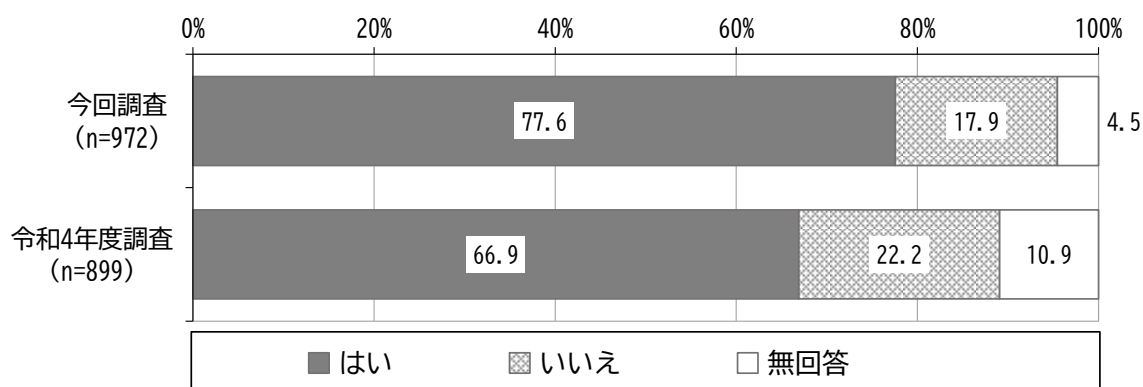


(7) 歯磨きまたは入れ歯の手入れを毎日しているか

問 10	歯磨きまたは入れ歯の手入れ（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つだけ）
------	---

歯磨きまたは入れ歯の手入れを毎日しているかについては、「はい」が 77.6%、「いいえ」が 17.9%となっています。

図表 3-3-7 歯磨きまたは入れ歯の手入れを毎日しているか



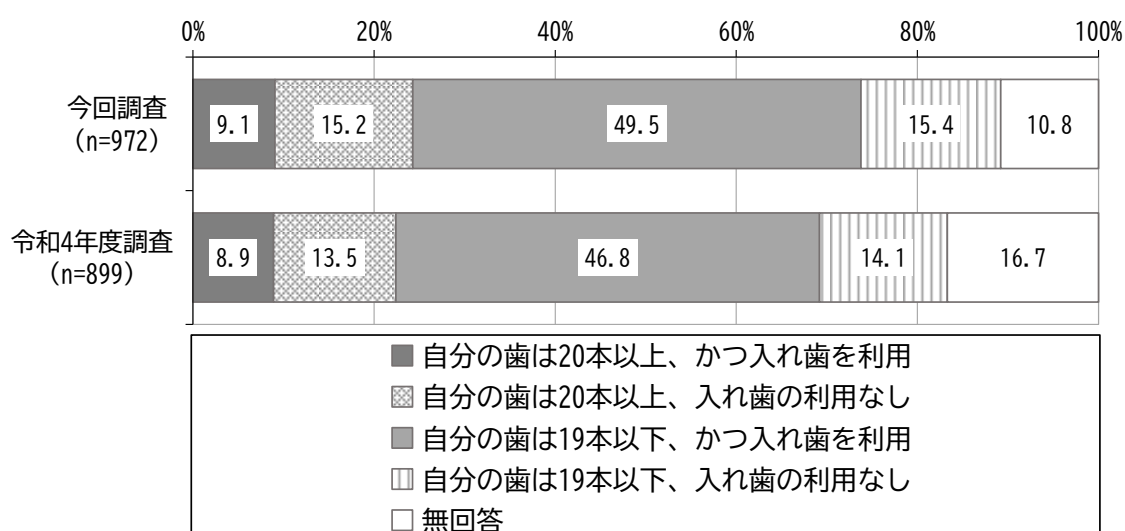
※ 令和4（2022）年度調査は「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか」

(8) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 11	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（1つだけ） （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）
------	--

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 49.5%で最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 15.4%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 15.2%と続いています。

図表 3-3-8 歯の数と入れ歯の利用状況

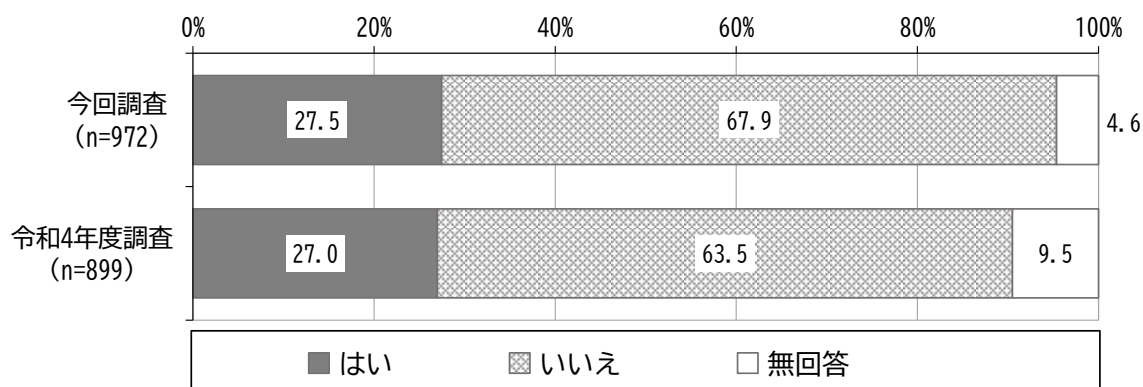


(9) 定期的に歯科受診をしているか

問 12	定期的に歯科受診はしていますか (1つだけ)
------	------------------------

定期的に歯科受診をしているかについては、「はい」が27.5%、「いいえ」が67.9%となっています。

図表 3-3-9 定期的に歯科受診をしているか

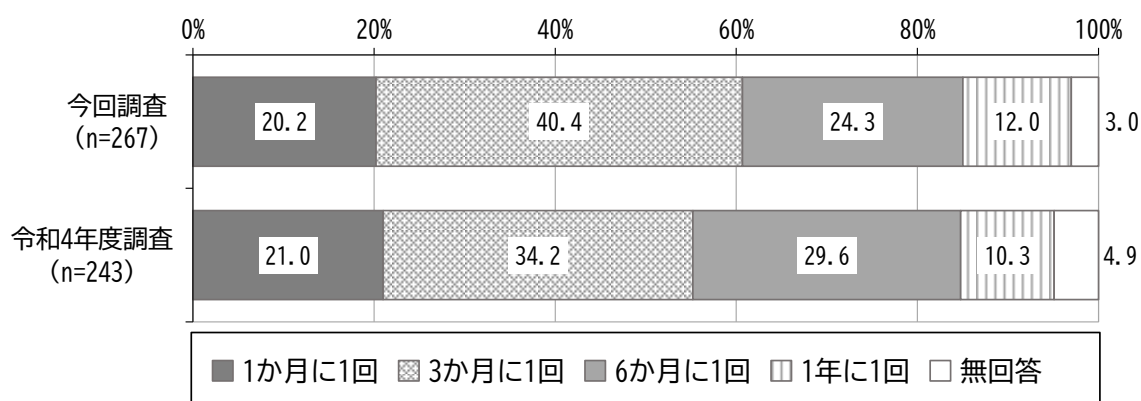


(10) 歯科受診の頻度

問 12-①	【問 12 で「①はい」と答えられた方 (歯科受診している方) のみ、お答えください】 どれくらいの頻度で受診していますか。(1つだけ)
--------	---

歯科受診の頻度については、「3か月に1回」が40.4%で最も高く、次いで「6か月に1回」が24.3%、「1か月に1回」が20.2%と続いています。

図表 3-3-10 歯科受診の頻度

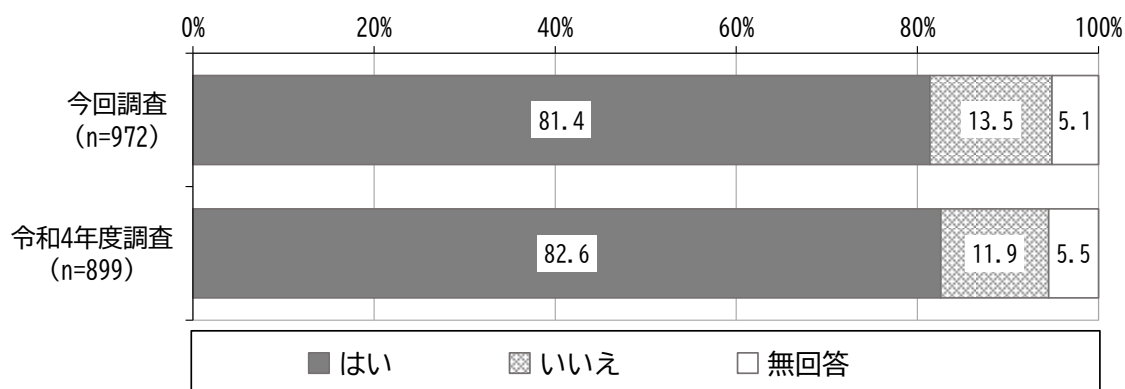


(11) 誰かと食事をとる機会はあるか

問 13	どなたかと食事をとる機会がありますか（1つだけ）
------	--------------------------

誰かと食事をとる機会はあるかについては、「はい」が81.4%、「いいえ」が13.5%となっています。

図表 3-3-11 誰かと食事をとる機会はあるか



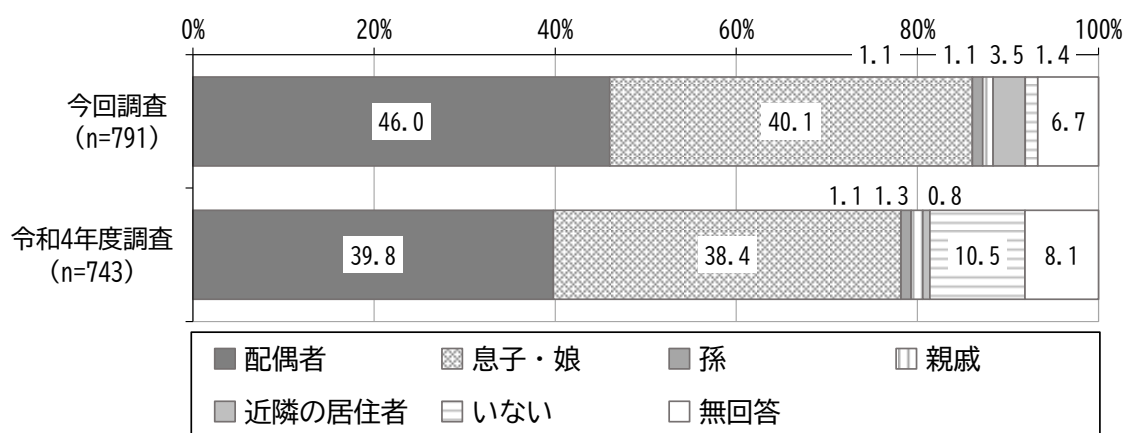
(12) 誰と食事をすることが多いか

問 13-①

問 13で「①はい」と答えた方（どなたかと食事をされる）のみ、お答えください】 主にどなたと食事をされることが多いですか（1つだけ）

誰と食事をする人が多いかについては、「配偶者」が46.0%で最も高く、次いで「息子・娘」が40.1%、「近隣の居住者」が3.5%と続いています。

図表 3-3-12 誰と食事をする人が多いか



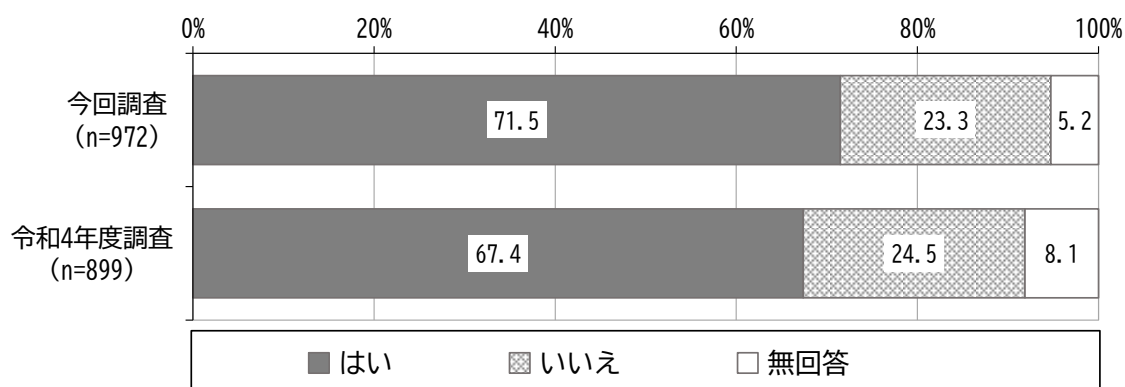
※ 今回調査の「いない」は、令和4（2022）年度調査では「その他」

(13) 口腔ケアという言葉を知っているか

問 14	口腔ケアという言葉を知っていますか (1つだけ)
------	--------------------------

口腔ケアという言葉を知っているかについては、「はい」が71.5%、「いいえ」が23.3%となっています。

図表 3-3-13 口腔ケアという言葉を知っているか



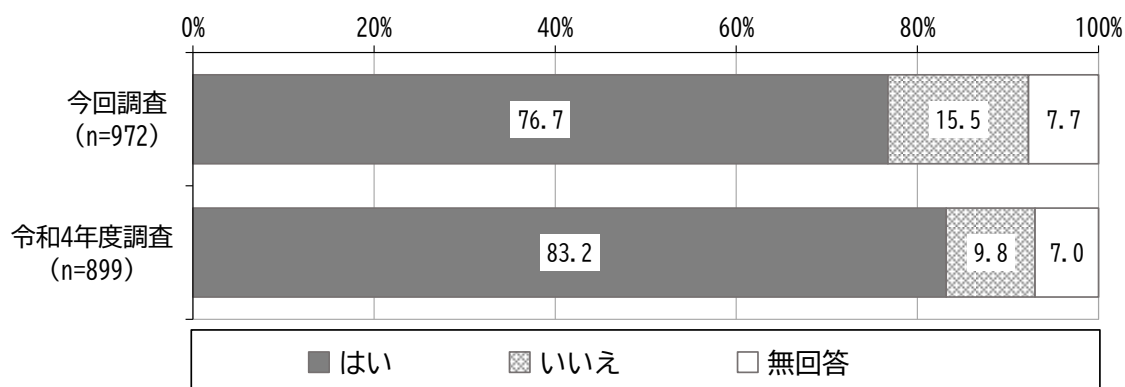
4 介護サービスの利用状況について

(1) 介護サービスを利用しているか

問 15	現在、以下の介護サービスを利用していますか (1つだけ)
------	------------------------------

調査票に記載している介護サービスを利用しているかについては、「はい」が76.7%、「いいえ」が15.5%となっています。

図表 3-4-1 介護サービスを利用しているか



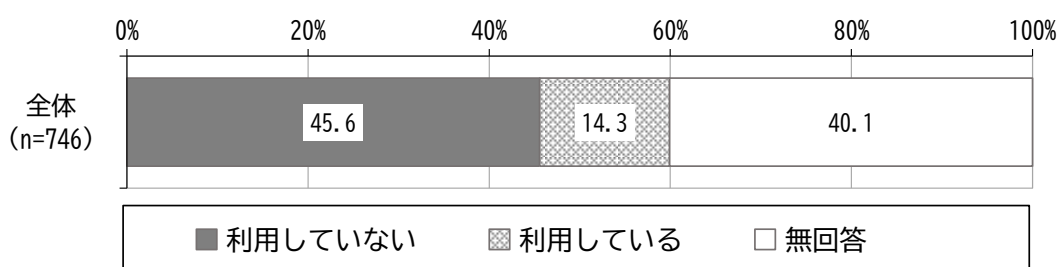
(2) 介護サービスの評価

問 15	利用している場合は、それぞれのサービスごとにあなたのお考え（評価）をお聞かせください。また、不満がある方は、その理由もお聞かせください。（現在、利用しているサービスのみ記入してください）。
------	--

① 訪問介護

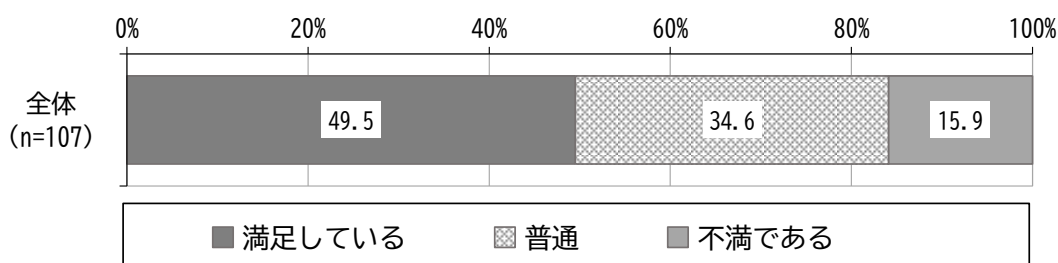
訪問介護の利用状況については、「利用していない」が45.6%、「利用している」が14.3%となっています。

図表 3-4-2 訪問介護の利用状況



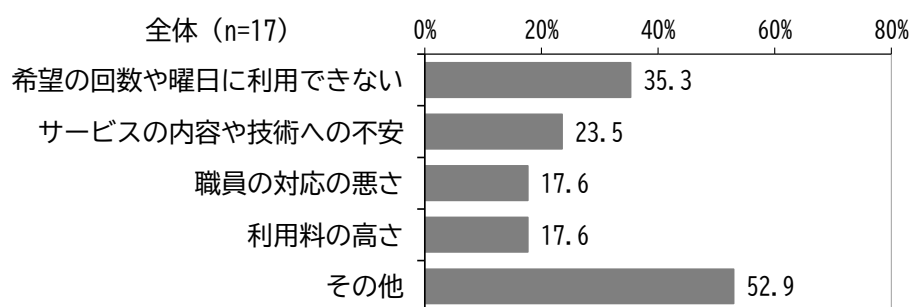
訪問介護を利用している人の満足度については、「満足している」が49.5%で最も高く、次いで「普通」が34.6%、「不満である」が15.9%となっています。

図表 3-4-3 訪問介護の満足度



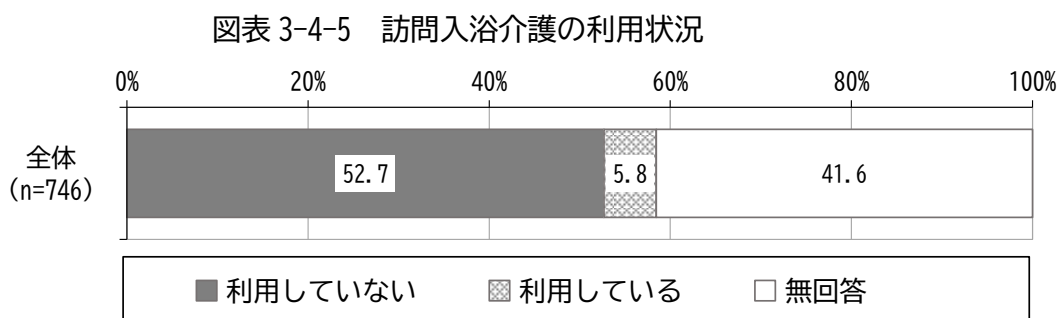
訪問介護を利用している人の不満の理由については、「その他」が52.9%で最も高く、次いで「希望の回数や曜日に利用できない」が35.3%、「サービスの内容や技術への不安」が23.5%と続いています。

図表 3-4-4 訪問介護の不満の理由

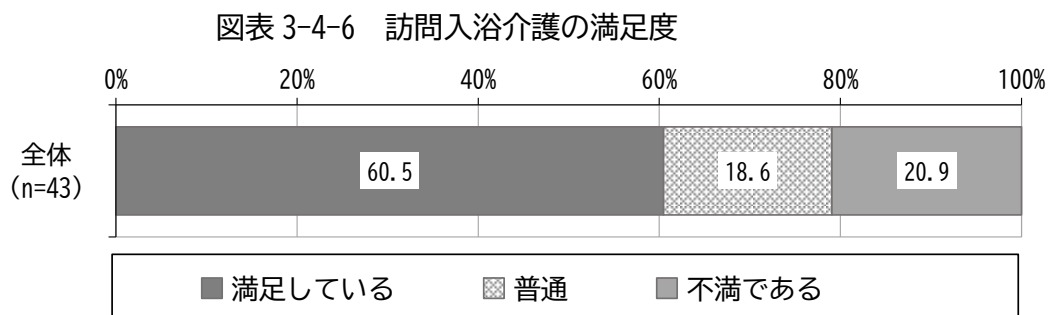


② 訪問入浴介護

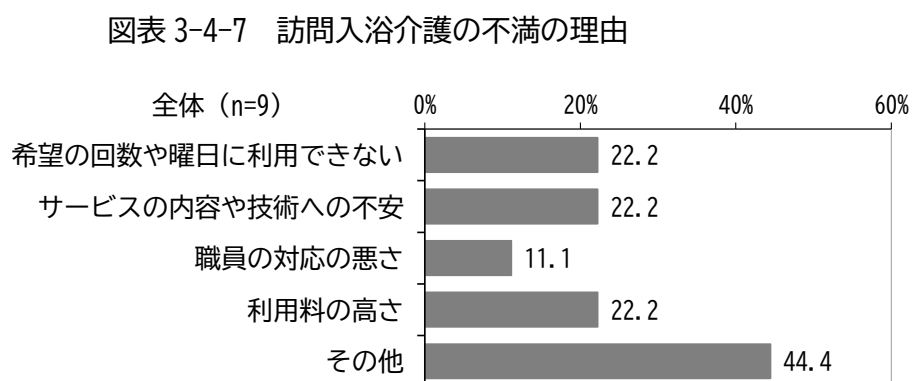
訪問入浴介護の利用状況については、「利用していない」が52.7%、「利用している」が5.8%となっています。



訪問入浴介護を利用している人の満足度については、「満足している」が60.5%で最も高く、次いで「不満である」が20.9%、「普通」が18.6%となっています。

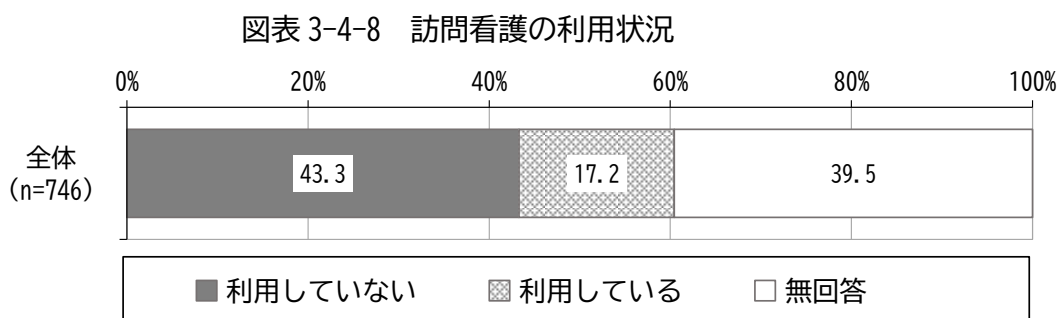


訪問入浴介護を利用している人の不満の理由については、「その他」が44.4%で最も高くなっています。

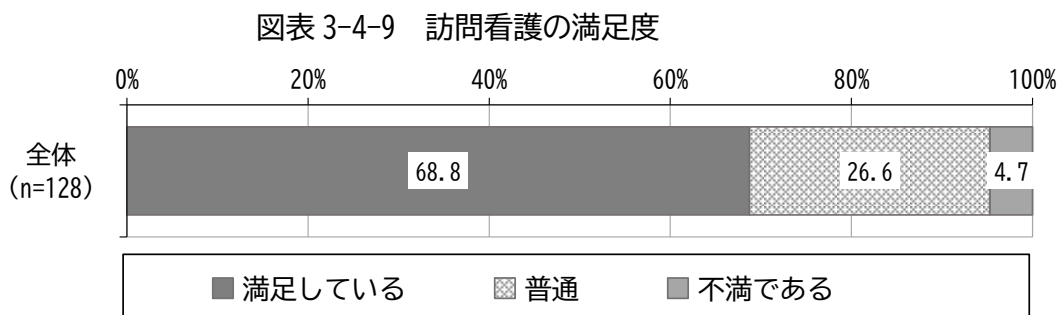


③ 訪問看護

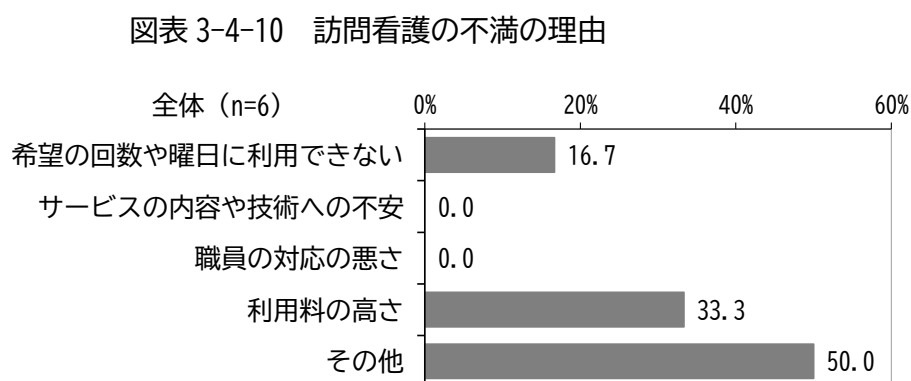
訪問看護の利用状況については、「利用していない」が43.3%、「利用している」が17.2%となっています。



訪問看護を利用している人の満足度については、「満足している」が68.8%で最も高く、次いで「普通」が26.6%、「不満である」が4.7%となっています。



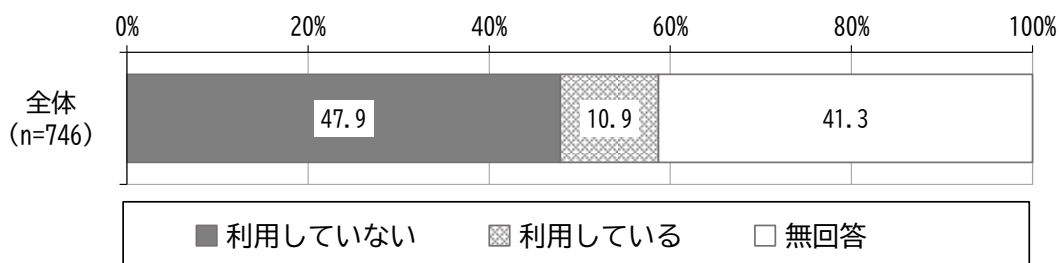
訪問看護を利用している人の不満の理由については、「その他」が50.0%で最も高く、次いで「利用料の高さ」が33.3%、「希望の回数や曜日に利用できない」が16.7%と続いています。



④ 訪問リハビリテーション

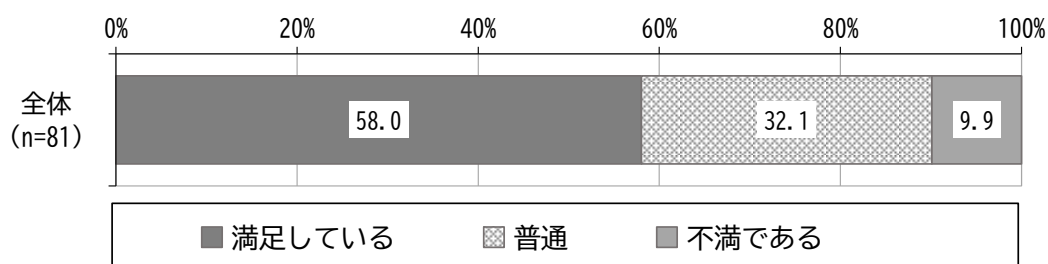
訪問リハビリテーションの利用状況については、「利用していない」が47.9%、「利用している」が10.9%となっています。

図表 3-4-11 訪問リハビリテーションの利用状況



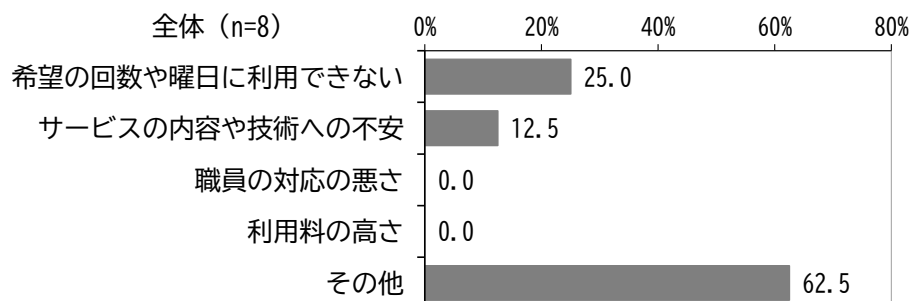
訪問リハビリテーションを利用している人の満足度については、「満足している」が58.0%で最も高く、次いで「普通」が32.1%、「不満である」が9.9%となっています。

図表 3-4-12 訪問リハビリテーションの満足度



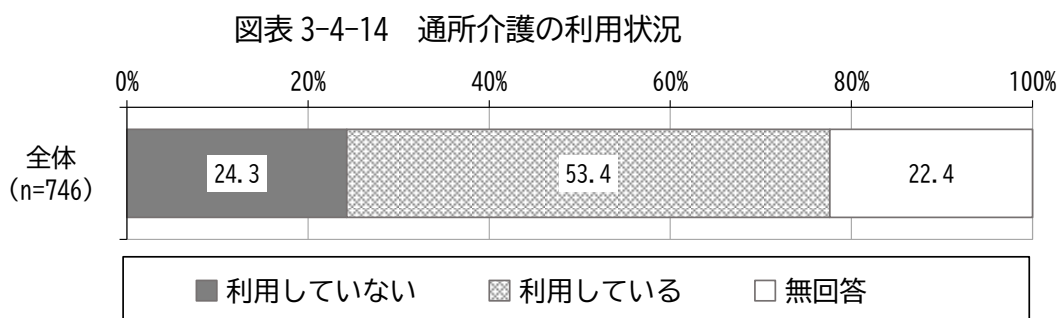
訪問リハビリテーションを利用している人の不満の理由については、「その他」が62.5%で最も高く、次いで「希望の回数や曜日に利用できない」が25.0%、「サービスの内容や技術への不安」が12.5%と続いています。

図表 3-4-13 訪問リハビリテーションの不満の理由

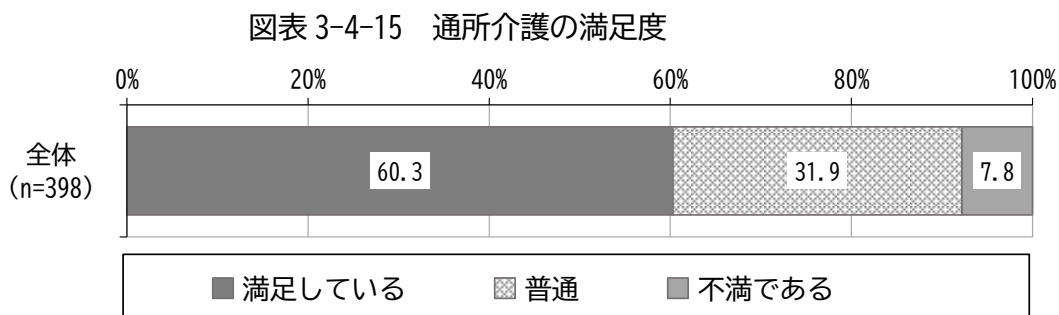


⑤ 通所介護

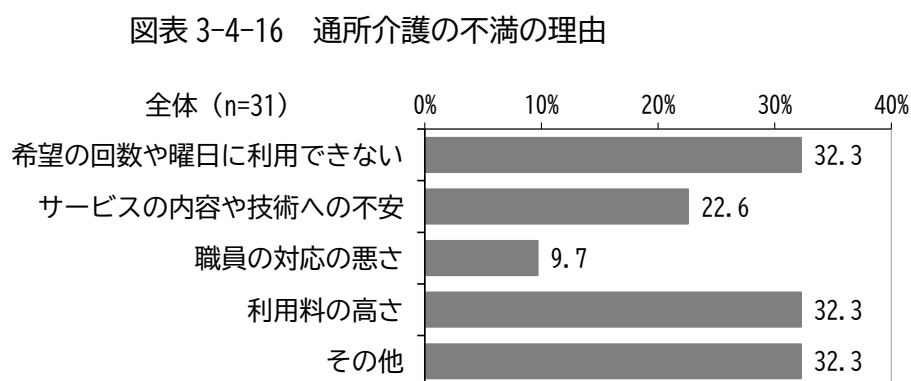
通所介護の利用状況については、「利用していない」が24.3%、「利用している」が53.4%となっています。



通所介護を利用している人の満足度については、「満足している」が60.3%で最も高く、次いで「普通」が31.9%、「不満である」が7.8%となっています。



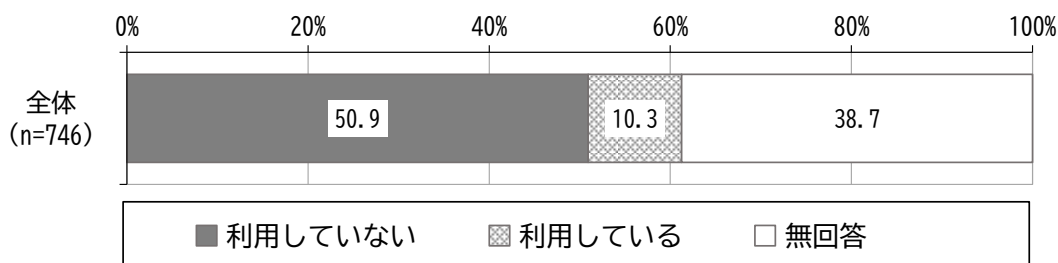
通所介護を利用している人の不満の理由については、「希望の回数や曜日に利用できない」、「利用料の高さ」、「その他」がいずれも32.3%で最も高くなっています。



⑥ 認知症対応型通所介護

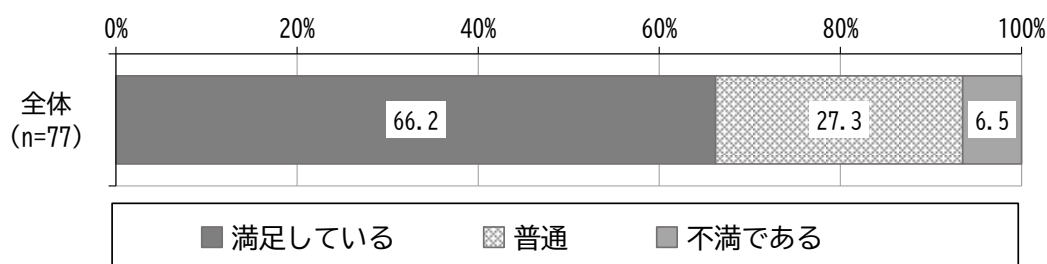
認知症対応型通所介護の利用状況については、「利用していない」が50.9%、「利用している」が10.3%となっています。

図表 3-4-17 認知症対応型通所介護の利用状況



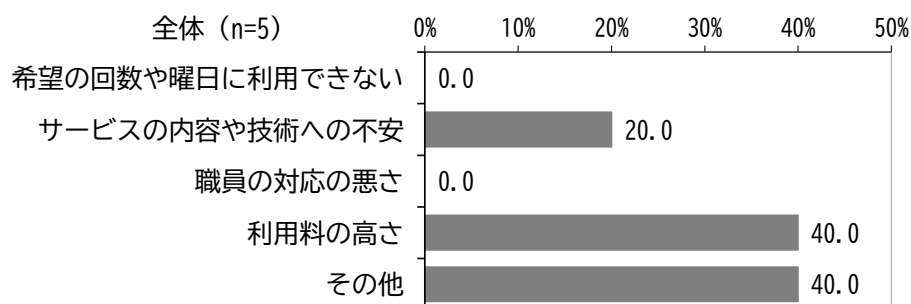
認知症対応型通所介護を利用している人の満足度については、「満足している」が66.2%で最も高く、次いで「普通」が27.3%、「不満である」が6.5%となっています。

図表 3-4-18 認知症対応型通所介護の満足度



認知症対応型通所介護を利用している人の不満の理由については、「利用料の高さ」、「その他」がいずれも40.0%で最も高くなっています。

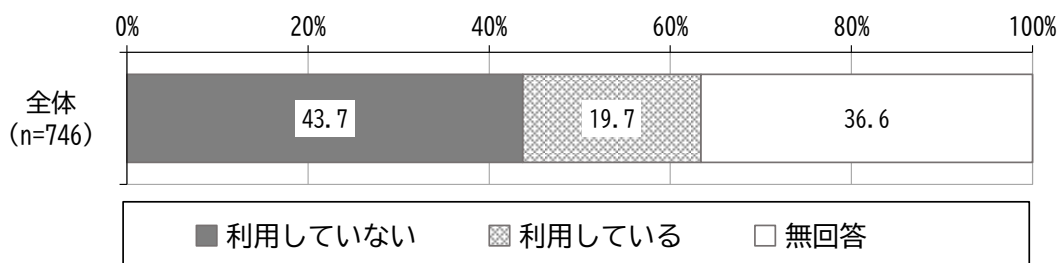
図表 3-4-19 認知症対応型通所介護の不満の理由



⑦ 通所リハビリテーション

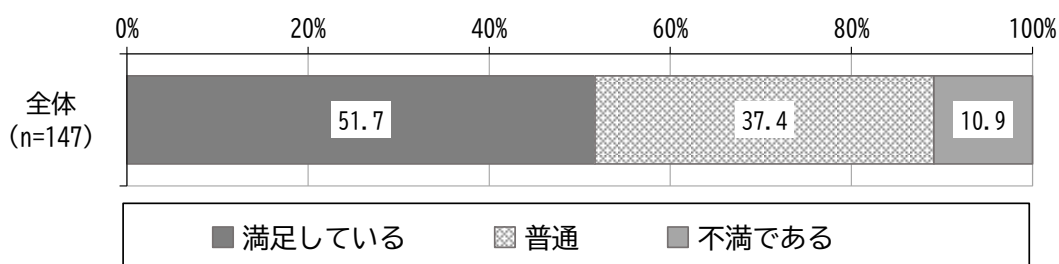
通所リハビリテーションの利用状況については、「利用していない」が43.7%、「利用している」が19.7%となっています。

図表 3-4-20 通所リハビリテーションの利用状況



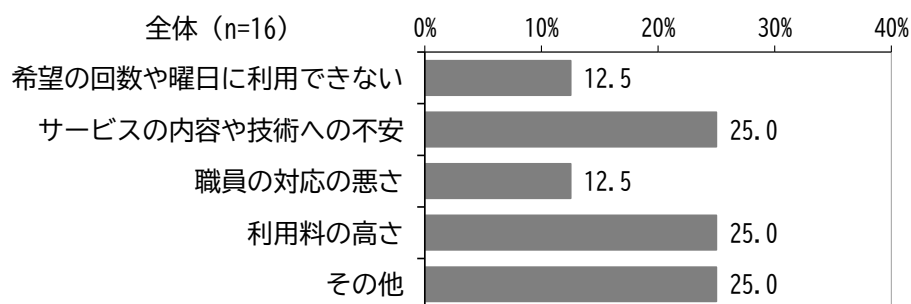
通所リハビリテーションを利用している人の満足度については、「満足している」が51.7%で最も高く、次いで「普通」が37.4%、「不満である」が10.9%となっています。

図表 3-4-21 通所リハビリテーションの満足度



通所リハビリテーションを利用している人の不満の理由については、「サービスの内容や技術への不安」、「利用料の高さ」、「その他」がいずれも25.0%で最も高くなっています。

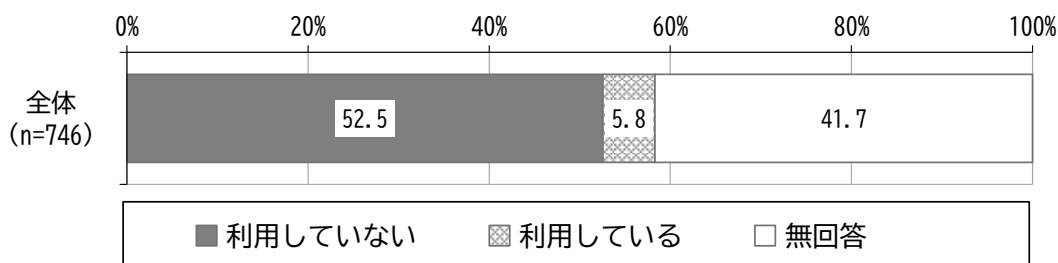
図表 3-4-22 通所リハビリテーションの不満の理由



⑧ 居宅療養管理指導

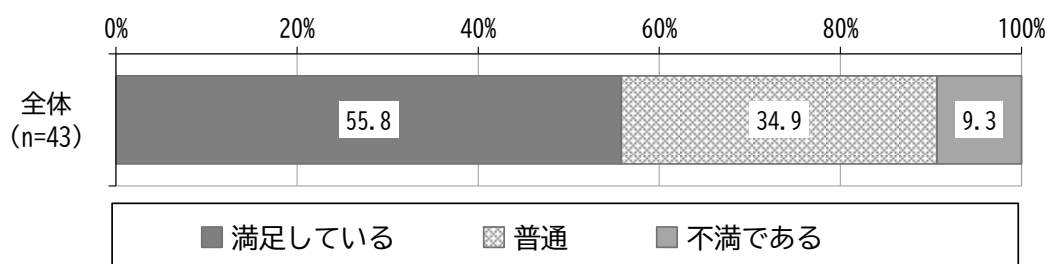
居宅療養管理指導の利用状況については、「利用していない」が 52.5%、「利用している」が 5.8%となっています。

図表 3-4-23 居宅療養管理指導の利用状況



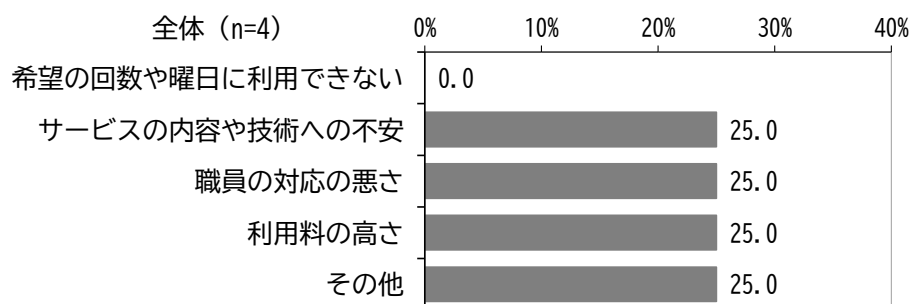
居宅療養管理指導を利用している人の満足度については、「満足している」が 55.8%で最も高く、次いで「普通」が 34.9%、「不満である」が 9.3%となっています。

図表 3-4-24 居宅療養管理指導の満足度



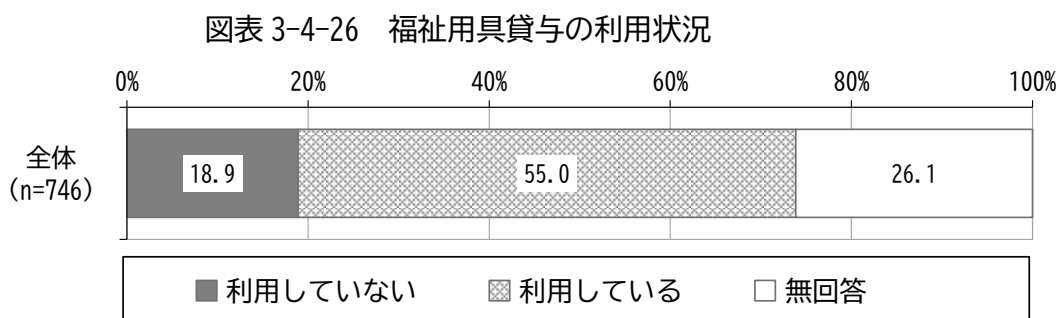
居宅療養管理指導を利用している人の不満の理由については、「サービスの内容や技術への不安」、「職員の対応の悪さ」、「利用料の高さ」、「その他」がいずれも 25.0%となっています。

図表 3-4-25 居宅療養管理指導の不満の理由

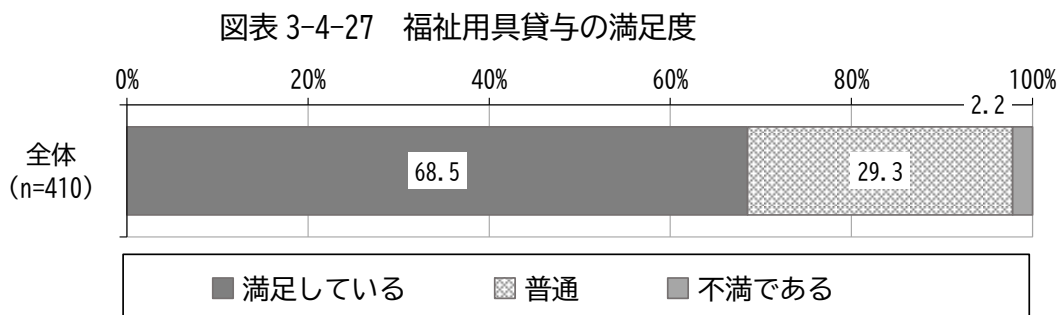


⑨ 福祉用具貸与

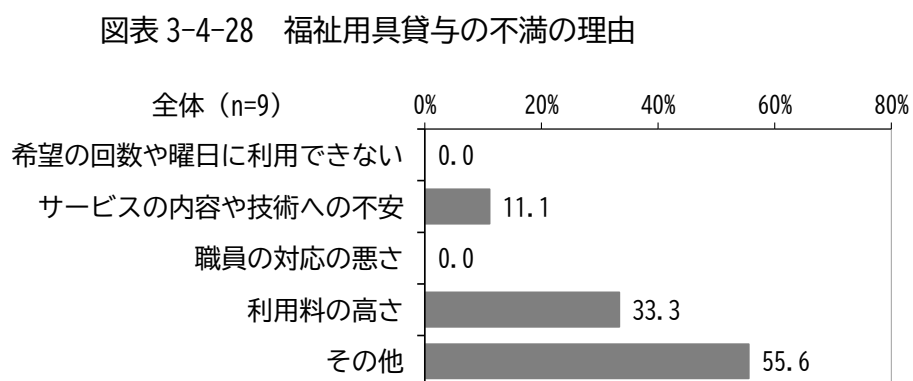
福祉用具貸与の利用状況については、「利用していない」が18.9%、「利用している」が55.0%となっています。



福祉用具貸与を利用している人の満足度については、「満足している」が68.5%で最も高く、次いで「普通」が29.3%、「不満である」が2.2%となっています。

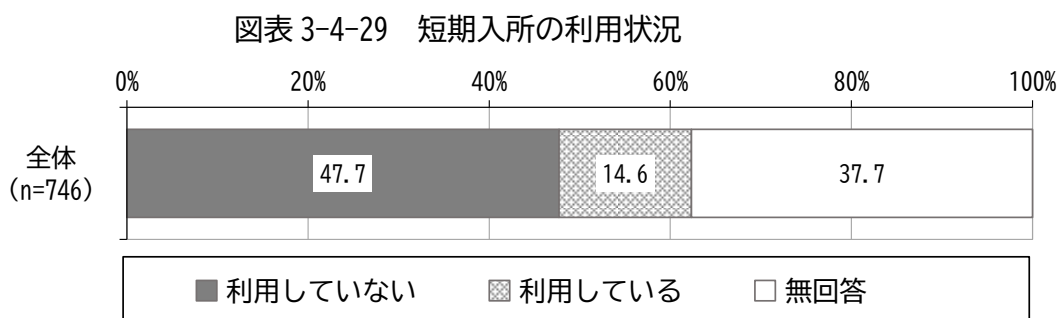


福祉用具貸与を利用している人の不満の理由については、「その他」が55.6%で最も高く、次いで「利用料の高さ」が33.3%、「サービスの内容や技術への不安」が11.1%と続いています。

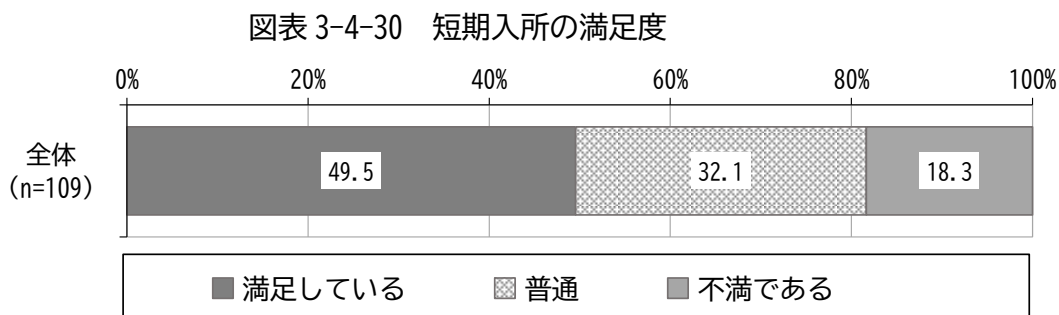


⑩ 短期入所

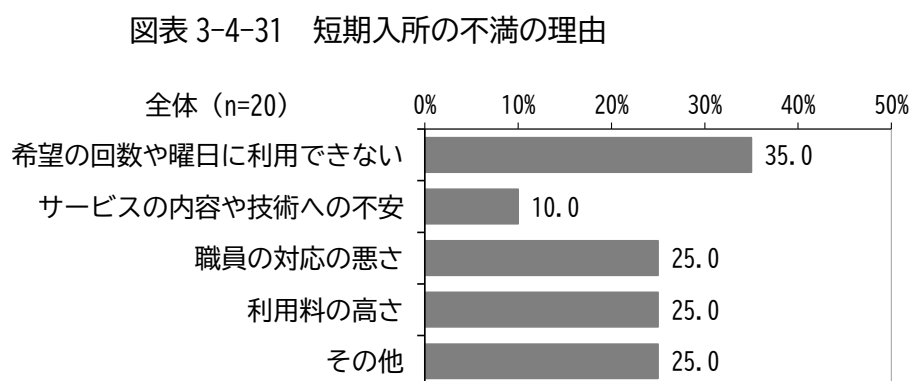
短期入所の利用状況については、「利用していない」が47.7%、「利用している」が14.6%となっています。



短期入所を利用している人の満足度については、「満足している」が49.5%で最も高く、次いで「普通」が32.1%、「不満である」が18.3%となっています。



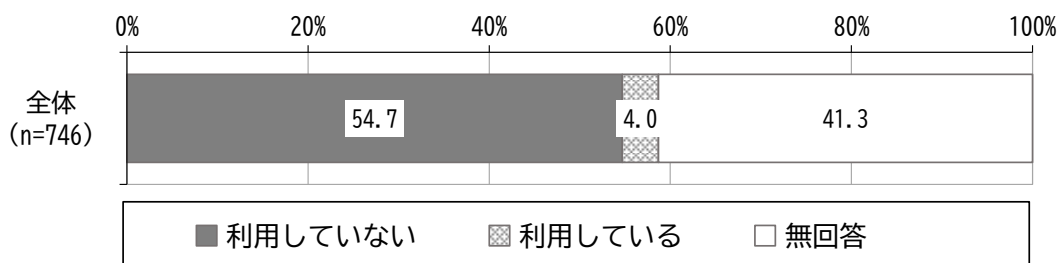
短期入所を利用している人の不満の理由については、「希望の回数や曜日に利用できない」が35.0%で最も高くなっています。



① 認知症対応型共同生活介護

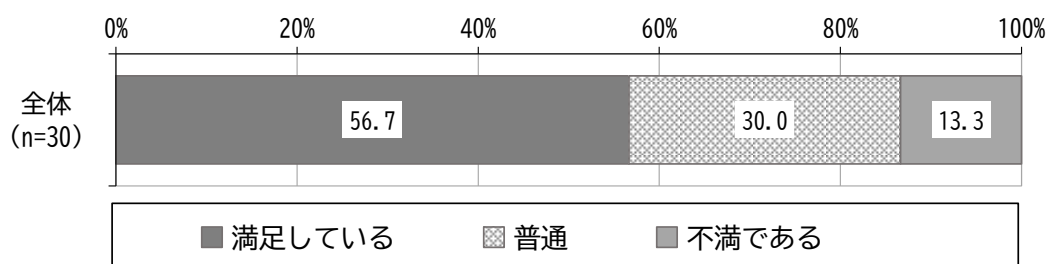
認知症対応型共同生活介護の利用状況については、「利用していない」が54.7%、「利用している」が4.0%となっています。

図表 3-4-32 認知症対応型共同生活介護の利用状況



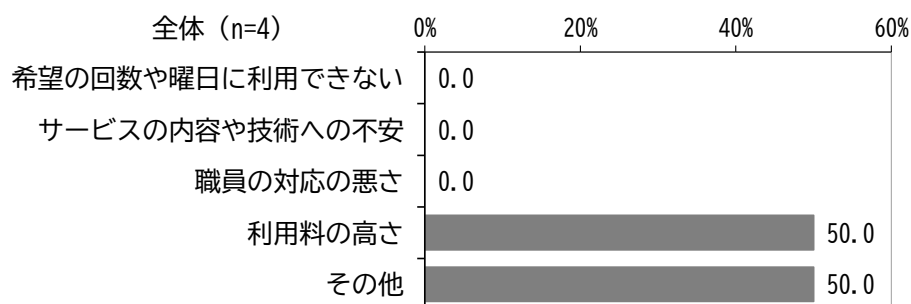
認知症対応型共同生活介護を利用している人の満足度については、「満足している」が56.7%で最も高く、次いで「普通」が30.0%、「不満である」が13.3%となっています。

図表 3-4-33 認知症対応型共同生活介護の満足度



認知症対応型共同生活介護を利用している人の不満の理由については、「利用料の高さ」、「その他」がいずれも50.0%となっています。

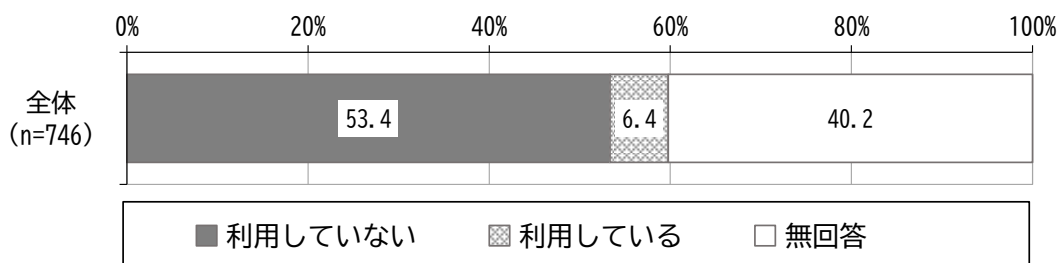
図表 3-4-34 認知症対応型共同生活介護の不満の理由



⑫ 小規模多機能型居宅介護

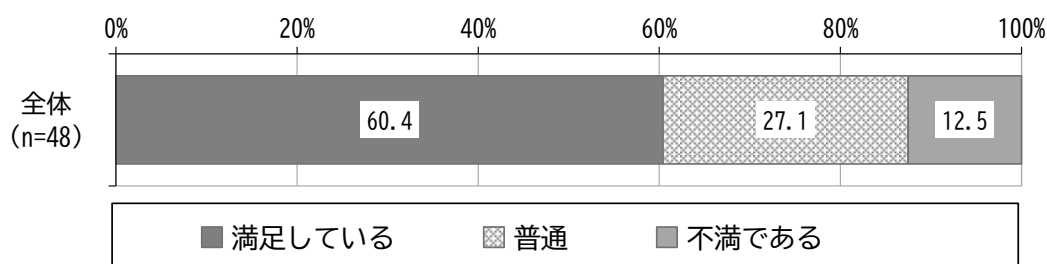
小規模多機能型居宅介護の利用状況については、「利用していない」が53.4%、「利用している」が6.4%となっています。

図表 3-4-35 小規模多機能型居宅介護の利用状況



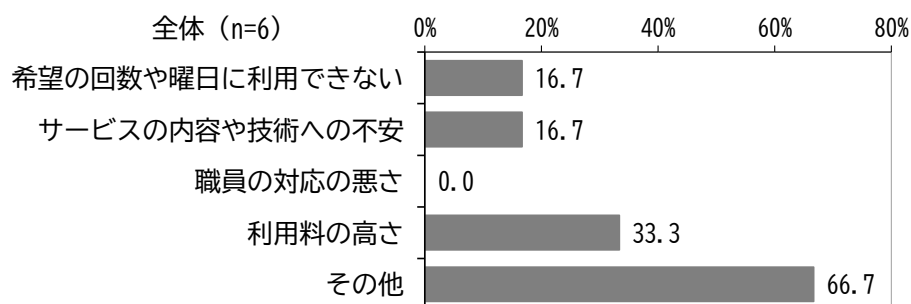
小規模多機能型居宅介護を利用している人の満足度については、「満足している」が60.4%で最も高く、次いで「普通」が27.1%、「不満である」が12.5%となっています。

図表 3-4-36 小規模多機能型居宅介護の満足度



小規模多機能型居宅介護を利用している人の不満の理由については、「その他」が66.7%で最も高く、次いで「利用料の高さ」が33.3%と続いています。

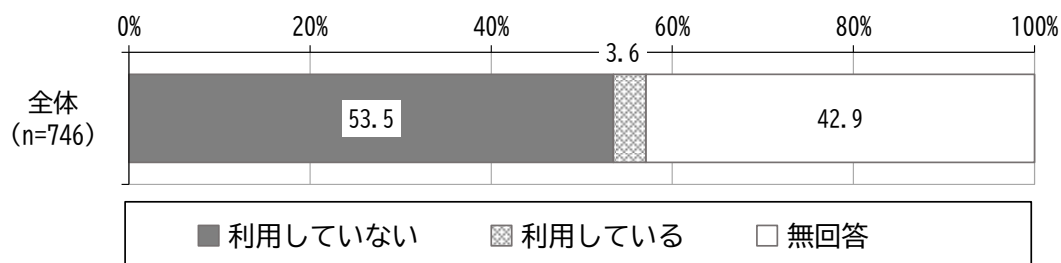
図表 3-4-37 小規模多機能型居宅介護の不満の理由



⑬ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

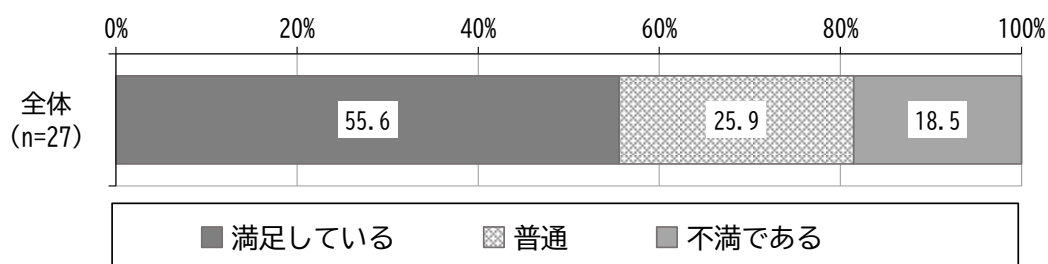
定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況については、「利用していない」が53.5%、「利用している」が3.6%となっています。

図表 3-4-38 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況



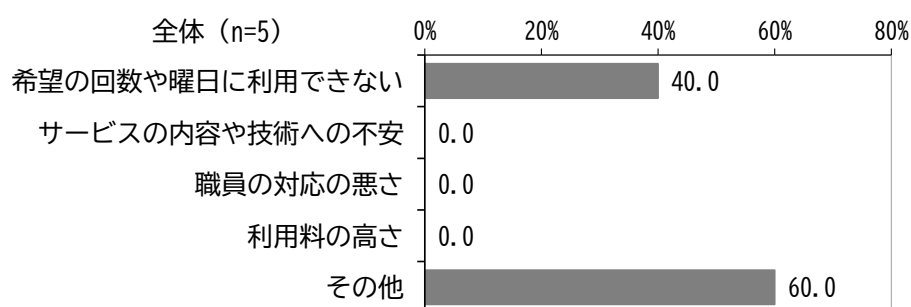
定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用している人の満足度については、「満足している」が55.6%で最も高く、次いで「普通」が25.9%、「不満である」が18.5%となっています。

図表 3-4-39 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の満足度



定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用している人の不満の理由については、「その他」が60.0%で最も高くなっています。

図表 3-4-40 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の不満の理由

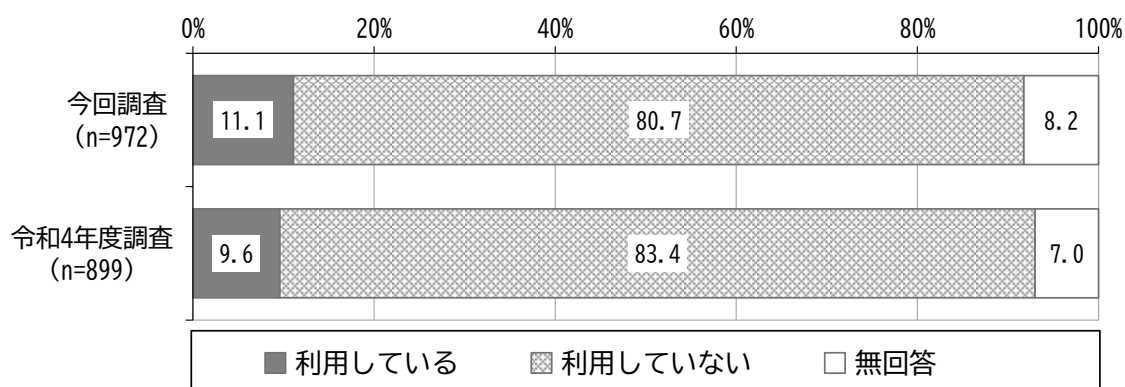


(3) 訪問診療を利用しているか

問 16	あなたは現在、訪問診療（往診）を利用していますか（1つだけ）
------	--------------------------------

訪問診療を利用しているかについては、「利用している」が11.1%、「利用していない」が80.7%となっています。

図表 3-4-41 訪問診療を利用しているか

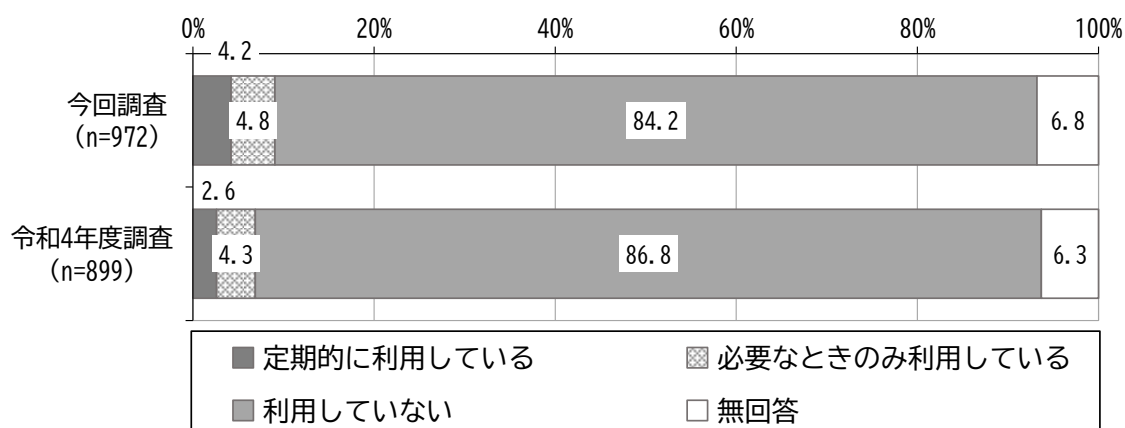


(4) 訪問歯科診療を利用しているか

問 17	あなたは現在、訪問歯科診療を利用していますか（1つだけ）
------	------------------------------

訪問歯科診療を利用しているかについては、「利用していない」が84.2%で最も高く、次いで「必要ときのみ利用している」が4.8%、「定期的にご利用している」が4.2%となっています。

図表 3-4-42 訪問歯科診療を利用しているか

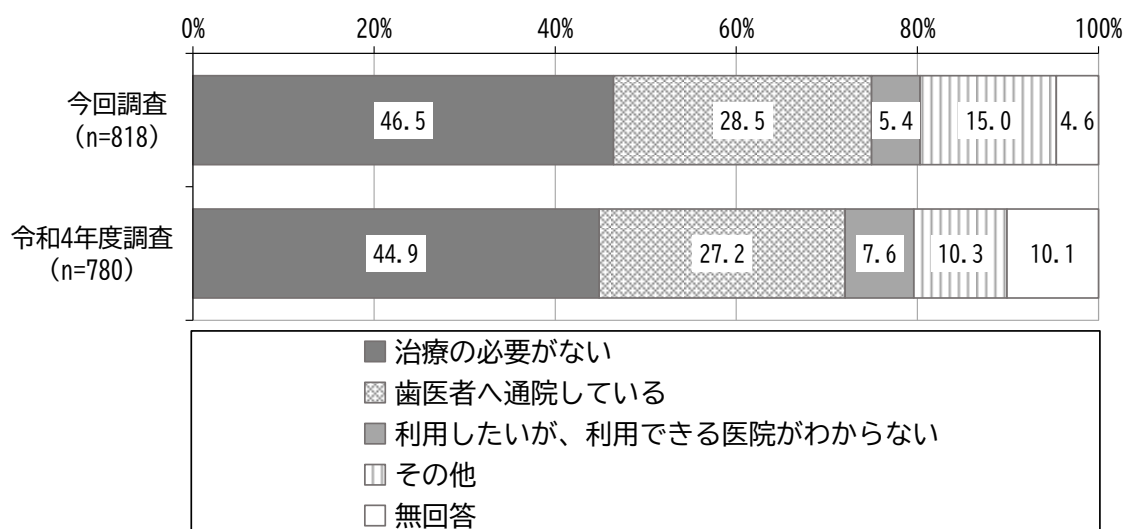


(5) 訪問歯科診療を利用していない理由

問 17-①	【問 17 で「③利用していない」と答えた方（訪問歯科診療を利用していない）のみ、お答えください】 利用していない理由は何ですか（1 つだけ）
--------	--

訪問歯科診療を利用していない理由については、「治療の必要がない」が46.5%で最も高く、次いで「歯医者へ通院している」が28.5%、「その他」が15.0%と続いています。

図表 3-4-43 訪問歯科診療を利用していない理由



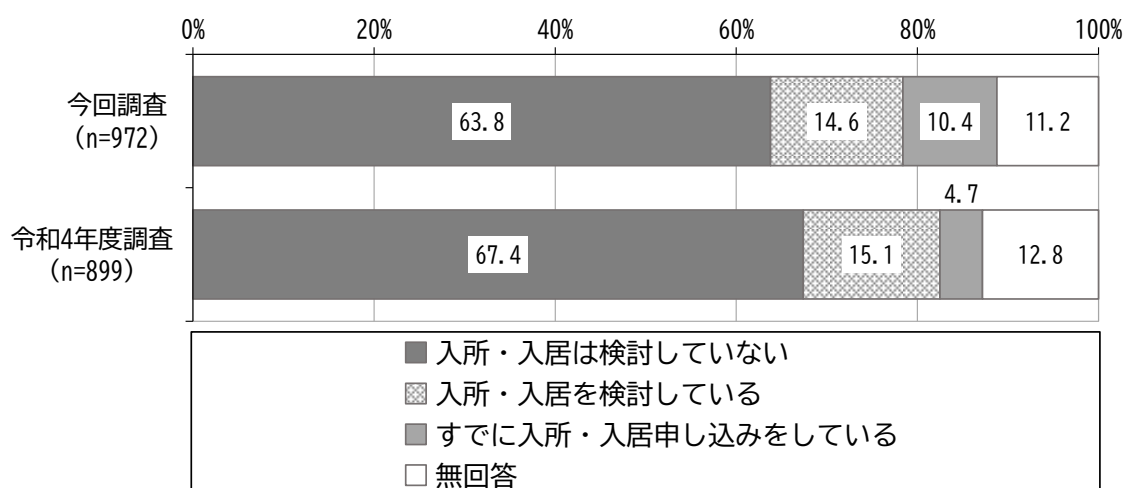
(6) 施設等への入所・入居の検討状況

問 18

現時点で、施設などへの入所・入居の検討状況について、お聞かせください
(1つだけ)

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が63.8%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が14.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が10.4%となっています。

図表 3-4-44 施設等への入所・入居の検討状況



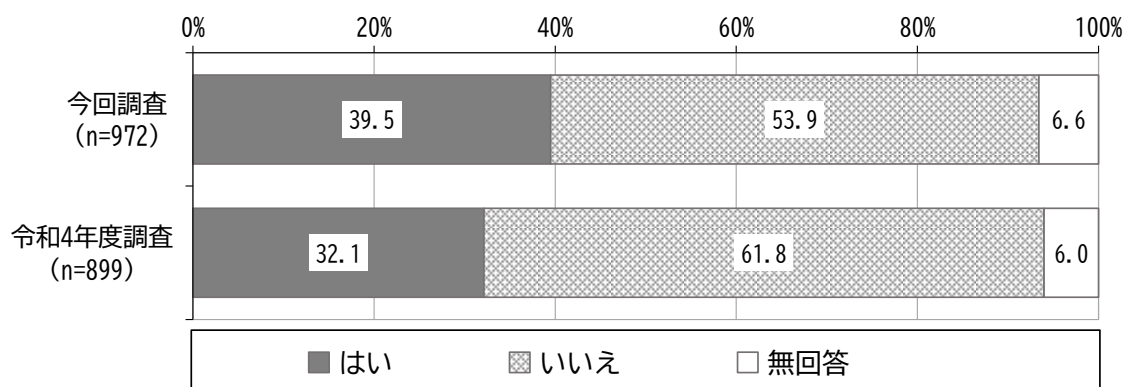
(7) 過去1年間に医療機関に入院したことがあるか

問 19

過去1年間に医療機関に入院したことがありますか (1つだけ)

過去1年間に医療機関に入院したことがあるかについては、「はい」が39.5%、「いいえ」が53.9%となっています。

図表 3-4-45 過去1年間に医療機関に入院したことがあるか



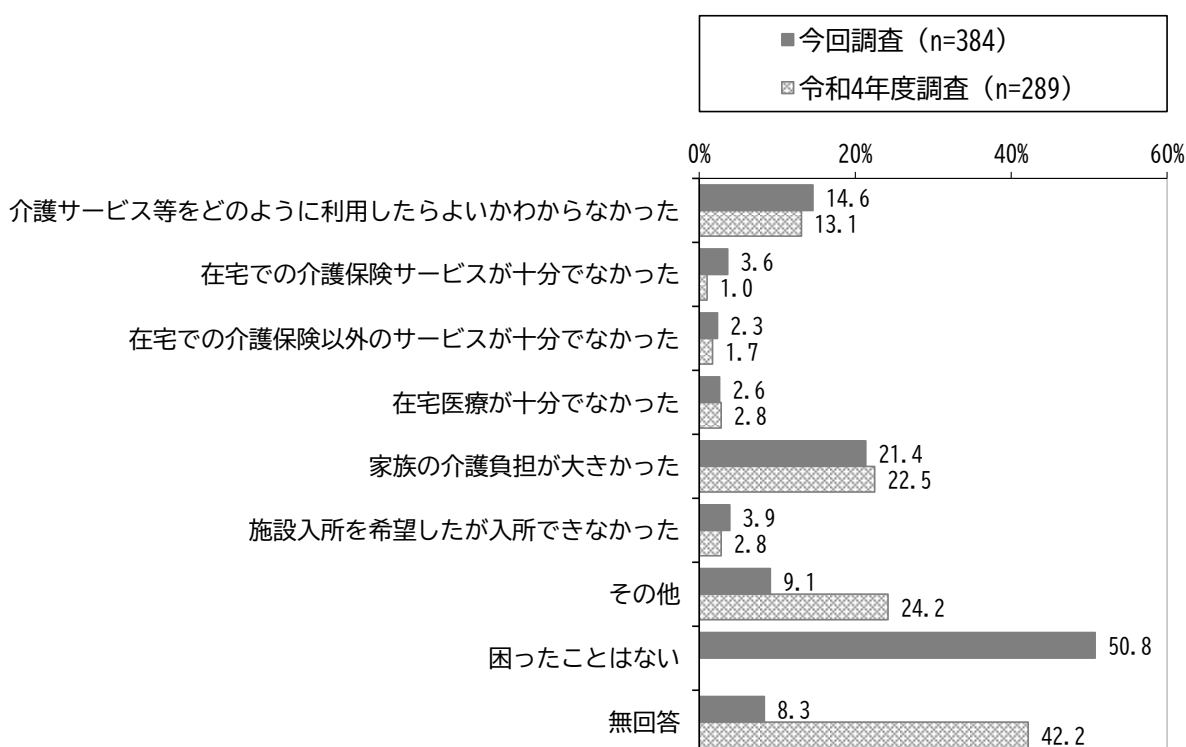
(8) 退院後、介護保険等サービスへの移行や連携で困ったこと

問 19-①

【問 19 で「①はい」と答えた方（入院したことがある方）のみ、お答えください】
退院後、介護保険等サービスへの移行や連携で困ったことはありますか(いくつでも)

退院後、介護保険等サービスへの移行や連携で困ったことについては、「困ったことはない」が 50.8%で最も高く、次いで「家族の介護負担が大きかった」が 21.4%、「介護サービス等をどのように利用したらよいかわからなかった」が 14.6%と続いています。

図表 3-4-46 退院後、介護保険等サービスへの移行や連携で困ったこと



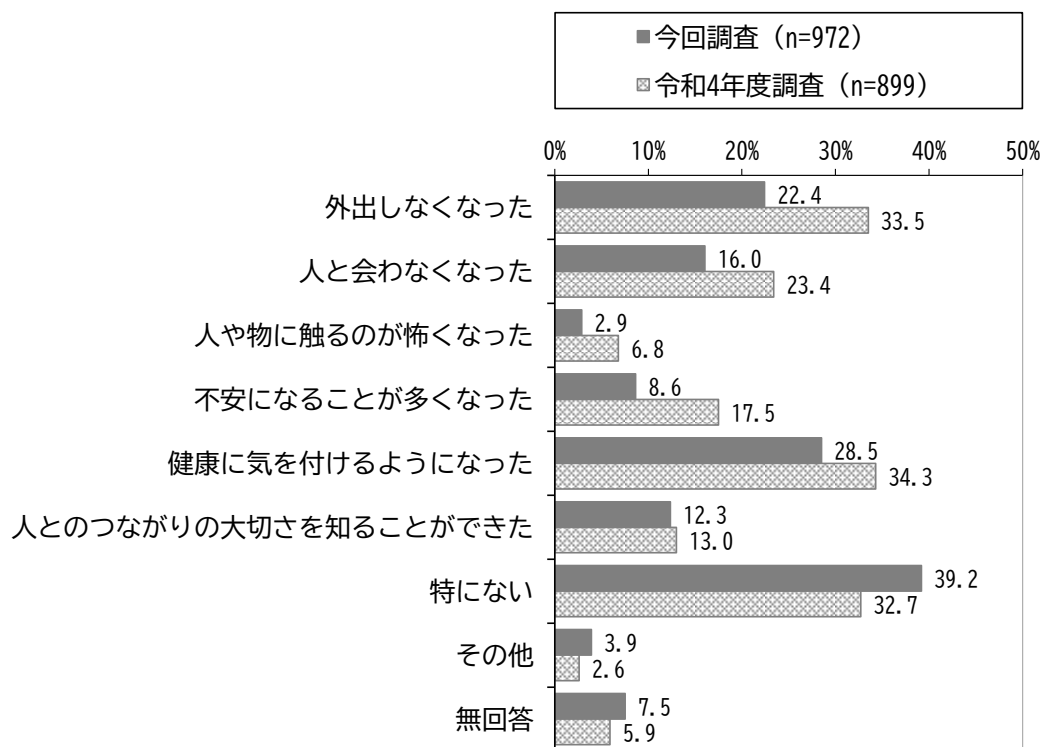
※ 「困ったことはない」は今回調査からの選択肢

(9) コロナ禍を経て行動や意識に変化があったか

問 20	コロナ禍を経て、あなたの行動や意識に変化はありましたか（いくつでも）
------	------------------------------------

コロナ禍を経て行動や意識に変化があったかについては、「特にない」が39.2%で最も高く、次いで「健康に気を付けるようになった」が28.5%、「外出しなくなった」が22.4%と続いています。

図表 3-4-47 コロナ禍を経て行動や意識に変化があったか

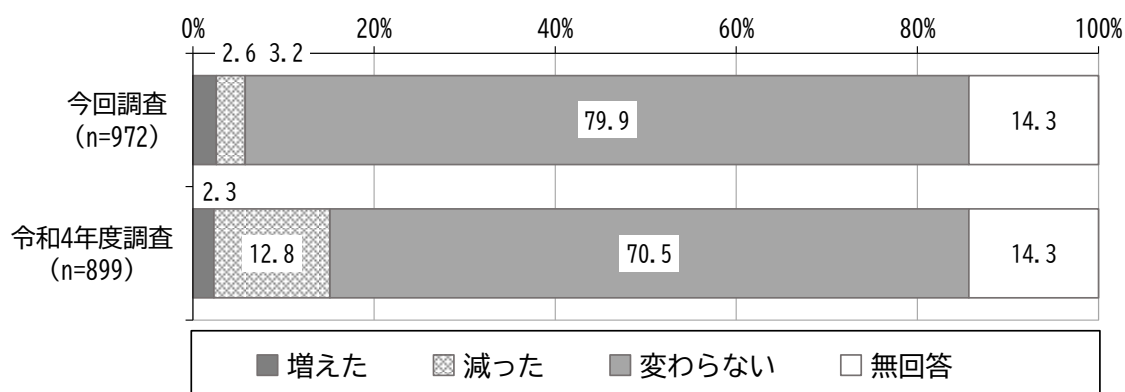


(10) コロナ禍の影響でサービス利用状況が変化したか

問 21	コロナ禍の影響でサービス利用状況は変化しましたか（1つだけ）
------	--------------------------------

コロナ禍の影響でサービス利用状況が変化したかについては、「変わらない」が79.9%で最も高く、次いで「減った」が3.2%、「増えた」が2.6%と続いています。

図表 3-4-48 コロナ禍の影響でサービス利用状況が変化したか

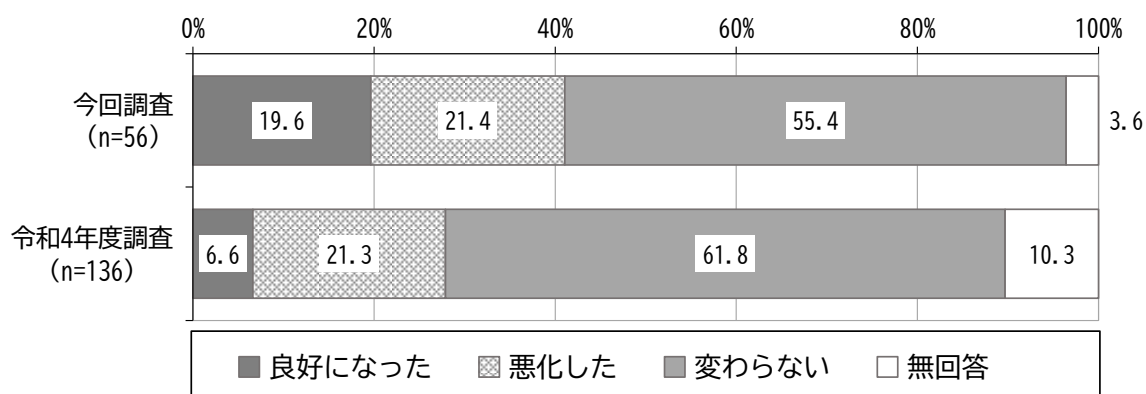


(11) コロナ禍の影響でサービス利用状況が変化した方が身体の変化はあったか

問 21-①	【問 21 で「①増えた」または「②減った」を答えた方（変化があった方）のみ、お答えください。】 身体の変化はありましたか（1つだけ）
--------	--

コロナ禍の影響でサービス利用状況が変化した方が身体の変化はあったかについては、「変わらない」が55.4%で最も高く、次いで「悪化した」が21.4%、「良好になった」が19.6%となっています。

図表 3-4-49 コロナ禍の影響でサービス利用状況が変化した方が身体の変化はあったか

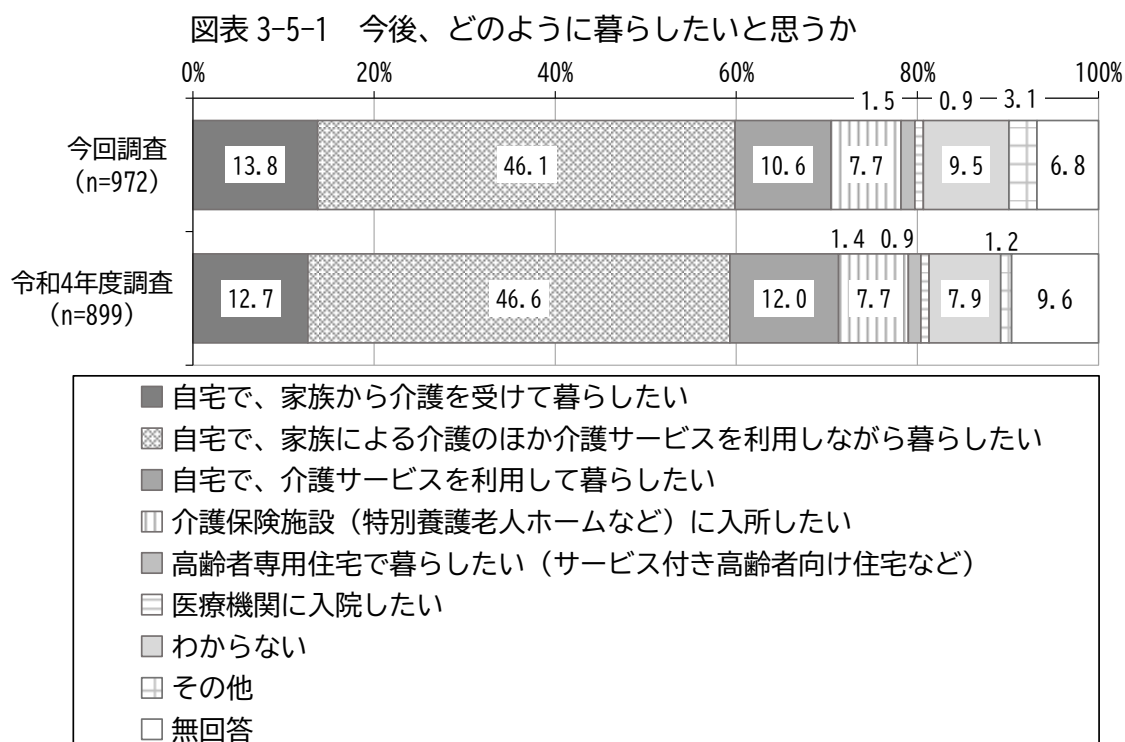


5 介護保険制度について

(1) 今後、どのように暮らしたいと思うか

問 22 あなたは今後、どのように暮らしたいと思いますか（1つだけ）

今後、どのように暮らしたいと思うかについては、「自宅で、家族による介護のほか介護サービスを利用しながら暮らしたい」が46.1%で最も高く、次いで「自宅で、家族から介護を受けて暮らしたい」が13.8%、「自宅で、介護サービスを利用して暮らしたい」が10.6%と続いています。

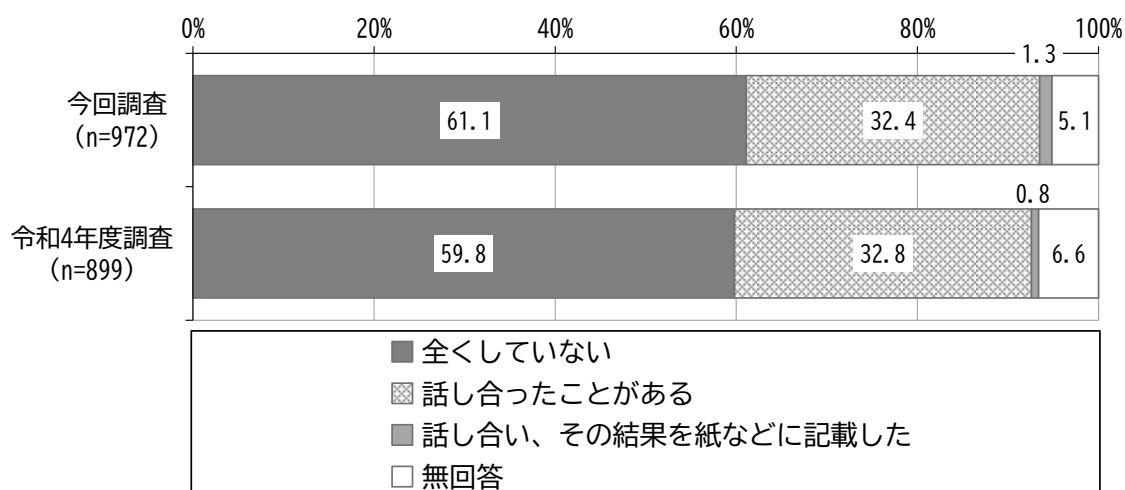


(2) ACP（人生会議）の実施状況

問 23	人生の最期（最終段階）について誰かと話し合い（ACP：人生会議）をしていますか（1つだけ）
------	---

ACP（人生会議）の実施状況については、「全くしていない」が61.1%で最も高く、次いで「話し合ったことがある」が32.4%、「話し合い、その結果を紙などに記載した」が1.3%と続いています。

図表 3-5-2 ACP（人生会議）の実施状況

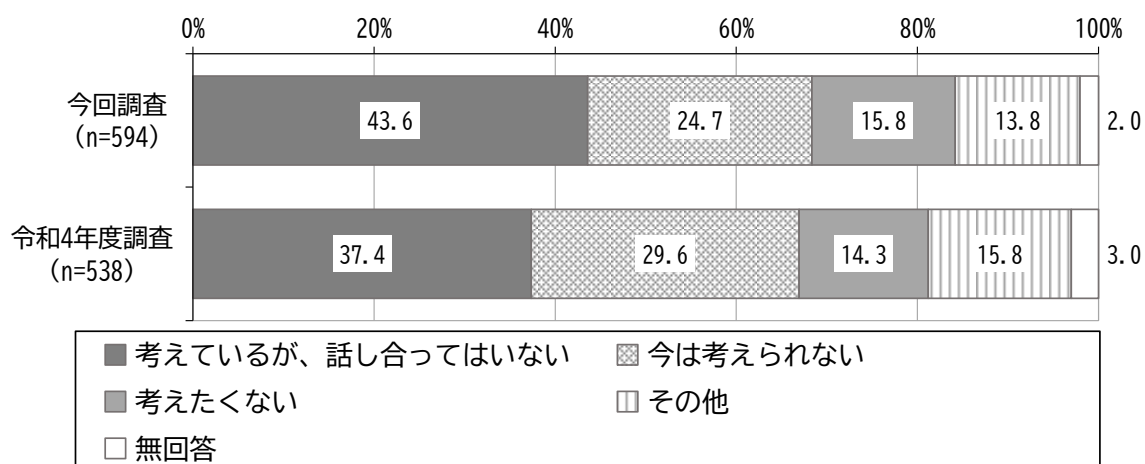


(3) ACP（人生会議）を実施していない理由

問 23-①	【問 23 で「①全くしていない」と答えた方（全くしていない方）のみ、お答えください】 していない理由は何ですか（1つだけ）
--------	---

ACP（人生会議）を実施していない理由については、「考えているが、話し合っていない」が43.6%で最も高く、次いで「今は考えられない」が24.7%、「考えたくない」が15.8%と続いています。

図表 3-5-3 ACP（人生会議）を実施していない理由

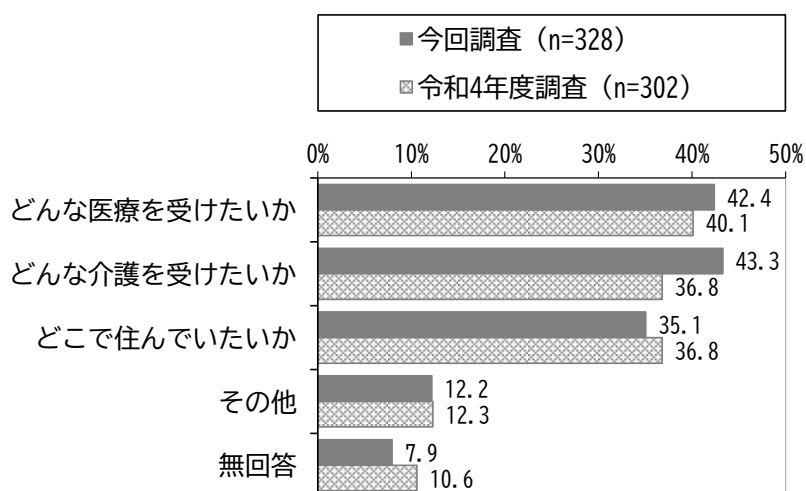


(4) ACP（人生会議）の実施内容

問 23-②	【問 23 で「②話し合ったことがある」または「③話し合い、その結果を紙などに記載した」と答えた方（話し合ったことがある方）のみ、お答えください】 どんな内容をお話しましたか（いくつでも）
--------	---

ACP（人生会議）の実施内容については、「どんな介護を受けたいか」が43.3%で最も高く、次いで「どんな医療を受けたいか」が42.4%、「どこで住んでいきたいか」が35.1%と続いています。

図表 3-5-4 ACP（人生会議）の実施内容

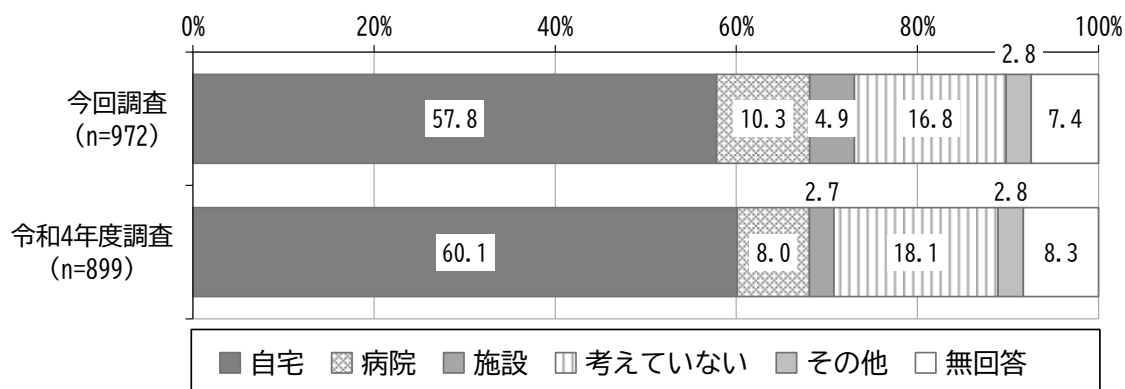


(5) 人生の最期をどこで迎えたいか

問 24	あなたは、人生の最期（最終段階）をどこで迎えたいですか（1つだけ）
------	-----------------------------------

人生の最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」が57.8%で最も高く、次いで「考えていない」が16.8%、「病院」が10.3%と続いています。

図表 3-5-5 人生の最期をどこで迎えたいか

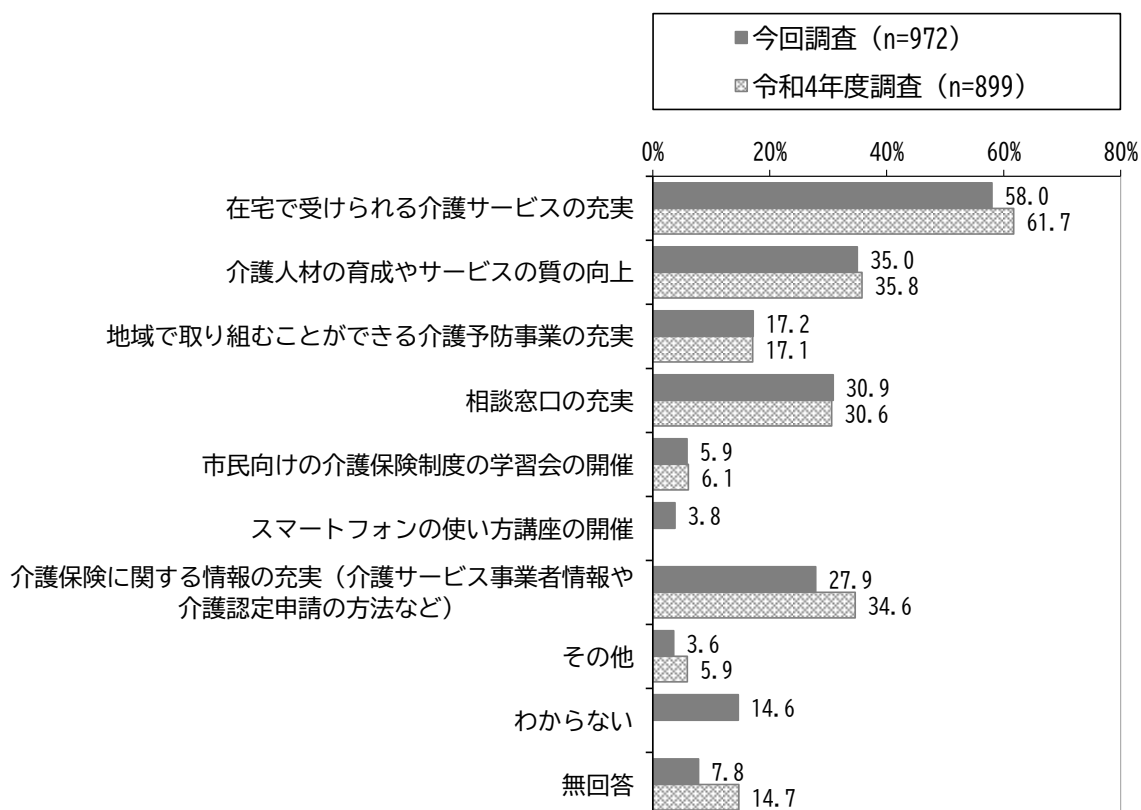


(6) 今後の介護保険制度に対してどのようなことが必要だと思うか

問 25	今後の介護保険制度に対してどのようなことが必要だと思いますか（5つまで）
------	--------------------------------------

今後の介護保険制度に対してどのようなことが必要だと思うかについては、「在宅で受けられる介護サービスの充実」が 58.0%で最も高く、次いで「介護人材の育成やサービスの質の向上」が 35.0%、「相談窓口の充実」が 30.9%と続いています。

図表 3-5-6 今後の介護保険制度に対してどのようなことが必要だと思うか



※ 「スマートフォンの使い方講座の開催」、「わからない」は今回調査からの選択肢

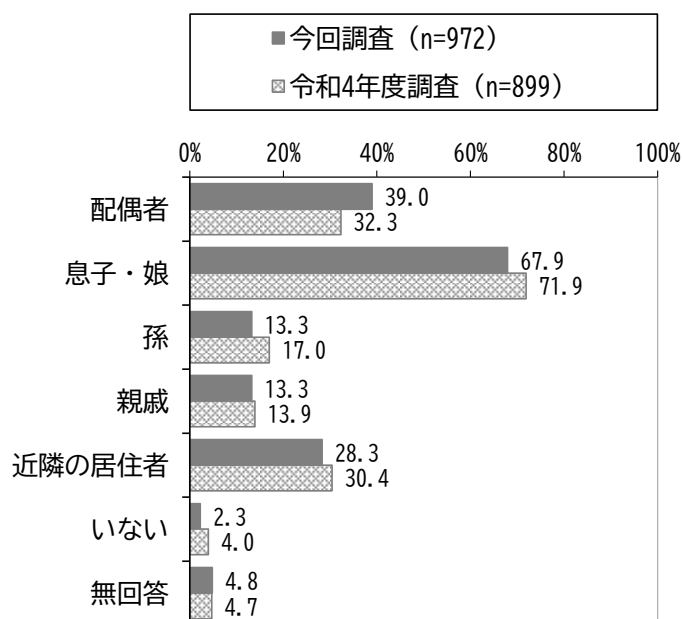
6 高齢者支援について

(1) 災害発生時において近隣で助けてくれる人は誰か

問 26 災害発生時において近隣で助けてくれる人は誰ですか（いくつでも）

災害発生時において近隣で助けてくれる人は誰かについては、「息子・娘」が67.9%で最も高く、次いで「配偶者」が39.0%、「近隣の居住者」が28.3%と続いています。

図表 3-6-1 災害発生時において近隣で助けてくれる人は誰か

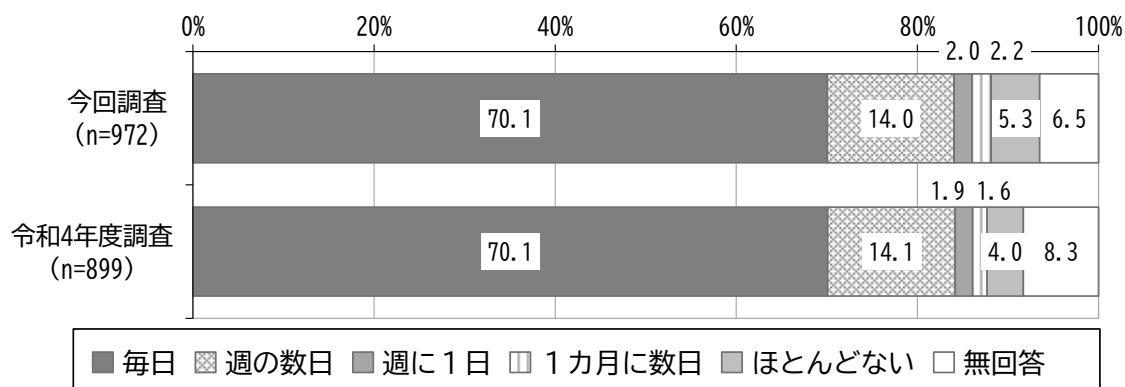


(2) 誰かと会話する頻度

問 27 誰かと会話する頻度はどれくらいですか（1つだけ）

誰かと会話する頻度については、「毎日」が70.1%で最も高く、次いで「週の数日」が14.0%、「ほとんどない」が5.3%と続いています。

図表 3-6-2 誰かと会話する頻度

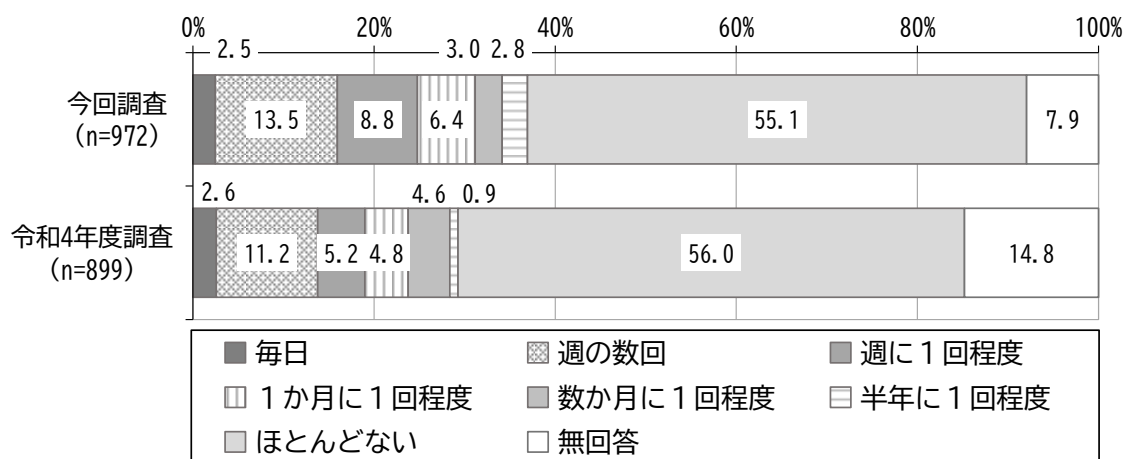


(3) 社会参加の頻度

問 28 社会参加の頻度はどれくらいですか (1つだけ)

社会参加の頻度については、「ほとんどない」が55.1%で最も高く、次いで「週の数回」が13.5%、「週に1回程度」が8.8%と続いています。

図表 3-6-3 社会参加の頻度

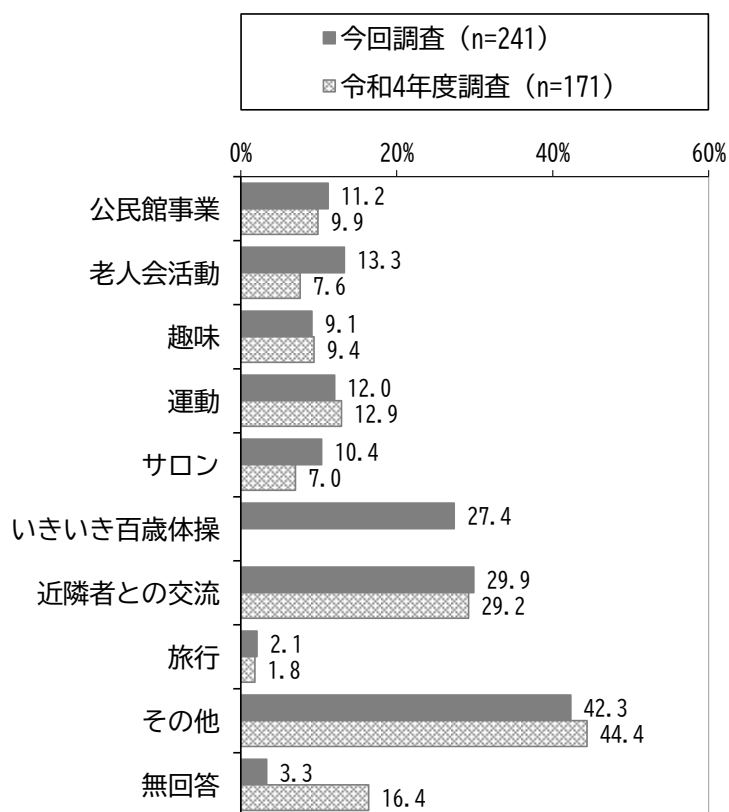


(4) 社会参加の活動内容

問 28-①	【問 28 で「①毎日」、「②週の数回」、「③週に 1 回程度」と答えた方のみ、お答えください】 それはどのような活動ですか（いくつでも）
--------	--

社会参加の活動内容については、「その他」が 42.3% で最も高く、次いで「近隣者との交流」が 29.9%、「いきいき百歳体操」が 27.4% と続いています。

図表 3-6-4 社会参加の活動内容



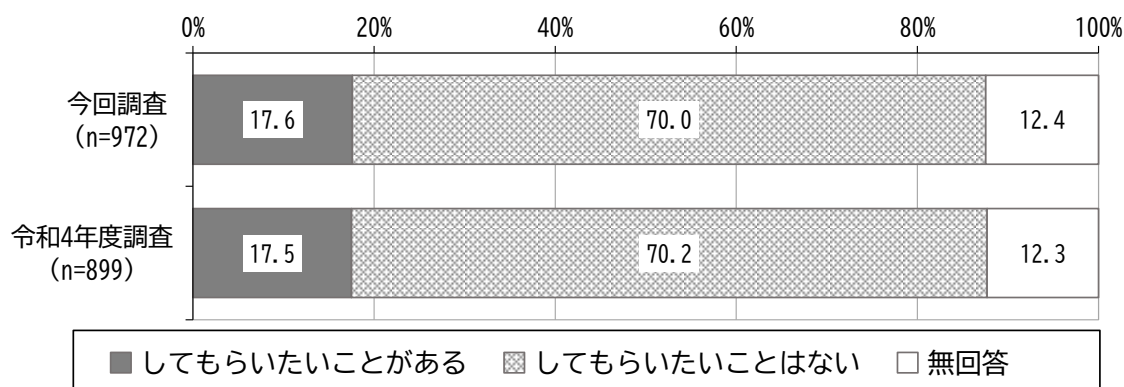
※ 「いきいき百歳体操」は今回調査からの選択肢

(5) 有償支援希望の有無

問 29	近所の人やボランティアに、若干の料金を支払って、手助けをしてもらいたいことはありますか（1つだけ）
------	---

有償支援希望の有無については、「してもらいたいことがある」が17.6%、「してもらいたいことはない」が70.0%となっています。

図表 3-6-5 有償支援希望の有無

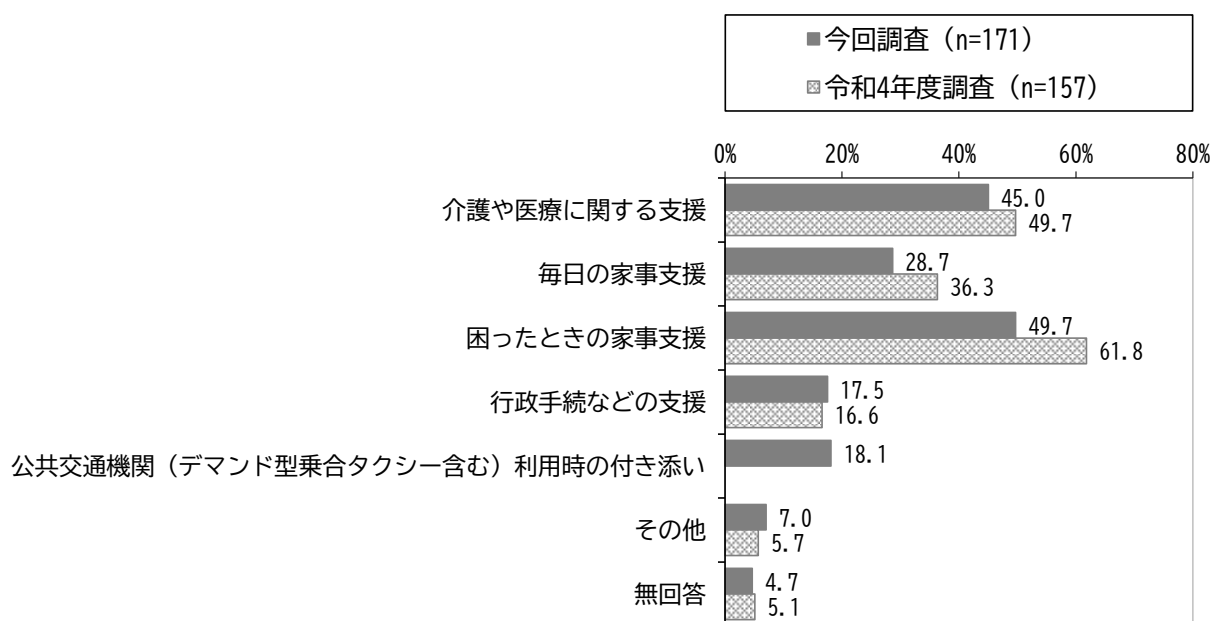


(6) 有償で支援してもらいたい内容

問 29-①	【問 29 で「①してもらいたいことがある」と答えた方（してもらいたいことがある方）のみ、お答えください】 どのようなことをしてもらいたいですか（いくつでも）
--------	--

有償で支援してもらいたい内容については、「困ったときの家事支援」が49.7%で最も高く、次いで「介護や医療に関する支援」が45.0%、「毎日の家事支援」が28.7%と続いています。

図表 3-6-6 有償で支援してもらいたい内容



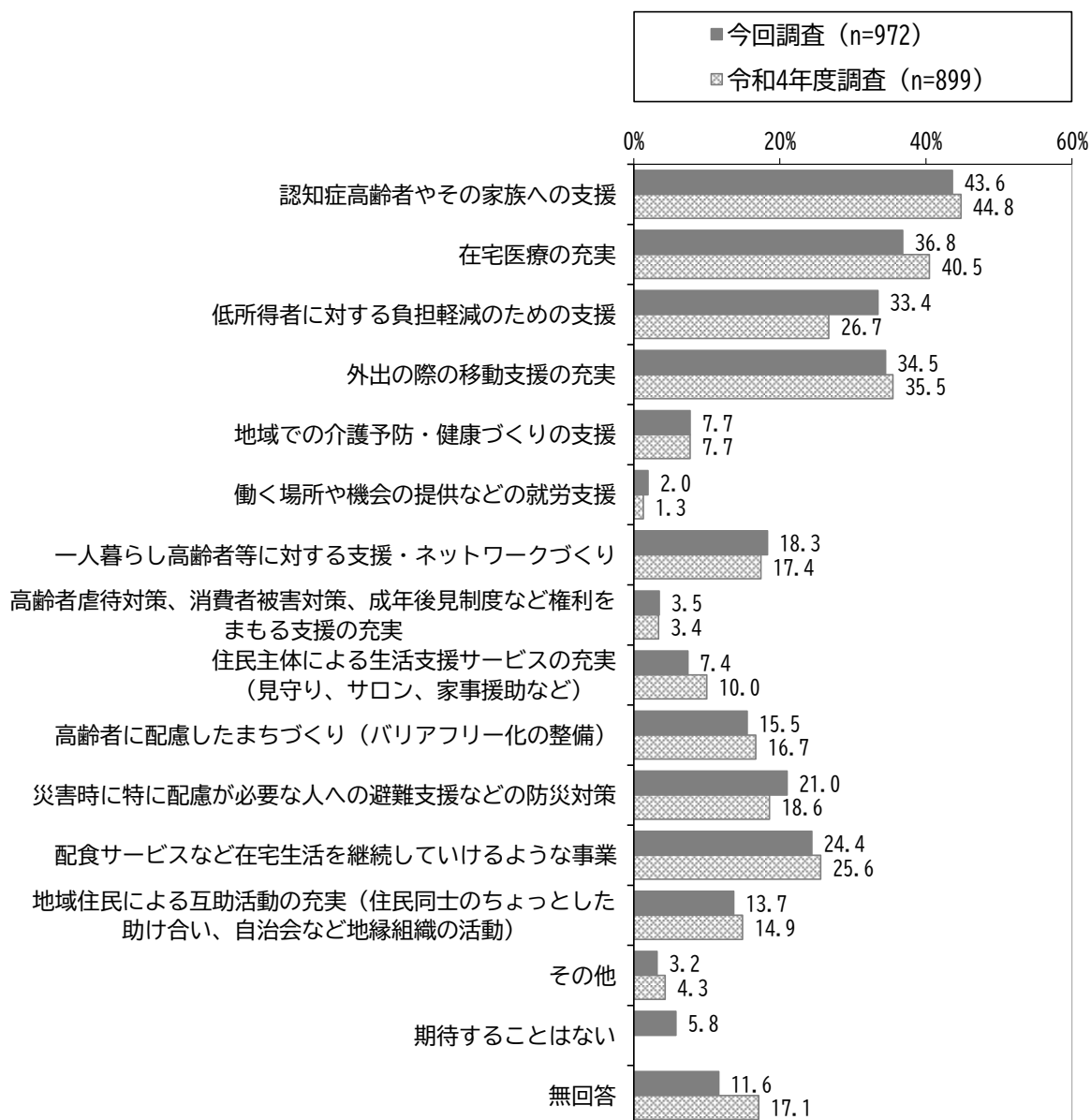
※ 「公共交通機関（デマンド型乗合タクシー含む）利用時の付き添い」は今回調査からの選択肢

(7) 今後の高齢者保健福祉に期待すること

問 30	今後の高齢者保健福祉に対してどのようなことを期待しますか (5 つまで)
------	--------------------------------------

今後の高齢者保健福祉に期待することについては、「認知症高齢者やその家族への支援」が43.6%で最も高く、次いで「在宅医療の充実」が36.8%、「外出の際の移動支援の充実」が34.5%と続いています。

図表 3-6-7 今後の高齢者保健福祉に期待すること



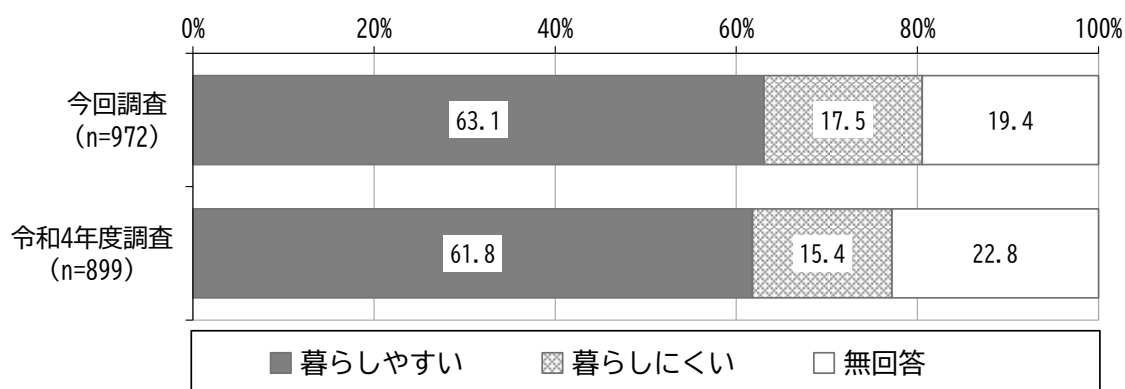
※ 「期待することはない」は今回調査からの選択肢

(8) 丹波市の暮らしやすさに関する評価

問 31	丹波市はあなたにとって暮らしやすいところですか (1つだけ)
------	--------------------------------

丹波市の暮らしやすさに関する評価については、「暮らしやすい」が63.1%、「暮らしにくい」が17.5%となっています。

図表 3-6-8 丹波市の暮らしやすさに関する評価



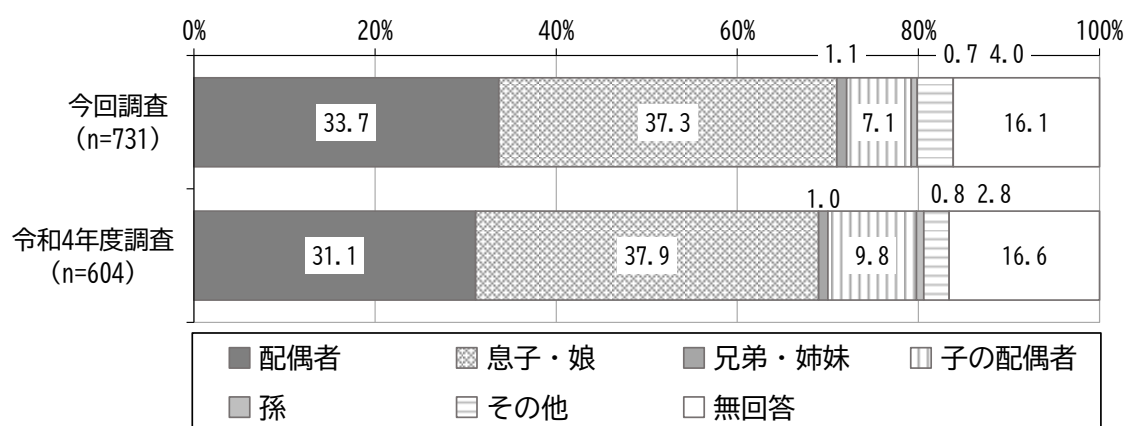
7 主な介護者の方について

(1) 主な介護者は誰か

問 33 主な介護者の方は、どなたですか（1つだけ）

主な介護者は誰かについては、「息子・娘」が37.3%で最も高く、次いで「配偶者」が33.7%、「子の配偶者」が7.1%と続いています。

図表 3-7-1 主な介護者は誰か

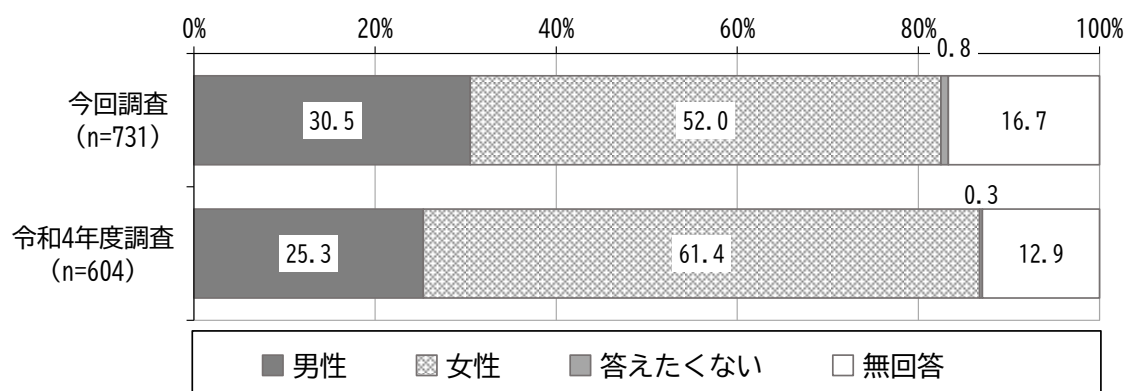


(2) 主な介護者の性別

問 34 主な介護者の方の性別をお答えください（1つだけ）

主な介護者の性別については、「男性」が30.5%、「女性」が52.0%、「答えたくない」が0.8%となっています。

図表 3-7-2 主な介護者の性別

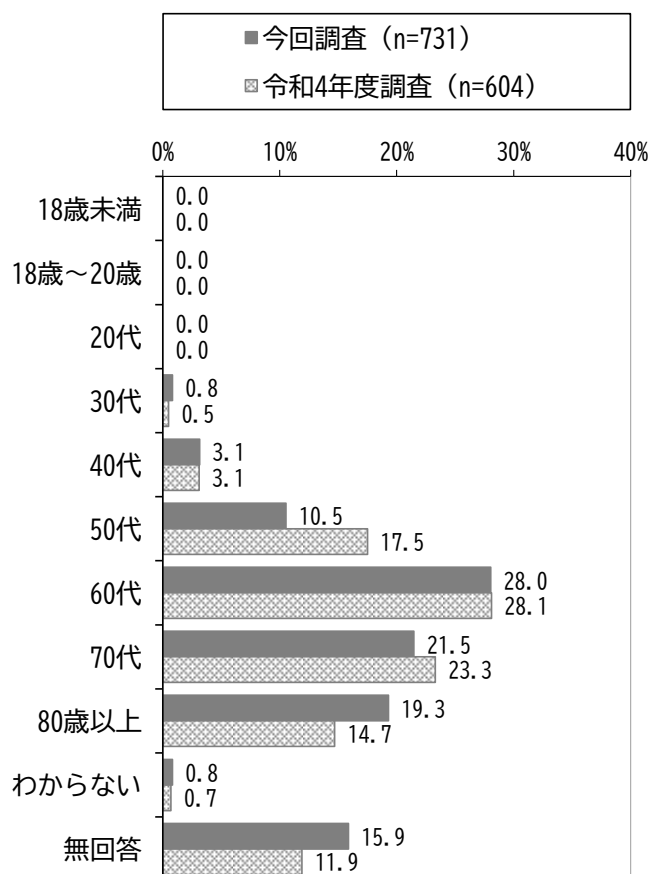


(3) 主な介護者の年齢

問 35 主な介護者の方の年齢について、お答えください (1つだけ)

主な介護者の年齢については、「60代」が28.0%で最も高く、次いで「70代」が21.5%、「80歳以上」が19.3%と続いています。

図表 3-7-3 主な介護者の年齢

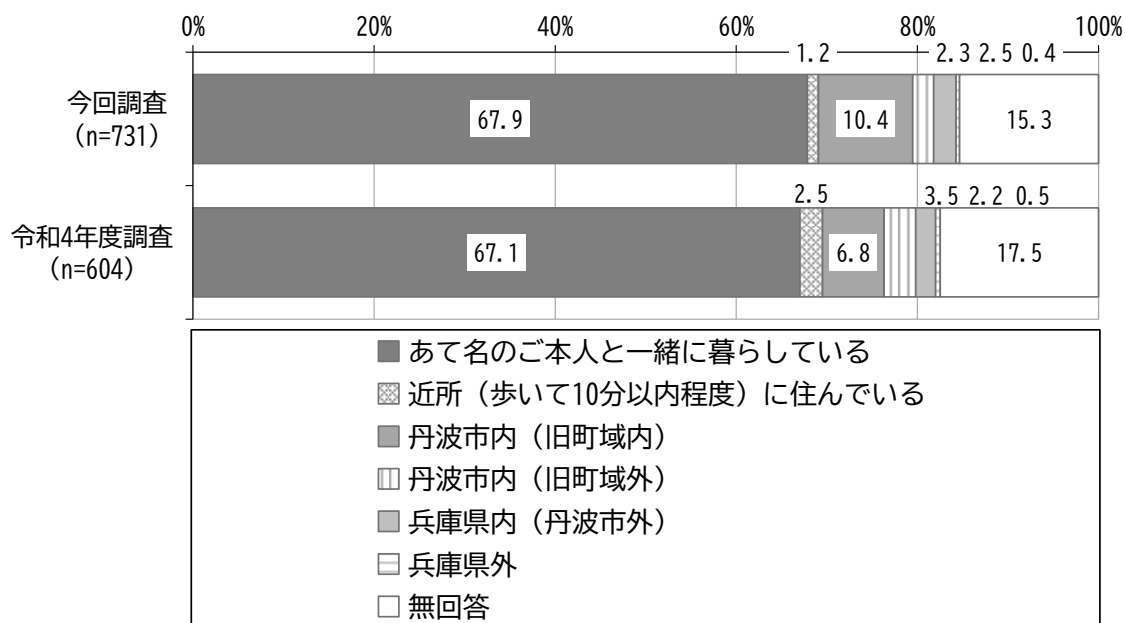


(4) 主な介護者の居住地

問 36 主な介護者の方はどちらにお住まいですか（1つだけ）

主な介護者の居住地については、「あて名のご本人と一緒に暮らしている」が67.9%で最も高く、次いで「丹波市内（旧町域内）」が10.4%、「兵庫県内（丹波市外）」が2.5%と続いています。

図表 3-7-4 主な介護者の居住地



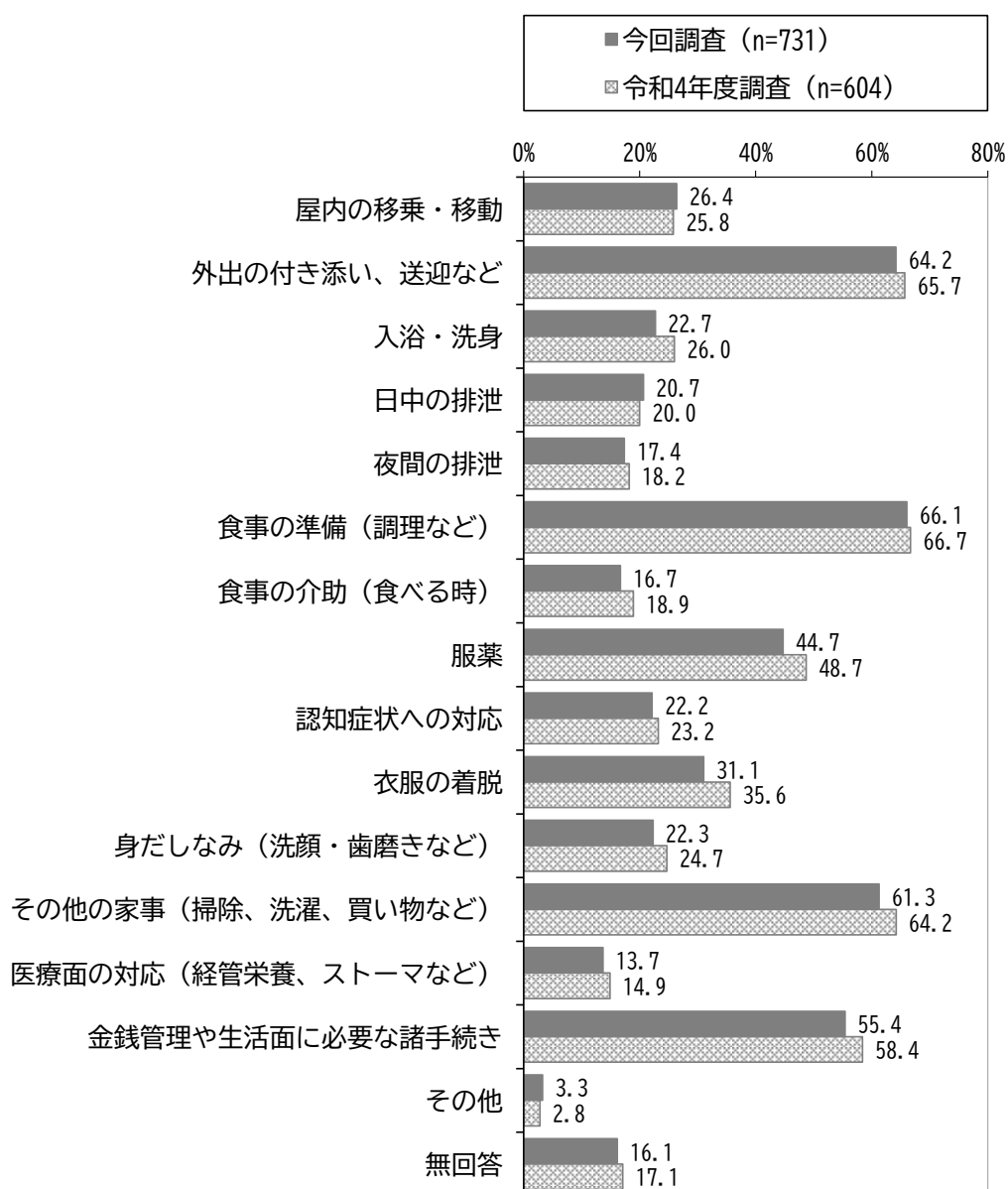
(5) 主な介護者が行っている介護・介助

問 37

主な介護者の方は、あて名のご本人にどのような介護・介助を行っていますか
(いくつでも)

主な介護者が行っている介護・介助については、「食事の準備（調理など）」が66.1%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が64.2%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が61.3%と続いています。

図表 3-7-5 主な介護者が行っている介護・介助

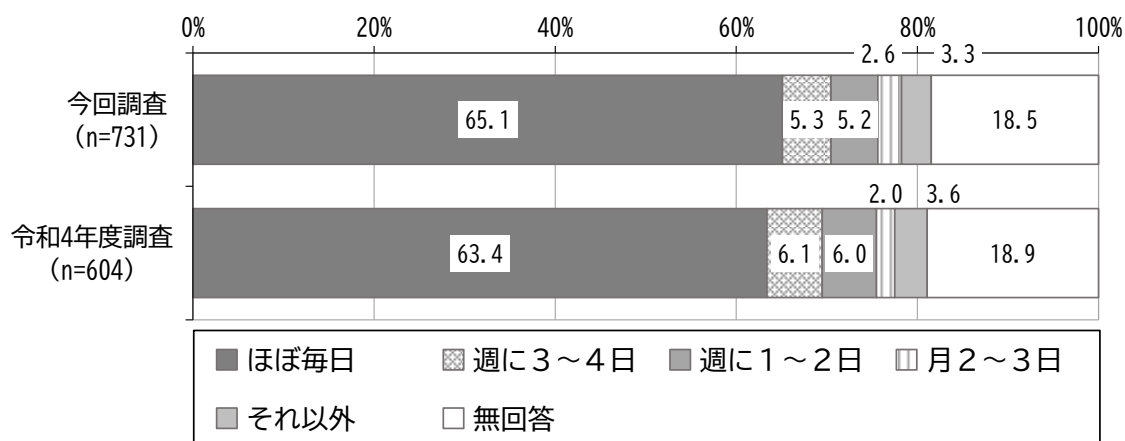


(6) 介護・介助の頻度

問 38 介護・介助は週にどの程度ありますか（1つだけ）

介護・介助の頻度については、「ほぼ毎日」が 65.1%で最も高く、次いで「週に3～4日」が 5.3%、「週に1～2日」が 5.2%と続いています。

図表 3-7-6 介護・介助の頻度

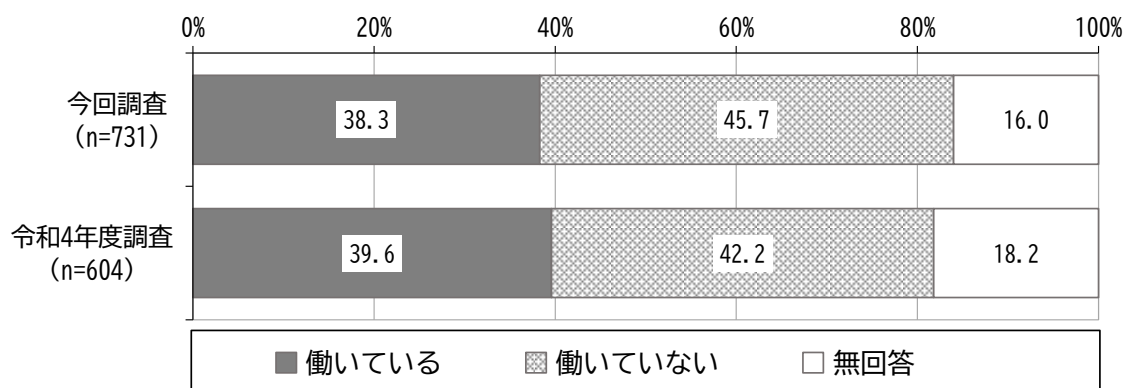


(7) 主な介護者の就労状況

問 39 現在、主な介護者の方はお仕事をされていますか。（1つだけ）

主な介護者の就労状況については、「働いている」が 38.3%、「働いていない」が 45.7%となっています。

図表 3-7-7 主な介護者の就労状況

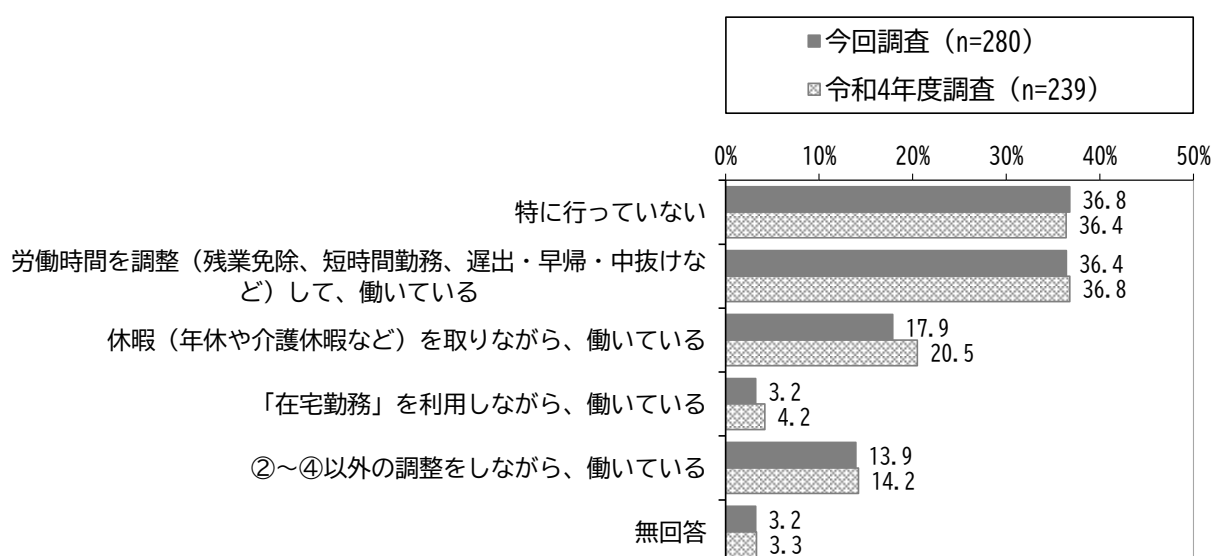


(8) 介護をするにあたって働き方の調整を行っているか

問 39-①	【問 39 で「①働いている」と答えた方（働いている方）のみ、お答えください】 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などをして いますか。（いくつでも）
--------	--

介護をするにあたって働き方の調整を行っているかについては、「特に行っていない」が36.8%で最も高く、次いで「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）して、働いている」が36.4%、「休暇（年休や介護休暇など）を取りながら、働いている」が17.9%と続いています。

図表 3-7-8 介護をするにあたって働き方の調整を行っているか



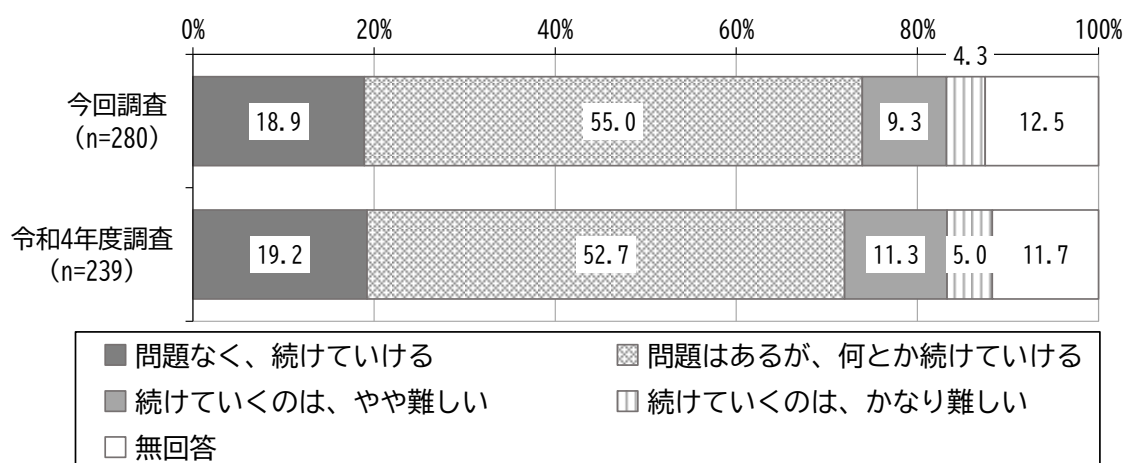
(9) 今後も働きながら介護を続けていけそうか

問 39-②

【問 39 で「①働いている」と答えた方（働いている方）のみ、お答えください】
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つだけ）

今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.0%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が18.9%、「続けていくのは、やや難しい」が9.3%と続いています。

図表 3-7-9 今後も働きながら介護を続けていけそうか



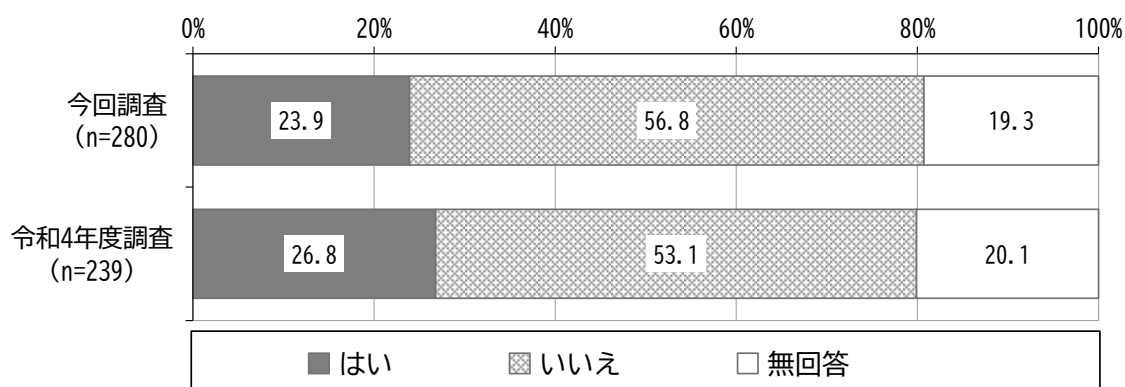
(10) 介護が原因で仕事を辞めた、または辞めようと思ったことがあるか

問 39-③

【問 39 で「①働いている」と答えた方（働いている方）のみ、お答えください】
 主な介護者の方は、介護が原因で仕事を辞めたことがある、または辞めようと思ったことがありますか（1つだけ）

介護が原因で仕事を辞めた、または辞めようと思ったことがあるかについては、「はい」が23.9%、「いいえ」が56.8%となっています。

図表 3-7-10 介護が原因で仕事を辞めた、または辞めようと思ったことがあるか

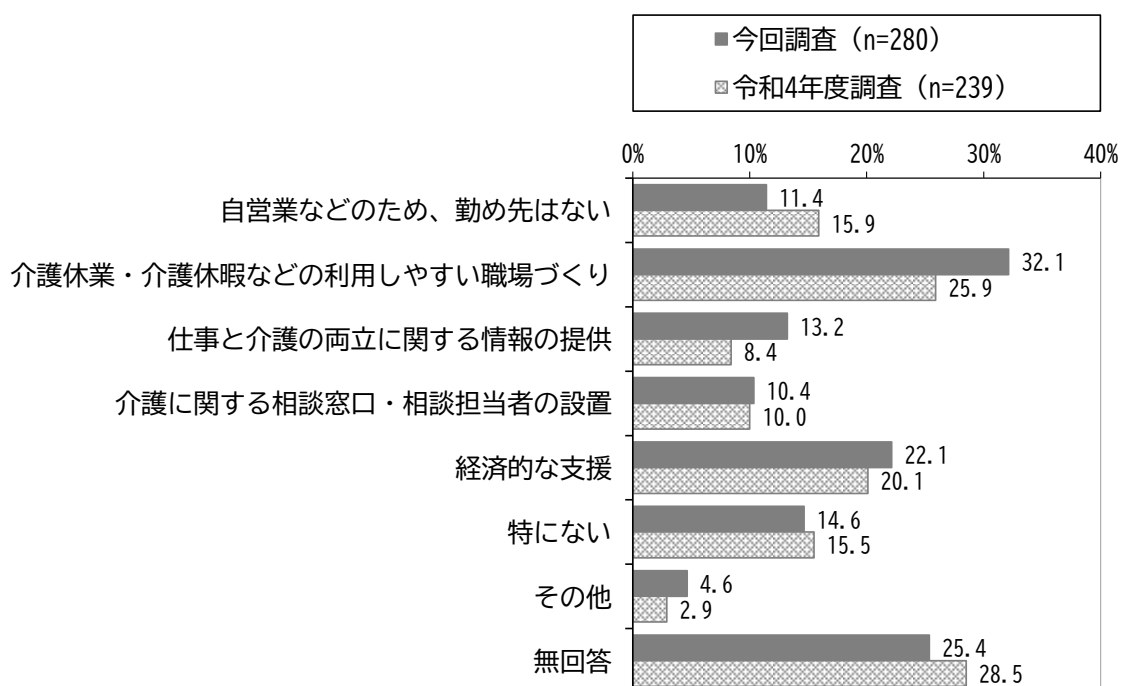


(11) 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか

問 39-④	【問 39 で「①働いている」と答えた方（働いている方）のみ、お答えください】 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（いくつでも）
--------	---

勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護休業・介護休暇などの利用しやすい職場づくり」が 32.1%で最も高く、次いで「経済的な支援」が 22.1%、「特にない」が 14.6%と続いています。

図表 3-7-11 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか

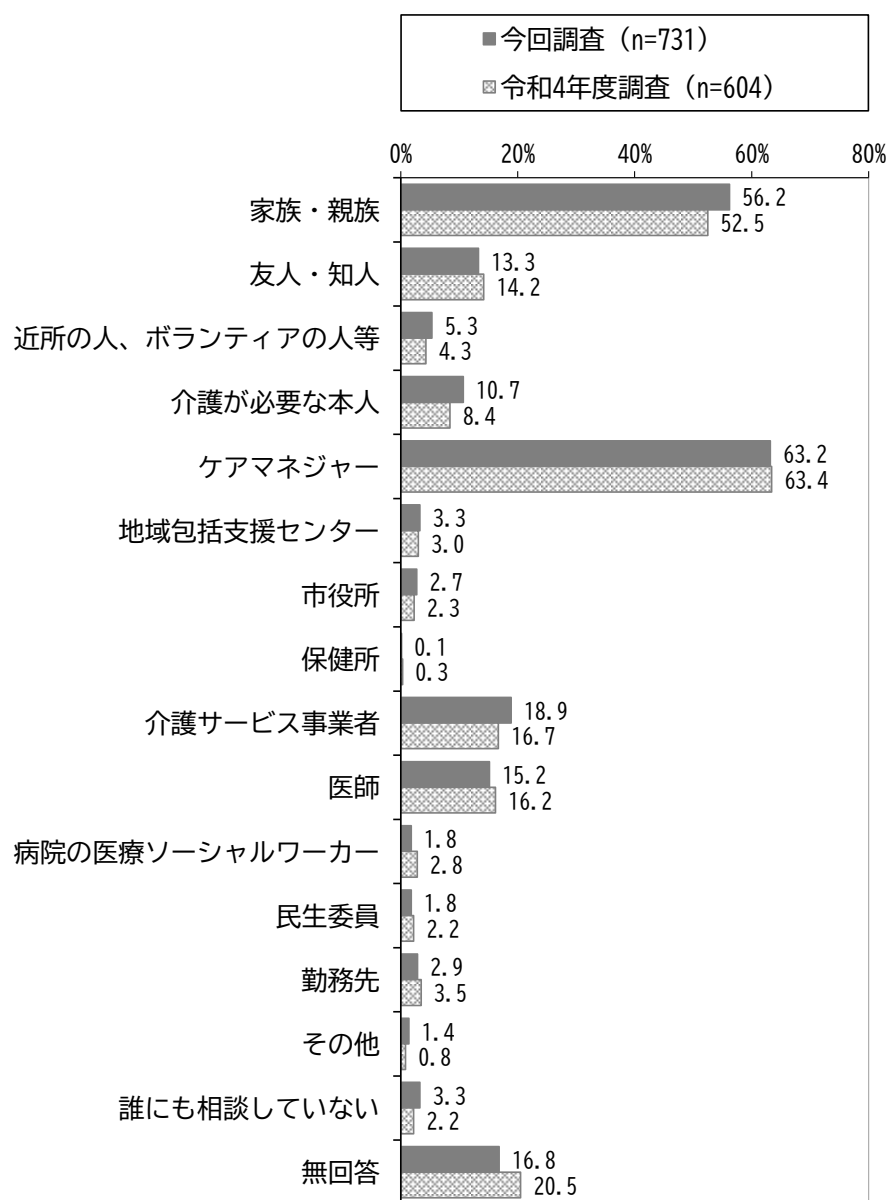


(12) 介護について誰かに相談しているか

問 40 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか（いくつでも）

介護について誰かに相談しているかについては、「ケアマネジャー」が63.2%で最も高く、次いで「家族・親族」が56.2%、「介護サービス事業者」が18.9%と続いています。

図表 3-7-12 介護について誰かに相談しているか

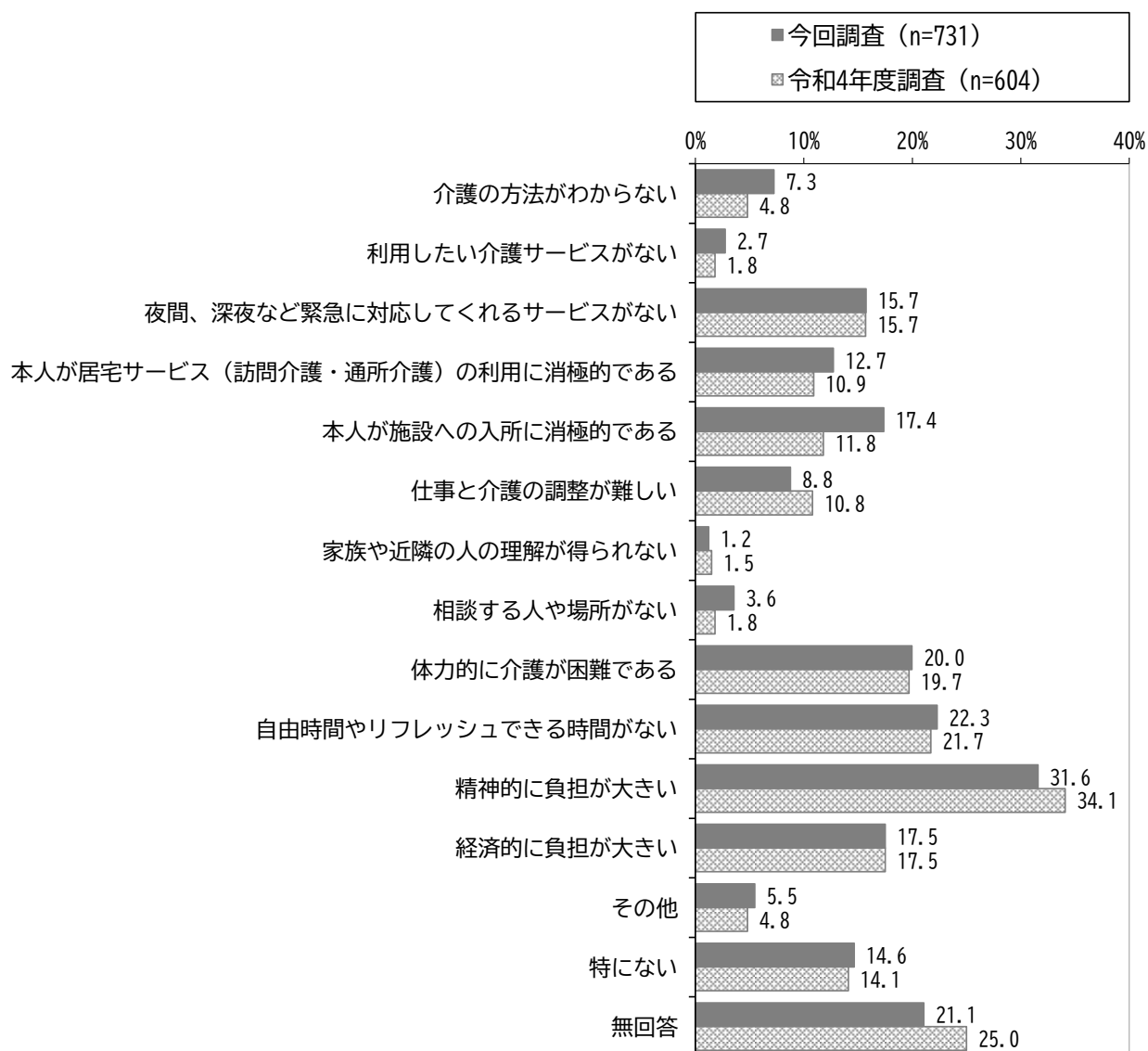


(13) 不安に感じることや困っていることはあるか

問 41	主な介護者の方が不安に感じることや困っていることはありますか (いくつでも)
------	--

不安に感じることや困っていることはあるかについては、「精神的に負担が大きい」が31.6%で最も高く、次いで「自由時間やリフレッシュできる時間がない」が22.3%、「体力的に介護が困難である」が20.0%と続いています。

図表 3-7-13 不安に感じることや困っていることはあるか



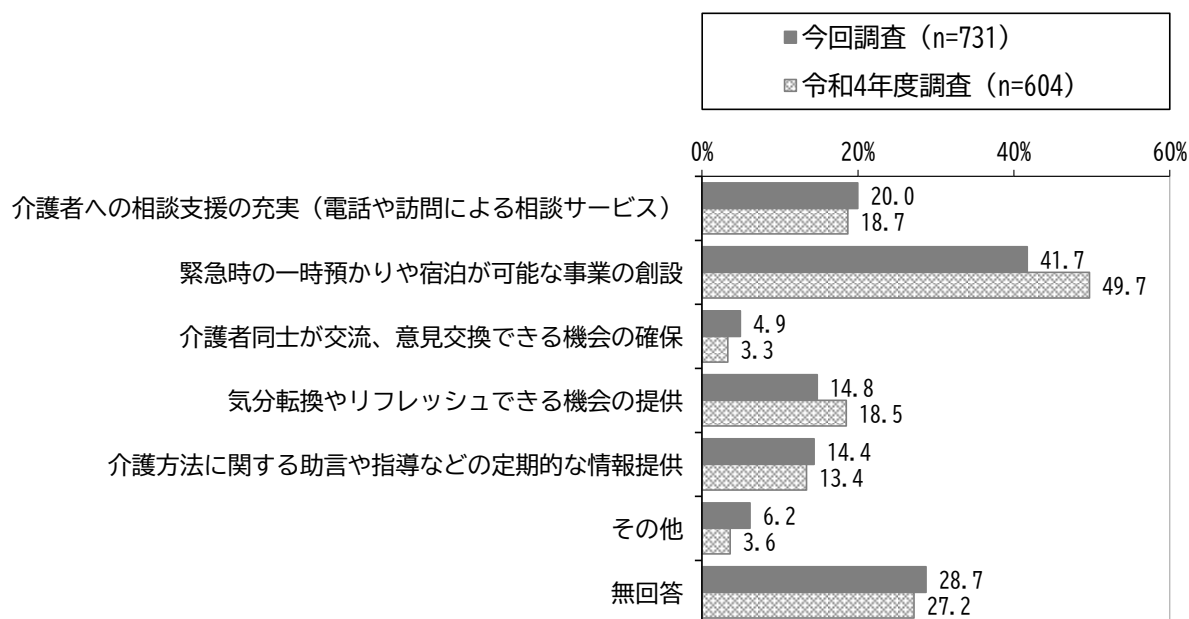
(14) 現状の介護に関してあればよいと思う支援

問 42

現状の介護に関して、主な介護者の方はどのような支援あればよいと思いますか。(2つまで)

現状の介護に関してあればよいと思う支援については、「緊急時の一時預かりや宿泊が可能な事業の創設」が41.7%で最も高く、次いで「介護者への相談支援の充実（電話や訪問による相談サービス）」が20.0%、「気分転換やリフレッシュできる機会の提供」が14.8%と続いています。

図表 3-7-14 現状の介護に関してあればよいと思う支援

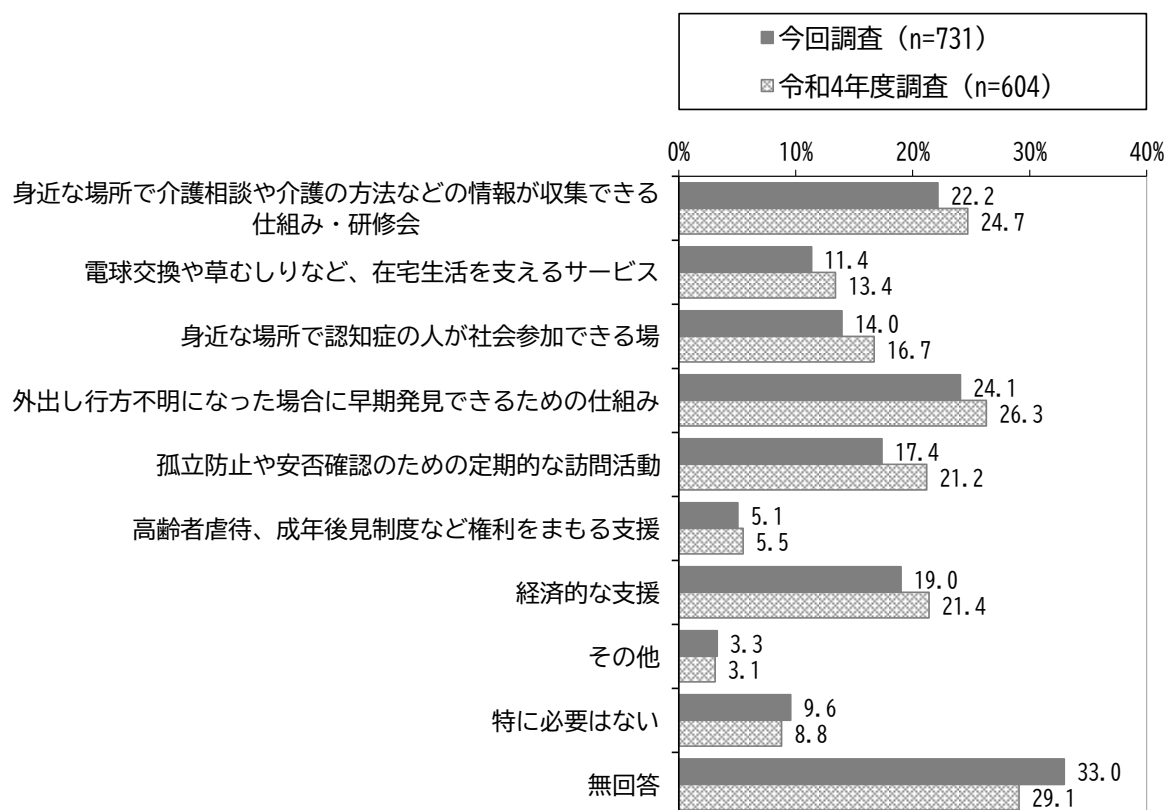


(15) 認知症に関してあればよいと思う支援

問 43	認知症に関してどのような支援があればよいと思いますか（いくつでも）
------	-----------------------------------

認知症に関してあればよいと思う支援については、「外出し行方不明になった場合に早期発見できるための仕組み」が24.1%で最も高く、次いで「身近な場所で介護相談や介護の方法などの情報が収集できる仕組み・研修会」が22.2%、
「電球交換や草むしりなど、在宅生活を支えるサービス」が11.4%、「身近な場所で認知症の人が社会参加できる場」が14.0%、「経済的な支援」が19.0%と続いています。

図表 3-7-15 認知症に関してあればよいと思う支援



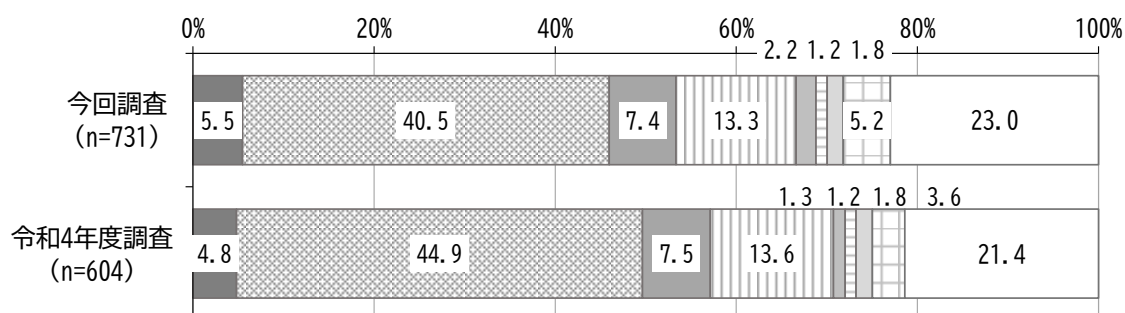
(16) 要介護者にどのような暮らしをしてほしいか

問 44

主な介護者の方は、今後ご本人にどのような暮らしをしてほしいとお考えですか
(1つだけ)

要介護者にどのような暮らしをしてほしいかについては、「自宅で、家族による介護のほか介護サービスを利用しながら暮らしてほしい」が40.5%で最も高く、次いで「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所してほしい」が13.3%、「自宅で、介護サービスを利用して暮らしてほしい」が7.4%と続いています。

図表 3-7-16 要介護者にどのような暮らしをしてほしいか



- 自宅で、家族から介護を受けて暮らしてほしい
- ▨ 自宅で、家族による介護のほか介護サービスを利用しながら暮らしてほしい
- 自宅で、介護サービスを利用して暮らしてほしい
- ▨ 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所してほしい
- 高齢者専用住宅で暮らしてほしい（サービス付き高齢者向け住宅など）
- ▨ 医療機関に入院してほしい
- その他
- ▨ わからない
- 無回答

